

2025 Education in Uruma City

令和7年度
うるま市の教育

(主要施策)



うるま市教育委員会

Uruma City Board of Education



うるま市民憲章

うるま市は、豊かな自然と先人たちの築きあげた文化と伝統を大切に、希望にみちた健康都市です。私たちは、このまちを愛し、おたがいの幸せを願い、ここに憲章を定めます。

- 一 すこやかで、心のかよう家庭と、思いやりのあるまちをつくります。
- 一 自然を生かし、花とみどりに包まれた、きれいなまちをつくります。
- 一 きまりを守り、ものを大切にする、住みよいまちをつくります。
- 一 働くよろこびと、若い力の育つ、元気なまちをつくります。
- 一 教養を高め、文化のかおり高い、魅力あるまちをつくります。

平成十九年三月六日 制定

うるまの意味

『珊瑚の島』という意味で、沖縄の美称です。また、景観の見事な沖縄の島々を示す言葉で、具志川・石川・与那城・勝連（2市2町）の海に面した素晴らしい景観を表し、新市が未来へ飛躍することと、美しいうるま市の心を世界に発信することを願っています。

市章の意味

うるま市の「う」の文字を図案化したもので、赤は太陽、緑は大地、青は海をイメージしています。豊かな自然の輪の中で市民の融和と平和を表現し、金武湾と中城湾に面し発展する「うるま市」の明るい未来と更なる飛躍を象徴しています。

表紙写真説明

令和7年3月に竣工した、うるま市立具志川小学校校舎です。RC構造地上3階建て、延床面積 5805.33 m²の中に 98 室が設けられ、スロープやエレベーター、オストメイト対応のトイレ設置などバリアフリーに配慮した設計となっています。

「世界にはばたけ 具志川っ子」をスローガンに、創立 143 周年の歴史を誇る、地域に愛されている学校です。



はじめに

うるま市教育委員会
教育長 嘉手苺 弘美

2市2町の合併を行い新たな街として誕生したうるま市は、令和7年4月1日で市政20周年という節目を迎えました。

これまで教育委員会といたしましても、島嶼地域の学校統廃合、生涯学習センター「ゆらてく」の建設、全小中学校への電子黒板の設置、一人一台端末の導入による教育の質を高める取り組みなど、着実に飛躍を遂げてまいりました。

近年、ICTの進展等の急速な社会の変化の中で、教育に求められる役割も多様化、高度化してきており、学校教育・社会教育・生涯学習の各分野において、持続的で実効性のある施策が求められています。

そこで、本市においては、今後の教育の方向性を共有していくための大切な指針として、昨年度「第1次うるま市教育振興基本計画」を策定いたしました。それを基に、「郷土に誇りを持ち、未来を拓く人づくり」を基本理念に、重点施策を明確にし、地域や家庭、関係機関と連携しながら、誰ひとり取り残さない学びの保障、郷土への愛着と地域社会への参画意識を目指した教育を重点的に位置づけています。

学校教育においては、すべての子どもたちひとり一人が自分らしく学び、成長していける環境づくりを目指し、地域と学校、そして家庭が一体となって教育を進めていくことを大切にしています。

また、本市が誇る歴史、文化、伝統を次世代へ継承していくことも、教育行政の大きな柱です。昨年度策定した「うるま市文化財保存活用地域計画」を基に、地域に根ざした文化財や芸能、文化資源を未来につなげていく取り組みを大切にしています。

さらに、「すべての人に開かれた学びの場」の実現を目指し、生涯学習のさらなる充実にも力を注ぎ、全ての市民が生涯にわたって学び続け、自らの人生を豊かにすることができるよう生涯学習の推進にも力を注いでいます。

本書は、「うるま市教育振興基本計画」に基づく具体的な取り組み及び教育委員会の組織、教育機関等についてまとめ、毎年作成しているものです。本市の教育施策の現状ご理解の一助になり、社会全体で教育について理解を深める足掛かりになれば幸いです。

今後も、子どもたちのひとり一人の可能性を信じ、社会全体で育てていくとの視点に立ち、市民の皆さまとともに、教育のさらなる充実に努めてまいります。引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和7年7月

教育施策体系（第2次うるま市総合計画 後期基本計画）

基本目標 2

子どもがいまいきと
育つまちづくり

基本目標 5

郷土に誇りをもち
未来を拓く人づくり

2-3 幼児教育・保育の充実

乳幼児を家庭の保護者に代わって保育し、安心して就労や子育てを行うことができる環境を整えるとともに、健全な人間形成の基礎を培う幼児教育・保育を実現し、子どもたちに健康・安全で文化的な生活、豊かな遊びが保障されることで、心身の調和のとれた発達を目指します。

- 2-3-1 多様な幼児教育・保育を充実させます
- 2-3-2 保育所等・小学校を連携します

5-1 生きる力を育む学校教育の充実

豊かな心とたくましい体、望ましい生活習慣や食習慣等を育み、予測困難な社会の変化に柔軟に対応できる幅広い知識と柔軟な思考力を身に付け、すべての人の個性を認め合い、協働して新たな価値を見出していくとする姿勢を身に付けた国際性に富む子どもを育成します。

- 5-1-1 学力向上を図ります
- 5-1-2 きめ細やかな指導・支援・相談体制の充実を図ります
- 5-1-3 児童生徒の心と体づくりに取り組みます
- 5-1-4 教育環境を整備・充実させます
- 5-1-5 地域と共にある信頼される学校づくりを推進します
- 5-1-6 組織的・機動的な学校づくりを推進します

5-2 学校教育施設の充実

児童生徒が安全・安心で良好な環境の中で学ぶことができるよう、学校における施設・設備の適切な維持管理や計画的な改修・改築を行います。

- 5-2-1 学校教育施設を整備・充実させます

5-3 青少年健全育成の推進

学校・家庭・地域社会が連携して、青少年の健全育成に地域ぐるみで関わり、子どもたちが地域の中で心豊かで健やかに成長できるまちを目指します。

- 5-3-1 青少年健全育成支援体制を整備します
- 5-3-2 青少年の健全育成・自立を支援します

5-4 生涯学習の充実

市民それぞれのライフステージやライフスタイルに応じ、生涯にわたって生きがいを持てるように、生涯学習活動機会を提供し、生涯学習・社会教育環境の充実を目指します。

- 5-4-1 生涯学習の環境を整えます
- 5-4-2 図書館の活用を推進します
- 5-4-3 学んだ成果を地域社会に活かします

5-5 スポーツ・ライフの推進

市民がスポーツに親しみ、健康の維持・増進と競技力向上に取り組むとともに、スポーツ関係団体の運営支援や組織力強化支援に取り組み、良好なスポーツ環境を提供し、スポーツによる地域活性化を目指します。また、市民一人ひとりが自主的、主体的にスポーツ・運動に親しむことができるまちを目指します。

- 5-5-1 様々な主体と連携しスポーツが生活にとけ込むまちづくりを目指します
- 5-5-2 スポーツ環境を整備・充実させます
- 5-5-3 スポーツに気軽に参加できる機会を確保します
- 5-5-4 競技スポーツの強化・向上を推進します

5-6 文化・芸術の振興

市民が優れた文化・芸術に親しみ、触れる機会を充実させることにより、教養や感性を深め、多様な価値観が尊重されることにより心豊かな社会形成を目指します。また、長い年月をかけて今に受け継がれてきた伝統芸能の保存・継承及び地域文化の振興を図ります。

- 5-6-1 市民文化活動を推進し文化芸術に親しむ機会を提供します
- 5-6-2 文化施設・設備を有効利用します

5-7 文化財の保存・活用の推進

文化財を次世代へ継承するため、企画展示・体験学習・各種イベントなどの機会を通して市民の文化財に対する意識や関心を高め、文化財の保存・活用を推進し、郷土に愛着と誇りの持てるまちづくりを目指します。

- 5-7-1 文化財を保護します
- 5-7-2 文化財を活用していきます

令和7年度

うるま市の教育

主要施策



うるま市教育委員会

目次

第1章 うるま市の概要

1 位置及び人口	1
2 市の沿革	2
3 うるま市歌	3

第2章 教育行財政

第1節 教育行政	5
第2節 教育財政	21
第3節 育英事業	23

第3章 乳幼児期の教育・保育

第1節 乳幼児期の教育・保育がめざすもの	27
第2節 乳幼児期の教育・保育の現状と課題	29
第3節 乳幼児期の教育・保育の具体的な方針	30

第4章 学校教育

第1節 学校教育	33
第2節 うるま市教育支援センター	75
第3節 学校給食	83

第5章 学校教育施設

第1節 学校教育施設	93
------------	----

第6章 生涯学習

第1節 生涯学習振興	99
第2節 生涯学習文化振興センター	105
第3節 図書館	116

第7章 文化・芸術

第1節 市民文化活動の推進	123
第2節 文化施設・設備の有効利用	124

第8章 文化財

第1節 文化財の保存と活用	131
第2節 保存・活用の方針	135
第3節 資料館	137
第4節 市史編さん	142

資料編1 うるま市教育委員会事務点検・評価

1 令和7年度事務点検・評価	147
----------------	-----

資料編2 各種委員等

1 うるま市社会教育委員	149
2 うるま市立図書館協議会	149
3 うるま市文化財保護審議会	150
4 うるま市立資料館協議会	150
5 うるま市具志川市史編さん委員会 第9巻専門委員	150
6 うるま市立学校給食センター運営委員会	151
7 うるま市いじめ問題対策審議会委員	151
8 うるま市教育支援センター運営委員	152
9 うるま市教育支援委員会	152
10 学校医・歯科医・薬剤師一覧	154
11 うるま市の自治会	155

資料編3 施設使用料

1 学校施設使用料	157
2 うるま市立公民館使用料	157
3 生涯学習文化振興センターゆらてく施設使用料	158
4 うるま市民芸術劇場施設使用料	159
5 うるま市石川会館施設使用料	161
6 うるま市きむたかホール施設使用料	163

資料編4 学校・教育機関

1 うるま市教育委員会事務局等の連絡先	165
2 うるま市立小学校・中学校一覧	167
3 令和7年度うるま市立学校在籍一覧表 (小学校・中学校)	169



第1章 うるま市の
概要

第2章 教育行財政

第3章 乳幼児期の
教育・保育

第4章 学校教育

第5章 学校教育施設

第6章 生涯学習

第7章 文化・芸術

第8章 文化財

資料編

第1章 うるま市の概要



うるま市の概要

1. 位置及び人口

うるま市は、那覇市より北東へ25Km、沖縄本島中部の東海岸に位置し、東に金武湾、南に中城湾の両湾に接し、東南に広がる勝連半島の北方および東方海上には、有人、無人の8つの島々があり、美しい風景と豊かな自然環境に恵まれています。

令和7年4月末日現在の人口は、127,061人、世帯数は58,948世帯であり、面積は87.02km²となっています。

うるま市の位置と地域名



2. 市の沿革

うるま市は、平成 17 年 4 月 1 日に具志川市、石川市、勝連町、与那城町の個性豊かな 4 市町が合併し誕生しました。

具志川市は、約 4,000 年前に生活が営まれた痕跡を残す古い歴史があり、琉球最古の歌謡集「おもろさうし」に“くしかわ”とあります。豊富な水資源と肥沃で広い土地に恵まれ、かつて砂糖キビの生産が沖縄一を誇っていました。太平洋戦争後、琉球大学の前身である沖縄文教学校、沖縄外国語学校や農林学校などが続々創設され、沖縄の文教の中心地として発展してきました。

石川市は、琉球王朝時代の寛文 6 年（1666 年）以前は、現在の沖縄市を中心とする越来間切に含まれる農村集落でした。その後、越来間切から分割された美里間切に含まれ、明治 41 年の沖縄県島嶼町村制の施行に伴い誕生した美里村の一行政区として、昭和初期までその状態が続ききました。そして、終戦直後、地方行政措置要綱に基づき美里村から分離し、石川市が誕生しました。戦中戦後には、米軍により設置された難民収容所や琉球政府の前身である沖縄諮詢委員会や民政府が設置され、沖縄の政治・経済・教育文化の中心地として発展してきました。

勝連町は、古い文献に「賀津連」「賈慈連」という字で表現されており、1609 年の喜安日記に初めて「勝連」の二字が記されています。12～13 世紀の築城とされる勝連城は、特に城主阿麻和利の時代に最盛期を迎えました。「おもろさうし」には、「きむたか」（心豊か・気高い）と称され、大和の京や鎌倉に例えられるほどの繁栄が謡われており、活発な海外との交易により発展してきました。

また、勝連城跡は、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして、平成 12 年に世界遺産に登録されました。

与那城町は、約 2,500 年前の沖縄貝塚時代中期の沖縄最大の段丘集落跡といわれる「シヌグ堂遺跡」があり、その歴史は古く、17 世紀中頃以前には勝連間切に属していました。その後、西原間切として勝連間切から分離・独立され、第二尚氏王統第 7 代国王尚寧王（しょうねいおう）の父親にあたる与那城王子尚懿（しょうい）が拝領地として授かったと記されています。さらに、平田間切、与那城間切と改名を重ね、沖縄県島嶼町村制の施行など歴史的な変動を経験しながら、発展してきました。また、海中道路（1972 年）や伊計大橋（1982 年）、藪地大橋（1985 年）の完成により、島々の交通の便が飛躍的に向上し、離島苦の解消が図られました。

この 4 市町は歴史的なつながりが強く、地縁、血縁など住民同士の交流は古くから続いています。また、海に面し恵まれた地理的条件も含め、生活・経済・文化面において一体的な日常生活圏を構築していました。

うるま市は令和 7 年 4 月 1 日に市政 20 周年を迎え、「人が輝き、地域のありのままが、感動を生むまち」を実現すべく邁進する、勢いのある市です。



うるま市歌 ～青雲澄みて～

作詞 知念 仁照
 補作詞 うるま市市歌検討委員会
 作曲 普久原 恒勇

♩=100

The musical score is written in 3/4 time with a key signature of two flats (Bb and Eb). It consists of seven staves of music. Chord symbols are placed above the notes. The lyrics are written below the notes, with some lines having multiple syllables under a single note.

あはれは さきひ がのほ るき きんわ んつ に
 ちゆの しれ ぬし かま のの ちゆの らびし まつに
 せい い き の ない み はき うちも よに せ て
 あ ちゆ は のを と もぶ す とわ が ま ざち えも
 あみ や は そ し て き ら す ん こほ が ねり い ん る きつ む
 と ほも に お のこ とさ ん ゆ なめ きよ もち
 たか の みま ちの るの こじ のち さの とみ もち
 わしの か ね は は た か な なり り さく
 せと い う ん て す み て ひ かす り さ すく
 と い もに とと こ こ とろ りすか やすい みい あう
 ああ 二 二 ああ 二 二 うう るる まま しし にに
 ああ 二 二 ああ 二 二 うう るる まま しし にに
 みは ど 二 りが 二 もさ えく
 はな が 二 は えく

うるま市歌 ～青雲澄みて～

一 朝日が昇る 金武湾に

世紀の波は うち寄せて

あやはし照す しがね色

肝高満ちる この里も

青雲澄みて 光さす

ああ うるま市に みどり萌え

二 歴史文化を 偲びつつ

いちゆいの息吹 共に冴え

みほその里も 誇りなん

生まれし街の 自治の道

共に手をとり 進みゆく

ああ うるま市に 花が咲く

三 離れし島の 美ら島に

明りをともし わが街も

共に興さん 理想をもち

平和の鐘は 高鳴りぬ

心と心 通い合う

ああ うるま市に 実が栄える

第2章 教育行財政



第1節 教育行政

1 教育委員会の概要

教育委員会

教育委員会は、都道府県や市町村に置かれる合議制の執行機関である。

教育長及び教育委員は、市長が議会の同意を得て任命する。教育長の任期は3年、教育委員の任期は4年で、再任されることがある。

教育長は、教育委員会を代表し、教育委員会会議を主宰することのほか、教育委員会の権限に属するすべての事務を司る。

教育委員会は、教育行政を自らの責任と権限において管理し執行する。

会議は、毎月1回開催される定例会と、緊急の要件が発生したときに開かれる臨時会がある。

教育長並びに教育委員

令和7年6月20日現在



教育長 嘉手苺 弘美



教育長職務代理者 赤嶺 幸徳



委員 上門 はるみ



委員 天願 剛



委員 宮城 華織

職名	氏名	任期
教育長	嘉手苺 弘美	令和6年6月7日～令和9年6月6日
教育長職務代理者	赤嶺 幸徳	令和7年6月20日～令和11年6月19日
委員	上門 はるみ	令和4年11月22日～令和8年11月21日
委員	天願 剛	令和5年7月10日～令和9年7月9日
委員	宮城 華織	令和6年8月23日～令和10年8月22日

2 歴代教育委員

◎教育委員長（任期は1年間） ◇教育長職務代理者（平成27年6月7日より） ※故人

氏名	期間
天願 光雄	◎平成17年4月1日～平成17年6月6日 ◎平成17年6月7日～平成19年6月6日 平成19年6月7日～平成21年6月6日
名嘉村 清次郎	◇平成17年4月1日～平成17年6月6日
上間 一秀 ※	平成17年4月1日～平成17年6月6日
當銘 由榮 ※	平成17年4月1日～平成17年6月6日
上江洲 安吉 ※	平成17年4月1日～平成17年6月6日
野原 勝	◇平成17年6月7日～平成18年6月6日 ◎平成18年6月7日～平成19年6月6日 ◎平成19年6月7日～平成22年6月6日
渡嘉敷 順治	平成17年6月7日～平成20年6月6日
前門 幸雄	平成17年6月7日～平成21年6月6日
謝敷 久武	平成17年6月7日～平成19年6月6日 ◇平成19年6月7日～平成23年6月6日 平成23年6月7日～平成27年6月6日
安村 和子	平成22年6月7日～平成26年6月6日
横田 清美	平成20年6月7日～平成24年6月6日 平成24年6月7日～平成28年6月6日
榮門 忠光	平成21年6月7日～平成25年6月6日 ◎平成22年6月7日～平成25年6月6日 ◎平成25年6月7日～平成27年6月6日
与那嶺 清子	◇平成21年6月7日～平成25年6月6日 平成25年6月7日～平成29年6月6日
新垣 ミイ子	平成26年6月7日～平成30年6月6日
大石 英助	◇平成27年6月7日～令和元年6月6日 ◇令和元年6月7日～令和3年3月31日 令和3年4月1日～令和5年6月6日
平良 初美	平成28年6月7日～令和2年6月6日
嘉手苺 弘美	平成29年6月7日～平成30年6月6日

氏名	期間
田 幸 正 彦	平成30年6月7日～令和3年3月31日 ◇ 令和3年4月1日～令和4年3月31日 令和4年4月1日～令和4年6月6日
石 川 聡	平成30年6月7日～令和3年6月6日 令和3年6月7日～令和4年3月31日 ◇ 令和4年4月1日～令和7年6月6日
仲宗根 桂子	令和2年8月1日～令和6年7月31日
上門 はるみ	令和4年11月22日～令和8年11月21日
天 願 剛	令和5年7月10日～令和9年7月9日
宮 城 華 織	令和6年8月23日～令和10年8月22日
赤 嶺 幸 徳	令和7年6月20日～令和11年6月19日

3 歴代教育長

平成27年6月7日より新教育長 ※故人

氏名	期間
上江洲 安吉 ※	平成17年4月1日～平成17年6月6日
前門 幸雄	平成17年6月7日～平成21年6月6日
謝敷 久武	平成21年6月7日～平成23年6月6日 平成23年6月7日～平成27年6月6日
榮門 忠光	平成27年6月7日～平成30年6月6日
嘉手苺 弘美	平成30年6月7日～令和3年6月6日 令和3年6月7日～令和6年6月6日 令和6年6月7日～令和9年6月6日



4 教育委員会の活動状況

教育委員会会議の開催状況（令和6年4月1日から令和7年3月31日）

教育委員会の会議は、うるま市教育委員会会議規則第2条第2項に基づき毎月第2水曜日に定例会を、その他必要に応じて臨時会を開催しています。

令和6年度の開催状況は、定例会12回、臨時会3回の計15回、付議件数は、議案28件、報告17件の計45件となっております。

付議名		第5回（定例）令和6年4月17日	担当部・課
議案	第12号	うるま市いじめ問題対策審議会委員の委嘱について	学校教育課 学校生活応援課
付議名		第6回（定例）令和6年5月16日	担当部・課
議案	第13号	うるま市各種文化活動大会等の派遣に関する補助金交付要綱の制定について	社会教育部 教育政策課
	第14号	うるま市きむたかホール条例施行規則の一部改正について	社会教育部 生涯学習文化振興セン
付議名		第7回（定例）令和6年6月12日	担当部・課
報告	第4号	臨時代理の報告について（市議会議案『令和6年度うるま市一般会計補正予算（第2号）』）	社会教育部 教育政策課
	第5号	臨時代理の報告について（市議会議案『物品の取得について（電子黒板整備事業（小学校））』）	学校教育課 学校教育課
	第6号	臨時代理の報告について（市議会議案『物品の取得について（電子黒板整備事業（中学校））』）	学校教育課 学校教育課
付議名		第8回（定例）令和6年7月10日	担当部・課
議案	第15号	うるま市立図書館雑誌スポンサー制度実施要綱の制定について	社会教育部 図書館
付議名		第9回（臨時）令和6年7月24日	担当部・課
議案	第16号	令和7年度以降に使用する中学校教科用図書の採択について	学校教育課 学務課
付議名		第10回（定例）令和6年8月14日	担当部・課
報告	第7号	令和5年度うるま市立学校給食センター給食会計決算書報告について	学校教育課 学校給食センター
議案	第17号	うるま市教育委員会事務点検・評価の報告について（令和5年度事業対象）	社会教育部 教育政策課
付議名		第11回（定例）令和6年9月4日	担当部・課
報告	第8号	臨時代理の報告について（市議会議案『令和6年度うるま市一般会計補正予算（第4号）』）	社会教育部 教育政策課
	第9号	臨時代理の報告について（市議会議案『物品の取得について（小中学校教育系基幹ネットワークスイッチ更改業務）』）	学校教育課 学校教育課

付 議 名		第 1 2 回 (定例) 令和 6 年 1 0 月 1 1 日	担 当 部 ・ 課
報 告	第10号	臨時代理の報告について (車両物損事故)	学 校 教 育 部 学 務 課
	第11号	臨時代理の報告について (市議会議案『令和5年度うるま市一般会計歳入歳出決算認定について (認定第1号)』)	社 会 教 育 部 教 育 政 策 課

付 議 名		第 1 3 回 (定例) 令和 6 年 1 1 月 1 4 日	担 当 部 ・ 課
報 告	第12号	臨時代理の報告について (車両事故)	社 会 教 育 部 教 育 施 設 課

付 議 名		第 1 4 回 (定例) 令和 6 年 1 2 月 2 3 日	担 当 部 ・ 課
報 告	第13号	臨時代理の報告について (市議会議案『令和6年度うるま市一般会計補正予算 (第6号)』)	社 会 教 育 部 教 育 政 策 課
	第14号	臨時代理の報告について (市議会議案等『具志川小学校校舎増改築工事 (建築1工区)』に係る変更請負契約について)	社 会 教 育 部 教 育 施 設 課
	第15号	臨時代理の報告について (市議会議案等『具志川小学校校舎増改築工事 (建築2工区)』に係る変更請負契約について)	社 会 教 育 部 教 育 施 設 課
	第16号	臨時代理の報告について (市議会議案等『具志川小学校校舎増改築工事 (電気)』に係る変更請負契約について)	社 会 教 育 部 教 育 施 設 課
	第17号	臨時代理の報告について (市議会議案等『具志川小学校校舎増改築工事 (機械)』に係る変更請負契約について)	社 会 教 育 部 教 育 施 設 課
議 案	第18号	令和6年度うるま市教育委員会被表彰者の決定について	社 会 教 育 部 教 育 政 策 課

付 議 名		第 1 回 (定例) 令和 7 年 1 月 1 5 日	担 当 部 ・ 課
報 告	第1号	臨時代理の報告について (令和6年度教育委員会職員の仕事異動)	社 会 教 育 部 教 育 政 策 課
議 案	第1号	うるま市立公民館条例施行規則の一部改正について	社 会 教 育 部 生 涯 学 習 文 化 振 興 セ ン

付 議 名		第 2 回 (臨時) 令和 7 年 1 月 3 0 日	担 当 部 ・ 課
報 告	第2号	うるま市立小中学校児童生徒及び教職員等の学校給食費改定について	学 校 教 育 部 学 校 給 食 セ ン タ ー
議 案	第2号	令和7年度教育委員会職員の仕事異動について	社 会 教 育 部 教 育 政 策 課

付 議 名		第 3 回（定例）令和 7 年 2 月 1 2 日	担 当 部 ・ 課
報 告	第 3 号	臨時代理の報告について（具志川・与勝地区相談室及び適応指導教室（さわやか学級）の移転について）	学 校 教 育 部 学 校 生 活 応 援 課
議 案	第 3 号	うるま市教育委員会教育長交際費支出基準及び公表に関する要綱の制定について	社 会 教 育 部 教 育 政 策 課
	第 4 号	うるま市学校・家庭・地域の連携協力推進運営委員会設置要綱の制定について	社 会 教 育 部 生 涯 学 習 文 化 振 興 セ ン
	第 5 号	うるま市立小・中学校の教育職員の勤務時間の上限に関する規則の制定について	学 校 教 育 部 学 務 課
	第 6 号	うるま市スクールバス運営に関する要綱の一部改正について	学 校 教 育 部 学 校 教 育 課
	第 7 号	旅館営業許可に係る意見について	学 校 教 育 部 学 校 教 育 課
	第 8 号	専決処分の報告について（具志川小学校校舎増改築工事（建築 1 工区））	社 会 教 育 部 教 育 施 設 課
	第 9 号	専決処分の報告について（具志川小学校校舎増改築工事（建築 2 工区））	社 会 教 育 部 教 育 施 設 課
	第 10 号	専決処分の報告について（具志川小学校校舎増改築工事（電気））	社 会 教 育 部 教 育 施 設 課
	第 11 号	専決処分の報告について（具志川小学校校舎増改築工事（機械））	社 会 教 育 部 教 育 施 設 課
	第 12 号	物品の取得について（令和 7 年度中学校教科書改訂に伴う教師用指導書等購入）	学 校 教 育 部 学 務 課
	第 13 号	令和 6 年度うるま市一般会計補正予算（第 8 号）について	社 会 教 育 部 教 育 政 策 課
	第 14 号	令和 7 年度うるま市一般会計当初予算について	社 会 教 育 部 教 育 政 策 課

付 議 名		第 4 回（臨時）令和 7 年 2 月 1 7 日	担 当 部 ・ 課
議 案	第 15 号	令和 7 年度教育委員会職員の人事異動について	社 会 教 育 部 教 育 政 策 課
	第 16 号	令和 7 年度学校教職員人事内申について	学 校 教 育 部 学 校 教 育 課

付 議 名		第 5 回（定例）令和 7 年 3 月 1 9 日	担 当 部 ・ 課
議 案	第 17 号	うるま市各種文化活動大会等の派遣に関する補助金交付要綱の一部改正について	社 会 教 育 部 教 育 政 策 課
	第 18 号	うるま市立学校創立記念事業補助金交付要綱の一部改正について	社 会 教 育 部 教 育 政 策 課
	第 19 号	うるま市立中学校の文化部活動と地域等の連携の在り方に関する検討委員会設置要綱の制定について	社 会 教 育 部 教 育 政 策 課
	第 20 号	うるま市立図書館管理運営規則等の一部改正について	社 会 教 育 部 教 育 政 策 課
	第 21 号	うるま市就学援助規則の一部改正について	学 校 教 育 部 学 務 課

5 うるま市教育委員会の沿革

平成 17 年度

4月1日 『具志川市』『石川市』『勝連町』『与那城町』（二市二町）の合併によってうるま市が誕生。『具志川市教育委員会』『石川市教育委員会』『勝連町教育委員会』『与那城町教育委員会』『与勝事務組合教育委員会』が新たにうるま市教育委員会として始動。教育委員に天願 光雄氏、名嘉村 清次郎氏、上間 一秀氏、當銘 由榮氏、上江洲 安吉氏が選任される。

教育委員長に天願 光雄氏、委員長職務代理者に名嘉村 清次郎氏が選任される。

初代教育長に上江洲 安吉氏就任

うるま市教育委員会に、教育部、文化部、指導部を置く。

教育部事務局に総務課、施設課、社会教育課、社会体育課、教育機関として、公民館を置く。

文化部事務局に文化課、芸術振興課、市史編さん課、教育機関として、図書館、資料館を置く。

指導部事務局に学務課、指導課、教育機関として、教育研究所、青少年センター、給食センター、小学校 22 校、中学校 13 校、幼稚園 18 園を置く。

6月6日 委員 名嘉村 清次郎氏、上間 一秀氏、當銘 由榮氏、委員長 天願 光雄氏、教育長 上江洲 安吉氏、任期満了により退任

教育委員に天願 光雄氏、野原 勝氏、渡嘉敷 順治氏、謝敷 久武氏、前門 幸雄氏が任命される。

6月7日 教育委員長に天願 光雄氏が再任、教育委員長職務代理に野原 勝氏が選任される。
2代教育長に前門 幸雄氏就任

10月28日 伊波小学校水泳プール改築工事が竣工

12月26日 あげな中学校防球ネット設置工事が竣工
具志川中学校防球ネット設置工事が竣工

3月24日 与那城小学校特別教室改築工事が竣工

平成 18 年度

6月6日 教育委員 野原 勝氏、任期満了により退任

6月7日 教育委員に野原 勝氏が再任される。

教育委員長に天願 光雄氏が再任される。

7月24日 具志川小学校水泳プール改築工事が竣工

7月25日 うるま市教育振興推進委員会にうるま市立学校適正規模・配置等に関する調査検討を諮問

10月16日 あげな中学校屋内運動場新增改築工事が竣工

平成 19 年度

6月6日 教育委員 謝敷 久武氏、任期満了により退任

- 6月7日 教育委員に謝敷 久武氏が再任される。
教育委員長に野原 勝氏、教育委員長職務代理者に謝敷 久武氏が選任される。
うるま市教育振興推進委員会から中間答申書「うるま市立学校適正化について」
受理
- 10月10日 与勝中学校防球ネット設置工事が竣工
- 10月25日 石川中学校校舎増改築工事が竣工
- 2月13日 うるま市教育振興推進委員会から最終答申書「うるま市立学校適正化について」
受理
- 3月7日 兼原小学校屋内運動場改築工事が竣工
- 3月17日 うるま市具志川運動公園多種目球技場が竣工
- 3月19日 与勝第二中学校防球ネット設置工事が竣工
- 3月21日 石川中学校防球ネット設置工事が竣工

平成 20 年度

- 4月1日 組織改編により、文化部を廃止
教育部 事務局に、総務課、施設課、社会教育課、社会体育課、文化課、
芸術振興課、教育機関として、図書館、資料館を置く。
市史編さん課を廃止し、文化課市史編さん係を置く。
- 6月6日 教育委員 渡嘉敷 順治氏、任期満了により退任
- 6月7日 教育委員に横田 清美氏が選任される。
教育委員長に野原 勝氏が再任される。
- 2月20日 うるま市具志川ドームが竣工
- 2月27日 中原小学校校舎新增改築工事が竣工
- 3月23日 津堅小学校校舎及び単独調理場改築工事が竣工
津堅中学校校舎及び単独調理場改築工事が竣工
- 3月27日 中原小学校屋内運動場及び水泳プール増改築工事が竣工

平成 21 年度

- 4月1日 組織改編により、芸術振興課を廃止
文化課に文化振興係、文化財係、市史編さん係、施設管理係を置く。
社会体育課に新たに高校総体推進係を置く。
公民館を廃止、社会教育課に公民館係を置く。
- 6月3日 教育委員会議において「うるま市学校適正配置基本方針」決定
- 6月6日 教育委員 天願 光男氏、教育長 前門 幸雄氏、任期満了により退任
- 6月7日 教育委員に榮門 忠光氏、与那嶺 清子氏が選任される。
教育委員長職務代理者に与那嶺 清子氏が選任される。
- 7月31日 3代教育長に謝敷 久武氏就任
- 1月13日 田場小学校屋内運動場改築工事が竣工
- 3月19日 「うるま市教育の日」を定める規則を制定
- 3月23日 高江洲中学校防球ネット設置工事が竣工

- 3月25日 中原小学校防球ネット設置工事が竣工
南原小学校校舎増改築工事が竣工
南原幼稚園増改築工事が竣工

平成 22 年度

- 6月6日 教育委員 野原 勝氏、任期満了により退任
6月7日 教育委員に安村 和子氏が選任される。
教育委員長に榮門 忠光氏が選任される。
8月20日 あげな中学校防球ネット設置工事が竣工
宮森小学校防球ネット設置工事が竣工
1月28日 与勝中学校校舎増改築工事が竣工
2月7日 教育委員会議において「うるま市学校適正配置基本計画」可決
3月7日 臨時教育委員会議において「うるま市学校適正配置前期実施計画」最終決定
3月18日 うるま市議会において、伊計、宮城、平安座、浜比嘉の4島内の小中学校の学校
統廃合による平成24年4月1日の新設校開校が決定
3月25日 与那城小学校屋内運動場改築工事が竣工

平成 23 年度

- 4月1日 組織改編により、社会教育課を生涯学習振興課、社会体育課を生涯スポーツ課に
課名変更。
社会体育課高校総体推進係は、事業終了により廃止
施設課は、施設第1係、施設第2係、施設第3係に再編
文化課市史編さん係は、図書館へ移設、施設管理係は廃止
6月6日 教育長 謝敷 久武氏、任期満了により退任
6月7日 教育長に謝敷 久武氏が再任される。
委員長に榮門 忠光氏が再任される。
10月7日 うるま市議会において、統合新小中学校の校名を「彩橋小中学校」に決定
1月27日 川崎小学校屋内運動場増改築工事が竣工

平成 24 年度

- 4月1日 うるま市立彩橋小中学校開校
6月7日 教育委員に横田 清美氏が再任される。
教育委員長に榮門 忠光氏が再任される。
11月14日 教育委員会会議において「うるま市学校適正配置後期実施計画」可決
11月30日 田場小学校校舎増改築工事が竣工
1月30日 うるま市学校適正配置基本計画検討委員会において「学校跡地・跡施設利用基本
方針」決定
3月13日 彩橋小中学校屋内運動場・水泳プール増改築工事が竣工
3月22日 具志川中学校屋内運動場増改築工事が竣工

平成 25 年度

- 4月1日 うるま市立彩橋小中学校「小規模特認校制度」導入
- 6月7日 教育委員に与那嶺 清子氏が再任される。
教育委員長に榮門 忠光氏が再任される。
- 9月20日 伊波小学校校舎増改築工事が竣工
伊波幼稚園増改築工事が竣工
- 1月31日 彩橋幼稚園新築工事が竣工
- 2月28日 伊波小学校屋内運動場増改築工事が竣工

平成 26 年度

- 4月1日 彩橋幼稚園開校
- 6月6日 教育委員 安村 和子氏、任期満了により退任
- 6月7日 教育委員に新垣 ミイ子氏が選任される。
教育委員長に榮門 忠光氏が再任される。
- 2月27日 天願幼稚園増改築工事が竣工
- 3月10日 勝連幼稚園増改築工事が竣工
- 3月23日 与勝中学校屋内運動場改築工事が竣工
- 3月30日 天願小学校屋内運動場増改築工事が竣工

平成 27 年度

- 4月1日 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、
新教育委員会制度へ移行
- 6月6日 教育長 謝敷 久武氏、任期満了により退任
- 6月7日 教育長に榮門 忠光氏が任命される。
教育長職務代理者に大石 英助氏が選任される。
- 10月23日 第1回うるま市総合教育会議開催
「うるま市教育大綱」策定
- 12月17日 平敷屋幼稚園増改築工事が竣工
- 3月18日 高江洲小学校校舎及び水泳プール増改築工事が竣工
高江洲幼稚園増改築工事が竣工

平成 28 年度

- 4月1日 組織改編により、総務課を教育総務課、施設課を教育施設課、
給食センターを学校給食センターに変更。
- 5月6日 教育総務課、教育施設課、生涯学習振興課、学務課、指導課、教育研究所、
青少年センター、文化課、本庁舎西棟へ移転して執務開始
- 6月6日 教育委員 横田 清美氏、任期満了により退任
- 6月7日 教育委員に平良 初美氏が選任される。

- 10月14日 天願小学校校舎及び水泳プール増改築工事が竣工
- 12月12日 高江洲小学校屋内運動場増改築工事が竣工
- 12月22日 第1回うるま市総合教育会議開催
- 3月17日 「藪地洞穴遺跡」をうるま市指定史跡に指定する。
- 3月24日 第2回うるま市総合教育会議開催
「第2次うるま市教育大綱」策定

平成29年度

- 4月1日 組織改編により、教育部 教育機関に、生涯学習文化振興センターを置く。
うるま市生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」が竣工
- 6月6日 教育委員 与那嶺 清子氏、任期満了により退任
- 6月7日 教育委員に嘉手苺 弘美氏が選任される。
- 3月29日 第1回うるま市総合教育会議開催

平成30年度

- 4月1日 組織改編により、生涯スポーツ課を廃止。
教育施設課を学校施設課、生涯学習振興課を生涯学習スポーツ振興課、文化課を文化財課に課名変更。
生涯スポーツ課 生涯スポーツ係は、生涯学習スポーツ振興課に業務移管。
文化課 文化振興係は、生涯学習文化振興センターに業務移管。
図書館 市史編さん係は、文化財課に業務移管。
学校施設課に学校施設管理係、学校施設計画係を置く。
生涯学習スポーツ振興課に生涯学習振興係、生涯スポーツ係を置く。
文化財課に文化財係、グスク整備係、市史編さん係を置く。
生涯学習文化振興センターに文化振興係、学び支援係を置く。
- 5月10日 勝連小学校校舎増改築工事が竣工
- 6月6日 教育委員 嘉手苺 弘美氏、一身上の都合により退任
教育委員 新垣 ミイ子氏、任期満了により退任
教育長 榮門 忠光氏、任期満了により退任
- 6月7日 教育長に嘉手苺 弘美氏が任命される。
教育委員に田幸 正彦氏が選任される。
教育委員に石川 聡氏が選任される。
- 7月13日 「うるま市の闘牛」をうるま市指定無形民俗文化財に指定する。
「宮城島のヒータチ（火立て）跡」をうるま市指定史跡に指定する。
- 1月15日 市指定無形民俗文化財「伊波メンサー織技能」認定及び解除
- 3月31日 認定こども園移行に伴い、うるま市立天願幼稚園・平敷屋幼稚園が閉園

令和元年度

- 5月1日 今上天皇退位に伴い、『令和』に改元
- 5月16日 令和元年度うるま市総合教育会議開催
- 6月6日 教育長職務代理者 大石 英助氏、任期満了により退任
- 6月7日 教育委員に大石 英助氏が再任される。
教育長職務代理者に大石 英助氏が再任される。
- 7月29日 うるま市教育振興推進委員会にうるま市立与勝第二中学校の適正化に関する調査研究を諮問
- 1月17日 宮森小学校校舎及び水泳プール増改築工事が竣工
- 2月20日 うるま市教育振興推進委員会から「与勝第二中学校の今後の在り方に関する答申書」受理
- 2月28日 赤道小学校校舎増改築工事が竣工
赤道幼稚園増改築工事が竣工
- 3月31日 認定こども園移行に伴い、うるま市立中原幼稚園、川崎幼稚園、彩橋幼稚園が閉園

令和2年度

- 4月1日 組織改編により、教育研究所及び青少年センターを統合し教育支援センターを置く。
- 4月13日 「平安座のサングワチャー」をうるま市指定無形民俗文化財に指定する。
「上江洲のウフガー」をうるま市指定有形民俗文化財に指定する。
- 6月6日 教育委員 平良 初美氏、任期満了により退任
- 7月22日 令和2年度うるま市総合教育会議開催
- 8月1日 教育委員に仲宗根 桂子氏が選任される。
- 3月31日 認定こども園移行に伴い、うるま市立あげな幼稚園が閉園
教育長職務代理者 大石 英助氏、教育長職務代理者を退任

令和3年度

- 4月1日 組織改編により、教育支援センターに情報教育推進係を置く。
教育長職務代理者に田幸 正彦氏が選任される。
- 6月6日 教育長 嘉手苺 弘美氏、任期満了により退任
教育委員 石川 聡氏、任期満了により退任
- 6月7日 教育長に嘉手苺 弘美氏が再任される。
教育委員に石川 聡氏が再任される。
- 3月31日 認定こども園移行に伴い、うるま市立宮森幼稚園、城前幼稚園、兼原幼稚園、田場幼稚園、勝連幼稚園、伊波幼稚園が閉園
教育長職務代理者 田幸 正彦氏、教育長職務代理者を退任

令和4年度

- 4月1日 組織改編により、教育部を社会教育部、指導部を学校教育部に部名変更。
 学校施設課を教育施設課、指導課を学校教育課に課名変更。
 教育施設課に教育施設管理係、教育施設計画係を置く。
 学校教育課に学校教育係、学校庶務係を置く。
 教育支援センター青少年係を教育相談係に統合する。
 教育長職務代理者に石川 聡氏が選任される。
- 5月30日 令和4年度第1回うるま市総合教育会議開催
- 6月6日 教育委員 田幸 正彦氏、任期満了により退任
- 7月11日 「第3次うるま市教育大綱」策定
- 8月1日 うるま市立学校給食センター与勝調理場共用開始に伴い、与那城学校給食センター、
 与勝学校給食センター、勝連学校給食センターが閉鎖
- 11月22日 教育委員に上門 はるみ氏が選任される。
- 1月31日 与勝第二中学校屋内運動場増改築工事が竣工
- 2月10日 城前小学校校舎増改築工事が竣工
 城前小学校屋内運動場増改築工事が竣工
- 3月31日 うるま市立与那城幼稚園、南原幼稚園、具志川幼稚園、高江洲幼稚園、赤道幼稚園
 が認定こども園へ移行

令和5年度

- 4月1日 組織改編により、教育総務課を教育政策課に課名変更。
 教育政策課に教育総務係、教育政策係を置く。
 生涯学習スポーツ振興課を廃止。
 生涯学習スポーツ振興課 生涯学習振興係を生涯学習文化振興センターへ、生涯ス
 ポーツ係を経済産業部 スポーツ課へ業務移管。
 生涯学習文化振興センターに生涯学習振興係、文化振興係、こども学び支援係を置
 く。
 教育施設課に教育施設計画係、教育施設管理第1係、教育施設管理第2係を置く。
 教育支援センター 情報教育推進係を学校教育課に業務移管。
 学校教育課に学校庶務係、学校教育係、学校推進係、学校ICT整備係を置く。
- 6月6日 教育委員 大石 英助氏、任期満了により退任
- 7月10日 教育委員に天願 剛氏が選任される。
- 8月9日 「具志川グスク」をうるま市指定史跡に指定する。
 「具志川グスクの壕」をうるま市指定史跡に指定する。

令和6年度

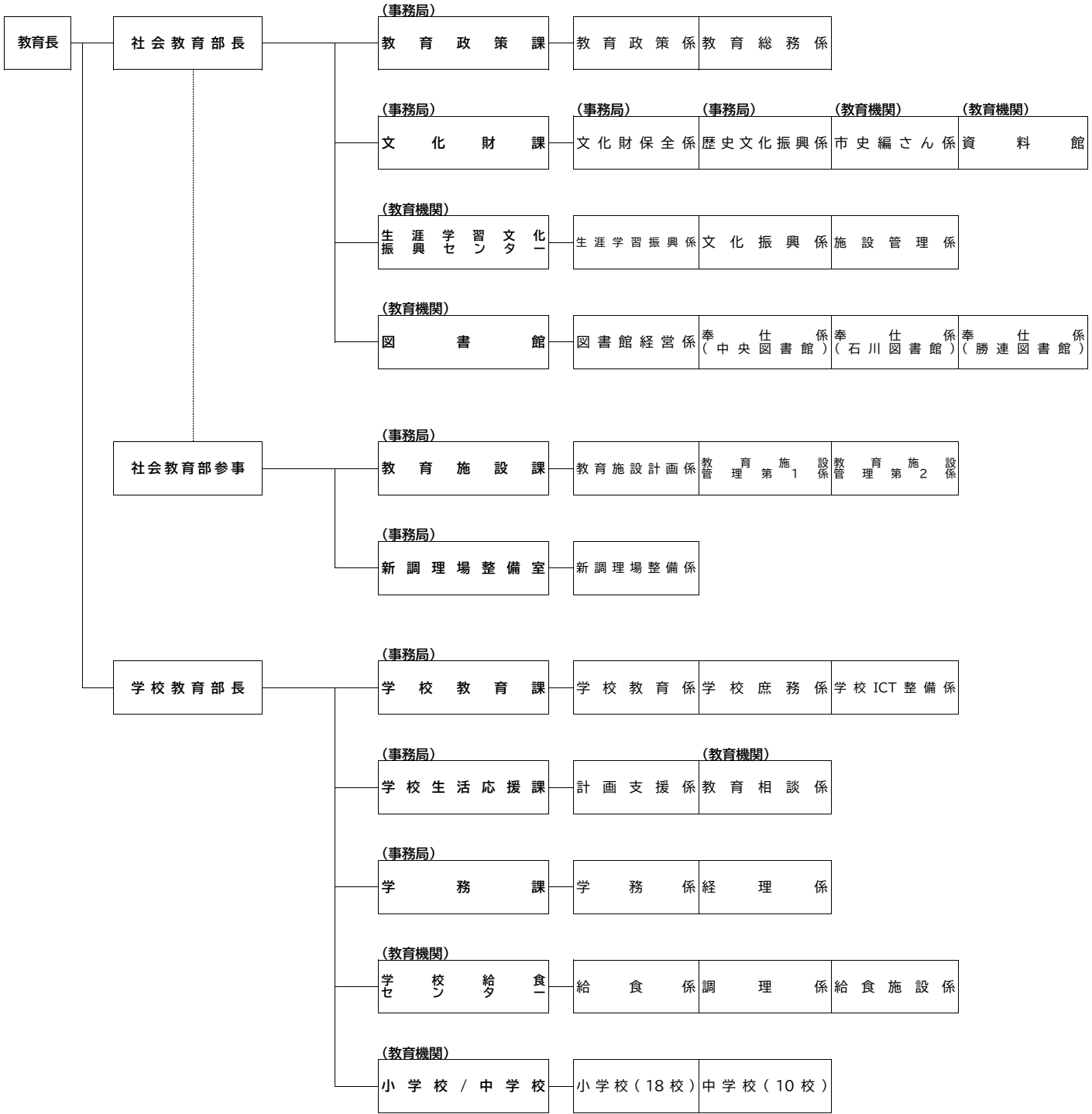
- 4月1日 組織改編により、社会教育部に新調理場整備室が新設。
学校教育部に学校生活応援課（教育支援センター）が新設され、あらたに計画支援係を置く。
- 4月1日 うるま市教育振興基本計画 策定
- 4月1日 学校教育アクションプラン『うるまのみらい』を策定
- 6月6日 教育長 嘉手苺弘美氏、任期満了により退任
- 6月7日 教育長に嘉手苺弘美氏が任命される（3期目）
- 7月19日 うるま市文化財保存活用地域計画 策定
- 7月31日 教育委員 仲宗根 桂子氏、任期満了により退任
- 8月23日 教育委員に宮城 華織氏が選任される。
- 2月14日 具志川小学校校舎増改築工事が竣工

令和7年度

- 4月1日 組織改編により、文化財課の文化財係を文化財保全係に、グスク整備係を歴史文化振興係に係名を変更する。
生涯学習文化振興センターのこども学び支援係を施設管理係に係名を変更する。
図書館の図書管理係を図書館経営係に係名を変更する。
- 6月6日 教育委員 石川 聡氏、任期満了により退任
- 6月20日 教育委員に赤嶺 幸徳氏が選任される。
- 7月9日 教育長職務代理者に赤嶺 幸徳氏が選任される。

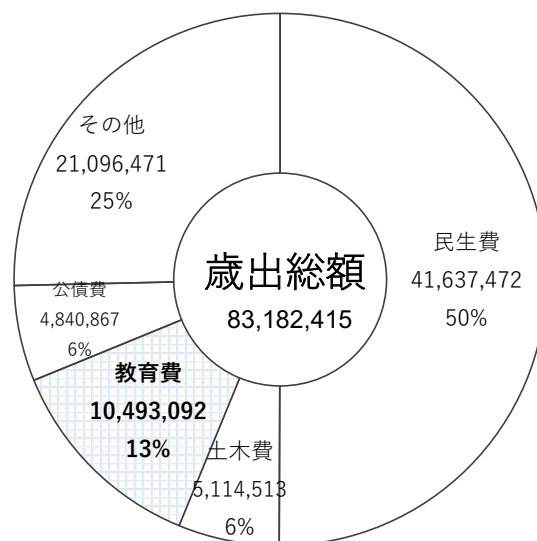
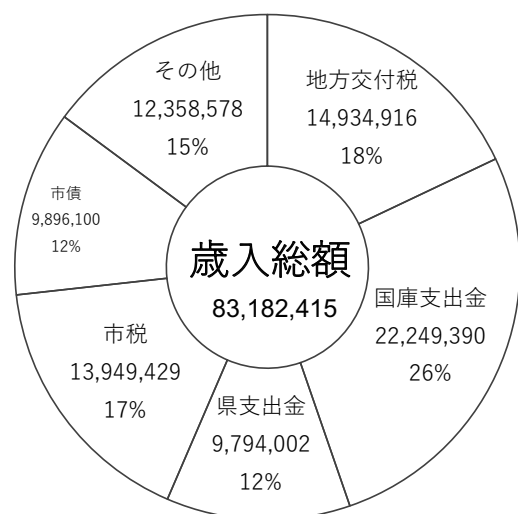


令和7年度 うるま市教育委員会行政組織機構図



第2節 教育財政

1 令和7年度 うるま市一般会計歳入歳出予算



歳入

(単位：千円)

款	金額
1 市税	13,949,429
2 地方譲与税	292,954
3 利子割交付金	3,890
4 配当割交付金	27,005
5 株式等譲渡所得割交付金	51,970
6 法人事業税交付金	207,496
7 地方消費税交付金	3,268,990
8 ゴルフ場利用税交付金	33,923
9 環境性能割交付金	31,231
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	610,031
11 地方特例交付金	106,071
12 地方交付税	14,934,916
13 交通安全対策特別交付金	8,038
14 分担金及び負担金	213,415
15 使用料及び手数料	752,481
16 国庫支出金	22,249,390
17 県支出金	9,794,002
18 財産収入	504,361
19 寄附金	518,002
20 繰入金	5,375,672
21 繰越金	1
22 諸収入	353,047
23 市債	9,896,100
歳入合計	83,182,415

歳出

(単位：千円)

款	金額
1 議会費	365,721
2 総務費	8,285,494
3 民生費	41,637,472
4 衛生費	5,563,742
5 労働費	56,594
6 農林水産業費	1,303,646
7 商工費	964,667
8 土木費	5,114,513
9 消防費	4,306,603
10 教育費	10,493,092
11 災害復旧費	4
12 公債費	4,840,867
13 諸支出金	0
14 予備費	250,000
歳出合計	83,182,415

令和7年度は、『第2次うるま市総合計画(後期)』4年目となり、財政運営の健全化を図りつつ社会保障等を充実させる一方、「小中学校給食費物価高騰支援事業」等の事業実施を予定しております。

歳入については自主財源26%、地方交付税等への依存財源74%で昨年度比3.9%の増額、歳出については民生費、教育費、人件費が大きな割合を占め扶助費は12%の増額となっております。

うるま市では行財政改革として事務事業等により見直しを行い、自主財源の確保に努めていますが、多様化するニーズと地域課題に対応するため、市の貯金である財政調整基金を切り崩して予算収支の均衡を保つなど、依然として厳しい予算編成になっています。

2 教育費 歳出予算の項目別内訳

令和7年度 歳出当初予算

(単位：千円)

項目	令和7年度		令和6年度		対前年比		本年度の財源内訳			
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	増減率	特定財源			一般財源
							国県支出金	地方債	その他	
1 教育総務費	1,491,415	14.2%	1,556,643	14.8%	△ 65,228	△4.2%	329,766	0	27,982	1,133,667
1 教育委員会費	4,882	0.0%	4,483	0.0%	399	8.9%	0	0	0	4,882
2 事務局費	1,345,124	12.8%	1,362,085	13.0%	△ 16,961	△1.2%	259,660	0	23,584	1,061,880
3 教育支援費	141,409	1.3%	190,075	1.8%	△ 48,666	△25.6%	70,106	0	4,398	66,905
2 小学校費	2,195,018	20.9%	3,480,609	33.2%	△ 1,285,591	△36.9%	116,924	952,300	12,800	1,112,994
1 学校管理費	996,548	9.5%	1,016,813	9.7%	△ 20,265	△2.0%	73,408	187,600	9,300	726,240
2 教育振興費	370,586	3.5%	467,168	4.5%	△ 96,582	△20.7%	42,515	0	3,500	324,571
3 学校建設費	827,884	7.9%	1,996,628	19.0%	△ 1,168,744	△58.5%	1,001	764,700	0	62,183
3 中学校費	1,688,076	16.1%	1,059,766	10.1%	628,310	59.3%	156,409	688,700	4,947	838,020
1 学校管理費	761,184	7.3%	662,061	6.3%	99,123	15.0%	49,868	210,000	3,300	498,016
2 教育振興費	363,454	3.5%	316,937	3.0%	46,517	14.7%	93,041	0	1,647	268,766
3 学校建設費	563,438	5.4%	80,768	0.8%	482,670	597.6%	13,500	478,700	0	71,238
4 幼稚園費	2,602	0.0%	3,863	0.0%	△ 1,261	△32.6%	0	0	0	2,602
1 幼稚園管理費	2,602	0.0%	3,863	0.0%	△ 1,261	△32.6%	0	0	0	2,602
2 幼稚園建設費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0
5 社会教育費	1,355,853	12.9%	1,225,349	11.7%	130,504	10.7%	92,042	271,100	136,626	856,085
1 社会教育総務費	66,431	0.6%	67,964	0.6%	△ 1,533	△2.3%	20,194	0	4,636	41,601
2 公民館費	291,252	2.8%	137,833	1.3%	153,419	111.3%	0	157,700	8,198	125,354
3 図書館費	297,444	2.8%	391,500	3.7%	△ 94,056	△24.0%	0	0	61,148	236,296
4 文化振興費	112,257	1.1%	136,226	1.3%	△ 23,969	△17.6%	0	0	4,980	107,277
5 文化財保護費	106,419	1.0%	134,649	1.3%	△ 28,230	△21.0%	71,848	0	0	34,571
6 資料館費	52,339	0.5%	61,055	0.6%	△ 8,716	△14.3%	0	0	2,202	50,137
7 市史編さん費	19,472	0.2%	20,402	0.2%	△ 930	△4.6%	0	0	50	19,422
9 芸術振興費	268,747	2.6%	166,711	1.6%	102,036	61.2%	0	81,100	38,137	149,510
10 生涯学習振興費	141,492	1.3%	109,009	1.0%	32,483	29.8%	0	32,300	17,275	91,917
6 保健体育費	3,760,128	35.8%	1,935,893	18.4%	1,824,235	94.2%	555,247	2,030,600	287,206	887,075
1 保健体育総務費	35,594	0.3%	40,640	0.4%	△ 5,046	△12.4%	0	0	15,500	20,094
2 体育施設費	669,785	6.4%	1,098,759	10.5%	△ 428,974	△39.0%	44,789	185,700	165,044	274,252
3 学校給食費	852,910	8.1%	659,805	6.3%	193,105	29.3%	263,258	0	2,162	587,490
4 給食施設費	2,201,839	21.0%	136,689	1.3%	2,065,150	1510.8%	247,200	1,844,900	104,500	5,239
教育費合計	10,493,092	100%	9,262,123	88%	1,230,969	13.3%	1,250,388	3,942,700	469,561	4,830,443

※構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%になりません。

第3節 育英事業

1 うるま市育英会貸費事業

1. 目的

うるま市育英会では、優秀な学生で経済的理由によって修学困難な者に対し、その育英上必要な業務を行い有為な人材を育成することを目的に、育英資金を貸費する事業を実施しています。

2. 貸費生の資格・基準

- (1) 本人又は保護者が本市に住所を1年以上有する者。
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）に定める大学（大学院・短期大学を含む）、高等専門学校、専修学校（高等課程・専門課程のみで修業年限2年以上であること）、及び高等学校（本市島嶼地域出身高校生のみ）並びに、大学校及び海外大学（大学院・短期大学含む。語学プログラムのみ受講する者など非正規の学生は対象外）に在学する者。学業・操行とも優秀で、かつ経済的理由により修学困難と認められる者。
- (3) 貸費した奨学金の償還義務を確実に履行できる者。
- (4) 入学準備金の場合は、(2)に定める学校に入学予定の者。

3. 育英制度の種類

(1) 学資金貸費制度（無利子）

- ・ 申請時、大学等に既に在学している方が対象。*学校によっては対象外の場合もあり。
- ・ 貸費期間は、貸費生として採用されたときからその者の在学する学校の最短修業の終期まで。
- ・ 貸費金は、年3回、4か月分ずつ振込みます。

【対象校・貸費額】

種 別 ※修業年限2年以上の学校であること		貸費額	
		県 外	県 内
大学・大学院・短期大学・専修学校・大学校		月額 50,000 円 (年額 60 万円)	月額 30,000 円 (年額 36 万円)
高等専門学校	本科1年次～3年次	月額 30,000 円 (年額 36 万円)	月額 15,000 円 (年額 18 万円)
	本科4年次～5年次	月額 50,000 円 (年額 60 万円)	月額 30,000 円 (年額 36 万円)
	専攻科1年次～2年次	月額 50,000 円 (年額 60 万円)	月額 30,000 円 (年額 36 万円)
高等学校（本市島嶼地域出身高校生のみ）		月額 15,000 円 (年額 18 万円)	
海外（大学・大学院・短期大学等）		月額 40,000 円、50,000 円、60,000 円 から選択(年額 48 万円～年額 72 万円)	

(2) 入学準備金貸費制度（無利子）

- ・ 大学等に入学予定の者が対象。*学校によっては対象外の場合もあり。
- ・ 貸費額は 30 万円、40 万円、50 万円のうちいずれかを選択できます。
- ・ 入学予定の学校からの合格通知等を確認後、貸費額を一括で振込みます。*振込は 1 回限り。

4. 応募時期

(1) 学資金貸費制度（年 1 回）

毎年 4 月 1 日～4 月末日までに必要書類を事務局へ提出

(2) 入学準備金貸費制度（年 2 回）

【前期】 毎年 7 月 1 日～7 月末日までに必要書類を事務局へ提出

* 推薦入試や AO 入試などによる進学を予定しており、11 月末までに合格通知を提出できる方が対象。

【後期】 毎年 11 月 1 日～11 月末日までに必要書類を事務局へ提出

* 一般入試や大学入学共通テストなどによる進学を予定しており、3 月下旬までに合格通知を提出できる方が対象。

5. 審査・決定

学資金・入学準備金ともに、家計及び成績の状況に基づき、選考により採用者を決定します。

6. 貸費金の償還

- (1) 償還は、貸費を終了した月（卒業・退学・貸費辞退など）の翌月から 6 か月後に開始。
- (2) 償還金は、一部または全額を繰上償還することができます。
- (3) 毎月の償還金額は、貸費時の金額により下記のとおりとなります。

【償還金額】

貸費月額	償還月額
50,000 円以上の場合	20,000 円
50,000 円未満・入学準備金の場合	10,000 円

* 償還期間は貸費総額及び償還月額により異なります。

- (4) 償還金は次の貸費生の育英資金の原資になります。



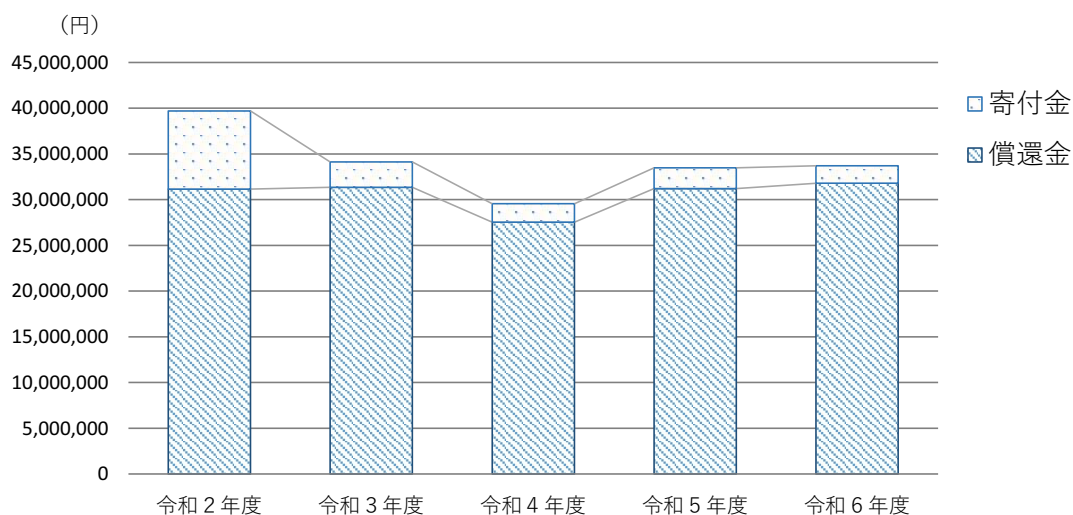
2 うるま市育英会貸費生採用状況及び貸費額

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
継続	33名	26名	31名	23名	39名
	県内 12名	県内 13名	県内 15名	県内 11名	県内 15名
	県外 21名	県外 13名	県外 15名	県外 12名	県外 22名
	国外 0名	国外 0名	国外 1名	国外 0名	国外 2名
	計 16,720,000円	計 12,480,000円	計 15,300,000円	計 11,160,000円	計 19,620,000円
新規	12名	13名	16名	30名	18名
	県内 4名	県内 10名	県内 8名	県内 15名	県内 6名
	県外 8名	県外 3名	県外 8名	県外 13名	県外 12名
	国外 0名	国外 0名	国外 0名	国外 2名	国外 0名
	計 6,240,000円	計 5,100,000円	計 7,680,000円	計 14,640,000円	計 9,360,000円
入学準備金	10名	10名	35名	12名	33名
	県内 9名	県内 8名	県内 20名	県内 9名	県内 21名
	県外 1名	県外 2名	県外 13名	県外 2名	県外 12名
	国外 0名	国外 0名	国外 2名	国外 1名	国外 0名
	計 4,900,000円	計 4,800,000円	計 16,600,000円	計 5,800,000円	計 16,000,000円
合計	55名	49名	82名	65名	90名
	県内 25名	県内 31名	県内 43名	県内 35名	県内 42名
	県外 30名	県外 18名	県外 36名	県外 27名	県外 46名
	国外 0名	国外 0名	国外 3名	国外 3名	国外 2名
	27,860,000円	22,380,000円	39,580,000円	31,600,000円	44,980,000円

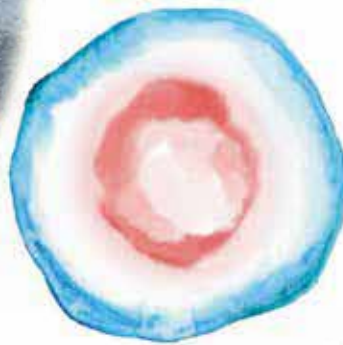
3 うるま市育英会の主な収入

(単位：円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
償還金	31,165,100	31,360,800	27,533,000	31,217,534	31,790,637
寄付金	8,536,950	2,766,500	2,016,500	2,266,500	1,916,500
合計	39,702,050	34,127,300	29,549,500	33,484,034	33,707,137



第3章 乳幼児期の教育・保育



第1節 乳幼児期の教育・保育がめざすもの

1. うるま市の教育目標

郷土に誇りをもち 未来を拓く人づくり

2. うるま市のめざす子ども像

「生きる力」を身に付け 高い志をもった「うるまっ子」

健全な人格形成の基礎を培う乳幼児期の教育・保育を実現し、子どもたちに健康・安全で文化的な生活、豊かな遊びを保障することで、心身の調和のとれた発達をめざします。

3. 子どもの「生きる力」の基礎を育むために（資質・能力の3つの柱）

乳幼児期の発達の特性に応じ、「遊び」を通した主体的な学びを大切にする

知識・技能の基礎

豊かな体験を通じて、子どもが自ら感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりすること

思考力・判断力 表現力等の基礎

気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりすること

学びに向かう力、 人間性等

心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとすること

乳幼児期は、子どもの自発的な活動としての遊びを十分に確保することにより、「知識・技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力を育むことが大切です。

4. 乳幼児理解に基づく教育・保育

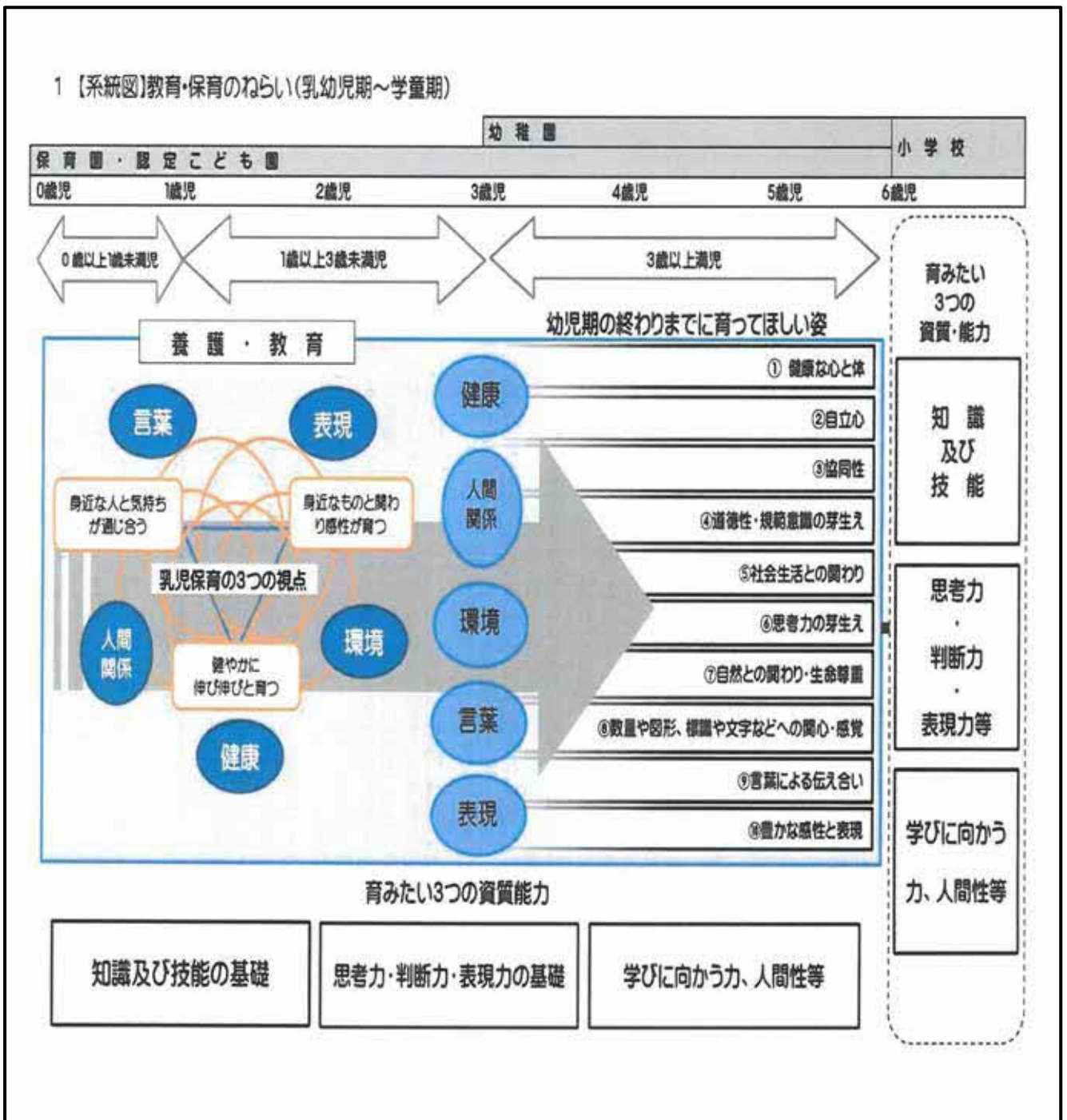
遊びや生活の中で、保育者との信頼関係を基盤に子ども一人一人を理解することが教育・保育の出発点となります。保育者は子どもと生活を共にしながら、何に興味を持っているのか、何を実現しようとしているのか、何を感じているのかなど、一人一人に対する理解を深めることが大切です。



5. 「育みたい資質・能力」「乳児保育の三つの視点」「五つの領域のねらい」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の関連性

平成 29 年 3 月告示「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「幼稚園教育要領」に基づき、各保育施設等は「育みたい資質・能力」を柱とし、「乳児保育の三つの視点」、幼児教育の「五つの領域のねらい」を踏まえた計画・実践が求められています。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、5 歳児に突然みられるようになるものではなく、3、4 歳児ごろから育まれていくものです。それぞれの時期にふさわしい生活を積み重ねていくことにより、5 歳児の遊びや生活の中の色々な場面で見えてくる姿です。

保育者は子ども一人一人との信頼関係を構築し、子ども達の主体的な活動を促し、多様な経験を積み重ねていけるように環境構成を工夫する等、計画的・意図的な支援を行うことが大切です。



(沖縄県「保育所・幼保連携型認定こども園・幼稚園における指導計画作成の手引き-平成 29 年告示-」より引用)

第2節 乳幼児期の教育・保育の現状と課題

1. 教育・保育の多様化

本市の保育施設数は年々増加しており、それぞれの施設で「特色」として打ち出している教育・保育内容や方法は様々なものとなっています。

そこで、本方針に基づき、各保育施設等が教育・保育の実践を進めていくことや、保育者が専門職としての自覚を持ち資質・能力の向上を図る必要があります。

2. 配慮を必要とする乳幼児への対応

本市において発達に特性のある子や保育の中で気になる子など、特別な支援を要する子どもの数は増加傾向にあります。また、医療技術の進歩等に伴い医療的ケア児の保育ニーズも高まってきています。その他にも、虐待を受けた子への対応や外国につながる子への支援など、配慮を必要とする乳幼児への支援が求められています。

このような乳幼児に対して、一人一人の実情に応じた支援を計画的かつ組織的に行っていくとともに、すべての乳幼児が安心できる集団づくりへの配慮や、保護者との連携も課題となっています。

3. 家庭・地域との連携

乳幼児を取り巻く環境や社会状況の著しい変化に伴い、子どもの育ちにも変化が見られるようになってきました。また、家庭における養育力の低下、育児不安なども危惧されており、本市においても課題が見られます。

乳幼児期の生活は、家庭や地域での生活体験を基盤にしながら連続的に営まれています。そこで、家庭や地域との連携を十分にとり、乳幼児一人一人の育ちについて理解を深めながら、保育施設等と家庭が互いに乳幼児期の望ましい発達を促すための生活を実現させていく必要があります。

4. 乳幼児期の教育・保育と小学校以降の教育との接続

「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「幼稚園教育要領」や「小学校学習指導要領」の改訂により、「遊び」を通して主体的に学ぶ乳幼児期の教育から、教科等の学習を中心とした小学校教育への接続の重要性が示されています。

「保幼こ小連絡協議会」等、小学校教育への接続を意識した取り組みを行っていますが、幼児期から児童期への学びの連続性に関して、相互理解と連携に課題が見られます。



第3節 乳幼児期の教育・保育の具体的な方針

方針 1 「生きる力」の基礎を育む乳幼児期の教育・保育の充実

子どもの主体性、好奇心などを重視した遊びや体験を通し、生涯の生活の基礎となる教育・保育を展開し、「生きる力」の基礎を育みます。

- 安心・安全な場の提供
- 基本的な生活習慣の確立
- 「遊び」を通じた総合的な指導
- 乳幼児理解に基づいた教育・保育の実施
- 環境を通して行う教育・保育の実施
- 乳幼児理解に基づいた評価の実施



方針 2 保育者の資質・専門性の向上による教育・保育の質の向上

多様化する保育ニーズに対応しながら、子どもたちの健やかな育ちを保障するために、保育者一人一人に求められる、「豊かな人間性」「広い社会性」「高い専門性」を身につけられるよう研修の充実に努めます。

- 研修の充実（園内研修・市主催保育施設職員研修）
- カリキュラム・マネジメントによる教育課程の組織的・計画的な質の向上
- 保育施設等の公開保育及び協議会への参加または実施

方針 3 配慮を必要とする乳幼児への対応

発達に特性のある子や虐待を受けた子、外国につながる子など、一人一人のありのままの姿を受け止め、安心できる環境と認め合う肯定的な関係づくりに努め、一人一人がかけがえのない存在であるという共通認識のもと、保護者と連携した取り組みを進めていきます。

- 家庭や医療、福祉等の関係機関との継続的な連携
- 乳幼児の実態把握
- 個別の支援計画・指導計画に基づいた適切な支援
- 保育施設等における特別支援教育コーディネーターと関係機関との連携強化
- 保護者等への子育て支援および相談事業



方針 4 家庭・地域との連携

子どもの発達や内面理解についての専門的知識を基に、保護者の気持ちに寄り添いながら家庭の子育てを支援します。また、地域には豊かな自然環境や文化財、さまざまな経験や技能を持っている方々など、たくさんの地域資源があります。子どもの健やかな成長につながるこれらの地域資源を活かし、子どもの教育・保育の充実を図ります。

- 保護者に寄り添える体制づくり（各関係部署相談窓口の紹介、子育てに関する情報の発信）
- 園内における各種検診（内科・歯科）後のフォローアップの実施
- 地域子育て支援の充実（親同士の交流の場・子育てゆんたく会・セミナーの開催）
- 教育・保育活動における地域資源の積極的活用



方針 5 小学校以降の教育への円滑な接続

子どもの育ちの相互理解を深め、子どもの発達や学びの連続性を踏まえて、「育みたい資質・能力」及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を職員間で共有し、就学前教育・保育と小学校以降の教育への円滑な接続を図ります。

- 学びの連続性を踏まえた教育・保育の実施
- 乳幼児期にふさわしい教育・保育を踏まえた保幼小連携の実施
- 小学校単位の保幼小連絡協議会の開催、合同の研修会、相互の参観、交流行事、架け橋プログラムの共通理解、実施
- 幼児一人一人の育ちや対応等の共通理解及び引き継ぎ
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点とした小学校への円滑な接続
- 架け橋期のカリキュラムの作成

方針 6 各保育施設等と行政との連携

高い志を持ち、うるまの未来を拓く子ども達の健やかな成長に向け、各保育施設等と行政が一体となって教育・保育を推進します。

- 「うるま市乳幼児期の教育・保育方針」の普及啓発
- 保育施設等巡回訪問の実施
- 市主催保育施設長等連絡会の開催（事業の案内・周知）
- 乳幼児に係る国・県のガイドライン等の周知



第4章 学校教育



第1節 学校教育

1 令和7年度 うるま市のめざす学校教育

令和7年度

【学校教育の基本目標】

郷土に誇りを持ち、未来を拓く人づくり

【めざすこども像】「生きる力」を身に付け 高い志をもった「うるまっ子」



確かな学力「見通す力、振り返る力」

自らの考えをもって学び合い、教え合いながら進んで学習する子を育てよう！

豊かな心「かかわる力」

いのちや人権を尊重する子、思いやりのある子を育てよう！

健やかな体「やりぬく力」

困難なことがあっても粘り強く取り組み、挑戦する子を育てよう！

学校教育の改善・充実の好循環を生み出す「カリキュラム・マネジメント」の推進

■主体的・対話的で深い学びの実現

- 「授業における基本事項」の徹底で授業の土台づくり
- 問いをもたせる単元・授業デザインと日常的な質的改善

■道徳教育の充実

- 組織的な取組・充実による年間指導計画作成と授業づくり
- 豊かな体験活動と凡事徹底の推進

■健康の基盤づくり

- 学校体育の充実と小中連携した一校一運動の取組
- 適正な運動部活動（休日地域展開の取組）
- 思春期教室・性教育の実施と健康教育の充実

■保幼小中連携教育の充実

- 学校段階間の円滑な接続・連携した教育課程の編成
- 教育活動の交流や乗り入れ授業・合同研修会の実施
- 学びや生活の基本を保障する架け橋プログラムの実施

■児童生徒理解に基づく生徒指導

- 常態的・先行的生徒指導の創意工夫（未然防止の徹底）SEL や SST 等、社会性育成のためのプログラム実施
- 生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援

■特別活動の充実

- 学級活動での話し合い活動の工夫充実
- 学級活動と連動した、こども主体の児童会・生徒会活動

■特別支援教育と切れ目のない支援の充実

- 巡回支援員派遣、関係機関連携(教育・福祉・家庭)
- 保幼小中をつなぐ個別の教育支援計画・指導計画の活用

■個別支援の充実と学習保障・学力保障

- 通所支援と市適応指導教室等での居場所づくり
- 校内自立支援室の設置（支援員活用）
- オンラインによる学習支援

学校教育を支える

◆「地域と共にある学校（地域学校協働活動と一体的に推進する市民協働学校）」

～学校と家庭・地域が目標とビジョンを共有し、こどもの成長を支える～

- 地域を生かす、地域で学ぶ ○地域に還す、地域に貢献する ○市民協働学校推進で学校参画

◆「GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現」

～ICT を授業改善に活用し、多様なこどもたちを誰一人取り残さず、学び続けるこどもを育成する～

- 個別最適な学びと協働的な学び ○テストや自学自習への活用 ○距離を超えて「つながる」

◆「教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善」

～こどもの実態を把握し課題を明確にした学校教育の推進～

- アセスメントを活用した学級づくり ○全職員で取り組む授業づくり ○経験の振り返りと対話で高め合う教職員集団

重点項目

人を大切にする「聴くこと」

人間関係の構築のために互いの話を最後まで「聴く」、相手の思いを「聴く」という対話の基本を身に付ける

勇気づけのボイスシャワー

自己有用感を味わわせ、自己肯定感を高めるためにこどもたちの良さや頑張り価値づける

評価の改善・充実 ～自立した学習者の育成のために～

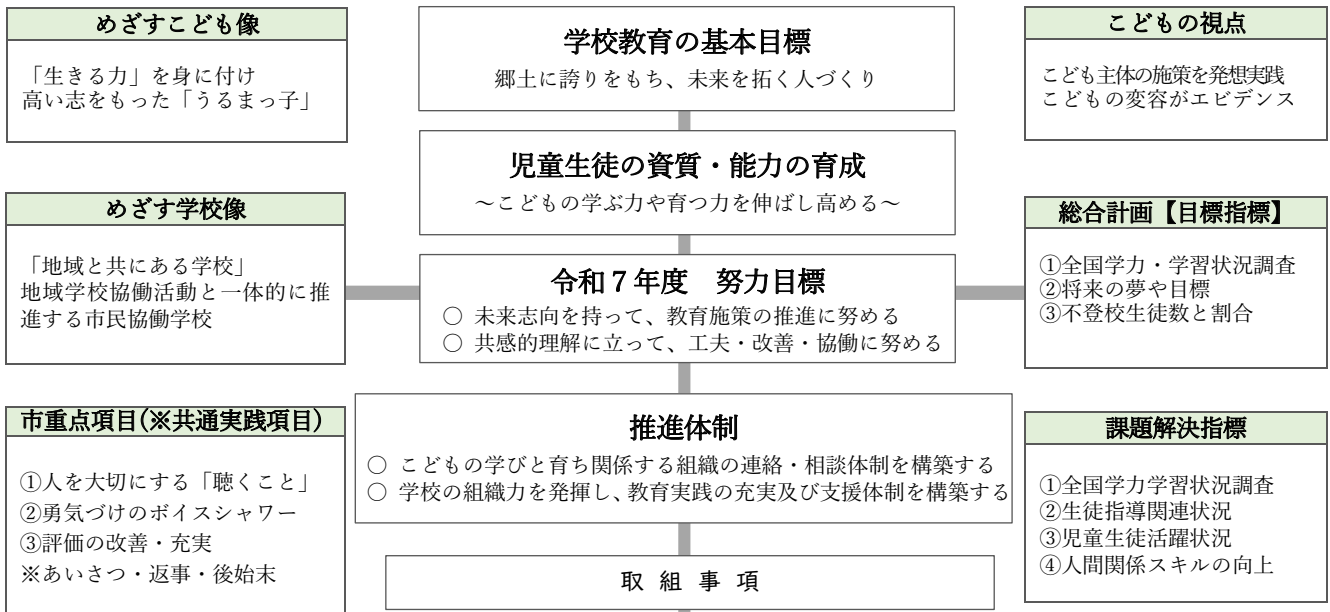
- ・目的を持った机間指導で学習状況を見取る
- ・形成的評価を実施し授業改善に生かす(テスト改善)
- ・つまづきに対応するための実態に合った ICT 活用による教材提供と組織的・計画的な補習指導

共通実践項目「あいさつ・返事・後始末」

～幼児期から、学校・家庭・地域が一体となって取り組む～

2 令和7年度 うるま市指導行政の基本方針

学校の使命はこども一人一人の生命を守り、よさや可能性を見つけ、生かし、伸ばすとともに、確かな学力等の「生きる力」を育むことである。これまでの指導行政を踏まえ、学校課題や学習指導要領の改訂を受け、各学校がこどもたちに育む「資質・能力」の育成を目指し、学校教育の目標の実現が図れるよう、国、県の動向や主要施策及び各学校の実態を踏まえ、うるま市指導行政の基本方針を以下のように作成して推進する。



教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善

1 教職員の資質・能力向上をめざす組織づくりの推進

- こどもの姿に基づく授業改善
- 架け橋プログラムの実施
- 対話型研修、対話型組織開発の推進
- 働き方改革は「学びの改革」
- OPLANT 活用による主体的な資質向上・能力開発

県「共通実践事項」

- ◎ 児童生徒の変容につながる PDCA サイクルの確立
- ◎ 「目指す児童生徒像」実現化を目指した校内研修の充実

～こどもの実態を把握し課題を明確にした学校教育の推進～

GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現

2 こどもたちの学力保障と成長保障～しっかり・じっくり・たっぷり～

主体的・対話的で深い学びの具体化

- 公正な「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 学習基盤としての ICT の活用
- うるま探究学習「うるたん」の実施
- 「指導と評価」の一体化の実現
- 「自学自習力」を育む取組の充実
- 県「授業改善4つの取組」

育成すべき「資質・能力」の明確化

- 「知識・技能」の習得
- 「思考力・判断力・思考力」の育成
- 「学びに向かう人間性等」の涵養

魅力ある学校づくりの推進 (学び・育ちの実感)

確かな児童生徒理解に基づく支援

- 確かな児童生徒理解
- L-Gate「心の健康」導入
- 育成を支える4つのポイント
自己存在感の感受、共感的な人間関係
自己決定の場の提供、安全安心な風土の醸成
- 校内自立支援室の効果的活用
- 校内教育支援委員会の充実

～ICTを授業改善に活用し、多様なこどもたちを誰一人取り残さず、学び続けるこどもを育成する～

地域と共にある学校（地域学校協働活動と一体的に推進する市民協働学校）

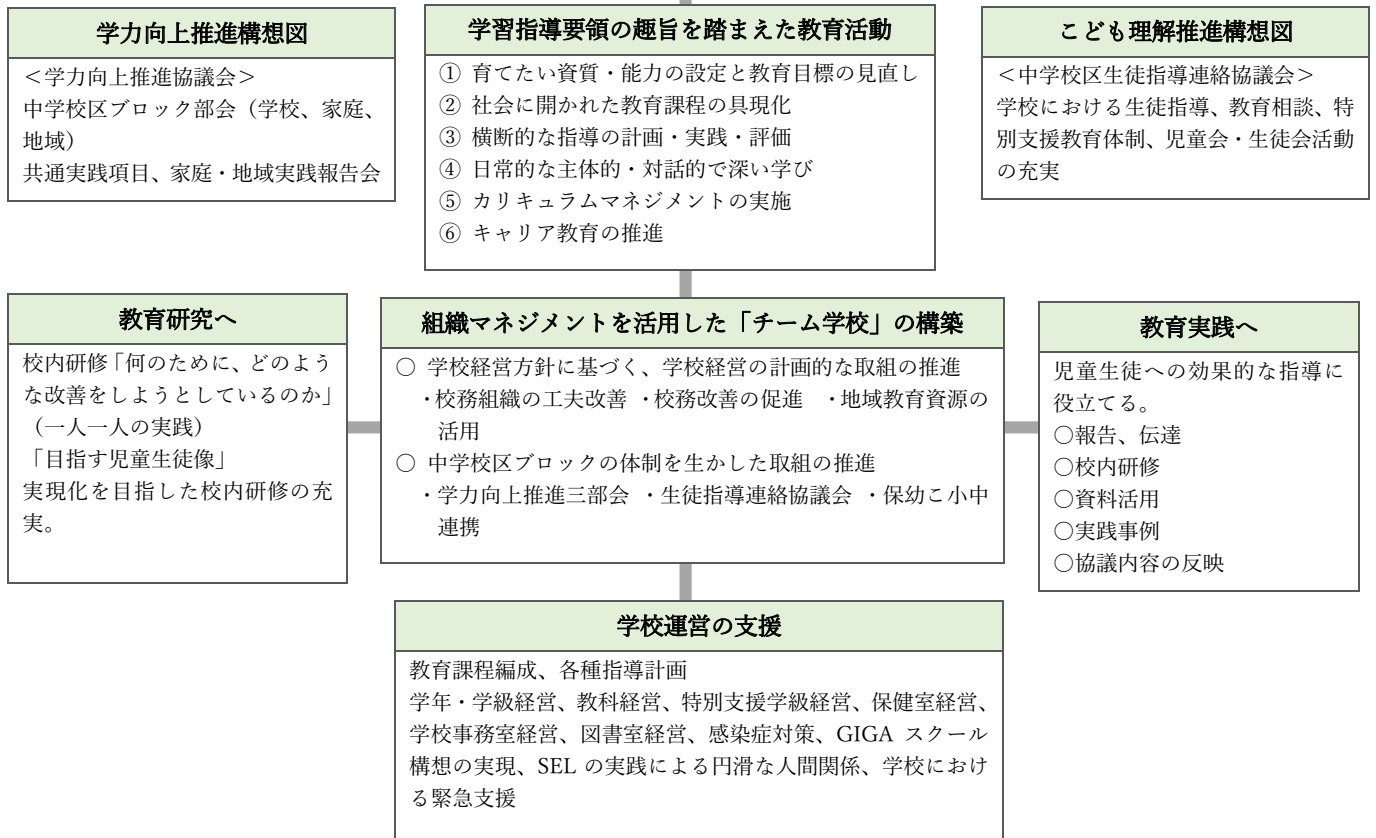
3 カリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営の推進

- 学校教育目標・ビジョン、課題及び情報の共有
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 学校運営委員研修会の実施
- 学校課題共有と熟議活性化
- 防災教育と地域防災力向上の取組
- 「学び育ちをつなぐ」小中連携・小小連携・保幼小連携
- 学校部活動の地域展開

～学校と家庭・地域が目標とビジョンを共有し、こどもの成長を支える～

指導行政推進の5つの視点

事業	理解	報告	研修	支援
意図的・計画的に取り組むことで実践を確かなものにする	参加を通して情報の共有と共に考えることにより理解を深める	報告をまとめることで、分析・考察を通して自校の実践を振り返る	研修の機会を活かして指導技術を高め、明日の授業改善に結びつける	様々な支援策を通して一人一人のこどもを大切にする
①学校支援訪問 ②学習内容の定着を図る取組 ③うるま市教育の日 ④指導主事要請訪問 ⑤中学生フォーラム ⑥児童会リーダー研修会 ⑦英語スキットコンペ ⑧イングリッシュキャンプ ⑨魅力ある学校づくり事業 ⑩定例校長会 ⑪定例教頭会 ⑫市民協働学校推進協議会 ⑬市教育支援委員会 ⑭架け橋プログラム事業（スタートカリキュラム）	①学力向上推進担当者会 ②生徒指導主任研修会 ③児童会・生徒会担当者研修会 ④キャリア教育担当者研修会 ⑤服務規律研修会（校内研） ⑥特別支援研修会（校内研） ⑦特別支援教育コーディネーター連絡協議会 ⑧中学校区生徒指導連絡協議会 ⑨情報教育担当者会 ⑩教育相談担当者会 ⑪保幼小連絡協議会 ⑫特別支援教育支援員・医療的ケア看護職員研修会 ⑬教育支援担当者会	①全国学力・学習状況調査 ②全国体力・運動能力、運動習慣等調査 ③県到達度調査 ④県学力定着状況調査 ⑤毎月の問題行動調査 ⑥毎月の児童生徒支援計画（スクリーニングシート） ⑦学校評価の実施 ⑧市長研修成果報告会 ⑨学力向上推進の取組評価 ⑩児童生徒の活躍状況調査 ⑪教育実践グランプリ	①ブロック型研修会 ②各種研修 ・教職員研修（対話型研修） ・県内・県外視察研修 ③県立総合教育センター長期研修 ④市教育委員会長期研修 ⑤へき地教育研究大会 ⑥市民協働学校先進校視察 ⑦市民協働学校フォーラム ⑧国、県指定研究校 ⑨統合型校務支援システム活用研修 ⑩GIGA スクール研修 ⑪特別支援学級担任等合同研修会 ⑫教科授業研修会	①ALT 配置（小学校） ②学力向上支援員配置 ③特別支援教育支援員配置 ④医療的ケア看護職員配置 ⑤ICT 支援員配置 ⑥SSW r 配置 ⑦スクールカウンセラー配置 ⑧青少年支援員配置（中学校） ⑨臨床心理士配置 ⑩スクールロイヤー配置 ⑪適応指導教室設置 ⑫教育相談室設置 ⑬校内自立支援室支援員配置 ⑭教育支援委員会 ⑮スクールバス運行 ⑯スクリレ活用 ⑰放課後子ども教室 ⑱地域学校協働本部 ⑲自立支援員配置 ⑳日本語教育支援員 ㉑架け橋期コーディネーター配置 ㉒特別支援教育アドバイザー配置 ㉓学校教育アドバイザー配置



3 令和7年度 うるま市管理行政の基本方針



教職員一人一人が資質・能力を発揮させるための4つの視点

支え	学び	培う	育ち
職員間、学校間の交流に積極的に取り組み、相互支援のある同僚性を身に付けるよう努める。	学習指導要領、諸研究資料に基づいた教材研究、指導方法の工夫改善に努める。	健康増進、深い教養に関心を持ち、情操豊かな教職経験を重ねていけるよう心がける。	社会人としての経験を豊かにするとともに、こどもの多様な発達段階や校務の理解を深める。

学校間交流の機会を生かす

- ① 校内研修の学校間交流
- ② 校種間（保幼小、小中、中高）連携による交流
- ③ 県外学校との交流

日常的な同僚性の発揮と管理職による支援
～日頃からの授業参観を通して～

- ① 学年内におけるミドルリーダーとのコミュニケーションの充実（学年会・教科会、等）
- ② 校長、副校長、教頭、主幹教諭による日常的な参観を通した助言と子どもへの励ましの言葉
- ③ 校内における相互授業参観の奨励

校外における研修機会を生かす

- ① 各種研修会、研究発表会への積極的な参加による交流
- ② 主体的な研究会活動への参加による専門性の向上

管理職による支援のポイント

教職員一人一人が、身に付けた資質・能力を発揮し、めざすこども像、学校像に迫るためには、学校における同僚性を生かすとともに、自ら授業や諸教育活動に興味を持って取り組むことが大切である。
そのためには4つの視点を持ち、教職のキャリア形成を踏まえて職能成長を重ねていくことが望ましい。

4 確かな学力の育成

目指すべき方向

学習指導要領改訂の趣旨を捉え、カリキュラムマネジメント及び「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善を図り、「確かな学力の育成」に努めます。

目標

- ① こどもたちが夢を持ち、その実現に向けて主体的に取り組むことができるようにする。
- ② 「自立した学習者」育成プロジェクトを推進し、授業における基本事項・うるま市重点項目「人を大切にする『聴くこと』」「勇気づけのボイスシャワー」「評価の改善・充実」を柱とした「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に取り組む。
- ③ 学びの質を高める組織的な学校改善・授業改善の推進やカリキュラムマネジメントの視点に基づく学校組織体制の構築に取り組む。
- ④ 学校・家庭・地域で共通実践項目「あいさつ・返事・後始末」を推進し、連携協力体制を築きこどもたちの健やかな成長を見守っていく。

現状と課題

- 全国学力・学習状況調査・県学力定着調査・学力到達度調査において、質問紙調査では自己肯定感や心理的安全性の高まりがみられる一方、教科調査では平均正答率で全国平均や県平均との差がみられる。
- 学びの質を変える授業改善を進める必要がある。
- 自己調整力・人とかかわる力の育成が十分とは言えない。

めざすこども像，教師像

子供像	○主体的に学習に取り組むことができる児童生徒 ○他者と関わり合いを大切にし、ペアやグループで協力して学び合うことができる児童生徒
教師像	○主体的に授業改善に取り組むことができる教師 ○こどもや同僚と関わり、同僚性を高めながら互いに学び合うことができる教師

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

- 授業における基本事項の改善・充実（学習過程を意識した授業展開の工夫）
- 生徒指導の4つのポイント※1を生かした授業改善・学級経営の充実

「学習基盤としてのICT」の活用

- ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的推進
- 発達段階及び実態に応じたデジタルドリルの導入および活用

「指導と評価の一体化」の実現

- 年間サイクル計画に基づく学力向上推進と生徒指導の一体的展開
- 調査に基づく児童生徒の実態分析・共有
- 小中連携の充実

「自学自習力」を育む取組の充実

- 授業と家庭学習を結ぶ往還的な学習サイクルの確立・学びに生かすテスト改善
- 家庭や地域と連携した基本的な生活習慣の確立

育成を支えるポイント（人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー）

- 支持的風土づくりの4つのポイント※2に基づく学校経営・学級経営
- 社会性と情動の学習SEL※3の視点に立った関係づくりの推進

※1：①安全・安心な風土の醸成，②自己存在感の感受，③共感的な人間関係の育成，④自己決定の場の提供

※2：「安心」「所属」「承認」「自立」を通して学校改善を図る。

※3：社会性と情動の学習SEL（自己の捉え方と他者との関わり方を基礎とした社会性に関するスキル、態度、価値観を育む学習プログラム）を通して、学校・教師・こどもの社会性や学級の人間関係形成に役立てる。

5 道徳教育の充実

目指すべき方向

児童生徒の道徳性の育成を通して、心身の調和のとれた発達と豊かな心の育成、個性の伸長を図るため、道徳教育の充実に努めます。

目標

- ① 道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
- ② 道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- ③ 各教科、外国語活動、総合的な活動の時間、特別活動等の特質に応じて、児童生徒の発達段階や特性等を考慮し、適切な指導を行う。
- ④ 学校・家庭・地域との共通理解を深め、相互の連携を図る。

現状と課題

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた道徳授業の展開と更なる授業改善
- 教科書を活用した道徳授業の取組と指導書に頼りすぎた授業づくり
- 支持的な風土のある学校・学級経営の取組と「人と関わろうとする力」がまだ不十分な状況
- 生命尊重や規範的な行動を促す道徳教育の実施と取組の充実

めざす子ども像、教師像

子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ○いのちや人権を尊重する思いやりのある児童生徒（特に、いじめに対しては決して許されないこととして強く認識し、いじめの防止等に主体的に関わることができる児童生徒） ○自己を振り返り、これからの目標を見いだすことができる児童生徒
教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の道徳性が養われるよう、日々の学校教育活動において適切に指導ができる教師 ○道徳教育の要となる道徳科において、日々の学校教育活動等とつなげて展開し、児童生徒が自己を見つめ、生き方についての考えを深められるよう授業改善に努める教師

主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ○社会性と情動の学習 SEL の考え方に基づく対話的な風土づくり ○道徳教育推進教師研修会 	人を大切に「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<p>主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様な指導を取り入れた道徳の授業改善（問題解決的・対話的・体験的学習等） ○道徳科を核とした組織的な授業改善「考え、議論する道徳」 ○道徳科の授業で学んだことを意識した凡事徹底の推進 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<p>児童生徒の実態把握と共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学年会・教科会の充実と評価の視点・観点の共有化 ○豊かな体験の充実と人間関係づくり、いじめの防止を図る。 <p>支持的風土をつくる学校経営・学級経営の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会性と情動の学習 SEL、UD及びUDLの視点に立った授業改善 ○道徳科を中心とした学級経営の充実 ○アセスメント調査の実施と結果分析に基づく効果的な活用 	
地域と共にある学校	<p>カリキュラムマネジメントの視点に基づく学校組織体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各教科との関連に基づく道徳教育の指導体制の充実 ○組織的な取組・充実による道徳教育全体計画、年間指導計画（別業）の作成と授業づくり ○各学校の実状に応じた重点目標の明確化と、発達段階に応じた指導内容の重点 <p>家庭・地域との緊密な相互連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭・地域社会と連携した道徳教育（地域題材・地域人材の活用） ○家庭や地域と連携した道徳教育の充実とキャリア教育の視点を踏まえた校種間連携 	

6 健やかな心と体を育む教育の充実

目指すべき方向

健康で心豊かな人を育むため、学校体育やスポーツに親しみ、健康や体力の保持増進の基礎づくりを進めます。また、運動部活動の活性化や適正化を促進し、発達段階に応じた基礎的な体力の向上に努めます。学校給食を通して児童生徒への食に関する指導を充実するとともに、食の安全・安心・信頼性の確保に努めます。

目標

- ① 心と体を一体としてとらえた健康の保持増進と体力の向上を図り、保健安全及び食に関する指導を学校の教育活動全体を通して行う。
- ② 生涯スポーツの基礎となる体力の向上を目ざした取組を充実させる。

現状と課題

- 各学校における健康教育に対しての創意工夫した実践
- 新体力テスト・泳力調査結果の考察及び改善に向けた取組の実施
- 中学校は肥満改善傾向、小学校は男女とも肥満度が高い。体力・運動能力は徐々に向上傾向
- 部活動加入率（55.3%）*学校運動部（44%）*学校文化部（5.0%）*学校外活動（6.3%）

めざす子供像

- 心身の健康について考えて行動できる児童生徒
- 生涯にわたって運動に慣れ親しむことのできる児童生徒

主 な 施 策	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校体育専科教員配置の活用・推進（赤道小） ※休日部活動の段階的な地域展開に向けた取組 ○スポーツ力向上促進事業 ○部活動指導員配置事業
GIGA スクール構想 による新しい学びの スタイルの実現	<p>1 体育に関する指導（体力向上） *一校一運動・小中連携 の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯にわたり運動やスポーツを豊かに実践し、現在及び将来の体力の向上を図る実践力の育成を目指し、自ら進んで運動に親しみ、心身を鍛える指導 <p>2 安全に関する指導（学校安全）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活安全、交通安全及び防災に関する指導や情報技術の進展に伴う事件・事故の防止 また、非常時において、児童・生徒自ら適切に判断し、行動できるよう指導
教職員が協働して学 びの質を高める授業 改善・学校改善	<p>3 食育に関する指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育に関することを中心に健康についての知識を身に付け、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することができるようにする指導 <p>4 心身の健康の保持増進に関する指導（健康教育）</p> <ul style="list-style-type: none"> *薬物乱用防止集会・思春期教室・性教育等 ○健康情報や性・薬物等に関する情報を正しく選択して適切に行動することができ、心身の成長発達に関して適切に理解し、行動することができるような指導
地域と共にある学校	<p>5 部活動（スポーツ少年団含む）等 *市スポーツ力向上促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎年度「学校の運動部活動に係る活動方針」を策定し、生徒が参加しやすい実施形態等を工夫するとともに、毎年度末に見直しを図る。 ○学期における社会体育活動（スポーツ少年団）の各競技指導者との連携を密に行い、学校経営方針に沿った適切な活動の推進 ○休養日や活動時間の設定による、短時間で合理的・効率的・効果的な指導

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善

7 生徒指導の充実

目指すべき方向

基本的な生活習慣や態度を育て、自ら主体的に判断、行動し積極的に自己を生かしていくことができる心豊かで明るく伸びやかな児童生徒の育成に努めます。

目標

- ① 児童生徒が主体的に判断、行動し積極的に自己を生かしていくことができるよう、自己指導能力の育成に努める。
- ② 児童生徒理解に基づいた生徒指導を適切な生徒指導・教育相談体制のもとで行い、教師と児童生徒の信頼関係および児童生徒相互の好ましい人間関係を育てる。
- ③ 生徒指導4つのポイントを生かした授業の充実、自己有用感を育てる学級経営、学年経営を充実させ「学級・学習における居場所」「活躍の場」「絆」づくりを推進する。
- ④ 家庭・地域との信頼関係を築き、共通した課題意識を基盤とした指導・支援の充実に努める。
- ⑤ 児童生徒の実態把握に努め、いじめや不登校、その他問題行動等の未然防止を図る。

現状と課題

- 不登校児童生徒の小学校児童の増加、中学校生徒の減少および要因の多様化
- 児童生徒間暴力やいじめ認知数の増加
- SNS を介した諸問題対応に苦慮している。
- 他部署との円滑な情報連携および行動連携が図られてきている。

めざす子供像

- 自分自身と仲間を大切にできる児童生徒
- 自分で考え、判断、行動し、問題解決ができる児童生徒
- 自分のよさや興味関心を生かし、自発的に学ぶことができる児童生徒

主 な 施 策	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校・いじめ問題対策連絡協議会 ○いじめ問題対策審議会 ○小中生徒指導主任・教育相談担当研修会（警察署との連携） ○児童生徒指導関連研修会 ○不登校問題対策支援訪問（スクリーニングシート活用） ○県/市 SSWr・校内自立支援員合同研修会（S V研修会含む） ○心理士による学校支援訪問（児童生徒の見取りからフィードバック） 	人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスチャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導の4つのポイントを生かした授業の充実（「自己存在感」「共感的な人間関係」「自己決定の場」「安全・安心な風土の醸成」） ○授業における基本事項・共通実践項目の徹底 ○全ての児童生徒に活躍する場を与える取組の推進 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<ul style="list-style-type: none"> ○ガイダンスとカウンセリング機能の充実 ○「一人一人の居場所」「活躍の場」づくりを意識した経営の充実 ○アンケートや教育相談等での実態把握、早期発見・早期対応（いじめ防止） 	
地域と共にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○支持的風土・互いに認め合い、支え合う風土の醸成を図る学校・学級経営 ○学びに向かう集団づくり（SEL の実践） ○アセスメント調査の実施と活用 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○学校課題解決に向けた組織マネジメントを高める ○生徒指導 PDCA サイクル×3 を活用した指導体制の推進 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・家庭・地域の連携の充実 ○中学校区生徒指導連絡協議会の機能化（情報連携・行動連携等） ○関係機関（福祉面）とのサポートチーム体制の構築と推進 	

8 キャリア教育の充実

目指すべき方向

一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育てるキャリア教育の推進に努めます。

目標

- ① 目的意識を持って、様々な人と協働し、社会を支える自立した人材の育成をする。
- ② 将来の社会的自立・職業的自立の基盤となる資質・能力・態度を育てる。

現状と課題

- 学校において、キャリア教育の全体計画が作成され、推進されている。
- 各学校における将来の社会的自立・職業的自立となる取組の工夫が必要である。

めざす子ども像

- 主体的に自己実現を図ろうとする児童生徒
- 学ぶ意欲を持ち、将来社会的自立に必要な資質・能力を身に付ける児童生徒

主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの育成能力を踏まえた年間学習計画作成の指導助言 ○ 各中学校と連携し、職場体験によるキャリア教育推進事業の展開を図る。 ○ キャリア教育担当者研修会を実施し、学級活動内容(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」等の指導の充実を図る
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリア発達を促すために、身に付けさせたい4つの力「か」「ふ」「や」「み」視点を意識した授業づくり ○ 自立した学習者の育成のために、授業や教育活動にキャリア教育の視点(「かふやみ」「行動の振り返りや次へつなげる」等)や目的意識を児童生徒に意識させていく。 ○ 「授業と家庭学習が往還する学習サイクル」を構築することで学びの基盤をつくり、「自学自習力」の育成を図る。
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「身に付けさせたい力」を明確にした教育活動全体を通じたキャリア教育の充実 ○ 特別活動を要としたキャリア教育の充実 ○ 振り返りを意識した「キャリアパスポート」を活用し、12年間の学びの履歴をつなぐ ○ 進路指導をキャリア教育の中核と捉え、主体的に進路を選択できる力の育成
地域と共にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職場体験活動(小：職場見学、中：職場体験)の充実を図る。 ○ 相談活動・ガイダンス機能を充実させた進路指導と進路情報の家庭への積極的な情報提供
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「基礎的・汎用的能力」4つの育成能力を踏まえた年間学習計画作成 <ul style="list-style-type: none"> ① 人間関係形成・社会形成能力 ② 自己理解・自己管理能力 ③ 課題対応能力 ④ キャリアプランニング能力 ○ 「学ぶ意義」や「学び・育ちの実感」を積み重ねていく学校教育活動の工夫・改善 ○ カリキュラム・マネジメントの視点に基づいた共通実践
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業生や地域人材等を活用して、学校生活と将来の職業のつながりについての進路学習会等を実施 ○ 地域学校協働活動との関連

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善

9 特別活動の充実

目指すべき方向

自ら学び考え、自らを律しつつ他者と協働できる豊かな人間性・社会性の育成を図る特別活動の充実に努めます。

目標

- ① 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動で必要となることを理解し、行動の仕方を身に付ける。
- ② 集団や自己の生活、人間関係の課題を解決するために、合意形成を図ったり、意思決定ができるようにする。
- ③ 身に付けたことを生かし、自己（人間として）の生き方についての考え（自覚）を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

現状と課題

- 集団活動や学校行事の工夫、児童会・生徒会活動の活性化を図っている。
- 小学校では、集会活動や係活動を通して友達と一緒に活動する楽しさを味わわせている。
- 中学校では、キャリア教育と関連させながら自治的活動が行われ、生徒の社会性、自立性の向上を図っている。
- 集団や自己の生活上の課題を解決するために、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定する活動に課題がある。

めざすこども像

- 互いに協力し合って望ましい人間関係を築ける児童生徒
- 自分のよさや可能性を学校生活の中で、積極的に生かすことができる児童生徒
- 体験活動等を通して、自分の将来について考え、生かすことができる児童生徒

主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ○全体計画及び年間指導計画を基にした特別活動の充実に向けた支援 ○「うるま市中学生フォーラム」の開催 ○児童会・生徒会担当者研修会 ○学習過程を踏まえた授業展開を図る研修会の実施 	人を大切に「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○学習過程を踏まえた話し合い活動の授業スタイル確立（合意形成・意思決定） ○学級活動サイクル（PDCA）に取組み、主体的な態度を育む。 ○生徒指導の4つのポイントを生かした授業改善 ○係活動や児童会・生徒会活動等を通じた望ましい人間関係の構築 ○学校行事やクラブ活動（小）での異年齢の児童生徒の交流を通して、個性の伸長を図りながら、資質・能力の育成を目指す。 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<ul style="list-style-type: none"> ○特別活動の教育的意義理解と、学校全体での組織的な推進 ○育てたい資質・能力を明確にした、具体的・実践的な全体計画の作成 ○道徳教育・生徒指導の重点化などを踏まえた指導内容の重点化を図る ○学級活動と児童会・生徒会活動との連動 ○「キャリア・パスポート」の効果的な活用 	
地域と共にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒理解（行動観察・アセス等の活用）による早めの指導・支援体制の構築 ○教師の意図的、計画的な指導とこどもの主体的な活動による支持的風土をつくる学校・学級経営の充実（ガイダンスとカウンセリング） ○児童生徒と共に話し合い、決定した学級目標の設定（教室掲示用） ○魅力ある学校づくりの柱として、「汎用的な力」を育成し、社会に貢献する喜びを得られる児童生徒の自主的・実践的な集団活動の充実を図る。 ○学校課題解決に向けた組織マネジメント機能の向上 ○学級・学年経営や学級活動に関する校内研修やOJTの実施 ○年間を見通した年度初めの学年・学級開きの強化 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○自然や伝統・文化とのふれあいや地域の人々との幅広い交流 ○地域人材・物的資源の効果的な活用 ○研究授業（ブロック）等を活用して、小中や小小連携を推進する。（学校間の交流等） 	

10 特別支援教育の充実

目指すべき方向

障がいのある児童生徒が自立し、社会参加するための基盤を培う教育の充実に努めます

目標

- ① 障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は、克服するための適切な指導や必要な支援を行う
- ② 特別支援教育に関する校内教育支援委員会等の設置や特別支援教育コーディネーターを中心とした支援体制の構築と、全職員が一体となった組織的な取組を推進する

現状と課題

- 特別支援学級 140 学級、言語通級指導教室 1 学級、発達障害通級指導教室 2 学級
- 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内教育支援委員会を機能的に活用し、校内体制の充実に努めている

めざす子ども像

- 自己の自立や社会参加に向けて持てる力を発揮できる児童生徒
- 正しい障がい理解、自己理解、他者理解を深める児童生徒

主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ○うるま市教育支援委員会 ○うるま市特別支援学級担任等合同研修会 ○教育支援担当者会 ○特別支援教育アドバイザーによる巡回相談 ○言語聴覚士による訓練-相談 ○特別支援教育支援員・医療的ケア看護職員の配置及び研修会の実施 ○うるま市特別支援教育研究会、中頭難聴・言語障害研究会との連携 ○関係機関との連携した取組の実施（うるま市教福連携プロジェクト）
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<p>個々の特性に応じた指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内教育支援委員会において個の実態の把握と支援方法の検討 ○生活や学習上の困難さに関する実態把握を行い、効果的な ICT 活用、担任による継続した個別指導の実践（UD 及び UDL の視点に立った授業づくり） ○生徒指導 4 つのポイントを活かした授業の実践 ○児童生徒の障がいの特性に応じた「自立活動」の充実
	<p>児童生徒の実態把握に基づく組織的・計画的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成、活用、見直し、保幼こ・小・中学校間の確実な引継ぎ ○教育相談や生徒指導と連携したチームとしての対応の充実（共通理解・共通実践） ○校内研修や OJT を通じた特別な支援を必要とする児童生徒への指導方法や指導上の留意点等についての理解深化、専門性の向上
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<p>児童生徒理解に基づく学校・学級経営 ～全ての子が過ごしやすい学校・学級～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援学級の弾力的な運用、恒常的な体験入学等の実施 ○確かな児童生徒理解（行動観察、心理検査・アセス等の活用、保護者との連携） ○支持的な風土をつくる学校、学級経営（SEL、特別活動の充実） ○合理的配慮（教育的ニーズに応じた指導）の適切な提供 ○特別支援教育支援員や医療的ケア看護職員の効果的な活用
	<p>カリキュラムマネジメントの視点に基づく校内支援体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校長のリーダーシップのもと、学校経営計画に基本方針を示し、全教職員が協力し、組織的、計画的な支援を推進（個別の指導計画の活用・評価・引継ぎ） ○個に応じた教育課程の編成 ○校内教育支援委員会の機能化に努め、丁寧な教育相談や就学支援を継続的に実施 ○特別支援教育コーディネーター → 全職員協働体制 → 校内研修
地域と共にある学校	<p>切れ目のない支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交流及び共同学習の充実 ○保幼こ・小・中やうるま市教育支援委員会、教育相談員、臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士・うるまこどもステーション等と連携した取組の推進 ○トライアングルプロジェクト（教育・福祉・家庭の一層の連携）の推進 ○特別支援学校のセンター的役割としての活用

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスチャワー・評価改善

1 1 安全教育・防災教育の充実

目指すべき方向

自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、安全な社会づくりに貢献できる資質や能力を育成するとともに、児童生徒の安全確保に努めます。

目標

- ① 児童生徒が、安全で安心して学校生活を過ごせるような環境づくりに努める。
- ② 学校安全計画、危機管理マニュアル等を活用した安全指導の充実に努める。
- ③ 児童生徒が、登下校を含め地域で安心して生活できるように、家庭や地域社会、関係機関・団体と連携した取組を推進する。

現状と課題

- 登下校時、道路を横断する際に起きた自動車との接触事故（13件）
- ふざけ合い等の中で起きたケガ（22件）
- 学校等からの不審者情報（25件）

めざす子供像

- 安全に行動するために決まりを守ることができる児童生徒
- 自分や他人の生命を尊重し、大切にできる児童生徒
- 危険を予測して、正しい判断、行動ができる児童生徒

主 な 施 策	○交通安全教室 ○学校安全担当者会 ○通学路安全点検（学校教育課・学校など）
GIGA スクール構想 による新しい学びの スタイルの実現	○学校安全計画の作成と活用（定期的、日常的な点検、情報の収集） ○児童生徒による地域安全マップの作成を通じた危機回避能力の育成 ○児童生徒の安全に対する意識の高揚を図る取組の推進
	○安全点検表等による定期的、臨時的、日常的な安全点検の徹底 ○避難訓練、校内研修、各教科における「危機管理マニュアル」の効果的活用
教職員が協働して学 びの質を高める授業 改善・学校改善	○防犯・防災訓練、交通安全教室による児童生徒の危機回避能力の育成 ○児童生徒が安心して学べる場となるような校舎内外の学習環境の整備・充実 ○危険箇所への早期対応と安全対策の表示等の徹底
	○各校の実情に応じた独自の「危機管理マニュアル」の作成 ○円滑な安全教育、安全管理のための学校安全体制の構築
地域と共にある学校	○保護者及び地域、関係機関等と連携した学校安全教育の充実 ○不審者情報の発信や注意喚起、地域巡回の実施 ○通学路安全点検の実施と危険箇所についての安全マップ作成 ○市教委、警察署、道路管理者と連携した危険箇所の改善 ○保護者、地域関係者を含む「危機管理マニュアル検討委員会」の設置

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善

1 2 人権教育の充実

目指すべき方向

教育活動全体を通し、人権の意義や重要性を理解させ、自他ともに大切にすることを育成するため、人権教育の充実に努めます。

目標

- ①児童生徒が発達段階に応じ、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重していくことができるようになり、様々な場面等で具体的な態度や行動に現れるようにする。
- ②日常的なかかわりの中で、教職員と児童生徒間の信頼関係づくり、児童生徒相互の人間関係づくりに努め、共生の心を育てる。

現状と課題

- 各学校において「人権を考える日」を設定している。
- 人権に関する授業の実践を行っている。
- 社会性の未熟さから、人間関係を調整する能力に課題がある児童生徒がおり、いじめや対人トラブルが生じている。

めざすこども像

- 多様な他者との「違い」を豊かにとらえることができる児童生徒。
- 自分の大切さや他の人の大切さが認められていることを実感できる児童生徒
- 自分の人権を守り、他の人の人権を守るための実践的な行動ができる児童生徒

主 な 施 策	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の学校生活や日常生活における様々な困難や悩みに対して、必要な支援が受けられるよう、関係機関と連絡を密にする。 ○「人権を考える日」の設定及び「生徒指導提要」、「沖縄県性の多様性尊重宣言」、「人権教育の指導方法等の在り方について」の活用等、人権感覚を身に付ける取組の充実を支援する。 ○コミュニケーションの能力の向上を図るため、SEL や特別活動の充実のための研修を実施する。 ○人権擁護委員を活用した「人権教室」の計画的な実施を支援する。 	人を大切に「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○各教科等において、互いの考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、理解する活動を積極的に行い、コミュニケーション能力を育む。 ○人権感覚を身につけるため、学校生活全体で自他が認められ大切にされていることを実感できるよう教育活動の充実を図る。 ○「信頼される教職員をめざして」等の資料を活用した人権教育に関する校内研修等で、人権感覚と人権に関する理解を深め、全職員体制で組織的・計画的な指導に努める。 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒や教職員の人権意識を高めるため「人権を考える日」を位置づけ、児童生徒の実態や課題に応じた指導計画を作成するとともに、指導方法を工夫する。 ○自己効力感、自己有用感を感じ、自尊感情の高まりが得られる学級経営を目指し、自他を大切にすることを養う。 ○自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重していくことができるよう支持的風土の醸成に努める。 	
地域と共にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○各学期や年度ごとに活動の点検・評価を行い、指導の改善に生かすことで、人権教育の充実を図る。 ○家庭や地域、関係機関と連携し、講話やボランティア活動、社会体験活動、高齢者や障がい者等との交流など、豊かな体験の機会の充実を図り、指導の工夫・改善に努める。 	

1 3 平和教育の充実

目指すべき方向

平和教育の充実に努め、生命の尊重や個人の尊厳を基盤に「思いやりの心」や「寛容」、「相互理解」など豊かな心や平和を希求する心を育みます。

目標

- ①平和で持続可能な社会の形成者となるため、生命の尊重と個人の尊厳を基盤に、思いやりの心や寛容の心を育む。
- ②自国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度の育成及び次世代に継承していこうとする態度を育成する。

現状と課題

- 地域状況や発達段階に応じた平和学習が展開されている。
- 体験的な活動を実施している。
- 教育活動全体で取り組む必要がある。
- 戦争体験者の高齢化により、語り手が減少している。

めざすこども像

- 「違い」への寛容な態度と「平等」の感覚を身に付けた児童生徒。
- 異なる意見や文化を理解し、よりよい人間関係を構築できる児童生徒。

主 な 施 策	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県及びうるま市内の地域教材及び人材活用の充実を支援する。 (「慰霊の日」、「海から豚がやってきた」、「沖縄本土復帰」等に関連する資料の提供と活用方法等の周知)。 ○うるま市教育委員会ポータルサイトを内に平和教育に関するコンテンツを示し、平和学習の充実を支援する。 ○戦争体験者の高齢化により語り手が減少する中、教職員の初任者研修等において平和教育を位置付け、教師の指導力の向上を図るとともに、研鑽を深める。 	人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒が「問い」を持って平和について主体的に考えることができる平和教育を推進する ○平和学習ポータルサイトを活用し、地域の戦跡や 資料館、証言等の文献などを調べたり、実地調査を行ったりする等、体験的な学習を行う。 ○沖縄県の歴史的特性に基づき、沖縄戦の実装や教訓を継承し、平和の大切さを自ら発信し、平和を構築できる児童生徒の育成に努める。 ○学校教育全体を通じ、平和に対する多様な考え方や異なる文化を理解する態度を育成するため、指導方法の工夫・改善を図る。 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<ul style="list-style-type: none"> ○平和教育の指導の在り方について研修の機会を持ち、教職員間で共通理解を図る。 ○「慰霊の日」などに関する授業の充実を図るため、平和教育月間等を設け、平和教育を推進する。 	
地域と共にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の発達の段階に応じた平和教育を教育活動全体を通して推進する ○小学校では、栽培活動等の体験的学習を通して、生命を慈しみ大切にする心を育て、友達との遊びやふれあいの中から、思いやりの心、寛容の心を育成するよう努める。 ○中学校では、生命の尊重や個人の尊厳、国際社会の平和に関する具体的な認識と、紛争問題への総合的な把握力、探求能力を育てるよう努める ○校内に推進組織を位置付けるなど全職員による指導体制の確立に努める ○各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の目標や内容との関連を明確にしなが、各教科等の年間指導計画に位置付ける ○活動の点検・評価を行い、指導の改善に生かす。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○体験的な学習や地域人材の活用など指導方法の工夫・改善を図る。 ○郷土の歴史を教材化し、その中で平和の尊さを指導する。 	

1 4 国際理解教育・外国語教育の充実

目指すべき方向

国際理解教育・外国語教育の充実を図るとともに、児童生徒の国際交流事業を計画・実施し、国際社会の中で活躍できる人材の育成に努めます。

目標

- ① 広い視野を持ち、郷土を愛し、異なる文化を持った人々と共に協調していく資質や能力をもつ人材を育成する。
- ② 小学校段階からの国際理解教育を図り、あわせてコミュニケーションの手段として外国語(英語)に慣れ親しませ、中学校外国語(英語)教育との円滑な接続と学びの連続性を踏まえた外国語(英語)によるコミュニケーション能力を育成する。

現状と課題

- 小学校第3・4学年の外国語活動、第5・6学年の外国語科の授業において担任とALT(外国語指導助手)がT・Tによる授業を実施
- 令和6年度英語検定合格者数名【合格率58.8% (345/587)、前年度50.9% (985/1934)】

めざすこども像

- 広い視野を持ち、異なる文化を理解し、郷土を誇れる児童生徒
- 英語でコミュニケーションを図れる児童生徒

主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ○ALT (外国語指導助手) 配置 ○中学校英語スキットコンペティション、まちなか留学 ○市英語等検定料補助金交付事業(実用英語技能検定(英検)の受検費用補助) ○イングリッシュキャンプ (小学5/6年対象)
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○単元を見通した資質・能力を育む授業改善・校内研究 ○生徒指導の4つのポイントを生かした授業 ○よさや進捗状況の積極的評価 ○語彙数の増加に伴う、より多くの語に触れる機会の提供
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<ul style="list-style-type: none"> ○調査分析に基づく児童・生徒の実態認識を共有 ○「話すこと(やりとり)」領域を踏まえた言語活動の継続的指導 ○言語活動を通じた、新しい文法事項の導入 ○視点・観点をそろえた評価の実施
地域と共にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ALT とのチーム・ティーチングの充実によるコミュニケーション能力の育成 ○英語検定等の技能試験に向けての指導 ○世界とつなぐオンライン学習・国際交流プラットフォーム「World Classroom」の試験導入
	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校での指導を踏まえ、中学校において5つの領域の言語活動を通じた、英語によるコミュニケーション能力の育成 ○諸学力調査の結果分析に基づくカリキュラムマネジメントを意識した授業改善 ○授業と家庭学習を結ぶ往還的な学習サイクルの確立・学びを生かすテスト改善
	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校外国語担当と中学校英語科との連携 ○国際理解教育の充実(郷土の自然・歴史・文化や生活習慣などの紹介) ○地域人材等を活用した、異文化交流、異文化体験、英会話の体験等、学習したことのアウトプットの機会の提供

人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善

1 5 情報教育の充実（情報モラルを含む情報活用能力の育成）

目指すべき方向

情報を主体的に捉え、見いだした情報を活用しながら他者と協働し、新たな価値の創造に向けて取り組むことのできる児童生徒を育むため、情報モラルを含む情報活用能力の育成に努めます。

目標

- ① 「学習基盤としての ICT」を積極的に活用して、児童生徒の情報活用能力を育成する。
- ② 研修を通して教師の ICT 活用力の向上を図り、学びの質的改善を推進する。
- ③ 発達段階や児童生徒の実態に応じた情報モラルに関する学習を組織的・計画的に進める。
- ④ 各教科等におけるプログラミング教育を通して、プログラミング的思考を育む。

現状と課題

- 令和 6 年 9 月に市立小・中学校における電子黒板の更新が完了。
- ICT 支援員 5 名を配置して授業等における ICT 機器の活用が進むよう支援。
- 児童生徒の情報活用能力育成に向けては、教師の更なる指導力の向上が必要。
- プログラミング教育の充実を目指した Scratch の導入。
- SNS に関する児童生徒同士のトラブルが毎年発生しており、情報モラルに関する継続的な学習が必要。

めざす子ども像，教師像

子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学び、自らの考えを伝えるとともに、他者の考えを理解する児童生徒 ○他者と協働して、新たな価値を見出し、問題を解決しようとする児童生徒
教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○「学習基盤としての ICT」を積極的に活用し、学びの質的改善に努める教師 ○主体的に学び続けるとともに、同僚性を発揮してチームで高まり合うことのできる教師

主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ○計画的な情報教育担当者研修会の開催 ○各種 ICT 活用研修会の開催 ○情報モラルに関する学習の補足資料として LINE みらい財団提供教材の展開 	人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<p>「学習基盤としての ICT」を活用した学びの質的改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人一台端末や電子黒板など「学習基盤としての ICT」を積極的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、誰一人取り残されない形で「主体的・対話的で深い学び」に向けた学びの質的改善を推進する。 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<p>対話や協議を通じた授業観転換の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な研修の機会において、参加者の気付き等につながる対話やテーマを設定し深める協議を行うことを通して、児童生徒が ICT を活用しながら自ら学びを調整し学んでいく姿を目指した授業観への転換を促す。 	
地域と共にある学校	<p>カリキュラム・マネジメントを生かした情報活用能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○カリキュラム・マネジメントにより各教科等の特質を生かした教科等横断的な視点から教育課程の編成することを通して情報活用能力の育成を図る。 	
	<p>各教科等で扱われる情報モラルに関する学習の推進と補足資料の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各教科等で扱われる情報モラルに関する学習を推進するとともに LINE みらい財団提供の情報モラル教材を補足資料として展開し、取組の充実を図る。 	
	<p>家庭・地域と連携した情報モラルに関する意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報モラルの大切さを家庭・地域と共有し、理解と協力を得ながら連携して情報モラルに関する意識の向上を図る。 	

16 へき地・島しょ地域の教育の推進

目指すべき方向

へき地・島しょ地域では、小中連携を通して、地域に適した特色ある教育の推進に努めます。

目標

- ① へき地・島しょ地域の特性を生かした地域に根ざした教育課程の編成支援を行い、主体的で創造性豊かな自立心のある児童生徒の育成に努める。
- ② 児童生徒一人一人の特性を把握し、少人数指導や複式学級における個に応じた指導を充実すると共に、交流学習を実施し、集団活動の充実に努める。

現状と課題

- 彩橋小中学校、津堅小中学校の2校。
- 豊かな自然環境に恵まれ、地域の積極的な協力が得やすい。
- 地域行事に関わる機会が多く、地域に根ざした教育が推進できる。
- 津堅小中学校は複式学級を有し、教師の創意工夫のもとに複式授業が行われている。
- 少人数のため人間関係の固定化が見られ、集団での活動経験や交流の機会が不足している。
- 特別支援教育を必要とする児童生徒の割合が高い。
- 今年度より、「島しょ地域の探究学習」を計画・実施し、社会に開かれた教育課程を実践する。

めざす子ども像

- 夢や希望を持ち、その実現に向けて粘り強く取り組む児童生徒
- 地域に誇りを持ち、地域の良さを発信することができる児童生徒
- 社会に関心を持ち、広い視野を持って学習に取り組むことができる児童生徒

主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ○へき地児童生徒援助費補助金事業 ○彩橋小中学校通学支援費補助 ○島しょ地域の探究学習事業、うるま探究プロジェクト 	人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数、複式指導による個に応じた細やかな指導の充実 ○自学自習力を育成し、複式授業における間接指導の充実を図る。 ○ICT 端末の活用を促進し、情報活用能力や表現力を育成する。 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学部会や小中学生指導、教育相談部会等小中連携した取組の充実 ○合同学習、集合学習、交流学習*を通し、集団での学習の充実に取り組む。 ○県や九州のへき地教育研究大会への参加を通し、へき地校の課題解決に向けた取組の充実に努め、授業力等の向上を図る。 	
地域と共にある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○交流学習を通して多くの同年代の子どもたちとの関わりを持つことで、自主性や社会性を育て、中学卒業後を見据えた指導を行う。(SEL・SST など) ○UD及びUDLの視点に立った授業づくり・実践に取り組む。 ○9年間を見通した学校組織体制の構築 ○保幼こ・小・中学校を通して子どもたちの育ちや生活指導、学習指導等、個々の情報を共有し合い、カリキュラムマネジメントの視点に基づいた共通実践に取り組む。 	

※合同学習・・・1つの学校で、2学級以上の児童生徒と一緒に学習し、一定の人数の集団が必要な学習や異年齢集団のよさを生かした学習を展開する教育方法
 ※集合学習・・・近隣の2校以上の児童生徒が1か所に集まり、各領域などの指導の計画の一部の学習活動を各学校の教師の協力的な指導により展開する教育方法
 ※交流学習・・・学校規模や生活環境の異なる学校間で姉妹校的な関係を結び、それぞれの学校が単独では体験できない学習や生活をさせる教育方法

17 市民協働学校（コミュニティ・スクール）の促進

目指すべき方向

学校と保護者・地域住民が連携し、相互に知恵を出し合い協働し「わったーわらびんちゃー」を合言葉に社会総がかりでこどもの学び・育ちを支える地域づくりを促進する。

目標

- ①学校と地域は「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子ども達のために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現を図る。
- ②学校運営協議会を通して、地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを促進する。

現状と課題

- 地域住民等の理解と協力を得て、地域の特色を生かした授業づくりが行われている。
- 子ども達に地域に対する誇りや地域の担い手としての自覚が高まってきている。
- 学習支援ボランティアの人員の確保や多様な活動、継続的な活動の維持及び推進に課題。

めざす子ども像

- 生まれ育った地域のよさに気づき、「生きる力」を育む学校及び地域への「愛着心」をもつことにより、心穏やかに学校生活を送る児童生徒
- 学校づくりに参画する大人と接することで次の地域の担い手を志す児童生徒

教育委員会の取組

- 各学校運営協議会への支援体制の構築を図る。
- 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)の活用。
- 学校運営協議会合同研修会（6月、10月）を開催し、学校運営協議会制度に係る意見交換や市内各学校取り組み事例の共有化等を図る。

「社会に開かれた教育課程」の実現

- ① 行政及び学校は、市民に対し市民協働学校（学校運営協議会制度）の目的・仕組みについて理解を図る。
- ② 学校は、市民協働学校において地域でどのような子ども達を育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンについて、保護者、地域住民等と共有し、できることから実践する。
- ③ 市民協働学校において、学校の課題について地域住民等と共有し、対応策について熟議する。
- ④ 学校は、地域連携担当職員及び地域学校協働活動推進員を中心に、地域と協働による授業や体験活動等が円滑に行われるよう努める。
- ⑤ 学校、保護者及び地域は、それぞれの役割を明確にして連携し、地域人材を活用し「社会に開かれた教育課程」の実現に努める。
- ⑥ 学校教育情報を積極的に保護者・地域住民へ周知する。

18 研究・研修

目指すべき方向

本市の教育の現状をふまえ、これからの時代をたくましく生きる子どもの育成を図るため、学校教育に関する研究、教育関係職員の研修を実施します。

目標

- ① 本市の教育の課題に即した研究を行い、その成果等を教育関係者に提供する。
- ② 経年研修を中心に教育職員の研修を計画・実施し、求められる資質・能力の向上を図る。
- ③ 教育研究のための資料を収集して、教育関係者に提供する。

現状と課題

- 過去3年間の研究教員採用人数は、令和4年度3名、令和5年度1名、令和6年度1名。
- 過去3年間の教育実践グランプリ応募作品数の推移は、令和4年度10作品、令和5年度13作品、令和6年度9作品。
- 教師エージェンシーの高まりとその発揮を期待して、令和5年度より教育実践グランプリにアイデア部門を新設した。

めざす子ども像，教師像

子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学習に取り組み、自分自身の力で学びを獲得することができる児童生徒 ○他者と関わりながら課題解決に向けて協働的に取り組むことができる児童生徒
教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもを主体とした学びづくりに取り組むことのできる教師 ○「不易と流行」を押さえながら主体的に学び続けることのできる教師

主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ○研究教員に係る事業 ○経年研修を中心とした教員研修の計画・実施 ○教育実践グランプリの開催 	人を大切にする「聴くこと」・勇気づけのボイスシャワー・評価改善
GIGA スクール構想による新しい学びのスタイルの実現	心理的安全性のある学習環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ○支持的風土の醸成を生かした授業づくり ○生徒指導実践上の4つのポイント（自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成）を生かした授業実践 	
教職員が協働して学びの質を高める授業改善・学校改善	組織的共通実践による学びの質的改善 <ul style="list-style-type: none"> ○ICTを積極的に活用し、子どもを主体とした授業の展開 ○「指導と評価の一体化」の実現を目指したPDCAサイクルの確立 	
地域と共にある学校	一人一人の学び・育ちに寄り添う支援の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○必要な子への重点的支援や特性等に応じた教材提供などの「指導の個別化」の充実 ○学習が最適となるよう児童生徒自身が調整する「学習の個性化」の充実 	
	組織的マネジメントの視点を生かした研修体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県公立学校教員等育成指標の視点に基づく組織的教員等育成 ○教員一人一人の資質能力向上及びチーム学校の一員として連携・協働できる体制の構築 	
	家庭・地域及び中学校ブロック連携の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○学校・家庭・地域の互恵的な関係づくり ○児童生徒の学び・育ちを見通した中学校ブロックでの連携した取組の充実 	

19 事業計画

令和7年度 教職員研修等事業

1 市定例校長会：担当／甲斐

	日時	議題	場所	種別	履歴対象
①	4月22日(火)	市内小中校長顔合わせ・教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟4階 全員協議会室	職務	—
②	5月22日(木)	教育長/部長あいさつ・行政説明/スクールロイヤー研修	西棟3階 第一会議室		○
③	6月19日(木)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
④	7月8日(火)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
⑤	8月20日(水)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
⑥	9月11日(木)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
⑦	10月17日(金)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
⑧	11月20日(木)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
⑨	12月16日(火)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
⑩	1月15日(木)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		○
⑪	2月13日(金)	臨時校長会(定期人事異動内示)	西棟3階 第一会議室		—
⑫	3月11日(水)	教育長あいさつ・退職者/市外異動者あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		—

2 市定例教頭会：担当／仲吉

	日時	議題	場所	種別	履歴対象
①	4月24日(木)	市内小中教頭顔合わせ・教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室	職務	—
②	5月21日(水)	対話的研修	あまわり パーク		○
③	7月9日(水)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		
④	8月20日(水)	オンライン視聴研修	各学校で視聴		
⑤	9月12日(金)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑥	11月21日(金)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑦	1月20日(火)	教育長/部長あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		
⑧	3月12日(木)	教育長あいさつ・退職者/市外異動者あいさつ・行政説明	西棟3階 第一会議室		

3 小・中学校生徒指導主任・教育相談担当研修会：担当／喜友名・仲吉

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4月24日(木)	行政説明/各学校前年度の成果と課題、今年度の取組協議	ゆらてく	職務	○
②	7月2日(水)	行政説明/児童生徒理解について、対応についての協議	ゆらてく		
③	10月9日(木)	行政説明/今年度の前半の成果と課題、後半に向けて協議	ゆらてく		
④	12月12日(金)	行政説明/各学校の組織的対応についての協議	ゆらてく		
⑤	2月4日(水)	行政説明/今年度の成果と課題、次年度の取組協議	市役所東棟 3階大講堂		

4 SSWr・教育相談担当者・自立支援員研修会：担当／仲吉

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4月2日(水)	任用説明会・各関係機関顔合わせ	西棟3階 第一会議室	職務	—
②	4月10日(木)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
③	5月30日(金)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
④	6月27日(金)	S V研修会(予定)	西棟3階 中会議室		
⑤	7月25日(金)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 中会議室		
⑥	8月27日(水)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
⑦	9月16日(火)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 中会議室		
⑧	10月10日(金)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 中会議室		
⑨	11月10日(月)	S V研修会(予定)	西棟3階 第一会議室		
⑩	12月4日(木)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 中会議室		
⑪	1月8日(木)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
⑫	2月2日(月)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		
⑬	3月2日(月)	各学校の相談活動など情報交換会	西棟3階 第一会議室		

5 学力向上推進担当者研修会：担当／服部

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	5月8日(木)	うるまのみらいの推進に向けて(対話型研修)	西棟3階 第一会議室	課題	○
②	10月15日(水)	各学校の良さと課題・情報共有(対話型研修)			
③	2月4日(水)	まとめと次年度計画(対話型研修)			

6 学力向上支援員研修会：担当／服部

※午後2時間分の出勤に該当

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4月4日(金)	服務指導、勤務形態、業務確認、心構え等	西棟3階 第一会議室	職務	—
②	7月23日(水)	豊かな関わりを中心とした支援のあり方(対話型研修)			
③	12月24日(水)	成果と課題・改善策、次年度に向けて(対話型研修)			

7 研究主任研修会：担当／服部

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	5月12日(月)	うるまのみらいの推進に向けて(対話型研修)	西棟3階 第一会議室	課題	○
②	12月5日(金)	各学校の良さと課題・情報共有(対話型研修)			
③	2月16日(月)	まとめと次年度計画(対話型研修)			

8 学推予算「魅力ある学校づくり活動費」申請者研修会：担当／服部

対象者：令和6年度「魅力ある学校づくり活動費」を申請した学校の担当者・申請者

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4月15日(火)	学推予算の申請から執行、報告までの流れ	西棟3階 第一会議室	職務	—

9 ファシリテーション研修会：担当／服部

対象者：組織のチームづくりや研修づくりに関心のある教職員(申込制)

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	5月21日(水)	ファシリテーションとは?(対話型研修)	あまわりパー ク 多目的室	課題	○
②	7月24日(木)	行事・学校の教育活動などを振り返る(対話型研修)			
③	11月21日(金)	実践の振り返り・問いの探求(対話型研修)			

10 学力向上推進協議会総会・三部会：担当／名嘉村・服部

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4月24日(水)	総会提案事項の確認	紙面にて	課題	—
②	5月22日(木)	・事業報告／本年度事業計画(総会) ・R7年度の計画確認(三部会)	オンライン (担当校)		
③	3月下旬	事業反省・次年度計画の確認	紙面にて		

11 中学校ブロック小中連携事業：担当／服部

	日時	研修内容等(講師名)	場所	種別	研修履歴
①	8月29日(金)	(与勝第二中ブロック)公開授業及び対話	与勝第二中学校	課題	○
②	9月18日(木)	(高江洲中ブロック)公開授業及び対話	高江洲中学校		
③	8月29日(金)	(あげな中ブロック)公開授業及び対話	あげな小学校		
④	6月20日(金)	(具志川中ブロック)公開授業及び対話	具志川中学校		
⑤	9月19日(月)	(石川中ブロック)公開授業及び対話	城前小学校		
⑥	6月24日(火)	(与勝中ブロック)公開授業及び対話	与那城小学校		
⑦	9月26日(金)	(伊波中ブロック)公開授業及び対話	伊波中学校		
⑧	6月24日(火)	(具志川東中ブロック)公開授業及び対話	具志川東中学校		

12 日本語教育支援員研修会：担当／名嘉村

※午後2時間分の出勤に該当

	日時	研修内容等	場所	種別	履歴対象
①	4月11日(金)	服務規律及び職務内容等説明、令和7年度実践確認	西棟3階 中会議室	職務	—
②	12月12日(金)	2学期ふり返り、情報交換会、好事例共有			

13 小学生イングリッシュキャンプ：担当／名嘉村

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	7月21日(月)～ 7月24日(木) (予定)	イングリッシュキャンプ(小学5・6年対象)	金武町ネイチャーみらい館 他	その他	—

14 教職員研修(1)全体研修：担当／名嘉村・又吉

	日時	研修内容等(講師名)	場所	種別	研修履歴
①	4月3日(木) 午後	市教職員全体研修会①	各学校 オンライン	職務	○
②	7月25日(金) 午後	市教職員全体研修会②	各学校 オンライン		

15 教職員研修(2) デジタル教材活用研修：担当/服部

	日時	研修内容等（講師名）	場所	種別	研修履歴
①	6～12月	(小学校対象) すららドリル活用研修① (基本操作等)	オンライン	課題	○
②	6～12月	(小学校対象) すららドリル活用研修② (管理画面・配信)			
③	6～12月	(小学校対象) すららドリル活用研修③ (テスト作成)			
④	7月8日(火)	(中学校対象) スタディサプリ活用研修① (基本操作等)	オンライン	課題	○
⑤	7月10日(火)	(中学校対象) スタディサプリ活用研修② (管理画面・配信)			
※ 上記については、希望者を対象に参集型もしくはオンラインにて研修を実施いたします。 ※ 上記の内容以外にも、デジタル教材の各学校の活用状況をモニターし、支援が必要な学校や先生方については指導主事やICT支援員を派遣し、随時、伴走支援いたします。					

16 学校訪問：担当/名嘉村(当初訪問)・又吉(GIGA推進)・仲吉(不登校対応)

	日時	学校名	訪問種	種別	研修履歴
①	5月9日(金)	伊波小学校	当初・午前	課題	—
②	5月16日(金)	与勝中学校	当初・午前		
③	5月19日(月)	勝連小学校	当初・午前		
④	5月23日(金)	津堅小中学校	当初・午前		
⑤	5月29日(木)	川崎小学校	当初・午後		
⑥	5月30日(金)	天願小学校	当初・午後		
⑦	6月3日(火)	あげな小学校	当初・午後		
⑧	6月6日(金)	彩橋小中学校	当初・午前		
⑨	6月10日(火)	宮森小学校	GIGA・午前		
⑩		南原小学校	GIGA・午後		
⑪	6月11日(水)	与那城小学校	GIGA・午前		
⑫		城前小学校	GIGA・午後		
⑬	6月12日(木)	石川中学校	GIGA・午前		
⑭		与勝第二中学校	GIGA・午後		
⑮	6月16日(月)	平敷屋小学校	GIGA・午前		
⑯		具志川小学校	GIGA・午後		
⑰	6月18日(月)	中原小学校	不登校・午前		
⑱		高江洲小学校	不登校・午後		
⑲	6月19日(木)	田場小学校	不登校・午後		

⑭	6月20日(金)	赤道小学校	不登校・午前		
⑮		兼原小学校	不登校・午後		
⑯	7月1日(火)	あげな中学校	不登校・午後		
⑰		具志川東中学校	不登校・午前		
⑱	7月4日(金)	伊波中学校	不登校・午後		
⑲		具志川中学校	不登校・午前		

17 中頭教育事務所訪問：担当／名嘉村

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4月11日(金)	資質・能力向上推進訪問校等打合せ会(高江洲中)	オンライン	課題	—
②	8月28日(木)	中頭教育事務所・資質・能力向上推進訪問	高江洲中学校		

18 市特別支援教育支援員・医療的ケア看護職員研修会：担当 喜友名 (年3回)

	日時	研修内容等	場所
①	4月7日(月)	第1回 服務・業務内容・障がい特性理解 (対話：今年度の取組)	西棟 3階第一会議室
②	7月22日(火)	第2回 学校職場における子どもたちとの関わりについて (対話：困ったことへの解決に向けて)	西棟 3階第一会議室
③	R8・1月6日(火)	第3回 今年度の反省 (対話：課題解決に向けて)	西棟 3階第一会議室

19 うるま市特別支援学級担任合同研修会：担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	4月9日・7月29日	言語聴覚士における研修	西棟3階中会議室
②	5月16日(金)	自立活動の授業について(難聴・言語、通級言語)	沖縄ろう学校
③	7月4日(金)	自立活動の授業について(肢体)	泡瀬特別支援学校
④	調整中	美咲特別支援学校における自立活動の時間について	美咲特別支援学校
⑤	調整中	情緒学級授業研修(市内小学校の授業参観)	

20 うるま市教育支援委員会：担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	6月5日(木)	教育支援委員会 委嘱状交付及び研修会(遠藤医師)	西棟 3階第一会議室 共用会議室 中会議室
②	6月18日(水)	第1回 教育支援委員会(親子面談①)	
③	7月10日(木)	第2回 教育支援委員会(親子面談②)	
④	7月24日(木)	第3回 教育支援委員会(親子面談③)	
⑤	8月6日(水)	第4回 教育支援委員会(親子面談④)	(親子面談) ゆらてく ホール 受付 コモンズ1
⑥	8月7日(木)	第5回 教育支援委員会 <u>難聴・言語①</u>	
⑦	8月14日(木)	第6回 教育支援委員会 <u>難聴・言語②</u>	
⑧	8月20日(水)	第7回 教育支援委員会(親子面談⑤)	

⑨	8月22日(金)	第8回 教育支援委員会 難聴・言語③	西棟 3階共用会議室 中会議室 相談室	
⑩	8月28日(木)	第10回 教育支援委員会 難聴・言語④		
⑪	9月3日(水)	第11回 教育支援委員会(親子面談⑥)		
⑫	9月18日(木)	第12回 教育支援委員会(親子面談⑦)		
⑬	10月2日(木)	第13回 教育支援委員会(親子面談⑧)		
⑭	10月16日(木)	第14回 教育支援委員会(親子面談⑨)		
⑮	10月29日(水)	第15回 教育支援委員会(親子面談⑩)		
⑯	11月13日(木)	第16回 教育支援委員会(親子面談⑪)		
⑰	11月20日(木)	(予備日)教育支援委員会・答申		西棟 3階第一会議室 共用会議室 中会議室
⑱	11月27日(木)	(予備日)教育支援委員会・答申		
☆	2月10日(火)	就学相談会(4歳児対象)	西棟 3階第一会議室	

21 教育支援担当者会(特別支援教育コーディネーター):担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	4月17日(木)	新任教育支援担当者会 教育支援の手続き方法の周知(小・中担当者)	西棟 3階第一会議室
	5月9日(金)	新任教育支援担当者会 就学支援の手続き方法の周知(未就学児担当者)	東棟 大講堂
②	年2回(中頭地区)	5月14日(水) 特別支援教育コーディネーター養成研修 5月19日(月) 中・高特別支援教育コーディネーター連携協議会	県総合教育センター
③	7月23日(水)	うるま市特別支援教育コーディネーター連絡協議会	ゆらてく
	調整中	うるま市特別支援教育コーディネーター連絡協議会	県立特別支援学校予定
④	10月3日(金)	起立性調節障害についての講演会(全教職員)	ゆらてく
⑤	R8年1月8日(木)	今年度の教育支援委員会に関する課題の共有	東棟 大講堂

22 言語聴覚士による巡回指導:担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	通年	言語聴覚士による巡回指導を通して、困り感のある児童生徒の支援の仕方や環境調整の仕方を理解し、指導に活かす。	全小学校及び希望する中学校訪問

23 福祉との連携(説明会・巡回訪問・施設見学等):担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	4月17日(木)	基幹相談センター、SSEとの顔合わせ・研修	西棟 3階第一会議室
	5月30日(金)		
②	通年	教福連携プロジェクト冊子作成	東棟

24 特別支援教育アドバイザー訪問・特別支援ヒヤリング:担当 喜友名

	日時	研修内容等	場所
①	通年 1月～2月	○「特別支援教育支援員配置児童生徒」及び「教育支援委員会にて『経過観察』が望ましいとされた児童生徒」について、学習及び支援・指導状況確認、特別支援教育に関する情報交換 ○訪問支援	各小中学校 各幼児教育施設

25 保幼こ小連絡協議会:担当 喜友名・金城

	日時	研修内容等	場所
①	4月30日(水)	第1回保幼こ小連携担当者研修会(保幼こ小連携担当者)	ゆらてく
②	7月29日(火) 7月30日(水) 7月31日(木) 8月1日(金)	第2回保幼こ小連携担当者研修会 (公開保育・講話・架け橋カリキュラム作成について)	市内各小学校毎の 幼児教育施設及び 市内公共施設
③	11月19日(水)	第3回保幼こ小連携担当者研修会 (講話「仮・架け橋カリキュラム」について(校長・園長対象))	じんぶん館

26 児童会・生徒会担当者研修会:担当/辺土名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	6月3日(火)	児童会生徒会担当者研修会①	西棟3階 第一会議室	職務	○
②	9月30日(水)	児童会生徒会担当者研修会②	西棟3階 第一会議室		
③	1月23日(金)	児童会生徒会担当者研修会③	西棟3階 第一会議室		

27 情報教育担当者研修会:担当/又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5月9日(金)	情報教育担当者研修会①	西棟3階 第一会議室	職務	○
②	11月19日(水)	情報教育担当者研修会②	西棟3階 第一会議室		
③	2月19日(木)	情報教育担当者研修会③	西棟3階 第一会議室		

28 校務支援システム研修会:担当/辺土名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4月24日(木)	校務支援システム概要(教務)	具志川中学校	職務	—
②	4月25日(金)	校務支援システム概要(教頭)	具志川中学校		
③	4月30日(金)	校務支援システム概要(養護教諭)	具志川中学校		
④	10月9日(木)	調査書作成等(中3学年主任、進路担当)	西棟3階 第一会議室		

⑤	2月12日(木)	指導要録等(教頭・教務)	西棟3階 第一会議室		
⑥	3月30日(月)	年度更新・新クラス設定等(教頭・教務)	オンライン		

29 キャリア教育担当者研修会：担当/辺土名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5月20日(火)	キャリア教育担当者研修会①	西棟3階 第一会議室	職務	○
②	9月12日(金)	キャリア教育担当者研修会②	西棟3階 第一会議室		
③	1月20日(火)	キャリア教育担当者研修会③	西棟3階 第一会議室		

30 市初任者研修：担当/又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	7月30日(水)	市初任者研修(終日)	西棟3階 第一会議室	指定	○

31 市中堅教諭等資質向上研修：担当/又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	8月4日(月)	社会体験研修①	各事業所	指定	○
②	8月5日(火)	社会体験研修②	各事業所		

32 市教育実践グランプリ：担当/又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	2月20日(金)	市教育実践グランプリ表彰式	東棟3階 大講堂	課題	—

33 研究教員入所前研修：担当/又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	6月20日(金)	研究テーマ検討①	西棟3階 共用会議室	課題	—
②	8月21日(木)	研究テーマ検討②	西棟3階 共用会議室		

34 長期研修：担当/又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	10月1日(水)	研究教員入所式	西棟3階 共用会議室	課題	○
②	10月29日(水)	研究教員テーマ検討会	西棟3階 第一会議室		
③	12月17日(水)	研究教員中間報告会	西棟3階 第一会議室		
④	2月20日(金)	研究・研修報告会	西棟3階 第一会議室		

⑤	3月18日(水)	研究教員修了式	西棟3階 第一会議室		
---	----------	---------	---------------	--	--

35 臨時的任用教員研修会：担当／又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	4月4日(金)	臨時的任用教員研修会	西棟3階 第一会議室	職務	—

36 文京区平和特派員との交流事業：担当／名嘉村

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5月23日(金)	事前学習①	オンライン	その他	—
②	6月13日(金)	事前学習②	オンライン		
③	6月27日(火)	事前学習③	オンライン		
④	7月11日(金)	事前学習④	オンライン		
⑤	7月22日(火)	WEB対面・交流	オンライン		
⑥	8月6日(水)	交流事業1日目	うるま市内		
⑦	8月7日(木)	交流事業2日目			
⑧	事後	交流体験を校内での報告、うるま教育月間で報告	校内等		

37 租税教育推進事業：担当／辺土名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5月21日(水)	租税教育推進協議会	ゆらてく	その他	—
②	11月12日(火)	租税教育推進事業表彰式	じんぶん館		

38 プログラミングコンテスト：担当／又吉

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	調整中	第6回市プログラミングコンテスト作品募集期間	学校教育課HP	その他	—
③	12月18日(木)	第6回市プログラミングコンテスト表彰式	西棟3階 第一会議室		

39 中学生フォーラム：担当／辺土名

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	5月7日(水)	うるま市中学生フォーラム研修会	ゆらてく	職務	—
②	6月25日(木)	うるま市中学生フォーラム担当者会	西棟3階 第一会議室		
③	10月15日(水)	中学生フォーラム開催(予定)	ゆらてく		

40 学校運営協議会合同研修会：担当／甲斐

	日時	研修内容等	場所	種別	研修履歴
①	6月25日(水)	学校運営協議会合同研修会①	市民芸術劇場 (燈ホール)	その他	—
②	10月22日(水)	学校運営協議会合同研修会②			

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【4月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1	火	火	火
2	水	水	水
3	木	木	木
4	金	金	金
5	土	土	土
6	日	日	日
7	月	月	月
8	火	火	火
9	水	水	水
10	木	木	木
11	金	金	金
12	土	土	土
13	日	日	日
14	月	月	月
15	火	火	火
16	水	水	水
17	木	木	木
18	金	金	金
19	土	土	土
20	日	日	日
21	月	月	月
22	火	火	火
23	水	水	水
24	木	木	木
25	金	金	金
26	土	土	土
27	日	日	日
28	月	月	月
29	火	火	火
30	水	水	水

【県】：県立学校教育課事業 【義】：義務教育課事業 【保】：保健体育科事業 【生】：生涯学習振興課事業 【人】：学校人事課事業 【働】：働き方改革推進課事業
 【総】：総務課事業 【セ】：総合教育センター事業 / 研修形態→対：対面 オ：オンライン研修 デ：オンデマンド研修 / 主：研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【5月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1 木	応急手当オンライン授業（中学校）③（うるま市消防）	木 初任者研修②(オ) 中学校英語STEP UP研修会①【全県】(オ)	木 中学校英語STEP UP研修会①【全県】(オ) 運動部活動指導者及び外部指導者研修会【保】（～5月末まで：テ）
2 金		金 生徒指導担当指導主事連絡協議会①(午前) 派遣指導主事等研修会①(午後)	金
3 土		土 憲法記念日	土 憲法記念日
4 日		日 みどりの日	日 みどりの日
5 月		月 こどもの日	月 こどもの日
6 火		火 振替休日	火 振替休日
7 水	中学生フォーラム 生徒会①	水 中堅教諭等資質向上研修②	水 養護教諭中堅教諭等資質向上研修②【セ】(オ) 学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修②【セ】 栄養教諭中堅教諭等資質向上研修②【セ】
8 木	第1回 学推担当者研修会（15:15～西3階）	木 初任者研修③ 特別支援教育新任管理職研修会【県】(全地区：～22日：テ)	木 子どもの読書活動推進担当者会議①【生】 特別支援教育新任管理職研修会【県】(全地区：～22日：テ) 校長会役員と行政との連絡会①【義】
9 金	学校訪問（当初訪問：伊波小） 情報担当者研修会① 教育支援担当者会（未就学）東棟大講堂	金 教職3年目研修①	金 英語科授業づくり理論研修会（中外国語）【義】 主幹教諭研修会【義】(対：午後)
10 土		土	土
11 日		日	日
12 月	第1回 研究主任研修会（15:15～西3階）	月 市町村人事担当者会①〇〇	月 幼児教育研究協議会における説明会【義】(オ) 第1回沖縄県社会教育・生涯学習関係者研修会【生】
13 火	教職員評価システム校長面談（当初）① 09:00-12:00庁議 14:00-17:00教育委員会議	火 児童生徒支援加配連絡会②	火 養護教諭初任者研修④【セ】(オ) 教育情報化推進講座（中頭・中）【セ】
14 水	教職員評価システム校長面談（当初）② ※都市校長会	水 授業力アップ研①(算数)【中頭】(オ) 特別支援教育コーディネーター養成研修(中頭・那覇)【県：土】	水 学校支援訪問(兼原小) 特別支援教育コーディネーター養成研修(中頭・那覇)【県：土】
15 木	教職員評価システム校長面談（当初）③ ※都市校長会	木 授業力アップ研①(中国)【全県】(オ) 学校事務コーディネーター会議②	木 公立小学校、中学校新任特別支援学級等担当教員研修会②【県】（～29日：テ） 教育情報化推進講座（中頭・小）【セ】
16 金	学校訪問（当初訪問：与勝中） 特別支援学級担任研修会（難聴・言語、通級言語） ※都市校長会	金 新規採用・臨時任用事務職員等研修会② おきなわ県民カレッジ(第1回)ライブ配信①【生】	金 市町村幼児教育担当者連絡協議会①【義】(オ) おきなわ県民カレッジ(第1回)ライブ配信①【生】
17 土		土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
18 日		日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
19 月	学校訪問（当初訪問：勝連） 教職員評価システム校長面談（予備）	月 教職5年経験者研修会	月 中学校・高等学校特別支援教育コーディネーター連携協議会【県：土】
20 火	キャリア教育担当者研修会① 教職員評価システム校長面談（当初）④	火 地区教頭研修会①	火
21 水	市定例教頭会②（9:00あまわりパーク） 租税教育推進協議会 第1回うるま市ファンリレーション研修①（15:00あまわりパーク）	水 通級指導教室担当者研修(発達・小、日本語)	水
22 木	市定例校長会② うるま市学力向上推進協議会総会	木 中堅教諭等資質向上研修③(オ) 共同学校事務室事務長会①	木 学校環境衛生・安全管理講習会【保】
23 金	学校訪問（当初訪問：津堅小中学校） 教職員評価システム校長面談（予備）	金 小学校体育主任研修会 共同学校事務室事務主査会①	金 県幼児教育アドバイザー等連絡協議会①【義】(対) 令和7年度教科用図書選定審議会②【義】 沖縄県特別支援学級設置学校校長会研修会【県】 学校栄養職員初任者研修③【セ】(オ) 栄養教諭初任者研修③【セ】(オ) 第2回人事担当者会議【人】 学校・家庭・地域の連携協力推進事業第1回推進委員会【生】
24 土		土	土
25 日		日	日
26 月		月 児童会・生徒会担当者研修会①(オ)	月 学校支援訪問(具志川中)
27 火	学校訪問（当初訪問：高江洲中）	火 小中学校生徒指導教育相談担当研修会A 【嘉手納町・沖縄市・北谷町・宜野湾市・北中城村】	火
28 水		水 小中学校生徒指導教育相談担当研修会B 【恩納村・うるま市・読谷村・中城村・西原町】 授業力アップ研①(中数)【全県】(オ)	水
29 木	学校訪問（当初訪問：川崎小）	木 初任者研修④	木 就学支援スキルアップ研修【県】（～6/13：テ） 養護教諭中堅教諭等資質向上研修③【セ】(オ) 沖縄県公民館関係者研修会【生】
30 金	学校訪問（当初訪問：天願小） SSW・校内自立支援員研修会③（15:00～）	金 通級指導教室担当者研修(言語) 9年間の学びを繋ぐ小中キャリア教育研修会①	金 教育事務所指導班長等会議②【義】
31 土		土	土

【県】：県立学校教育課事業 【義】：義務教育課事業 【保】：保健体育科事業 【生】：生涯学習振興課事業 【人】：学校人事課事業 【働】：働き方改革推進課事業
【総】：総務課事業 【セ】：総合教育センター事業 / 研修形態→対：対面 オ：オンライン研修 テ：オンデマンド研修 / 土：研修会場→総合教育センター

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課＋センター）
1 日			
2 月			魅力ある学校づくり研修会【義】（～8/29:デ）
3 火	学校訪問（当初訪問：あげな小） 児童会生徒会担当者会①	中学校教科研修会（音楽）	
4 水	応急手当オンライン授業（小学校）①（うるま市消防）	授業力アップ研①（小国）【中頭】（オ） 通級指導教室担当者研修（発達・中） おきなわ県民カレッジ（第2回）ライブ配信②【生】	おきなわ県民カレッジ（第2回）ライブ配信②【生】
5 木	令和7年度教育支援委員会（委嘱状交付及び研修会） 応急手当オンライン授業（小学校）②（うるま市消防）	地区校長研修会② 授業力アップ研①（中外国語）【全県】（オ）	授業力アップ研①（中外国語）【全県】（オ）
6 金	学校訪問（当初訪問：彩橋小中）	特別支援学級等担当2年目研修②（～7/11）	初任者研修担当主事会①【義】 第1回沖縄県公立学校働き方改革推進本部【働】 沖縄県社会教育指導者研修会【生】 沖縄県養護教諭研修会①【保】（オ） 学校支援訪問（石川中）
7 土			
8 日			
9 月		学推企画委員会②（午後）	
10 火	学校訪問（GIGA：宮森小・城前小）	資質・能力向上推進訪問①	日本語指導教育担当者連絡協議会①【義】（オ） 養護教諭初任者研修⑤【セ】（オ）
11 水	学校訪問（GIGA：与那城小・南原小）	地区教職員業務改善推進連絡協議会②	教育事務所等算数・数学担当指導主事連絡協議会②【義】 学校支援訪問（城前小）
12 木	学校訪問（GIGA：石川中・与勝第二中）	初任者研修⑤	小学校英語専科指導教員（FTT）連絡協議会①【義】 学校栄養職員初任者研修④【セ】 学校支援訪問（赤連小）
13 金	応急手当オンライン授業（小学校）③（うるま市消防）		教育事務所等外国語教育担当指導主事連絡協議会②【義】（オ：午前） 学校栄養職員初任者研修⑤【セ】
14 土			
15 日		教員候補者選考試験第1次試験 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	教員候補者選考試験第1次試験 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
16 月	学校訪問（GIGA：平敷屋小・具志川小）	市町村人事担当者会②	
17 火		司書教諭・学校司書等研修会（オ） 教育相談等連絡協議会②	県立高等学校入学者選抜学力検査結果分析説明会【県】（デ）
18 水	学校訪問（不登校：中原小・高江洲小） 第1回教育支援委員会（親子面談①西棟3階）	資質・能力向上推進訪問②	学校支援訪問（中原小）
19 木	市定例校長会③ 学校訪問（不登校：田場小）	初任者研修⑥	中・高特別支援教育コーディネーター連携協議会【県】
20 金	研究教員入所前研修① 【具志川中B】小中連携公開授業・講演会（具志川中）		校務の情報化講座【セ】
21 土		第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
22 日		教員候補者選考試験第1次試験（予備日）	教員候補者選考試験第1次試験（予備日）
23 月		慰霊の日	慰霊の日
24 火	【具志川東中B】小中連携公開授業・対話（具志川東中） 【与勝中B】小中連携公開授業・対話（与那城小）	小学校英語ステップアップ研修会3、4年A 新規採用・臨時任用事務職員等研修会③ 教育支援研修会	
25 水	学校運営協議会委員合同研修会① 中学生フォーラム 生徒会①	地区教頭研修会② 中堅教諭等資質向上研修④（～7/10:デ）	校務の情報化講座【セ】 理科観察・実験指導に関する研究協議会（小）（那覇地区）
26 木	学校訪問（不登校：赤道小・兼原小）	小学校英語ステップアップ研修会3、4年B 特別支援教育コーディネーター連絡会①	学校支援訪問（高江洲中）
27 金	SSW・校内自立支援員研修会④（15:00～）	小中連携共同研究会（算・数）【中頭】	校務の情報化講座【セ】
28 土			
29 日			
30 月			道徳教育推進連絡協議会・研究委託市町村道徳教育推進連絡協議会【義】

【県】：県立学校教育課事業 【義】：義務教育課事業 【保】：保健体育科事業 【生】：生涯学習振興課事業 【人】：学校人事課事業 【働】：働き方改革推進課事業
【総】：総務課事業 【セ】：総合教育センター事業 / 研修形態→対:対面 オ:オンライン研修 デ:オンデマンド研修 / セ:研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【7月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1	火 学校訪問（不登校：あげな中・具志川東中）	火 資質・能力向上推進訪問③	火 幼稚園・認定こども園特別支援教育実践推進研修【県】（～15日） 理科観察・実験指導に関する研究協議会（小）（島尻地区）
2	水 市小中生徒指導・教育相談研修会②（ゆらてく）	水 地区教務主任研修会	水 教育事務所等算数・数学担当指導主事連絡協議会②【義】（オ） 理科観察・実験指導に関する研究協議会（小）（島尻地区）
3	木	木 授業力アップ研究会②（中外国語）【中頭・島尻】	木
4	金 学校訪問（不登校：伊波中・具志川中） 特別支援学級担任研修会（肢体不自由）	金 学校事務コーディネーター会議③ おきなわ県民カレッジ（第3回）ライブ配信③	金 おきなわ県民カレッジ（第3回）ライブ配信③ 第3回人事担当者会議【人】 理科観察・実験指導に関する研究協議会（小）（那覇地区）
5	土	土	土
6	日	日	日
7	月	月	月
8	火 市定例校長会④	火	火 地域連携担当教員等研修会【生】（オ）
9	水 市定例教頭会③	水 地域特別支援教育総合推進事業運営協議会①	水
10	木 第2回教育支援委員会（親子面談②西棟3階）	木 地区主幹教諭研修会	木
11	金	金 児童生徒支援加配連絡会③	金 沖縄県公立学校働き方改革推進本部に係る作業部会②【働】
12	土	土	土
13	日	日	日
14	月	月	月
15	火	火 教育相談等連絡協議会③	火
16	水	水	水 教育事務所等社会科担当主事連絡協議会②【義】（オ） 養護教諭5年経験研修②【セ】（オ） 沖縄県退職校長会教育長表敬訪問
17	木	木	木 市町村幼児教育アドバイザー等スキルアップ研修会①【義】（オ）
18	金 1学期終業式	金	金 特別支援教育総合推進事業運営に関する実務者会議①【県】
19	土	土 第3金曜日「少年を守る日」 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 第3金曜日「少年を守る日」 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」 おきなわ県民カレッジ（第4回）【生】
20	日	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
21	月 小学校イングリッシュキャンプ（～7/24）	月 海の日	月 海の日 ※第52回県中学校総合体育大会
22	火 第2回特別支援教育支援員（医ケア看護師）研修会	火	火 特別支援学級・通級指導教室担当者必修研修【県】（～8/1：デ） 特別支援学校教諭二種免許法認定講習【県】（～8/29：オ）
23	水 第2回学力向上支援員研修会（9:00～西3階） うるま市特別支援教育コーディネーター連絡協議会（ゆらてく）	水 中堅教諭等資質向上研修⑤【OIST施設見学】午前 第12回科学の甲子園ジュニア地区大会（OIST）午後	水 学校栄養職員初任者研修指導者連絡協議会②【セ】 学校安全指導者養成講習会（本島地区）【保】
24	木 第3回教育支援委員会（親子面談③（西棟3階） 第2回うるま市ファンリテーション研修②（14：00あまわりパーク）	木	木 中・高キャリア教育地区講座（中頭・宮古）【義】（オ：午後） 県栄養教諭・学校栄養職員等研修会【保】 養護教諭中堅教諭等資質向上研修⑥【セ】 学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修③④【セ】 栄養教諭中堅教諭等資質向上研修④【セ】 人権教育指導者研修会【生】
25	金 第2回うるま市教職員研修（13:00～オンライン） SSW・校内自立支援員研修会⑤（10:00～）	金 中堅教諭等資質向上研修⑥（～8/13：デ） 事務主事研修会	金 沖縄県栄養教諭研修会【保】 第2回沖縄県社会教育・生涯学習関係者研修会【生】 第1回学校・家庭・地域の連携協力推進事業「ア・エ」等研修会【生】
26	土	土 管理職候補者選考試験第1次試験	土 管理職候補者選考試験第1次試験
27	日	日	日
28	月	月 教頭ヒアリング①	月 幼児期の学びを生かした授業改善研修会（生活科）【義】（オ） 養護教諭中堅教諭等資質向上研修⑦【セ】 学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修⑤【セ】 栄養教諭初任者研修④【セ】 栄養教諭5年経験者研修①【セ】 栄養教諭中堅教諭等資質向上研修⑤【セ】 夏季ダンス実技研修会【保】
29	火 第2回保幼小連携担当者研修会（石川） （公開保育・架け橋カリキュラム作成）	火 道徳教育推進教師研修会 教頭ヒアリング②	火 「新たな教師の学びの姿」学習会【義】 養護教諭中堅教諭等資質向上研修⑧【セ】 学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修⑥【セ】 栄養教諭初任者研修⑤【セ】 栄養教諭5年経験者研修②【セ】 栄養教諭中堅教諭等資質向上研修⑥【セ】
30	水 市初任者研修（9:00～西3階） 第2回保幼小連携担当者研修会（具志川IA） （公開保育・架け橋カリキュラム作成）	水 教頭ヒアリング③	水 養護教諭中堅教諭等資質向上研修⑨【セ】 子どもの読書活動推進担当者会議②【生】 幼稚園小学校運動実技指導者講習会【保】
31	木 第2回保幼小連携担当者研修会（具志川IB） （公開保育・架け橋カリキュラム作成）	木 初任者研修⑦（午前） 特別支援学級等担当2年目研修③（午後）	木 県スクールソーシャルワーカー合同研修会【義】 小学校体育実技指導者講習会【保】 養護教諭5年経験研修【セ】③ 家庭教育支援者研修会【生】 第4回人事担当者会議【人】

【県】：県立学校教育課事業 【義】：義務教育課事業 【保】：保健体育科事業 【生】：生涯学習振興課事業 【人】：学校人事課事業 【働】：働き方改革推進課事業
【総】：総務課事業 【セ】：総合教育センター事業 / 研修形態→対：対面 オ：オンライン研修 デ：オンデマンド研修 / 土：研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【8月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1	金 第2回保幼小連携担当者研修会（与勝） （公開保育・架け橋カリキュラム作成）	金 初任者研修⑧（終日） 教頭ヒアリング④ 中学生フォーラム開催	金 沖縄県幼児教育合同研修会【義】（オ） 本庁初任者研修【義】（～8/16：デ） 養護教諭5年経歴研修④【セ】
2	土	土 管理職候補者選考試験第1次試験（予備日）	土 管理職候補者選考試験第1次試験（予備日）
3	日	日 リフレッシュ・ウィーク（～8/9）	日 リフレッシュ・ウィーク（～8/9）
4	月	月	月 教育事務所等外国語担当指導主事連絡協議会②【義】（オ：午後）
5	火	火	火 第1回学習指導要領の着実な実施に向けた連絡協議会【義】（オ）
6	水 学校閉庁日（～8/8） 第4回教育支援委員会（親子面談④ゆらてくホール） 平和特派員（文京区中学生）との交流事業①	水	水 学校閉庁日（～8/8）
7	木 第5回教育支援委員会（難聴・言語①） 平和特派員（文京区中学生）との交流事業②	木	木
8	金	金	金 第5回人事担当者会議【人】
9	土	土 教員候補者選考試験第2次試験	土 教員候補者選考試験第2次試験
10	日	日 教員候補者選考試験第2次試験	日 教員候補者選考試験第2次試験
11	月 山の日	月 山の日	月 山の日
12	火	火 県研究指定校中頭地区連絡会 教頭ヒアリング⑤	火
13	水	水 児童会・生徒会担当者研修会② 教頭ヒアリング⑥ おきなわ県民カレッジ（第5回）ライブ配信④【生】	水 県生徒指導関係事業連絡協議会【義】（オ） 教育・医療・福祉等早期支援地方協議会【奥】（～27日：デ） 体力づくり・体育指導改善講習会【保】 地区別学校給食指導者研修会（中頭） おきなわ県民カレッジ（第5回）ライブ配信④【生】
14	木 第6回教育支援委員会（難聴・言語②）	木 中堅教諭等資質向上研修⑦（指導案検討会） 教頭ヒアリング⑦	木 沖縄県保幼小連携推進協議会【義】（オ） 中堅教諭等資質向上研修⑦（指導案検討会）
15	金	金 小学校・中学校生徒指導主任研修会 教頭ヒアリング⑧ 第3金曜日「少年を守る日」	金 教育事務所等外国語担当指導主事連絡協議会③【義】（オ：午前）
16	土	土 教員候補者選考試験第2次試験（予備日） 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 教員候補者選考試験第2次試験（予備日） 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
17	日	日 教員候補者選考試験第2次試験（予備日） 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 教員候補者選考試験第2次試験（予備日） 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
18	月	月 教頭ヒアリング⑨	月 中・高・特別支援学校生徒指導・高校入試等地区講座（中頭）【奥】 キャリア教育指導者養成研修①（Nits）22日
19	火	火 教職2年目研修② 教頭ヒアリング⑩	火 令和7年度小中学校初任者研修【セ】（対） 教育事務所等学力向上担当指導主事連絡協議会①【義】（オ） 養護教諭初任者研修⑦【セ】 学校栄養職員初任者研修⑦【セ】
20	水 市定例校長会⑤（教頭オンライン視聴） 研究教員入所前研修② 第7回教育支援委員会（親子面談⑤ゆらてくホール）	水 初任者研修に係る指導教員等連絡協議会②	水 （予定）市町村教育委員会学校支援連絡協議会②【義】（オ） 養護教諭初任者研修⑦【セ】 学校栄養職員初任者研修⑦【セ】 学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修⑧【セ】 第2回学校・家庭・地域の連携協力推進事業「デ」等研修会【生】
21	木	木	木 市町村幼児教育担当者連絡協議会②【義】（オ） 養護教諭初任者研修⑦【セ】 学校栄養職員初任者研修⑦【セ】
22	金 第8回教育支援委員会（難聴・言語③）	金 第12回科学の甲子園ジュニア沖縄県大会	金 学校運営アドバイザー連絡協議会②【義】 第12回科学の甲子園ジュニア沖縄県大会
23	土	土	土
24	日	日	日
25	月	月	月
26	火 始業式	火 市町村教育委員会特別支援教育担当指導主事連絡協議会 教育委員会ヒアリング（予備日）	火
27	水 SSW・校内自立支援員研修会⑥（15:00～）	水 教育委員会ヒアリング⑪	水
28	木 第10回教育支援委員会（難聴・言語④）	木 資質・能力向上推進訪問④（高江洲中：午前） 教育委員会ヒアリング⑫	木
29	金 【与勝第二中B】小中連携事業対話の時間（与勝第二中） 【あげな中B】小中連携事業対話の時間（あげな小）	金 教育委員会ヒアリング（予備日）	金 県幼児教育アドバイザー等連絡協議会②【義】（対）
30	土	土	土 おきなわ県民カレッジ（第6回）
31	日	日	日

【奥】：県立学校教育課事業 【義】：義務教育課事業 【保】：保健体育科事業 【生】：生涯学習振興課事業 【人】：学校人事課事業 【働】：働き方改革推進課事業
【総】：総務課事業 【セ】：総合教育センター事業 / 研修形態→対：対面 オ：オンライン研修 デ：オンデマンド研修 / 土：研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【9月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1	月	月	月 第40回 中頭地区「少年の主張」大会
2	火	火 特別支援学級等担当2年目研修④(～11/28)	火 教育事務所指導班長等会議③【義】
3	水 第11回教育支援委員会(親子面談⑦ゆらてくホール)	水 資質・能力向上推進訪問⑤	水 校長会役員と行政との連絡会②【義】
4	木	木 旧盆(ウンケー)	木 旧盆(ウンケー)
5	金 休業日(旧盆のため)	金	金 臨時人事担当者会議【人】
6	土	土 旧盆(ウークイ)	土 旧盆(ウークイ)
7	日	日	日
8	月	月 校長ヒアリング① 学推企画委員会③(午後)	月
9	火	火 地区発達障害研修(中) 校長ヒアリング②	火
10	水	水 資質・能力向上推進訪問⑥ 校長ヒアリング③	水 公立小学校、中学校新任特別支援学級等担当教員研修会③(中頭A)【県】【オ】 地区別学校保健教育研修会【保】 幼児教育専門研修(～12日)
11	木 市定例校長会⑥	木 校長ヒアリング④	木 授業改善推進教師(授業改善アドバイザー)研修会②【義】 教職員研修調整会議①【県】 公立小学校、中学校新任特別支援学級等担当教員研修会③(中頭B)【県】【オ】 地区別学校保健教育研修会【保】
12	金 市定例教頭会④ キャリア教育担当者研修会②	金 校長ヒアリング⑤ 学校事務コーディネーター会議④	金 地区別学校保健教育研修会【保】
13	土	土 管理職候補者選考試験第2次試験	土 管理職候補者選考試験第2次試験
14	日	日	日
15	月	月 敬老の日	月 敬老の日
16	火 SSW・校内自立支援員研修会⑦(15:00～)	火 校長ヒアリング⑥	火
17	水	水 地区校長研修会③	水
18	木 第12回教育支援委員会(親子面談⑧ゆらてくホール) 【高江洲中B】小中連携公開授業・講演会(高江洲中)	木 校長ヒアリング⑦	木 市町村幼児教育アドバイザー等スキルアップ研修会②【義】【オ】 小学校英語専科指導教員(FIT)連絡協議会②【義】
19	金 【石川中B】小中連携公開授業・講演会(城前小)	金 地区発達障害研修(小) 校長ヒアリング⑧ 第3金曜日「少年を守る日」	金 沖縄県学力向上推進本部会議①【義】 第3金曜日「少年を守る日」
20	土	土 管理職候補者選考試験第2次試験(予備日) 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 管理職候補者選考試験第2次試験(予備日) 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
21	日	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
22	月	月	月
23	火	火 秋分の日	火 秋分の日
24	水	水 小学校英語ステップアップ研修会5,6年A 共同学校事務室事務長会② 校長ヒアリング⑨	水
25	木	木 初任者研修⑨ 校長ヒアリング⑩	木
26	金 【伊波中B】小中連携公開授業・対話(伊波中)	金 小学校英語ステップアップ研修会5,6年B 園長等運営管理協議会(オ) 校長ヒアリング⑪	金
27	土 海から豚がやってきた記念日	土	土 おきなわ県民カレッジ(第7回)
28	日	日	日
29	月	月 校長ヒアリング⑫ 教育相談等連絡協議会④(SV研修①)	月
30	火 児童会生徒会担当者研修会②	火 資質・能力向上推進訪問(予備日) 校長ヒアリング(予備日)	火

【県】:県立学校教育課事業 【義】:義務教育課事業 【保】:保健体育科事業 【生】:生涯学習振興課事業 【人】:学校人事課事業 【働】:働き方改革推進課事業
【総】:総務課事業 【セ】:総合教育センター事業 / 研修形態→対:対面 オ:オンライン研修 デ:オンデマンド研修 / 土:研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【10月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1	水 研究教員入所式（9：00～西3階）	水 校長ヒアリング(予備日) 教育委員会計画訪問①②(嘉手納町、北谷町)	水
2	木 第13回教育支援委員会(親子面談⑨ゆらてくホール)	木 教育委員会計画訪問③④(うるま市、沖縄市)	木
3	金 教職員評価システム校長面談（中間）①	金 生徒指導担当指導主事連絡協議会②	金 第6回人事担当者会議【人】
4	土	土	土
5	日	日	日
6	月 教職員評価システム校長面談（中間）②※	月	月
7	火 教職員評価システム校長面談（中間）②※	火	火
8	水 教職員評価システム校長面談（中間）③	水 市町村人事担当者会③○ 教育委員会計画訪問⑤⑥(北中城村、宜野湾市) 地区教職員業務改善推進連絡協議会⑤	水
9	木 校務支援研修会（進路担当） 教職員評価システム校長面談（中間）④ 市小中生徒指導主任・教育相談研修会③(ゆらてく)	木	木
10	金 SSW・校内自立支援員研修会⑤（15:00～）	金 地区校長研修会④(オ) 新規採用・臨時任用事務職員等研修会⑤	金 初任者研修担当主事会②【義】(オ)
11	土	土	土
12	日	日	日
13	月	月 スポーツの日	月 スポーツの日
14	火	火	火
15	水 第2回 学推担当者研修会（15:15～西3階）	水 おきなわ県民カレッジ(第8回)ライブ配信⑤【生】 教育委員会計画訪問⑦⑧(中城村、西原町)	水 おきなわ県民カレッジ(第8回)ライブ配信⑤【生】
16	木 第14回教育支援委員会(親子面談⑩ゆらてくホール)	木 特別支援教育コーディネーター連絡会② 教育委員会計画訪問⑨⑩(恩納村、読谷村)	木
17	金 市定例校長会⑦	金 中学校英語STEP UP研修会②【中頭】 中学校教科研修会(技術) 第3金曜日「少年を守る日」	金 沖縄県公立学校働き方改革推進本部に係る作業部会③【人】 第3金曜日「少年を守る日」
18	土	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
19	日	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
20	月	月	月 特別支援教育管理職研修会(小中校長)【県】(～31:予)
21	火	火 地区教頭研修会③	火 教育事務所等キャリア教育担当主事連絡協議会②【義】(オ) 理科観察・実験指導に関する研究協議会(中)(島尻地区)
22	水 学校運営協議会委員合同研修会②	水	水 九州へき地小規模校教育研究大会鹿児島(～23日) 防犯教室講習会(国頭・中頭地区)【保】 理科観察・実験指導に関する研究協議会(中)(島尻地区)
23	木	木 中学校教科研修会(家庭)	木 日本語指導教育担当者連絡協議会②【義】(オ) 理科観察・実験指導に関する研究協議会(中)(那覇地区)
24	金	金 授業力アップ研②(中国)【中頭】 事務主査研修会	金 臨時人事担当者【人】 学校栄養職員初任者研修⑩【セ】 学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修⑨【セ】 教職員研修調整会議②【県】 理科観察・実験指導に関する研究協議会(中)(那覇地区)
25	土	土	土 教員候補者選考試験 結・UI特別選考2次試験
26	日	日	日
27	月	月	月 県立中学校入学者選抜出願期間(～10/31)
28	火	火 中学校教科研修会(美術)	火 授業におけるICT活用講座(中頭A)【セ】
29	水 第15回教育支援委員会(親子面談⑪ゆらてくホール)	水 授業力アップ研②(算数)【中頭A】	水 生涯学習・社会教育行政連絡会【生】 授業におけるICT活用講座(中頭B)【セ】 キャリア教育指導者養成研修②(Nits)～31日
30	木 研究教員テーマ検討会	木 授業力アップ研②(算数)【中頭B】	木
31	金	金 教育相談等連絡協議会⑤(SV研修②) 事務主査研修会(予備日)	金 県立中学校入学者選抜出願締切

【県】:県立学校教育課事業 【義】:義務教育課事業 【保】:保健体育科事業 【生】:生涯学習振興課事業 【人】:学校人事課事業 【働】:働き方改革推進課事業
【総】:総務課事業 【セ】:総合教育センター事業 / 研修形態→対:対面 オ:オンライン研修 デ:オンデマンド研修 / 主:研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【11月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課＋センター）
1 土		土	おきなわ県民カレッジ(第9回)
2 日		日	
3 月		月 文化の日	月 文化の日
4 火		火	沖縄県学力向上推進フォーラム(～11/25) 県学力到達度調査(～12/5)
5 水	地震・津波防災避難訓練	水	水 合理的配慮に基づくICT教育推進研修(県)(～11/28:テ) 道徳教育推進研修(～7日)
6 木		木 授業力アップ研②(中数)【中頭】	木 子どもの読書活動推進担当者会議③【生】 沖縄県保育者育成協議会【義】 第66回沖縄県小・中学校長研究大会(那覇大会)
7 金		金 事務主任研修会	金 法定研修合同保育グループ研究会①【セ】 沖縄県保幼小架け橋期カリ開発推進会議② 第2回沖縄県公立学校働き方改革推進本部【働】 教職員研修調整会議③【県】 第66回沖縄県小・中学校長研究大会(那覇大会)
8 土		土	土
9 日		日	日 教員候補者選考試験 結・UI特別選考2次試験(予備)
10 月	SSW・校内自立支援員研修会⑨(15:00～)	月	月
11 火		火 市町村人事担当者会④	火 特別支援教育研修会【県】 養護教諭初任者研修⑩【セ】(オ)
12 水	租税教育推進事業表彰式	水 中学校教科研修会(理科) 教育相談等連絡協議会⑥(SV研修③)	水
13 木	県到達度調査(小)実施開始～12/11 第16回教育支援委員会(親子面談⑫西棟3階)	木 授業力アップ研②(小国)【中頭】	木 市町村幼児教育アドバイザー等スキルアップ研修会⑩【義】(オ) 第59回沖縄県公立小中学校教頭会研究大会(中頭) 県学力到達度調査(小～12/11)
14 金	県到達度調査(中)実施開始～12/12	金 学校事務合同会議	金 特別支援教育市町村連絡協議会②【県】 沖縄県養護教諭研修会②【保】 第7回人事担当者会議【人】 第59回沖縄県公立小中学校教頭会研究大会(中頭) 県学力到達度調査(中～12/12) ※県駅伝開会式(那覇・久米島)
15 土		土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
16 日		日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
17 月		月	月
18 火		火	火 教育事務所等外国語担当指導主事連絡協議会⑩【義】(オ:午前)
19 水	情報担当者研修会② 第3回保幼小連携担当者研修会(校長・延長対象)	水 中学校教科研修会(保健体育) 中頭地区幼児教育研究協議会(対面:鳳ホール)	水
20 木	(予備日)教育支援委員会・答申(西棟3階) 市定例校長会⑧(9:00あまわりパーク)	木 初任者研修⑩	木
21 金	市定例教頭会⑤(9:00あまわりパーク) 第3回うるま市ファシリテーション研修③(15:00あまわりパーク)	金	金 沖縄県学力向上推進本部会議②【義】 法定研修合同保育グループ研究会②【セ】 養護教諭初任者研修⑩【セ】 養護教諭5年経験者研修④【セ】 養護教諭中堅教諭等資質向上研修⑧【セ】 第56回沖縄県公民館研究大会(北部大会) 第3金曜日「少年を守る日」
22 土		土	土
23 日		日 勤労感謝の日	日 勤労感謝の日
24 月		月 振替休日	月 振替休日
25 火		火 第1回教育長ヒアリング(予備日)	火 教育事務所指導班長等会議④【義】
26 水		水 第1回教育長ヒアリング① 中学校教科研修会(社会)	水 日本語指導力向上研修会【県】
27 木	(予備日)教育支援委員会・答申(西棟3階)	木 初任者研修⑩ 第1回教育長ヒアリング②	木 校長会役員と行政との連絡会③【義】 沖縄県へき地教育研究大会【義】
28 金		金 第1回教育長ヒアリング(予備日)	金 第8回人事担当者会議【人】 第3回学校・家庭・地域の連携協力推進事業「ゲイター」等研修会【生】 沖縄県情緒障害教育研究大会(てだこホール) 沖縄県へき地教育研究大会【義】 九州地区理科教育研究大会
29 土		土	土
30 日		日	日

【県】:県立学校教育課事業 【義】:義務教育課事業 【保】:保健体育科事業 【生】:生涯学習振興課事業 【人】:学校人事課事業 【働】:働き方改革推進課事業
【総】:総務課事業 【セ】:総合教育センター事業 / 研修形態→対:対面 オ:オンライン研修 デ:オンデマンド研修 / 土:研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【12月】

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1	月	月	月
2	火	火	火
3	水	水	水 教職5年経験者研修担当連絡協議会【義】(オ) 中堅教諭等資質向上研修担当連絡協議会②【義】(オ)
4	木 SSW・校内自立支援員研修会⑩（15:00～）	木 地域特別支援教育総合推進事業運営協議会②	木 教育事務所等教育DX推進担当指導主事連絡協議会②【義】(オ)
5	金 第2回 研究主任研修会（15:15～西3階）	金 新規採用・臨時任用事務職員等研修会⑥	金 法定研修合同保育グループ研究会③【セ】 道徳教育推進連絡協議会・研究委託市町村道徳教育推進連絡協議会【義】 教職員研修調整会議④【県】
6	土	土 県立中学校入学者選抜適性検査	土 県立中学校入学者選抜適性検査 おきなわ県民カレッジ(第10回)
7	日	日	日
8	月	月	月
9	火 校長ヒアリング①	火 児童生徒支援加配連絡会④	火
10	水 校長ヒアリング②	水	水 教育事務所等算数・数学担当指導主事連絡協議会③【義】
11	木 校長ヒアリング③ 県到達度調査（小）の入力バッチ	木	木 教育事務所等国語担当指導主事連絡協議会③【義】(オ) 第41回沖縄県難聴・言語障害教育研究会研究発表会
12	金 校長ヒアリング④ 日本語教育支援員研修会② 県到達度調査（中）の入力バッチ 市小中生徒指導主任・教育相談研修会④（ゆらてく）	金 事務長及び事務主幹研修会 共同学校事務室事務主査会②	金 法定研修合同保育グループ研究会④【セ】 沖縄県特別支援教育研究大会(美咲特支) 教職員研修調整会議(予備日)【県】
13	土	土	土
14	日	日	日
15	月	月 共同学校事務室実践報告会	月
16	火 市定例校長会⑨	火 教育相談員等連絡協議会⑦ スクールカウンセラー連絡協議会②	火
17	水 研究教員中間報告会	水 初任者研修に係る指導教員等連絡協議会③	水 沖縄県社会教育主事専門講座②【生】(オ)
18	木 プログラミングコンテスト表彰式	木	木 第2回学習指導要領の着実な実施に向けた連絡協議会【義】(オ)
19	金	金 おきなわ県民カレッジ(第11回)ライブ配信⑥【生】 第3金曜日「少年を守る日」	金 沖縄県保幼こ小架け橋期のカリキュラム検討会議③【義】(オ) おきなわ県民カレッジ(第11回)ライブ配信⑥【生】 第3金曜日「少年を守る日」
20	土	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」 県立中学校入学者選抜適性検査(追検査)	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」 県立中学校入学者選抜適性検査(追検査)
21	日	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
22	月	月	月
23	火	火	火 おきなわ県民カレッジ生涯学習コーディネーター研修会【生】
24	水 第2回 学力向上支援員研修会（9:00～西3階）	水	水
25	木 2学期終業式	木	木
26	金	金	金
27	土	土	土
28	日	日	日
29	月	月 年末年始休(～1月3日)	月 年末年始休(～1月3日)
30	火	火	火
31	水	水	水

【県】:県立学校教育課事業 【義】:義務教育課事業 【保】:保健体育科事業 【生】:生涯学習振興課事業 【人】:学校人事課事業 【働】:働き方改革推進課事業
【総】:総務課事業 【セ】:総合教育センター事業 / 研修形態→対:対面 オ:オンライン研修 デ:オンデマンド研修 / 主:研修会場→総合教育センター

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1	木	木 元日	木 元日
2	金	金	金
3	土	土	土
4	日	日	日
5	月	月 仕事始め	月
6	火 始業式 第3回特別支援教育支援員（医ケア看護師）研修会	火	火 第9回人事担当者会議【人】
7	水	水	水 県立中学校入学者選抜結果通知期限
8	木 教育支援委員会担当者会（未就学・小中学校） SSW・校内自立支援員研修会①（15:00～）	木	木 県立高校併設型入学希望届提出期限 教育事務所等キャリア教育担当主事連絡協議会③【義】（オ）
9	金	金	金 県立高校併設型入学結果通知期限 教育事務所等幼児教育担当者連絡協議会②【義】（オ）
10	土	土	土
11	日	日	日
12	月	月 成人の日	月 成人の日
13	火	火	火
14	水	水 ○定例教育長会⑥※	水 教育事務所生徒指導担当指導主事会②【義】 学校安全担当指導主事等連絡協議会②【保】（午前） 特別支援教育総合推進事業運営に関する実務者会議②【保】
15	木 市定例校長会⑩	木	木 教育事務所等国語担当指導主事連絡協議会④【義】 英語科授業づくり学習会（中外国語）【義】（オ） 初任者研修担当主事会③【義】（オ） 生涯学習・社会教育行政連絡会【生】
16	金	金 沖縄県指導主事等連絡協議会②【県全】 第3金曜日「少年を守る日」	金 沖縄県指導主事等連絡協議会②【県全】 第10回人事担当者会議【人】 第3金曜日「少年を守る日」
17	土	土 大学入学共通テスト① 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 大学入学共通テスト① 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
18	日	日 大学入学共通テスト② 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 大学入学共通テスト② 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
19	月 教職員評価システム校長面談（最終）①	月	月
20	火 市定例教頭会⑥ キャリア教育担当者研修会③ 教職員評価システム校長面談（最終）②	火	火 県外からの高校入学志願のための許可願提出期限 県立高校特色選抜・一般選抜Web出願（～1/30）
21	水 教職員評価システム校長面談（最終）③	水	水 教育事務所等学力向上担当指導主事連絡協議会②【義】（オ） 沖縄県公立学校働き方改革推進本部に係る作業部会④【人】
22	木 教職員評価システム校長面談（最終）④	木 9年間の学びを繋ぐ小中キャリア教育研修会②（オ） 教育相談等連絡協議会⑤	木
23	金 教職員評価システム校長面談（最終）⑤ 児童会生徒会担当者研修会③	金	金 県立中学校入学確約書提出期限 市町村教育委員会学校支援連絡協議会③【義】（オ） 第67回沖縄県社会教育研究大会（中頭）【生】 第47回沖縄県PTA研究大会（八重山大会）
24	土	土	土
25	日	日	日
26	月	月 授業改善推進教師研修会②	月 学校栄養職員初任者研修【セ】 学校栄養職員初任者研修校長等連絡協議会②【セ】
27	火	火 地区校長研修会⑤	火
28	水	水 小学校英語専科PT及び指導主事補連絡協議会②	水 教育事務所等社会科担当主事連絡協議会③【義】（オ）
29	木	木	木 市町村幼児教育担当者連絡協議会③【義】（オ） 日本語指導教育担当者連絡協議会③【義】（オ）
30	金 うるまのみらい2.0（午後）	金	金 教育事務所等外国語担当指導主事連絡協議会⑤【義】 栄養教諭初任者研修⑦【セ】（オ） 栄養教諭初任者研修校長等連絡協議会②【セ】（オ）
31	土	土	土

【県】：県立学校教育課事業 【義】：義務教育課事業 【保】：保健体育科事業 【生】：生涯学習振興課事業 【人】：学校人事課事業 【働】：働き方改革推進課事業
【総】：総務課事業 【セ】：総合教育センター事業 / 研修形態→対：対面 オ：オンライン研修 デ：オンデマンド研修 / セ：研修会場→総合教育センター

令和7年度うるま市教育委員会事業計画

【2月】

日	うるま市教育委員会	日	中頭教育事務所	日	県教育庁（7課+センター）
1					
2	月 SSW・校内自立支援員研修会⑫（15:00～）	月		月	県立高校願書受付① 県立特支高等部・高支一般入学願書受付①
3	火	火		火	県立高校願書受付② 県立特支高等部・高支一般入学願書受付② 初回志願状況発表
4	水 市定例校長会⑪ 第3回 学推担当者研修会（15:15～西3階）	水		水	教育事務所等算数・数学担当指導主事連絡協議会④【義】（オ）
5	木 市小中生徒指導・教育相談研修会⑤（ゆらてく）	木		木	授業改善推進教師（授業改善アドバイザー）研修会③【義】 小学校英語専科指導教員（FT）連絡協議会③【義】（オ）
6	金	金		金	県立高校志願変更申し出① 県立特支高等部・高支志願変更申し出① 第3回沖縄県公立学校働き方改革推進本部【働】
7	土	土		土	
8	日	日		日	
9	月	月	県立高校志願変更申し出② 県立特支高等部・高支志願変更申し出②	月	県立高校志願変更申し出② 県立特支高等部・高支志願変更申し出②
10	火 就学相談会（4歳児対象）西棟3階	火	児童生徒支援加配連絡会⑤	火	学校・家庭・地域の連携協力推進事業第2回推進委員会【生】 養護教諭初任者研修①【セ】 養護教諭初任者研修校長・指導者等連絡協議会②【セ】（オ） 栄養教諭中堅教諭等資質向上研修⑨【セ】
11	水	水	建国記念の日	水	建国記念の日
12	木 校務支援研修会（教頭）	木	教職3年目研修②	木	県幼児教育アドバイザー等連絡協議会③【義】（対）
13	金 市定例校長会⑫（臨時）	金		金	県立高校連携型選抜結果通知期限 学校運営アドバイザー連絡協議会③【義】 市町村人事担当者会⑤ 第11回人事担当者会議【人】
14	土	土		土	
15	日	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
16	月 第3回 研究主任研修会（15:15～西3階）	月		月	県立高校願書取り下げ・再出願① 県立特支高等部・高支願書取り下げ・再出願①
17	火	火		火	県立高校願書取り下げ・再出願② 県立特支高等部・高支願書取り下げ・再出願② 最終志願状況発表
18	水	水	教職2年目研修③ 第2回教育長ヒアリング①	水	
19	木 情報担当者研修会③	木	中堅教諭等資質向上研修⑧（閉講式） 第2回教育長ヒアリング②	木	
20	金 教育実践グランプリ表彰式（案）（15:00～東大講堂） 市長期研修報告会（案）（15:40～東大講堂）	金	第2回教育長ヒアリング（予備日） 学校事務コーディネーター会議⑤ 第3金曜日「少年を守る日」	金	県立高校連携型入学確約書提出期限
21	土	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
22	日	日		日	
23	月	月	天皇誕生日	月	天皇誕生日
24	火	火	教育相談等連絡協議会⑨	火	
25	水	水	地区校長研修会⑥	水	沖縄県社会教育主事専門講座③【生】（オ）
26	木	木	初任者研修⑫	木	
27	金	金	生徒指導担当指導主事連絡協議会③（午前） 派遣指導主事等研修会②（午後）	金	
28	土	土		土	

【県】：県立学校教育課事業【義】：義務教育課事業【保】：保健体育科事業【生】：生涯学習振興課事業【人】：学校人事課事業【働】：働き方改革推進課事業
【総】：総務課事業【セ】：総合教育センター事業 / 研修形態→対：対面 オ：オンライン研修 デ：オンデマンド研修 / 主：研修会場→総合教育センター

日	うるま市教育委員会	中頭教育事務所	県教育庁（7課+センター）
1 日			日 県立高校卒業式
2 月	SSW・校内自立支援員研修会⑬（15:00～）		月
3 火		火 学推企画委員会④（午前）	火
4 水		水	水 県立高校入学者選抜学力検査1日目 県立特支高等部・高支入学者選抜検査1日目
5 木		木	木 県立高校入学者選抜学力検査2日目 県立高校入学者選抜特別募集検査 県立特支高等部・高支入学者選抜検査2日目
6 金		金	金 教育事務所指導班長等会議⑤【義】 第12回人事担当者会議【人】
7 土	卒業式（中）	土	土
8 日		日	日
9 月		月	月 県立学校入学者選抜学力検査追検査 県立特支高等部・高支入学者選抜追検査
10 火		火 初任者研修に係る次年度説明会	火
11 水	市定例校長会⑬	水 教育相談等連絡協議会⑩	水
12 木	市定例教頭会⑦	木	木
13 金		金	金
14 土		土	土
15 日		日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
16 月		月	月
17 火		火	火 県立高校合格発表 県立特支高等部・高支合格発表
18 水	卒業式（小） 長期研修修了式（案）（午後）	水	水 県立学校2次募集願書受付①
19 木	修了式	木	木 県立学校2次募集願書受付② 2次募集初回志願状況発表
20 金		金 春分の日 第3金曜日「少年を守る日」	金 春分の日 第3金曜日「少年を守る日」
21 土		土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
22 日		日	日
23 月		月	月 県立学校2次募集志願変更再出願 2次募集最終志願状況発表
24 火		火	火 県立学校2次募集書類交換
25 水		水 共同学校事務室事務長会③ 共同学校事務室事務主査会③ 学校事務職員研修会	水
26 木		木	木
27 金		金	金 県立学校第2次募集合格発表
28 土		土	土
29 日		日	日
30 月	校務支援研修会（教頭）	月	月
31 火		火 退職者辞令交付式	火

【県】：県立学校教育課事業 【義】：義務教育課事業 【保】：保健体育科事業 【生】：生涯学習振興課事業 【人】：学校人事課事業 【働】：働き方改革推進課事業
【総】：総務課事業 【セ】：総合教育センター事業 / 研修形態→対：対面 オ：オンライン研修 デ：オンデマンド研修 / 主：研修会場→総合教育センター

20 就学援助事業

目標

生まれ育った環境によって左右されることのないよう、必要な教育を受ける機会の均等を図る取組として、就学援助制度等の拡充に努めます。

1. 就学援助制度

本市では、経済的な理由によって、就学が困難と認められる児童生徒の保護者に、学用品費等の就学上必要な経費の一部を援助する就学援助制度を実施しています。

(1) 援助の対象

次のいずれかに該当する保護者のうち、経済的に困窮しているもの。

- ①うるま市内に住所を有し、市立小中学校に就学する児童生徒又は小学校就学予定者の保護者。
- ②うるま市外に住所を有し、区域外就学を認めた市立小中学校に就学する児童生徒の保護者。
- ③うるま市内に住所を有し、区域外就学を認められた他の地方公共団体又は国立大学法人が設置する小学校又は中学校に就学する児童生徒の保護者。

(2) 援助の内容 ※要保護、区域外就学、県立中学校の児童生徒は支給費目が限られます。

- ① 学用品費
- ② 通学用品費（小・中 1年生除く）
- ③ 校外活動費
- ④ 新入学用品準備金または新入学児童生徒学用品費（いずれか1回）
- ⑤ 修学旅行費
- ⑥ 学校給食費

2. 特別支援教育就学奨励費

(1) 援助の対象

うるま市立小中学校の特別支援学級の児童生徒の保護者又は通常学級に就学する学校教育法施行令第22条の3に該当する児童生徒の保護者。

(2) 援助の内容

市立小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者等に対し、学用品費等の一部を援助。就学援助費目①～⑥について実費のおよそ1/2の額（上限あり）。

3. 関係部署との連携

子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることなく、全ての子どもたちが夢と希望をもって成長していけるよう、各分野で取り組んでいる生活支援や学習支援、家庭支援員による相談業務等を通し、関係部署と連携することにより、就学援助制度の効果的な周知及び利用しやすい環境の整備に努める。

第2節 うるま市教育支援センター

1 うるま市教育支援センターの概要

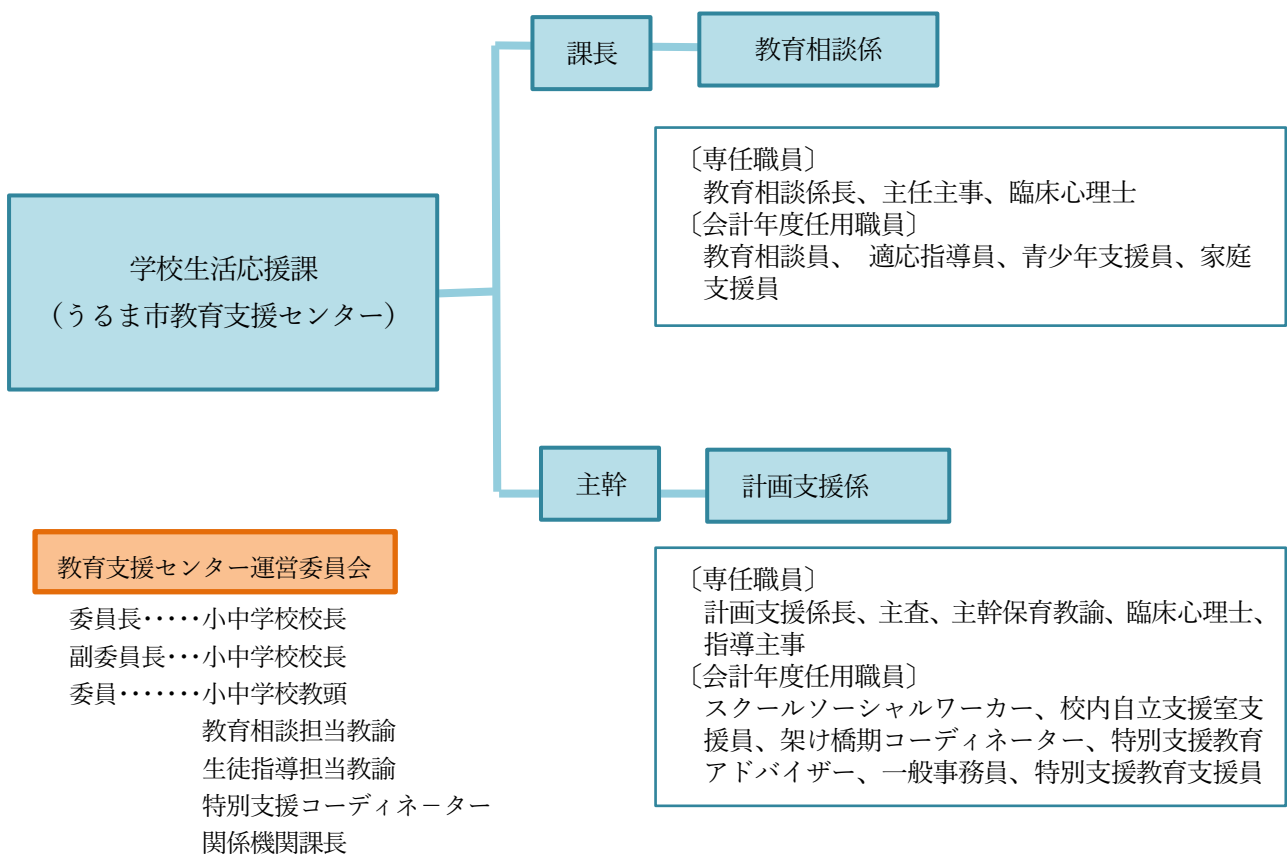
1. 目的

21世紀をたくましく生きる子どもの育成を図るため、不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の定着、基本的な生活習慣の改善等のための相談・適応指導（学習指導を含む。）を行うことにより、その学校復帰を支援し、不登校児童生徒の社会的自立に資することを基本とする。

2. 運営方針

- ①市内の児童生徒及び保護者等の教育上の問題や悩みについて相談に応じ支援する。
- ②適応指導教室、各地区相談室、若者居場所事業の運営の充実に努める。
- ③各教育団体・機関との連携を図る。

3. 運営組織、職員



※任期1年

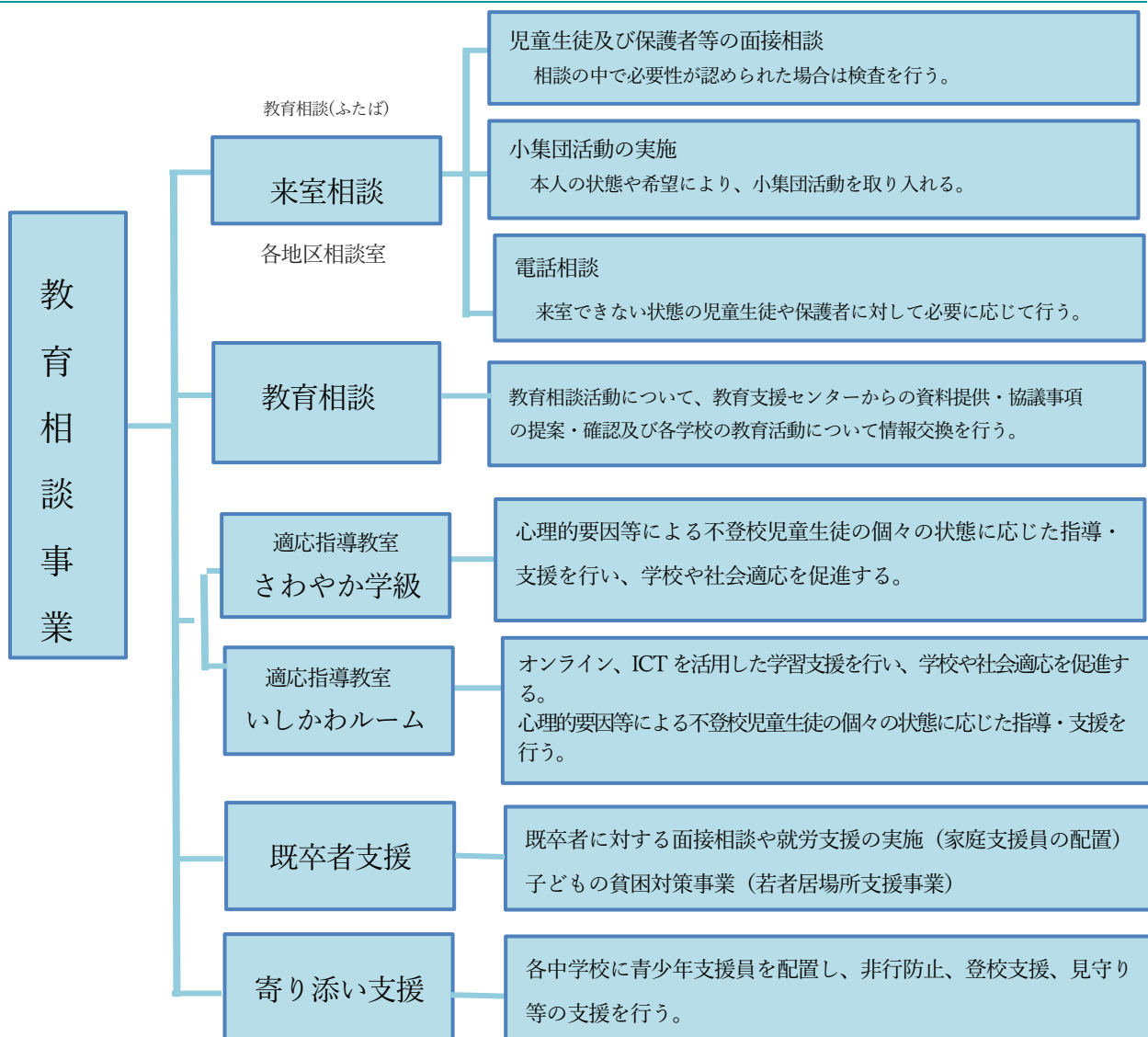
2 事業計画

1. 事業内容

	事業名	内容及び方法等
教育相談係	(1) 教育相談(ふたば)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒及び保護者等への相談支援 ・来所相談 ・小集団活動 ※来所している利用者を中心に小集団活動を実施。
	(2) 教育相談担当者会	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の理解について、教育相談担当者の資質向上を図るための研修を行う。 ・教育相談活動について、教育支援センターからの資料提供・協議事項の提案・確認及び各学校の教育相談活動について情報交換を行う。
	(3) 適応指導教室 【さわやか学級】 【いしかわルーム】	<ul style="list-style-type: none"> ・心理的要因等による不登校の児童生徒への適応指導（主に通級による適応指導、個に応じた体験活動の重視） ・オンライン、ICT を活用した学習支援を行い、学校や社会適応を促進する。
	(4) 既卒者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・既卒者に対する面接相談や就労支援の実施（家庭支援員の配置） ・子どもの貧困対策事業（若者居場所支援事業）
	(5) 寄り添い支援	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校に青少年支援員を配置し、非行防止や登校支援、見守り等の支援を行う。
計画支援係	(1) いじめ・不登校対策	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校の実態把握、スクリーニングシート活用による早期対応、不登校予防施策の立案 ・校内自立支援室支援員、スクールソーシャルワーカーの配置 ・子育て包括支援課等との連携
	(2) 教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等への支援者支援 ・重大・緊急事案への対応
	(3) 特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員及び特別支援教育アドバイザーの配置 ・不登校の実態把握、不登校予防施策等の立案 ・言語聴覚士巡回相談
	(4) 教育支援委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・就学予定者及び就学児童生徒のうち、障がい等により教育上特別な支援を必要とする者の適切な就学を審議する
	(5) 保幼小連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保幼小連携、架け橋プログラム促進事業の実施 ・こども未来部との連携



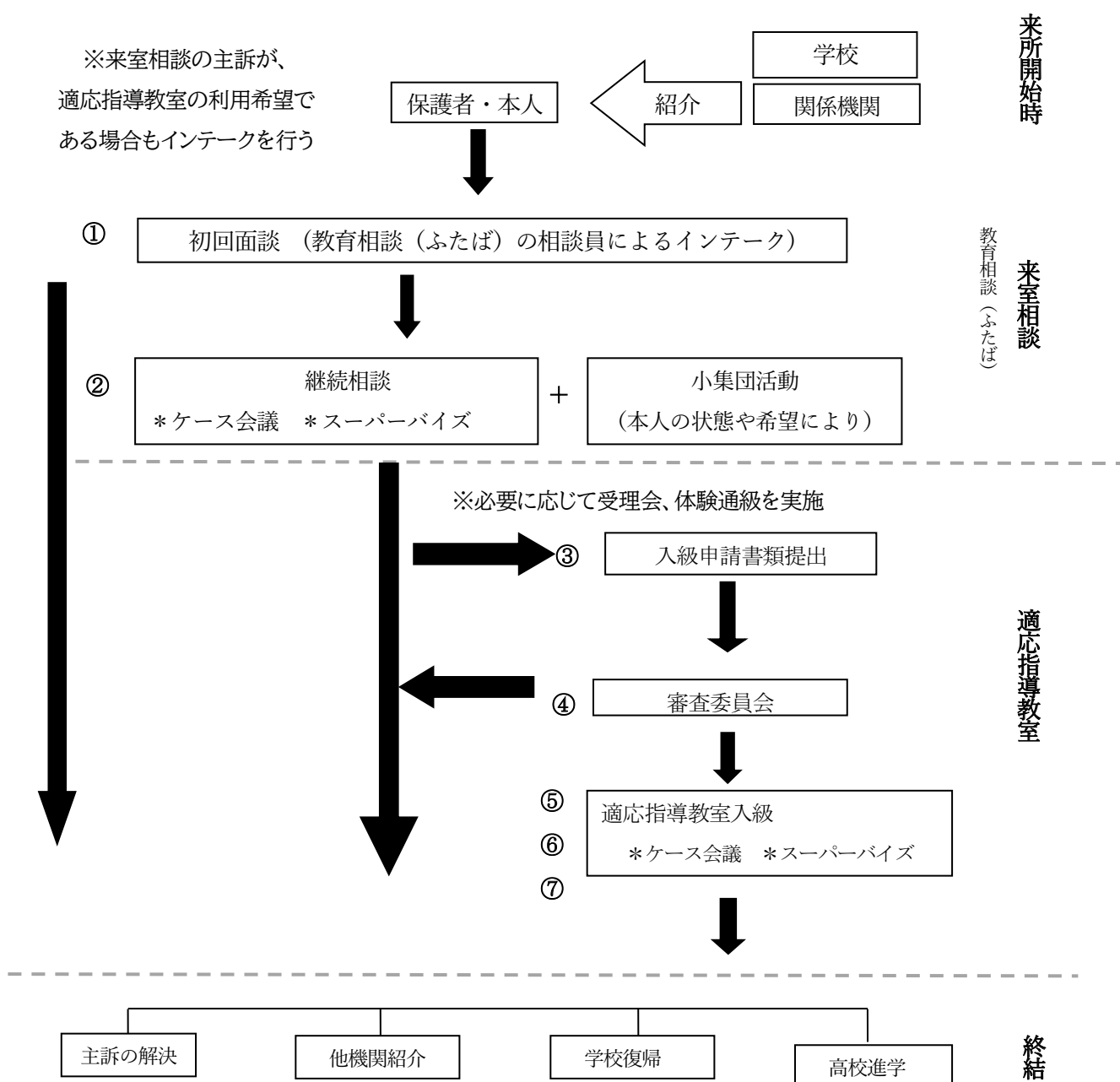
3 教育相談事業の概要



相談対象	相談内容	相談方法
うるま市在住の児童生徒・保護者等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、対人関係、生活行動面に関すること ・登校しぶり、不登校、友人とのトラブル ・反抗的な態度、多動、ぼんやり等 	来室相談※1 毎週月曜日～金曜日（祝祭日除く） 時間 9：00～17：00 場所 各地区教育相談室
※1 来室が困難なケースについては、電話相談を行う。		

相談室	場所
具志川・与勝地区相談室	いちゅい具志川じんぶん館2階 ☎ 098-989-9127 〒904-2203 うるま市字川崎468番地 教育支援センター
石川地区相談室	宮森小学校敷地内 ☎ 098-964-2870 〒904-1106 うるま市石川一丁目46番1号 教育支援センター

4 教育相談（ふたば）から適応指導教室への入級・終結までの流れ



1) 石川地区、具志川・与勝地区でそれぞれ来室相談を行っている。

◆ 相談対象 ◆ うるま市に在住する児童生徒及び保護者

① 初回面談（インテーク）で本人の状態とニーズを確認し支援方針を共有する。
適応指導教室への入級希望であっても、教育相談（ふたば）を経て入級を検討する。学校や他機関からの紹介があっても、すぐに適応指導教室に入級するのではなく、児童生徒が学校復帰する可能性を大切にしている。

- ② 継続的な入級前の来室相談（本人・保護者）を実施する。相談員と場所に慣れてきたら小集団活動へ参加を促す。教育相談（ふたば）で終結に繋がらない場合、適応指導教室への入級を検討する。本人・保護者の入級への要望があることを踏まえつつ、以下のことを確認する。
- ・ 本人の状態の把握 ・ 本人の自己理解 ・ 本人に合った教育環境を話し合う
 - ・ 学校との連携（部分登校、行事参加など） ・ 適応指導教室に対する理解
 - ・ 入級に向けての意思（意欲）及び基本的な生活行動（リズム）の改善
 - ・ 保護者としての支援に関する理解・心づもり・準備（送迎、面談、その他）
- * 現在の入級に至るまでのプロセスについては、入級後の通級がよりスムーズにでき、入級児の成長・発達・変容がより高められる準備期となるものとする。
- ・ 本人、保護者、原籍校長ともに、適応指導教室への入級希望である。
 - ・ 適応指導教室での支援が有効と考えられる児童生徒
- ③ 本人、保護者、原籍校長ともに適応指導教室への入級の希望と確認出来たら、指定の様式「適応指導教室入級申請書」「児童生徒の概要」「適応指導教室入級願い(保護者記入)」(ホームページを参考)を添えて学校から入級申請を行う。
- ・ 教育相談（ふたば）より、入級にあたっての本人の支援計画や配慮点について事前に情報提供を行う
 - ・ 受理会を必要に応じて行う。
 - ・ 適応指導教室の職員及び教室に慣れる期間として体験通級を必要に応じて行う。
- ④ 審査委員会
- 適応指導教室において本人への支援を効果的に行うために、上記の手続きを経た上で、入級審査委員会にて入級の可否の判定を行う。
- 入級決定後、「入級承諾通知書」を原籍校長に通知する。原籍校長から本人・保護者に入級決定の旨を伝える。在籍校においても、引き続き、本人支援や、保護者支援を継続していくことを本人・保護者に伝え、適応指導教室の利用が開始となる。
- ⑤ 段階的指導計画に沿って活動する。
 - ⑥ 個に応じた段階的登校支援を試みる。
 - ⑦ 可能なかぎり学校復帰を試みる。

<入級の期間>

- ・ 入級の期間は学校復帰までとするが、年度3月で退級とする。
- ・ 継続して適応指導教室の支援が必要と認められる児童生徒も、新年度に再度入級の手続きをとる。

★4月、5月は学校対応を主とし、新しい原籍校担任と本人・保護者とのレポートづくりの期間とする。
必要に応じて、適応指導教室職員が支援する。

5 適応指導教室

1. 設置

心理的要因等により登校困難な状態にある児童生徒に対して、集団生活への適応を促し、在籍校への復帰又は将来的な社会的自立を支援するため、適応指導教室を設置する。

2. 名称及び場所

名 称	場 所
さわやか学級	うるま市字川崎468番地 2階
いしかわルーム	うるま市石川一丁目46番1号

3. 組織

うるま市教育支援センター（以下「教育支援センター」という）が主管となって本事業を推進する。

① 適応指導教室「審査委員会」

適切な教室利用を図るため、下記の構成で入級・退級の判定を行う。

※児童生徒の状態によっては入級に関して一旦保留の場合もある。

【審査委員会】

教育支援センター	課長、主幹、教育相談係長、臨床心理士
適 応 指 導 教 室	担任、指導員

② 適応指導教室「協力委員会」

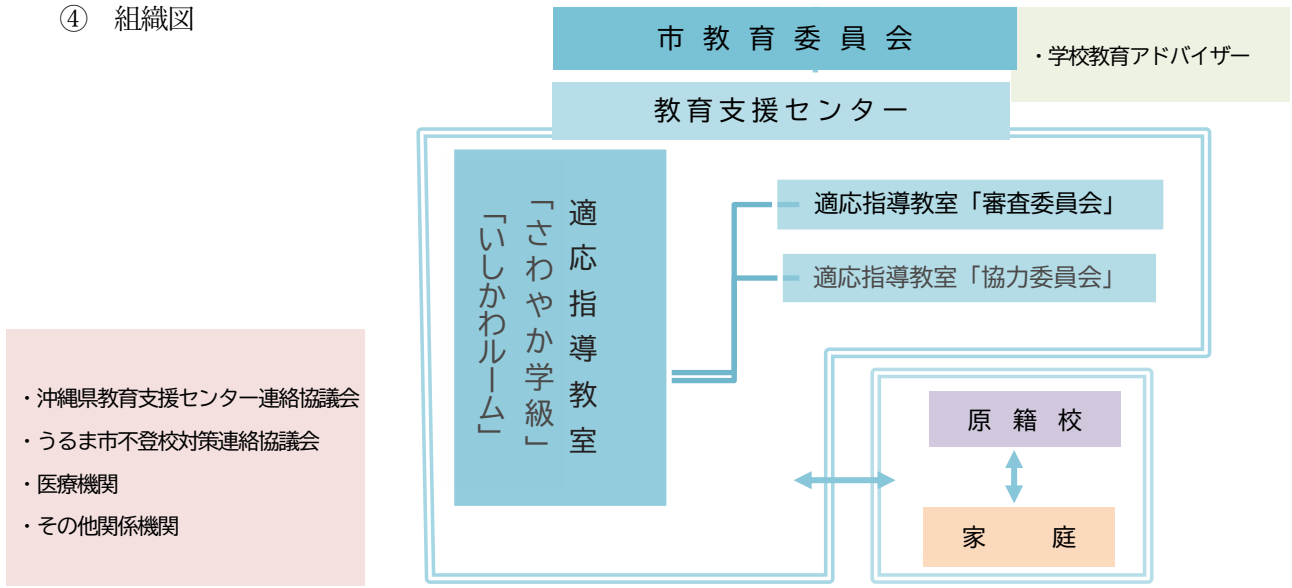
個々の子どもの状態理解および配慮・留意事項を把握・整理した上で、各児童生徒の在籍する学校との具体的な連携について協議する。

【協力委員会】

学 識 経 験 者	学校教育アドバイザー
教育行政関係職員	学校教育部長、学校教育課主幹
学 校 関 係 者	児童生徒の原籍校より校長、担任、教育相談担当教諭・養護教諭等
学校生活応援課 (教育支援センター)	課長、主幹、教育相談係長、臨床心理士、指導主事、適応指導教室担任・指導員

③ 学校教育アドバイザーを配置し必要に応じ助言を行う。

④ 組織図



4. 入級対象児童生徒

うるま市に住所を有し、かつ、小中学校に在籍し、心理的要因等によって登校できない児童生徒で、次の各号のいずれにも該当するものとする。

- (1) うるま市教育支援センターにおいて適応指導教室における指導及び助言が効果的と判断され、かつ通級が可能であるもの
- (2) 不登校児童生徒及び当該不登校児童生徒の保護者が適応指導教室に入級することを希望するもの
- (3) 適応指導教室に入級を希望する児童生徒の在籍する校長が適応指導教室に入級することを認めたもの

5. (入級・退級の決定)

適応指導教室の入級・退級の可否は、教育委員会が決定し、対象児童生徒の在籍する校長へ通知する。



6. 適応指導教室の運営・活動

① 開設期間及び日時

5月～翌年3月中旬

月曜日から金曜日（休業日は公立学校に準ずる。）

8：30～12：00（児童生徒の状況に応じて午後の対応も考慮する。）

② 経営方針

- (1) 安心して過ごせるような教室配置にして、居場所を確保する。
- (2) 児童生徒一人ひとりの気持ちを受容し、情緒の安定を図り、より良い人間関係が築けるよう支援していく。
- (3) 学級の経営や児童生徒の支援方法については、ケース会議及びスーパーバイズを受け、他機関とも連携を図り、指導支援の効果を高めるようにする。
- (4) 児童生徒個々の支援のあり方については、適応指導教室担任・保護者・原籍校関係者が、常に話し合いを持ち、共通理解を図る。

③ 指導・支援の内容

ア、教育相談 イ、体験活動 ウ、学習活動 エ、基本的生活習慣の4本の柱で実施します

めざす子ども像

- 自分の気持ちを表現することができる
- 相手を思いやることができる
- 考えて行動することができる



第3節 学校給食

1 学校給食センターの概要

1. なぜ学校給食があるのでしょうか

小学校へ入学すると、みんな揃って食べる楽しい給食が始まります。学校給食は、お昼の食事を先生や友達と一緒に食べるというふれあいの中で、児童生徒の健康を保持増進し、体力を向上させると共に、豊かな心を育み、心身の健全な発達を促進するための大切な「食育の場」です。

2. 学校給食の7つの目標（学校給食法第2条）

- ① 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- ② 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- ③ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- ④ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ⑤ 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- ⑥ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- ⑦ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

3. 学校給食センター施設

本市における学校給食センターは、共同調理場方式4施設と津堅学校調理場をもって構成され、その総括、管理を第一調理場に置き、うるま市内の小学校18校の児童へ8,702食、中学校10校の生徒へ3,962食、認定こども園2園の園児へ151食、合計12,815食を学校給食として提供しています。

本市教育委員会では、令和5年度教育主要施策において、学校教育の中で「健やかな心と体を育む教育の充実」を掲げ、学校給食を通して児童生徒への食に関する指導を充実するとともに、食の安全・安心・信頼性の確保に努めるとしています。

そのため、本市学校給食センターでは、特色ある学校給食を目指し、児童生徒の望ましい食習慣の形成に向け、学校と連携しながら食育授業を展開しています。

また、安全・安心で栄養バランスの摂れた給食を提供するとともに、沖縄の年中行事食を取り入れた献立、地元食材を活用した地産地消の充実を図り、食育の普及・啓発を推進しています。

さらに、学校給食センターの安定的な運営を行うため、津堅学校調理場を除く4つの共同調理場において調理等業務を委託しており、与勝調理場においては、令和5年6月よりアレルギー対応除去食の給食提供を開始しております。

今後、老朽化を主な課題とする石川学校給食センターと第二調理場は統合し、アレルギー対応除去食の提供を可能とする、新調理場の整備に取り組んでおります。また、第一調理場につきましては、アレルギー対応除去食の給食提供に向け、アレルギー室の改修整備に取り組んでおります。



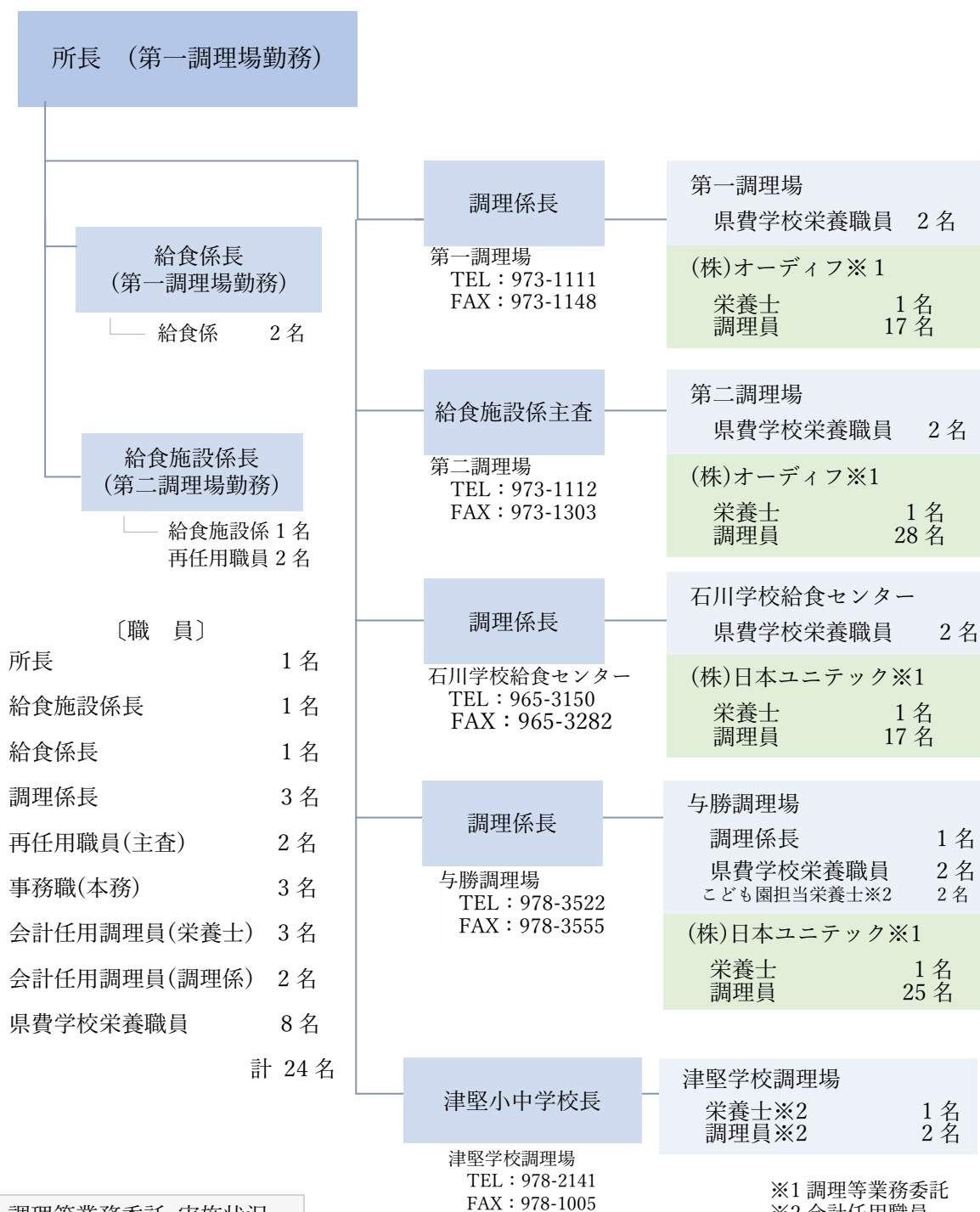
2 給食センター別 学校給食児童生徒・職員一覧表

令和7年5月1日現在

調理場	学校	児童生徒	職員	計
第一調理場	あげな中学校	782	53	835
	具志川中学校	705	49	754
	高江洲中学校	532	41	573
	具志川東中学校	490	38	528
	給食センター	—	25	25
	第一調理場 計	2,509	206	2,715
第二調理場	川崎小学校	387	31	418
	天願小学校	784	48	832
	あげな小学校	513	38	551
	田場小学校	888	55	943
	具志川小学校	290	26	316
	兼原小学校	664	42	706
	中原小学校	846	49	895
	赤道小学校	625	44	669
	給食センター	—	35	35
	第二調理場 計	4,997	368	5,365
石川学校給食センター	石川中学校	403	30	433
	伊波中学校	356	35	391
	中学校 小計	759	65	824
	宮森小学校	420	29	449
	城前小学校	382	30	412
	伊波小学校	782	52	834
	給食センター	—	21	21
	小学校 小計	1,584	132	1,716
	石川学校給食センター 計	2,343	197	2,540
与勝調理場	彩橋中学校	51	22	73
	与勝中学校	546	46	592
	与勝第二中学校	91	19	110
	中学校 小計	688	87	775
	彩橋小学校	92	8	100
	与那城小学校	477	35	512
	南原小学校	266	27	293
	勝連小学校	315	27	342
	平敷屋小学校	181	20	201
	高江洲小学校	785	49	834
	給食センター	—	31	31
	小学校 小計	2,116	197	2,313
	与那城こども園	86	26	112
	赤道こども園	65	25	90
こども園 小計	151	51	202	
	与勝調理場 計	2,955	335	3,290
津堅学校調理場	津堅小学校	5	—	5
	津堅中学校	6	13	19
	給食センター	—	3	3
	津堅学校調理場 計	11	16	27

区分	児童生徒	職員	計
小学校	8,702	610	9,312
中学校	3,962	346	4,308
こども園	151	51	202
給食センター	—	115	115
総合計	12,815	1,122	13,937

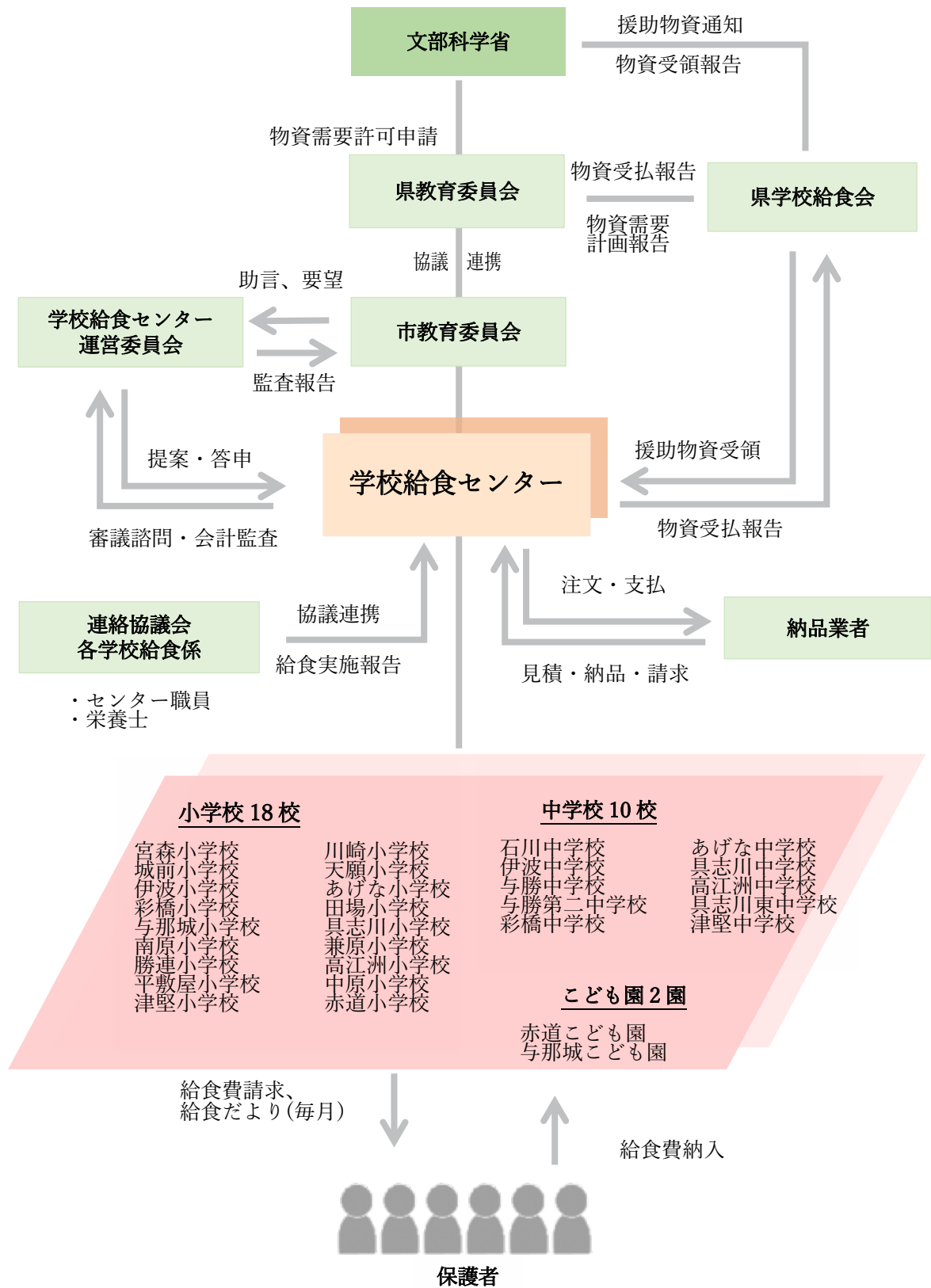
3 うるま市立学校給食センター組織図



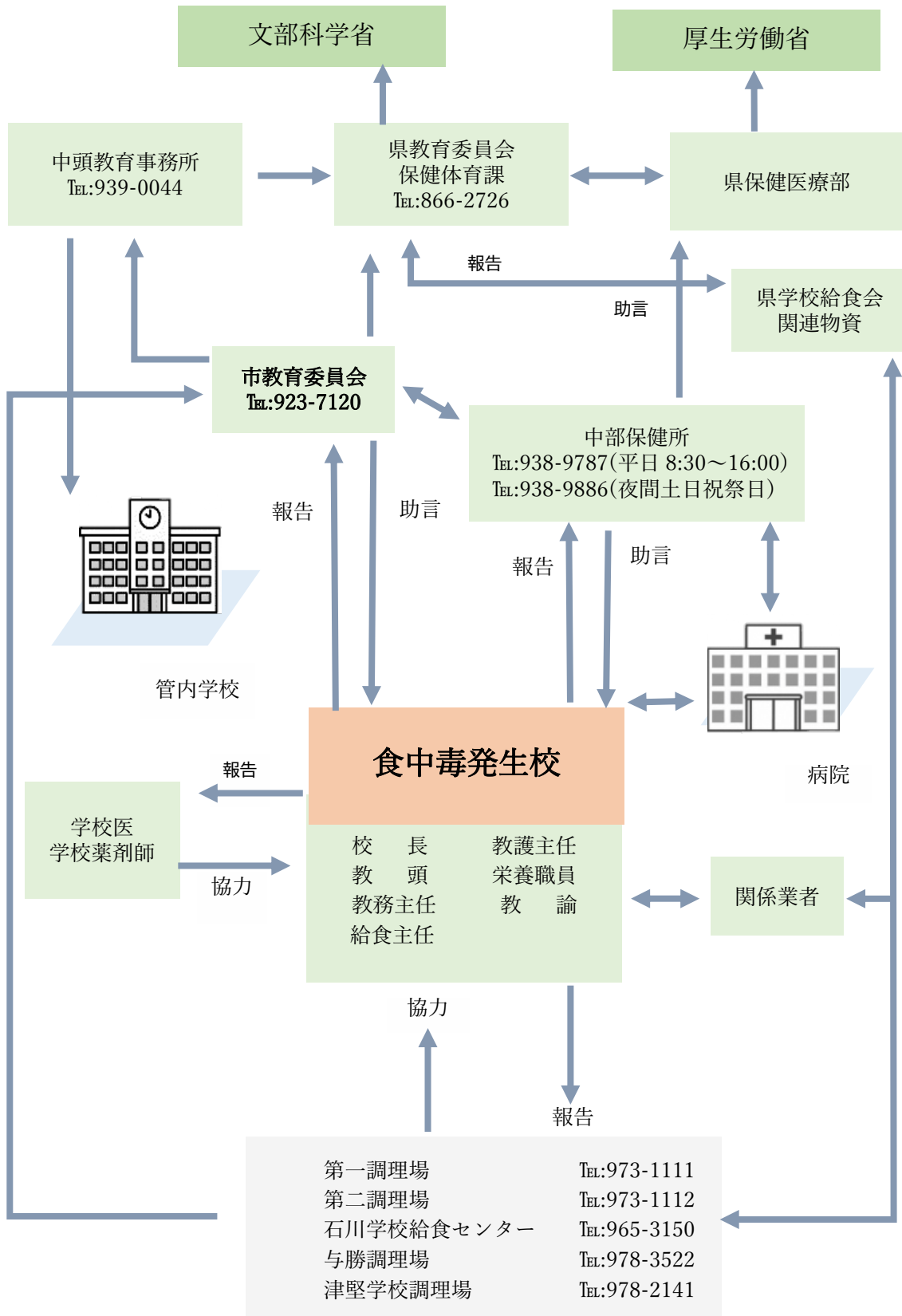
調理等業務委託 実施状況	
H27	第二調理場
H28	石川学校給食センター
H30	第一調理場
R4	与勝調理場



4 うるま市立学校給食センター機構図



5 食中毒発生時の緊急通報体制



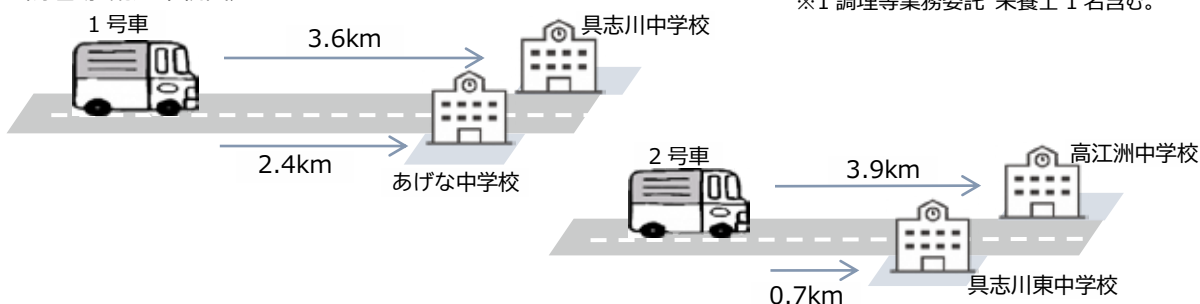
6 各学校給食センター

① うるま市立学校給食センター 第一調理場



所在地	〒904-2213 うるま市字田場 709-1 TEL:(098)973-1111 FAX:(098)973-1148
敷地面積	3,972 m ²
施設面積	1,326 m ²
工事竣工	平成 16 年 7 月
調理能力	3,000 食
給食実施年月	平成 16 年 9 月
職員構成	所長 1 名、給食係長 1 名、調理係長 1 名 係員 2 名 学校栄養職員 2 名 調理員 18 名※1 計 25 名

〔第一調理場 配送系統図〕



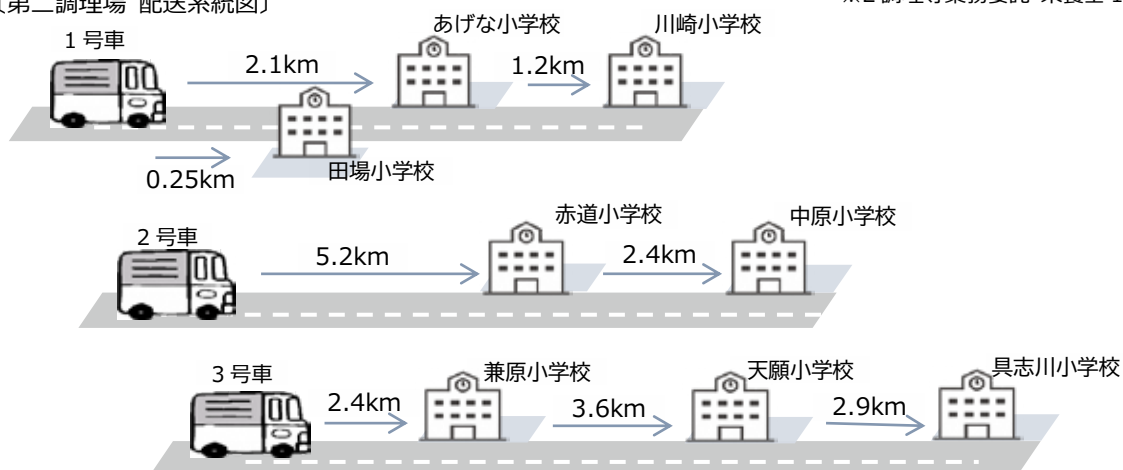
※1 調理等業務委託 栄養士 1 名含む。

② うるま市立学校給食センター 第二調理場



所在地	〒904-2213 うるま市字田場 850 TEL:(098)973-1112 FAX:(098)973-1303
敷地面積	4,552.99 m ²
施設面積	984.74 m ²
工事竣工	昭和 59 年 7 月
調理能力	6,000 食
給食実施年月	昭和 59 年 9 月
職員構成	給食施設係長 1 名、係員 3 名※1 学校栄養職員 2 名、 調理員 29 名※1 計 35 名

〔第二調理場 配送系統図〕



※1 再任用職員 2 名含む。
※2 調理等業務委託 栄養士 1 名含む。

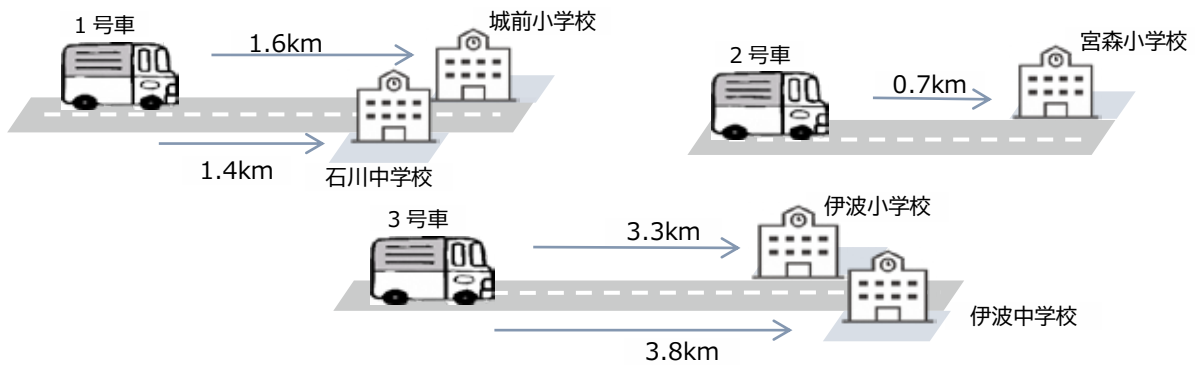
③ うるま市立石川学校給食センター



所在地	〒904-1103 うるま市石川赤崎 1-3-2 TEL:(098)965-3150 FAX:(098)965-3282
敷地面積	2,355 m ²
施設面積	908 m ²
工事竣工	昭和 57 年 6 月
調理能力	3,000 食
給食実施年月	昭和 57 年 9 月
職員構成	調理係長 1 名 学校栄養職員 2 名、 調理員 18 名※1 計 21 名

※1 調理等業務委託 栄養士 1 名含

〔石川学校給食センター 配送系統図〕



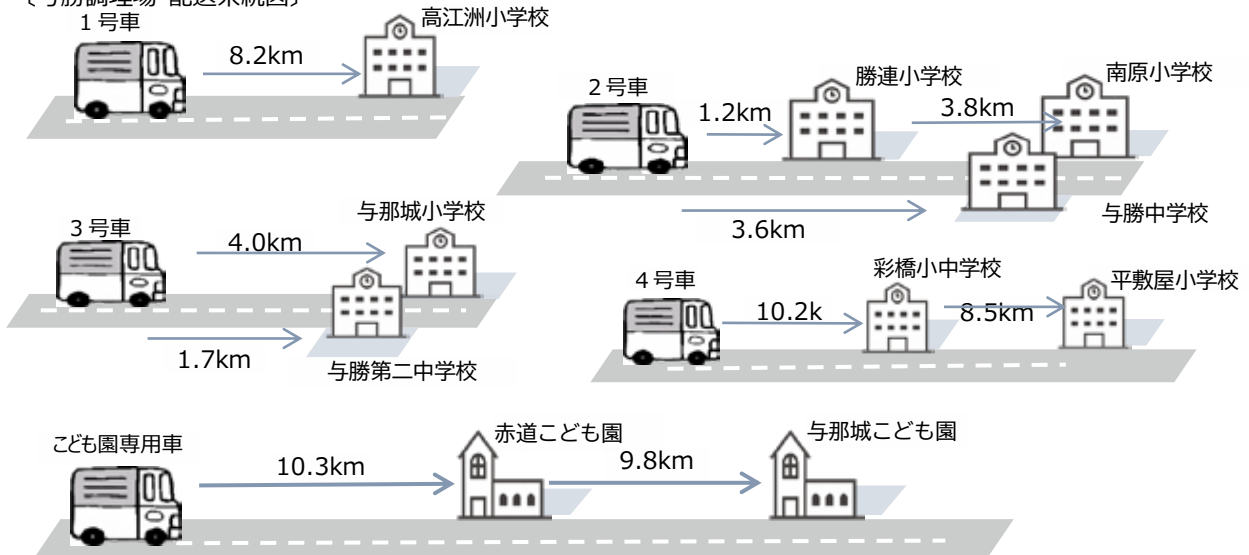
④ うるま市立学校給食センター 与勝調理場



所在地	〒904-2307 うるま市与那城饒辺 231 TEL:(098)978-3522 FAX:(098)978-3555
敷地面積	2,973.38 m ²
施設面積	1,930.64 m ²
工事竣工	令和 4 年 7 月
調理能力	3,500 食
給食実施年月	令和 4 年 8 月
職員構成	調理係長 1 名、学校栄養職員 2 名、 市会計任用栄養士こども園担当 2 名、 調理員 26 名※1 計 31 名

※1 調理等業務委託 栄養士 1 名含む。

〔与勝調理場 配送系統図〕



⑤ うるま市立津堅学校調理場



所在地	〒904-2317 うるま市勝連津堅 1327 TEL:(098)978-2141 FAX:(098)978-1005
敷地面積	192㎡ ※ランチルームを含む
施設面積	73㎡
工事竣工	平成 21 年 3 月
調理能力	100 食
給食実施年月	平成 21 年 4 月
職員構成	市会計任用栄養士 1 名、 会計任用調理員 2 名、計 3 名

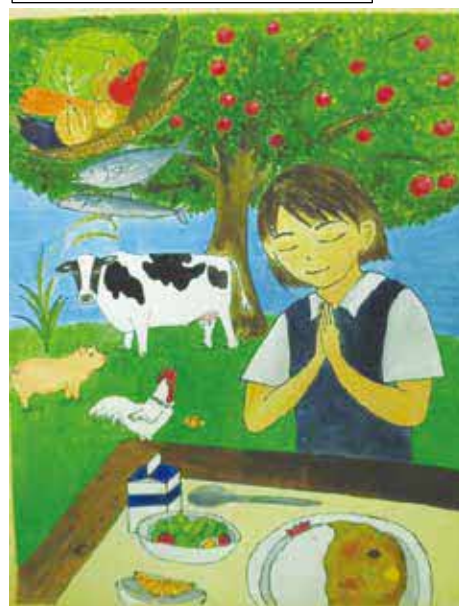
※学校敷地内調理場のため、調理場からランチルームへ。

*** 令和 6 年度学校給食ポスター 最優秀賞作品 10 作品より抜粋 ***

中原小 2 年 稲福 希唯



与勝中 1 年 安里 柚乃



あげな小 1 年 花城 梨寿



平敷屋小 4 年 喩 かや



第5章 学校教育施設



第1節 学校教育施設

1 学校施設整備の基本的な考え方

1. 施設整備の現状と課題

うるま市は平成17年4月の合併に伴って市域面積が広くなり学校数も増加しましたが、島しょ域における複式学級解消のために統廃合を実施し、平成24年4月には彩橋小中学校が誕生しました。現在では、小学校18校、中学校10校、幼稚園2園（休園中）となっております。

本市は、校舎等の建築年が昭和40年代後半から昭和50年代前半の老朽化した危険校舎等を優先的に施設整備を行ってきました。さらに、耐力度調査や耐震診断調査結果を基に策定している耐震化施設整備計画に沿って取り組んできた結果、令和7年4月末現在、学校施設の耐震化率100%を達成しております。

2. 施設整備の方針

本市の総合計画に掲げる「児童生徒が安全・安心で良好な環境の中で学ぶことができるよう、学校における施設・設備の適切な維持管理や計画的な改修・改築を行います。」の観点から教育環境整備の推進に向け、下記のとおり取り組んでまいります。

多目的スペースや新世代型学習空間、少人数教室の設置は、今日までの一斉画一授業の形態から、学習の個別化・個性化を重視したものです。個別化学習によって、子どもが自らの学習課題を見つけ、その課題を解決する課程で、創造性を発揮させ、学習に対する成就感・満足感を味わうことにより、次の目標に向かって挑戦する意欲となり、主体的学習活動を展開していくことができます。

また、近年の社会情勢は、科学技術の高度化を背景とした情報手段の急速な発展、情報化の進展等社会変化は著しいものがあります。

教育方法の多様化に伴い生徒による選択科目の増加、習熟度別学習、少人数学習、コンピュータ学習、総合学習など、ICTの活用、省エネ、バリアフリー、ユニバーサルデザインを学校建築の常識として定着してきており、今後の学校指導体制や本市の施設整備方針として新しい学習環境を構築する必要があります。

多目的スペースや普通教室、少人数教室の配置は、隣接する教室との音の問題を回避できる空間造りを最重要視して、学年ユニット型のスペースを快適で水準の高い本質的な意味での空間計画へと引き上げていきます。

また、学校建築の計画の立脚点を児童・生徒の学校における学習・生活の場として、学校に対する地域社会のニーズに置くべきと考えることから、地域社会との共生を重視します。

学校は、児童・生徒の学習、生活の場として1日の大半を過ごすことから、安全で快適な居住感が求められ、豊かな人間性を育む教育環境の場であるとともに、非常災害時には、地域住民の応急避難場所ともなることから、その安全性の確保は極めて重要です。

児童・生徒が安全で安心して学べる施設として、また、地域からも親しめる各学校の特色が生かせる施設として、学校施設整備に取り組んでいきます。

3. 今後の取り組み

これまで学校施設整備を計画的に進めてきましたが、まだまだ老朽化や狭隘化している校舎等があり、今後も校舎改築整備計画と学校施設長寿命化計画に基づく改修整備に取り組んでまいります。

現在、学校施設整備の取り巻く環境は、厳しい市財政の状況下にあります。明日を担う人づくりに欠かせない安全な学習環境を確保するために、関係機関とも密接に連携を図りながら施設整備・維持管理（「予防保全」型の管理への転換）の充実強化を推進してまいります。

2 校舎等保有状況

令和6年5月1日現在

学校名称	児童生徒数		学級数		校舎						
	普通	特別支援	普通	特別支援	必要面積 ㎡	保有面積 ㎡			達成率	整備資格面積 ㎡	
						R C造	木造	その他			計
宮森小学校	389	15	13	5	5,791	5,622	-	-	5,622	97.07%	169
城前小学校	368	20	13	5	5,791	6,184	-	-	6,184	106.78%	
伊波小学校	721	58	25	12	9,708	7,516	-	-	7,516	77.42%	2,192
彩橋小学校	90	11	6	2	2,804	1,751	-	-	1,751	62.45%	1,053
与那城小学校	422	32	15	7	6,225	5,647	-	-	5,647	90.72%	578
南原小学校	253	13	12	4	5,045	4,606	-	-	4,606	91.30%	439
勝連小学校	287	22	12	5	5,571	5,379	-	-	5,379	96.56%	192
平敷屋小学校	182	15	7	3	3,208	3,614	-	-	3,614	112.66%	
津堅小学校	2	-	1	-	769	1,340	-	-	1,340	174.25%	
川崎小学校	341	41	12	6	5,417	4,356	-	-	4,356	80.41%	1,061
天願小学校	733	53	26	8	8,563	8,258	-	-	8,258	96.44%	305
あげな小学校	462	29	16	6	6,246	5,469	-	-	5,469	87.56%	777
田場小学校	822	68	28	10	9,924	7,374	-	-	7,374	74.31%	2,550
具志川小学校	282	17	12	4	4,553	5,806	-	-	5,806	127.52%	
兼原小学校	609	41	22	7	6,868	6,907	-	-	6,907	100.57%	
高江洲小学校	677	62	24	11	9,305	6,770	-	-	6,770	72.75%	2,535
中原小学校	819	33	27	5	8,728	7,359	-	-	7,359	84.31%	1,369
赤道小学校	554	43	19	7	7,492	7,090	-	-	7,090	94.64%	402
小学校計	8,013	573	290	107	112,008	101,048	-	-	101,048		13,622
石川中学校	375	37	12	6	6,659	6,814	-	-	6,814	102.33%	
伊波中学校	328	16	11	3	5,862	5,264	-	-	5,264	89.80%	598
彩橋中学校	36	11	3	2	2,486	2,147	-	-	2,147	86.36%	339
津堅中学校	6	1	2	1	1,667	1,145	-	-	1,145	68.69%	522
与勝中学校	515	35	16	6	7,489	6,927	-	-	6,927	92.50%	562
与勝第二中学校	76	4	3	2	2,486	3,176	-	-	3,176	127.76%	
あげな中学校	762	30	23	5	8,694	6,854	-	-	6,854	78.84%	1,840
具志川中学校	662	36	20	6	8,321	7,872	-	-	7,872	94.61%	449
高江洲中学校	528	23	15	4	6,815	4,655	-	-	4,655	68.31%	2,160
具志川東中学校	477	23	15	4	6,815	6,185	-	19	6,204	91.04%	611
中学校計	3,765	216	120	39	57,293	51,039	-	19	51,058		7,080
小・中学校合計	11,778	789	410	146	169,301	152,087	-	19	152,106		20,702
津堅幼稚園	-	-	-	-	-	203	-	-	203	-	-
高江洲幼稚園	-	-	-	-	-	811	-	-	811	-	-
幼稚園計	-	-	-	-	-	1,014	-	-	1,014		-

3 屋内運動場及び水泳プール・柔剣道場・部室保有状況

令和6年5月1日現在

学校名称	屋内運動場				水泳プール		柔剣道場	部室
	必要面積 ㎡	保有面積 ㎡	整備資 格面積 ㎡	達成率 %	保有面積 (㎡)		保有面積 ㎡	保有面積 ㎡
					水面積	更衣室		
宮森小学校	1,215	1,214	1	99.92%	400	159		
城前小学校	1,215	1,549	-	127.49%	400	181		
伊波小学校	1,215	1,255	-	103.29%	400	201		
彩橋小学校	894	633	261	70.81%		25		
与那城小学校	1,215	1,251	-	102.96%	400	138		
南原小学校	1,215	1,050	165	86.42%	400	193		
勝連小学校	1,215	1,215	-	100.00%	400	198		
平敷屋小学校	894	1,081	-	120.92%	400	191		
津堅小学校	894	797	97	89.15%	400	146		
川崎小学校	1,215	986	229	81.15%	400	99		
天願小学校	1,215	1,256	-	103.37%	400	122		
あげな小学校	1,215	931	284	76.63%	400	127		
田場小学校	1,215	1,232	-	101.40%	400	121		
具志川小学校	1,215	919	296	75.64%	400	120		
兼原小学校	1,215	1,252	-	103.05%	400	157		
高江洲小学校	1,215	1,327	-	109.22%	400	171		
中原小学校	1,215	1,262	-	103.87%	400	300		
赤道小学校	1,215	1,065	150	87.65%	400	155		
小学校計	20,907	20,275	1,483	97%	6,800	2,804	-	-
石川中学校	1,476	1,690	-	114.50%	400	270		427
伊波中学校	1,138	1,320	-	115.99%	400	182	365	288
彩橋中学校	1,138	1,005	133	88.31%	400	26	227	
津堅中学校	1,138	243	895	21.35%				
与勝中学校	1,476	2,333	-	158.06%	400	196	350	150
与勝第二中学校	1,138	1,508	-	132.51%	400	179		104
あげな中学校	1,476	1,476	-	100.00%	400	217	360	350
具志川中学校	1,476	1,516	-	102.71%	400	224	356	228
高江洲中学校	1,476	1,205	271	81.64%	325	331	350	350
具志川東中学校	1,138	1,286	-	113.01%	350	685	350	350
中学校計	13,070	13,582	1,299	104%	3,475	2,310	2,358	2,247
合計	33,977	33,857	2,782	100%	10,275	5,114	2,358	2,247

4 教室保有状況

令和6年5月1日現在

学校名称	普通教室			特別教室			特別教室の保有内訳												進路資料・指導
	必要数	保有数	不足数	必要数	保有数	不足数	理科	生活	音楽	図画・美術	技術	家庭	外国語	視聴覚	コンピュータ	図書館	特別活動	教育相談	
宮森小学校	18	18		11	14		1	1	1			1	1		1	1	5	2	
城前小学校	18	18		11	14		1	2	1			1	1			1	6	1	
伊波小学校	37	36	1	14	10	4	2		1			1		1		1	3	1	
彩橋小学校	8	6	2	8	2	6	1					1							
与那城小学校	22	22		11	9	2	1	1	1			1	1			1	2	1	
南原小学校	16	16		10	9	1	1	1	1	1		1				1	2	1	
勝連小学校	17	17		10	15		1		1			1			1	1	8	2	
平敷屋小学校	10	10		8	10		1		1			1			1	1	4	1	
津堅小学校	1	1		4	8		1		1								5	1	
川崎小学校	18	18		11	8	3	1		1			1				1	3	1	
天願小学校	34	31	3	14	11	3	2		2	1		1				1	2	2	
あげな小学校	22	23		11	7	4	1		2	1		1				1		1	
田場小学校	38	33	5	14	12	2	2		2			1				1	5	1	
具志川小学校	16	18		10	15		1		1			1	1			1	7	3	
兼原小学校	29	29		12	7	5	2		1			1				1	1	1	
高江洲小学校	35	33	2	14	7	7	2		1			1				1		2	
中原小学校	32	31	1	14	11	3	2		2	1		1				1	3	1	
赤道小学校	26	26		12	14		2	1	1			1	1		1	1	4	2	
小学校計	397	386	14	199	183	40	25	6	21	4	0	17	5	1	4	16	60	24	0
石川中学校	18	18		15	17		2		2	1	1	2				1	8		
伊波中学校	14	15		15	14	1	2		1	1	1	2		1	1	1	2	2	
彩橋中学校	5	4	1	10	6	4	1		1	1	1					1		1	
津堅中学校	3	4		10	6	4				1	1	1			1	1			1
与勝中学校	22	24		15	12	3	3		2	1	1	2				1	1		1
与勝第二中学校	5	4	1	10	17		1		1	1	1	2	1		1	1	6	2	
あげな中学校	28	29		17	20		3		2	2	2	2				1	6	2	
具志川中学校	26	28		17	22		2		2	2	2	2		1	1	1	5	3	1
高江洲中学校	19	19		15	11	4	2		1	1	1	2				1	3		
具志川東中学校	19	19		15	21		2		2	1	1	2		1	1	2	6	2	1
中学校計	159	164	2	139	146	16	18	0	14	12	12	17	1	3	5	11	37	12	4
合計	556	550	16	338	329	56	43	6	35	16	12	34	6	4	9	27	97	36	4

5 学校敷地の実態

令和6年5月1日現在

学校名称	建物敷地	屋外運動場 m ²		実験実習地 その他 m ²	敷地合計 m ²	左のうちの借用地 m ²			備考
	m ²	基準	敷地			建物敷地	運動場敷地	その他	
宮森小学校	8,654	4,040	5,902	5,506	20,062	535		2,240	
城前小学校	11,650	3,880	5,441		17,091	1,486			
伊波小学校	10,128	7,200	7,553	6,156	23,837				
彩橋小学校	0	2,400	0		0				彩橋中学校に計上
与那城小学校	14,665	4,540	8,965	141	23,771				
南原小学校	2,932	2,660	7,660		10,592				
勝連小学校	6,816	3,090	4,296	1,206	12,318				
平敷屋小学校	6,131	2,400	8,739		14,870				
津堅小学校	9,575	2,400	6,770		16,345		197		
川崎小学校	10,785	3,820	6,808		17,593			134	借地は学校敷地外
天願小学校	14,157	7,200	9,547		23,704	10,126	109		
あげな小学校	9,312	4,910	5,812		15,124				
田場小学校	18,937	7,200	7,533		26,470				
具志川小学校	10,712	2,990	0	5,742	16,454				
兼原小学校	12,060	6,500	7,113		19,173				
高江洲小学校	8,516	7,200	6,518	2,921	17,955				
中原小学校	13,172	7,200	7,504		20,676				
赤道小学校	11,138	5,970	8,368	6,878	26,384				
小学校計	179,340	42,400	114,529	28,550	322,419	12,147	306	2,374	
石川中学校	16,287	5,320	9,322		25,609	3,445	656		
伊波中学校	11,829	4,640	9,682		21,511				
彩橋中学校	11,152	3,600	7,587		18,739				
津堅中学校	0	3,600	0		0				津堅小学校に計上
与勝中学校	14,402	6,700	10,487	5,710	30,599				
与勝第二中学校	11,480	3,600	8,629		20,109				
あげな中学校	9,281	8,400	14,068		23,349	1,555			
具志川中学校	15,755	8,180	11,009	1,101	27,865				
高江洲中学校	9,262	6,710	6,253	2,874	18,389				
具志川東中学校	17,948	6,200	12,581		30,529				
中学校計	117,396	37,750	89,618	9,685	216,699	5,000	656	0	
合計	296,736	80,150	204,147	38,235	539,118	17,147	962	2,374	

6 学校夜間開放事業実施校一覧表（令和7年度実施校）

地区	学校名	学校体育施設（開放施設）	
		体育館	運動場
具志川	天願小学校	○	
	あげな小学校	○	
	田場小学校	○	○
	具志川小学校	○	
	高江洲小学校	○	
	中原小学校	○	
	赤道小学校	○	
	あげな中学校	○	○
	具志川中学校	○	○
	高江洲中学校	○	
	具志川東中学校	○	
石川	城前小学校	○ ※9月より利用予定	
	伊波小学校	○	
	石川中学校	○	
	伊波中学校	○ ※8月まで利用予定	○
勝連・与那城	与那城小学校	○	
	与勝中学校	○	

開放の施設及び日時

開放校	施設	曜日	時間
市内小中学校	体育館	月曜日～日曜日	20:00～22:00
	運動場		

※うるま市教育委員会の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則に基づき、うるま市経済産業部スポーツ課が補助執行



第6章 生涯学習



第1節 生涯学習振興

1 基本方針

市民一人ひとりが、生涯を通して生きがいのある心豊かな生活が送れるよう、学習環境を整備し、市民の多様なニーズに応じた生涯学習を支援するとともに、社会教育関係団体の助言・育成に努め、世代を超えて学び合う生涯学習のまちづくりを推進する。

2 重点目標

- ① 生涯学習推進体制の拡充と基盤整備
- ② 生涯学習機会の拡充
- ③ 社会教育関係団体の助言・育成
- ④ 青少年健全育成活動の推進
- ⑤ 家庭・地域の教育力の向上
- ⑥ 地域学校協働活動推進事業の推進
- ⑦ 放課後子ども教室推進事業の推進

3 主要施策

1. 生涯学習推進体制の拡充と基盤整備

生涯学習社会の実現をめざすため、生涯にわたる学習活動を推進し、生涯学習の視点に立って学校教育、家庭教育、社会教育それぞれの教育機能を充実させると共に、市長部局との連携・協力のもと、市民の多様な学習活動のための施策が展開できるよう基盤整備を図る。

- ① 生涯学習まちづくりの推進
- ② 生涯学習施設の整備・充実

2. 生涯学習機会の拡充

生涯学習は、各人が自発的意志に基づき、自主的に行なうことを基本とするものであり、必要に応じ、自己に適した手段、方法を自ら選んで生涯にわたって行うものである。生涯学習情報の発信等広報活動の充実と強化を図るとともに、生涯学習フェスティバルや各種学習活動を開催し、「いつでも、どこでも、だれでも」学べる学習機会の拡充をはかり、市民一人ひとりが生きがいのある豊かな人生を過ごすことができるよう、生涯学習の充実に努める。

- ① 生涯学習フェスティバルの開催
- ② シニア大学事業の開催
- ③ 生涯学習講座の実施

3. 社会教育関係団体への助言・育成

少子高齢化の進展、地域の人間関係の希薄化、家庭や地域の教育力の低下など多様な地域課題のなかで、社会教育団体の役割はますます重要となっている。社会教育の充実、社会教育団体の活動を支えるため、行政は団体の求めに応じ助言、支援を行う。また、人材育成は行政のみならず、団体・個人が連携協働し取り組む。

4. 青少年健全育成活動の推進

青少年は、自然とのふれあいや仲間との活動等生活体験をとおして主体的に考える能力や望ましい人間関係、困難に立ち向かう意志等を身につけていくものである。社会の構成員としての規範意識や社会性、命を大切に、他人を思いやる豊かな人間性を育むためにも発達段階に応じた活動の機会を充実させることが重要である。

各自治会、市青連、市P連、市子連など関係団体との連携、人材や各種施設等地域資源の活用を図りつつ、青少年の奉仕活動、自主的な体験学習や社会参加活動、夜間パトロール等を促進し健全育成に努める。

- ① 青少年の奉仕活動・体験活動の推進
- ② 放課後子ども教室実施の推進
- ③ 子ども会ジュニア・シニアリーダーの育成
- ④ 少年ふれあい事業の実施
- ⑤ 各種機関・団体との連携強化
- ⑥ 街頭指導
- ⑦ その他青少年健全育成事業

5. 家庭・地域の教育力の向上

家庭は、基本的な生活習慣・生活能力、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的なマナー、自制心や自立心など「生きる力」を育成するすべての教育の出発点である。

基本的な生活習慣や指導は、学校、家庭、地域社会がそれぞれの立場で徹底することはもちろんであるが、学校が道徳教育を一層充実するとともに、家庭や地域社会との連携を積極的に進めてこそ、その効果が期待できるものである。

心豊かな望ましい幼児・児童・生徒の基本的な生活習慣を身につけさせ、その定着を図るとともに家庭・地域の教育機能を高め、教育力の向上に努める。

- ① 市青少年健全育成協議会との連携強化
- ② 家庭教育の充実
- ③ 学力向上推進のための家庭・地域部会との連携

6. 学校・家庭・地域の連携協力推進事業の推進

① 地域学校協働活動推進事業

未来を担う子ども達の成長を支えるため、地域と学校が連携・協働し、地域住民や企業・団体等の参画により、地域を創世する活動を推進することが必要である。そのため地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を配置し、学校の求める支援を行いつつ、地域学校協働活動の推進を目指し、地域住民等の参画による地域の実情に応じた様々な取り組みを行う。

- ・地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の配置
- ・学校支援ボランティアの推進
- ・学校と地域が協働した地域課題解決学習や、郷土学習、地域人材育成等の推進
- ・地域人材を活用した活動の実施・運営
- ・地域未来塾（原則無料の学習支援）の実施

② 放課後子ども教室推進事業

子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後における子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）づくりが求められている。

うるま市では小中学校において、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動・地域住民との交流活動等の取組を実施する。

- ・放課後子ども教室の実施支援
- ・協働活動サポーターの配置支援
- ・地域人材を活用した活動の実施・運営



令和6年度 学校・家庭・地域の連携協力推進事業 実施状況

学校名	地域学校協働活動推進事業 (地域コーディネーター配置状況)	地域未来塾	放課後子ども教室推進事業
宮森小学校	2名		学習、三線教室、タグラグビー
城前小学校	2名		学習、サッカー教室
伊波小学校	1名		学習、自由遊び、お楽しみ会
与那城小学校	1名		学習支援、自由遊び
南原小学校	2名		学習支援、物づくり
勝連小学校	2名		学習、自由遊び
平敷屋小学校	1名		学習、物づくり
津堅小学校	1名 ※中学校と兼任		学習、書道
川崎小学校	1名		未実施
天願小学校	1名		未実施
あげな小学校	2名		学習、工作、自由あそび
田場小学校	1名		学習支援
具志川小学校	1名		学習、自由あそび
兼原小学校	1名		未実施
高江洲小学校	1名		学習、自由あそび
中原小学校	1名		未実施
赤道小学校	1名		学習、手話、工作
彩橋小学校	2名 ※中学校と兼任	学習、三線教室、工作	
石川中学校	1名	183回	エイサー教室
伊波中学校	1名	12回	グリーン教室
津堅中学校	1名 ※小学校と兼任	未実施	学習、書道
与勝中学校	1名	38回	未実施
与勝第二中学校	1名	29回	未実施
あげな中学校	1名	43回	未実施
具志川中学校	1名	121回	夏休み学習支援
高江洲中学校	1名	93回	未実施
具志川東中学校	1名	32回	茶道教室
彩橋中学校	2名 ※小学校と兼任	28回	学習、三線教室、工作



事業趣旨

子ども達の成長を支えるため、地域と学校の連携・協働を目指し、学校に地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）を配置し、学校の求める支援を行いつつ、地域住民等の参画による地域の実情に応じた様々な取り組みを行う。



伊波小学校



津堅小中学校



中原小学校



与勝第二中学校

実施校数

小学校 18 校、中学校 10 校にて実施。

地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）32 名配置。

ボランティア内容

交通安全指導、学習支援、部活動指導、環境整備、学校行事支援などを行う。

これまでの延べボランティア回数は約 7,630 回、延べボランティア人数は 42,257 人。



事業趣旨および実績

小学校及び中学校において、放課後や週末等に子ども達が安全に安心して活動する拠点（居場所）を設け、地域の参画を得て、勉強やスポーツ、文化、地域住民との交流活動等を実施することで、子ども達が心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

延べ実施回数 558 回（平均 31 回/年）、1 回あたりの平均参加者数 21 人。

実施校数

小学校 14 校、中学校 4 校にて実施。

取組内容

学習教室、三線教室、太鼓教室、茶道教室、昔遊び、物づくりなど。



城前小学校



田場小学校



勝連小学校



赤道小学校



彩橋小学校



与那城小学校



具志川小学校



具志川東中学校



石川中学校

第2節 生涯学習文化振興センター

1 生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」

1. 生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」の目的

生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」は、うるま市ならではの伝統芸能文化の振興と生涯学習の推進を目的に設置された。各種サークルや生涯学習関係団体の活動の拠点となるほか伝統芸能や音楽団体と市民との接点をつくり、新たな文化創造の場を醸成する。

2. 運営方針

うるま市は戦後高等教育発祥の地であり、市内の捕虜収容所から戦後初の舞台芸能が演じられた、学びと芸能の黎明を誇るまちである。うるま市には闘牛、エイサー、獅子舞など沖縄ならではの伝統的な文化芸能が保護継承され、観光客にも人気のスポットとなっている。これらうるま市ならではの文化資源を「ゆらてく」の事業展開のなかで守り育てることによって、魅力的なまちづくりの一翼を担うものである。うるま市固有の文化を生かした多様な事業展開のなかで、常に開かれた学びの拠点づくりをめざす。

従来、生涯学習施設はサークルの活動拠点であり、講座の開催場所にもなるなど主に団体を対象としているが、生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」は、サークルや講座以外の個人利用にも対応の幅を広げる。コモンズや屋上庭園などはこういった個人利用者が長時間滞在するための格好のコンテンツであり、知的創造活動の要ともなる大切な機能である。

「ゆらてく」は、公民館と異なり、自由度の高い企画運営が可能となっている。フリーマーケットやバザーなどの営利事業についても、門戸が開かれている。

3. 事業内容

ゆらてく講座（随時）

4. 施設案内

生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」は、市民芸術劇場に隣接している。生涯学習の拠点であり、同時に文化を育てる場として隣接する市民芸術劇場と連携して事業を進めていく。音楽室や創作活動室などの新しい機能のほか、ひとりでも気軽に立ち寄れるよう、コモンズや屋上庭園などが整備されている。

5. 利用の申し込み等

施設の予約	管理事務室へ問い合わせ後 → 使用申請書を提出 → 使用料を納付 (利用目的によっては、お断りさせていただくこともあります。ご了承ください。)
予約の変更・取消	変更・取消等が生じた場合は、速やかに届け出を行ってください。 (天災やご利用10日前までに取消の場合に限り施設使用料返還が可能)
開館時間	午前9:00 ~ 午後10:00
休館日	毎週月曜日と年末年始(12/29~1/3)、暴風警報が発令された時

施設案内

生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」

〒904-2226

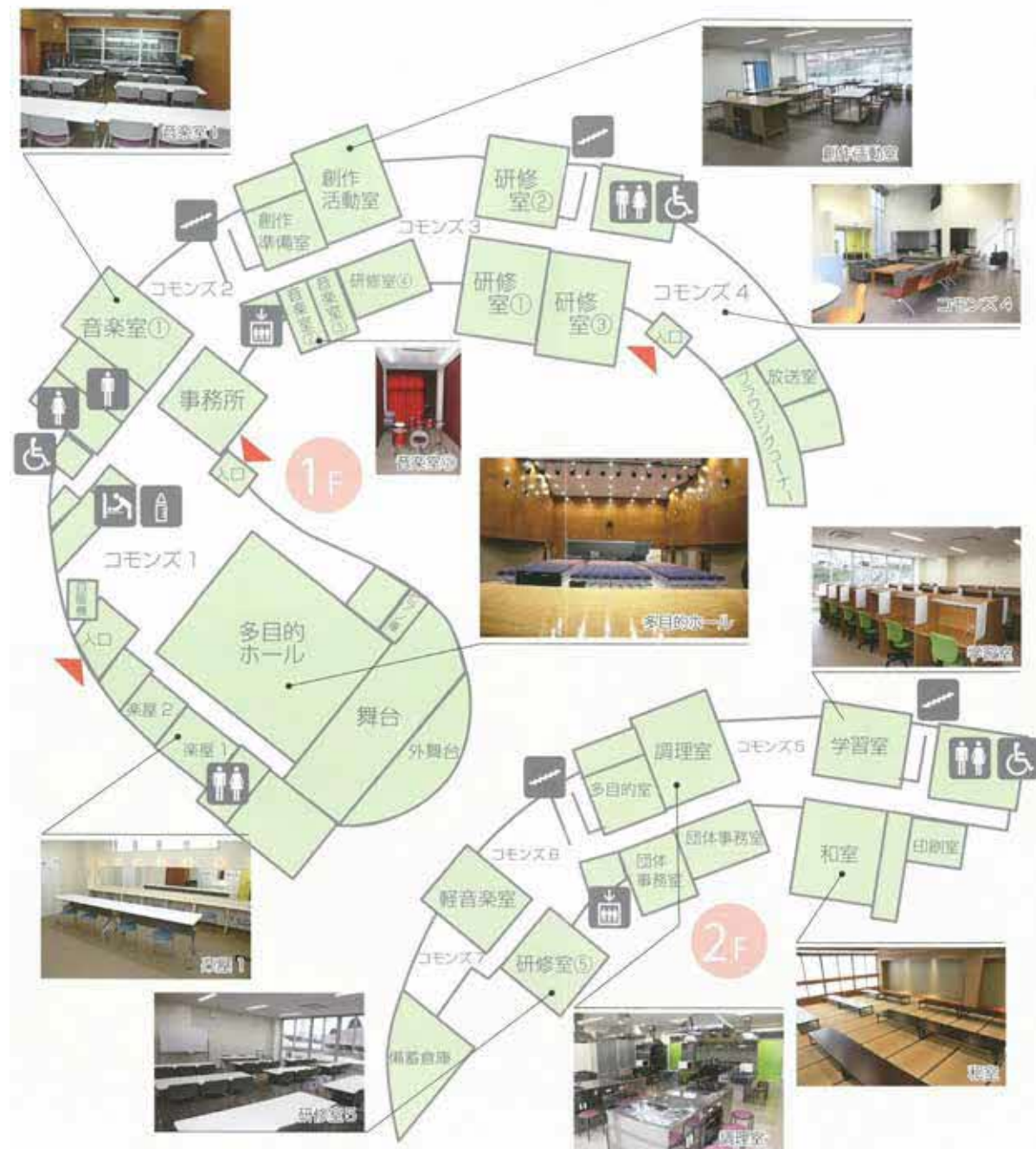
沖縄県うるま市字仲嶺 187 番地

TEL：098-988-5508

FAX：098-988-5504



館内見取り図



生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」各部屋の詳細

フロア	エリア	特徴	面積 (㎡)	収容 人数	主な備品
1F	多目的ホール	講演会から音楽コンサートまで多目的に利用できる。舞台照明機材のLED化で省電力を図っている。ホール後方の昇降パネルを収納することで commons1 と一体化して大型イベントに対応できる。昇降パネル壁は鏡面仕様。映画会用 300 インチスクリーンとプロジェクター装備。	430.17	最大 300	テーブル54台 イス310脚 演台、司会用演台、花台 舞台照明、音響 グランドピアノ 大型スクリーン・プロジェクター
	楽屋1	化粧台、着替えスペース、姿見有り。	32.30	15	テーブル2台、イス12脚
	楽屋2		22.38	10	テーブル1台、イス8脚
	commons1	共有の場として利用できるオープンスペース。Wi-fi環境 commonsのなかでは最大の広さがあり、展示会に特化した使用を推奨する。多目的ホールと一体化して使用できる。	344.08	-	テーブル ソファー パンフレットスタンド 有料コピー機
	授乳室	湯沸かし器、オムツ替え台が自由に使える。	5.38	-	幼児用イス オムツ替え台
	音楽室1(大)	音楽活動(三線・太鼓・バンド)、演劇、ダンス等のパフォーマンスに向けた部屋。防音防振仕様。	84.03	30	テーブル11台 イス30脚 譜面台15台 アップライトピアノ
	音楽室2(小)	ドラム練習可 防音防振仕様	22.08	7	ドラムセット イス7脚 譜面台2台
	音楽室3(小)	少人数・個人用 防音防振仕様	22.08	7	イス7脚
	研修室1(大)	講義・会議、各種サークル活動の出来る部屋	88.00	50	テーブル18台 イス50脚 50インチ液晶テレビ
	研修室2(中)	講義・会議、各種サークル活動の出来る部屋 Wi-fi環境	66.00	26	テーブル9台 イス26脚
	研修室3(中)	講義・会議、各種サークル活動の出来る部屋 Wi-fi環境	78.40	32	テーブル11台 イス32脚
	研修室4(小)	講義・会議、各種サークル活動の出来る部屋	44.00	20	テーブル7台 イス20脚
	commons2	共有の場として利用できるオープンスペース。Wi-fi環境 個人・グループを問わず、自主的・自立的に活動が可能。 展示パネルを使ったミニ展示会も可能。	86.62	-	テーブル イス
	commons3		75.80	-	テーブル イス
	commons4	共有の場として利用できるオープンスペース。Wi-fi環境 個人・グループを問わず、自主的・自立的に活動が可能。	146.56	-	テーブル ソファー
	創作活動室	美術・工芸などの作業を行う部屋 室内外に手洗い場、 屋外に陶芸用窯が有る。	83.20	37	工作台7台 イス37脚 手動ロクロ9台 電動ロクロ13台 ネ스팅カットテーブル1台
創作活動準備室	創作活動室で使う道具、備品などを保管。 乾燥用棚有り	-	-	粘土乾燥棚 粘土貯蔵機 真空土練機 各種電動のこぎ台 電動ドリル1台 仕上げサンダー1台	
2F	軽音楽室	音楽活動(三線・太鼓・バンド)、演劇、ダンス等のパフォーマンスに向けた部屋。完全防音仕様。	67.50	26	テーブル9台 イス26脚
	印刷室	印刷機やコピー機を使ってチラシや資料が作成できる			輪転機 コレクター
	学習室	個別学習机を備えた静かな学習室(無料)。Wi-fi環境	66.00	32	32席
	研修室5(中)	講義・会議、各種サークル活動の出来る部屋 Wi-fi環境	60.07	29	テーブル10台 イス29脚
	commons5	一定の静寂が確保された学習向け共用スペース Wi-fi環境	40.75	-	テーブル、イス
	多目的室	講義・会議、各種サークル活動の出来る部屋 調理室の控えや臨時の託児室として使用可	38.76	-	テーブル6台 イス18脚
	調理室	調理等の学習活動に最適。 ガスオープン付き調理台有り(うち1台は高さ調節可)。	82.04	36	調理台7台 イス40脚 冷凍冷蔵庫、オーブンレンジ6台 その他調理器具
	commons6	一定の静寂が確保された学習向け共用スペース Wi-fi環境	70.83	-	テーブル イス ロビーチェアー
	commons7	一定の静寂が確保された学習向け共用スペース	80.30	-	テーブル イス ロビーチェアー
	和室	茶道や書道などに活用できる40畳の畳間。水屋あり。	85.66	36	和机12台 姿見4台 座布団 基本茶道具一式
屋外	中庭	エイサー祭りや音楽会などに使用できる芝広場。			
屋外	屋外	陶芸用窯			灯油窯
屋上	屋上庭園	3つのライブエリアを有し、祭りイベントなどに使用できる屋上広場。			
	可動式備品	92インチスクリーン1台 プロジェクター1台 ポータブルアンプ1台 音響セット一式(録音機能付き) ホワイトボード5台 簡易ステージ一式 イベント音響一式			

2 うるま市立公民館

1. 公民館の目的（社会教育法第20条）

公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

2. 基本目標

- ① 市民自ら学習する意欲と能力を培い、個性的で、心豊かな人間性の伸長をはかり、新しいコミュニティの形成者としての資質の向上を目指す。
- ② 自治公民館や関係機関、団体との緊密な連携のもとに、いつでも、誰でも、気軽に学習が受けられるように学習機会を拡充し、生涯学習の拠点としての役割、機能の充実を図る。

3. 運営方針

学習の場・いこいの場・語らいの場として市民が気軽に利用できて、親しまれるような施設としての運営に努める。

4. 事業内容

学習機会の拡充

多種多様な講座等を開設し、住民の生活、文化の向上及び豊かな人間性を養う。

【市立公民館講座】

地区公民館において公民館講座の開設

【自治公民館講座】

自治公民館講座の開設奨励

【自主サークルの結成奨励】

関係団体との連携・情報提供

- ・事業計画書の作成、受講募集の案内
- ・各学級や講座等のまとめ、報告書作成
- ・サークル団体の支援
- ・生涯学習推進に関する情報収集と提供
- ・うるま市自治公民館連絡協議会補助事業
- ・公民館研究大会、研修会の参加推進

公民館施設・運営の充実

- ・公民館運営審議委員会活動の充実
- ・職員研修の充実
- ・施設の維持管理
- ・ホール、研修室等の貸館
- ・各種サークル、講演会、研修会等の受け入れ



新しいコミュニティの形成・豊かな人間性の伸長



令和7年度 ゆらてく・公民館講座年間計画一覧表

講座名	内容	開催月	回数
おとなのための切り貼り絵	素材作り、デザインから完成まで、切り貼り絵の作り方を大人向けの工作	5月	5回
発酵のチカラ 麴調味料づくり	発酵についての知識や、麴調味料の作り方・活用法を学ぶ	5.6月	2回
楽しく学ぼう！三線講座	工工四の読み方と運指法の練習	5～8月	10回
私のためのゆるヨガTime	全身をほぐし呼吸を意識しながら心と体をやさしく整えるリラククスヨガ	7月	5回
発酵のチカラ 梅しごと	発酵についての知識や、梅シロップ・梅干しの作り方・活用法を学ぶ	7月	2回
ほっこり♡はりこ作り	①人型②招き猫③だるまの異なる形の作り方を学ぶ（紙の貼付から絵付け）	8月	3回
夏休みお父さんとクッキング給食メニューづくり	小学生の子と、そのお父さんに給食メニューの調理法やその栄養や安全な調理方法等を学ぶ	8月	1回
男の料理！ソーセージ作り	男性を対象とした無添加ソーセージ作り	8月	1回
五感で楽しむ さし草料理&おやつ	さし草の効能を学び さし草料理とおやつを作る	8月	1回
こどもと学ぶ！お金ワークショップ	子どもたち向けお金の使い方や、生活にかかるお金、お金の育て方等をロールプレイやゲームを通して分かりやすく伝える	8月	3回
楽しく遊ぼう！プログラミングとドローン体験	ITやプログラミング、ドローンについての座学/ドローン操縦/プログラミングする/プログラミング通りの飛行実践確認	8月	1回
シニアのためのスマホ活用術 講座	スマホの便利な操作方法を学ぶ。カメラの操作方法（QRコード等）/安心・安全・災害/Googleマップ・レンズ/健康・ネットショッピング	8・9月	4回
聴き上手は伝え上手 傾聴力講座	悩める人や傷ついた人への寄り添ったコミュニケーション、また自身が伝えたい・届けたいときの寄り添い方などコミュニケーションの基礎である「傾聴」について学ぶ	9月	1回
おから活用クッキング	おからでヘルシーごはん！ おからで罪悪感なしおやつ♪&おからのおはなし	9月	2回
地域の遊び じーふだ(字札・島札)を知ろう！	じーふだの歴史 じーふだの制作・遊び方を学ぶ	9.10月	5回
基本のキを学ぶ！木工DIYオトナ部	材料を買う際のポイントや工具の選び方など基本の木工DIYテクニックを学び、おしゃれなスツールを作る	10月	4回
あんこで季節を感じる 和菓子づくり	季節を感じる あんこで和菓子をつくる	11月	1回
シニアヒップホップダンス	◎ウォーミングアップ（体操）◎基礎ステップ・リズムトレーニング◎振り付けの練習◎クールダウン	11.12月	7回

施設案内

石川地区公民館

石川地区公民館は、市立石川図書館、石川歴史民俗資料館の隣です。

「い」いつでも楽しく和やかに、学びあうところ

「し」親しい友ができ、生きがいを見つけるところ

「か」語り合いがあって、自分を高めるところ

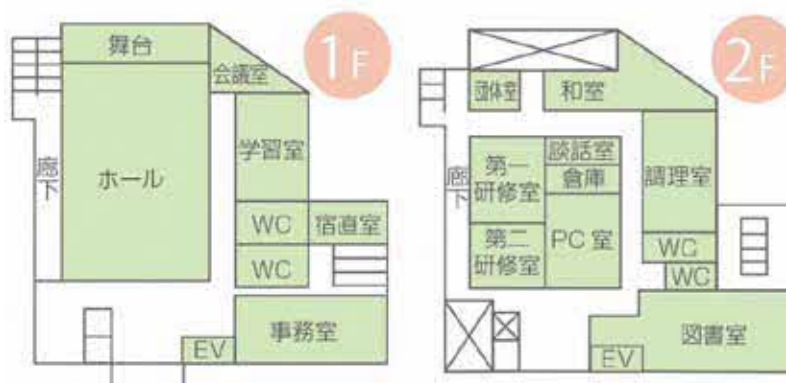
「わ」私もあなたもみんなで仲良く集うところ

地域住民の生涯学習の場を提供します。

〒 904-1107 うるま市石川曙二丁目1番52号

電話 (098) 964-3433 FAX (098) 964-3467

部屋名	収容人数	用途(備品)
ホール	約200名	講演会・レク・発表会・展示会等 (ピアノ・テーブル・イス・音響等)
第一研修室	約30名	会議・研修会等 (テーブル・イス・白板等)
第二研修室	約20名	会議・研修会等 (テーブル・イス・白板等)
図書室	約25名	会議・研修会等 (テーブル・イス・白板等)
会議室	約10名	小会議等 (テーブル・イス・白板等)
談話室	約8名	小会議等、業務打ち合わせ (テーブル・イス・白板等)
和室	約20名	小会議等、茶道等 (テーブル・イス等)
調理室	約30名	調理実習等 (調理器具)
学習室	約20名	学習 (テーブル・イス・白板等)
コンピュータ室	12名	パソコン講座 (パソコン・テーブル・イス等)

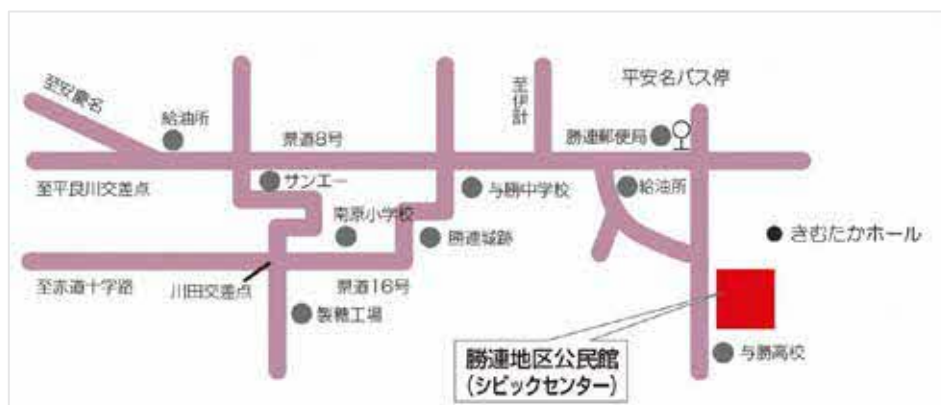
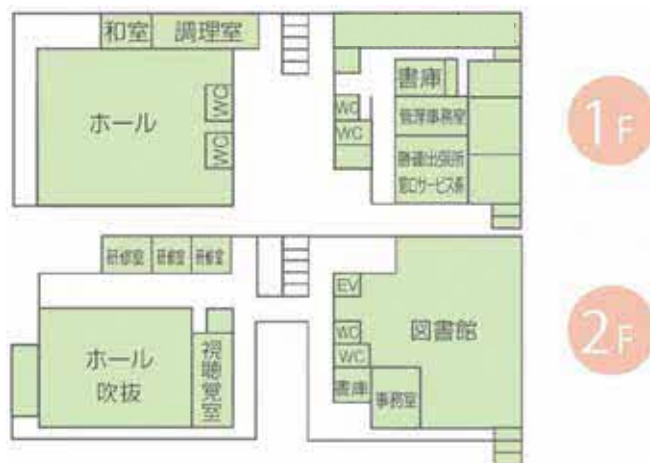


勝連地区公民館

勝連地区公民館は、きむたかホール等と併設されています。
地域に親しまれる公民館を目指し、地域性を生かした事業を行うことにより、住民の生涯学習に貢献します。

〒 904-2392 うるま市勝連平安名 3047 番地
電話 (098) 978-7194 FAX (098) 978-2247

部屋名	収容人数	用途(備品)
中ホール	約300名	講演会・レク体操・展示会・発表会
和室(24室)	約20名	会議等
調理実習室	約20名	調理実習等
研修室 1	約30名	会議・研修会・学習会(コーラス・大正琴)
研修室 2	約30名	会議・研修会・学習会等
研修室 3	約15名	会議・研修会・学習会(三線・生花)等
視聴覚室	約30名	視聴覚機材を利用した研修会等(パソコン・プロジェクター等)



うるま市立公民館利用のしおり

1. 開館日・時間

- * 年末年始(12/29～1/3)及び月曜、祝祭日を除き、午前9時から午後10時までご利用頂けます。
- * 暴風警報が発令された時は、原則として閉館します。

2. ご利用の前に

- * 利用する10日前までに「使用申請書」を提出し、許可を受けてください。
- * 社会教育以外の目的で使用する場合は、お断りさせて頂くこともございます。ご了承ください。
- * 登録団体以外は有料となります。ご利用の公民館にて、金額や納付方法等をお尋ねください。

3. ご利用の際に

- * 利用の変更や取り消しをする際には、速やかに届け出てください。
- * 条例規則等を守り、職員の指示に従ってご利用ください。
- * 代表者の方は、使用する前に職員へお声かけください。
- * 施設、備品・器具等に不具合のある場合は、公民館職員へご連絡ください。
- * ご利用後は、施設、備品・器具等を所定の場所へ戻し、他の利用者の迷惑にならないようお願い致します。

4. 注意事項

- * 許可のない部屋・備品は使用できません。
- * 許可なく壁、柱、扉の貼紙等はお断りいたします。
- * 施設、備品、器具等を壊したり、傷つけたりしないようお願い致します。



令和7年度 うるま市生涯学習文化振興センターゆらてく 利用団体（サークル）一覧表

令和7年4月現在

番号	サークル名	種別	活動日		活動回数(月)	活動時間	場所
1	虹の会	水彩画	毎週	火	4	14:00 ~ 16:00	創作活動室
2	具志川火踊会	民踊	毎週	火	4	14:00 ~ 16:00	多目的ホール
3	具志川結舞踊	民踊	第2・4	水	2	10:00 ~ 12:00	研修室②
4	うるま市太極拳同好会	太極拳	毎週	水	4~5	19:00 ~ 21:00	研修室①
5	フラサークル カピリナBチーム	フラダンス	毎週	水	4	10:00 ~ 12:00	研修室③
6	Na Kiele O Ka Lani(プナラニ)	フラダンス	毎週	水	4	10:00 ~ 12:00	研修室⑤
7	Na Kiele O Ka Lani	フラダンス	毎週	水	4	19:00 ~ 21:00	研修室⑤
8	うーぶ山会 I	陶芸	毎週	水	4~5	13:00 ~ 15:00	創作活動室
9	うーぶ山会 II	陶芸	毎週	水	4~5	19:00 ~ 21:00	創作活動室
10	うるま若水会	民踊	毎週	水	4	10:00 ~ 12:00	多目的ホール
11	A-ONE DSC	ダンス・琉舞	毎週	水	4~5	20:00 ~ 22:00	多目的ホール
12	ボイス楽しむ会	ボイストレーニング	第1・2・3	木	3	10:00 ~ 12:00	音楽室①
13	土筆会	水墨画	第2・4	木	2	10:00 ~ 12:00	創作活動室
14	健康マージャンサークル	健康マージャン	毎週	木	4~5	14:00 ~ 16:00	研修室③
15	バレエでアンドウ・トロワ	バレエ	毎週	木	4	19:00 ~ 21:00	研修室①
16	演劇集団「こかげ」	演劇	毎週	木	4~5	20:00 ~ 22:00	研修室③
17	フォークソング愛好会Mint	フォークギター	毎週	木	4~5	19:00 ~ 21:00	音楽室①
18	フラサークル カピリナAチーム	フラダンス	毎週	木	4	19:00 ~ 21:00	研修室②
19	歌声サークル「わらべの会」	合唱	第1・3・5	金	3	10:00 ~ 12:00	音楽室①
20	エンジョイミュージック	楽器演奏	第1・3	金	2	20:00 ~ 22:00	音楽室①
21	ギターラ・うるま	クラシックギター	毎週	金	4~5	19:00 ~ 21:00	研修室③
22	Na Kiele O Ka Lani(プアメリエ,ヒナノ)	フラダンス	毎週	金	4	20:00 ~ 22:00	研修室①
23	優しいYOGAサークル	ヨガ	毎週	金	4~5	20:00 ~ 22:00	和室
24	わくわくサークルしきなみ短歌	短歌	第2	土	1	10:00 ~ 12:00	研修室②
25	タティングレース同好会	手芸	第2・3	土	2	10:00 ~ 12:00	研修室④
26	秋津書道わくわくサークル	書道	第1・4	土	2	10:00 ~ 12:00	研修室④
27	うるま市山野草愛好会	山野草	第3	土	1	14:00 ~ 16:00	研修室④
28	氷室俳句会沖縄支部	俳句	第3	土	1	14:00 ~ 16:00	多目的室
29	ゆらてく将棋クラブ	将棋	第2・4	日	2	10:00 ~ 12:00	研修室③

お問い合わせ先 生涯学習・文化振興センター ゆらてく うるま市字仲嶺187番地 ☎ 988-5508



令和7年度 うるま市立石川地区公民館利用団体（サークル）一覧表

令和7年4月現在

番号	サークル名	種別	活動日		活動回数(月)	活動時間	場所
1	石川カジマヤ一会	琉球舞踊	毎週	火	4	14:00 ~ 16:00	ホール
2	コーラスあやはし	コーラス	第1.3週	火	2	10:00 ~ 12:00	ホール
3	ハワイアンフラダンス ピカケ	フラダンス	毎週	火	5	19:00 ~ 21:00	研修室1
4	沖縄琴正会 すみれ会	大正琴	毎週	火	5	10:00 ~ 12:00	図書室
5	ファヨイル ドンアリ	韓国語	毎週	火	4	19:00 ~ 21:00	会議室
6	野の花の会(石川支部老人クラブ・書道サークル)	書道	第2.4週	火	2	15:00 ~ 17:00	図書室
7	パソコンサークルいしてい	パソコン	毎週	火	5	19:00 ~ 21:00	パソコン室
8	ゆいゆいシニアダンススクール	エクササイズダンス	毎週	火	4	10:00 ~ 12:00	研修室1
9	みほそグリーン・クラブ	合唱	第2.4週	火	2	17:00 ~ 19:00	ホール
10	鳥つばき	三線	毎週	火	4	19:00 ~ 21:00	図書室
11	沖縄上地流空手道	空手	毎週	火	5	19:00 ~ 21:00	ホール
12	石川ギターサークル	ギター	毎週	水	4~5	19:00 ~ 21:00	図書室
13	石川高齢者民踊愛好会	民踊	毎週	水	4	9:00 ~ 11:00	ホール
14	おきなわ結舞踊サンダンカ	結舞踊	毎週	水	4	14:00 ~ 16:00	ホール
15	石川民踊愛好会	民踊	毎週	水	4	16:00 ~ 18:00	ホール
16	鳥唄弾遊会	三味線(古典・民謡)	毎週	水	4~5	19:00 ~ 21:00	和室
17	かな書道サークル「千草」	書道	第1~3週	水	3	10:00 ~ 12:00	図書室
18	動作法 のぼるの会	健康動作法	第2.4週	水	2	13:00 ~ 15:00	研修室1.2
19	石川FDC	フォークダンス	毎週	水	4~5	19:00 ~ 21:00	研修室1
20	石川二胡サークル	二胡	毎週	水	4	19:00 ~ 21:00	研修室2
21	カサブランカ絵画サークル	絵画	第2.4週	水	2	14:00 ~ 16:00	図書室
22	パソコンサークルゆいまーる	パソコン	毎週	水	5	19:00 ~ 21:00	パソコン室
23	二胡にごサークル初心者コース	二胡	毎週	水	4	15:00 ~ 17:00	研修室1
24	着付け倶楽部	着付け	第1・3週	水	2	10:00 ~ 12:00	和室
25	プレイ コンタウト キッズ	ブレイクダンス	毎週	水	5	20:00 ~ 22:00	ホール
26	石川老人会三味線クラブ	三線	毎週	木	4~5	14:00 ~ 16:00	研修室1
27	スヌーピー	タティングレース	毎週	木	4~5	14:00 ~ 16:00	会議室
28	石川太極拳同好会	太極拳	毎週	木	4~5	19:00 ~ 21:00	研修室1・2
29	なじみの会	調理	第4週	木	1	19:00 ~ 21:00	調理室
30	ステップダンスあけぼの	ステップダンス	毎週	木	4~5	19:30 ~ 21:30	ホール
31	ストレッチ&やさしいヨガ	ストレッチ・ヨガ	毎週	木	4~5	10:00 ~ 12:00	研修室1.2
32	市老石川支部手芸サークル	手芸	第1~3週	木	3	14:00 ~ 16:00	図書室
33	社交ダンスサークル HANA	社交ダンス	毎週	木	4	16:00 ~ 18:00	ホール
34	自彊術サークル	自彊術	毎週	金	4~5	10:00 ~ 12:00	研修室1.2
35	気功サークル	導引養生功	毎週	金	4~5	10:00 ~ 12:00	図書室
36	オカリナサークル・石川	オカリナ	毎週	金	4~5	19:30 ~ 21:30	図書室
37	光る野菜畑	自然栽培	第2週	金	1	14:00 ~ 16:00	図書室
38	石川みほそ太鼓	太鼓	毎週	金	5	17:00 ~ 19:00	ホール
39	うるま天龍太鼓	太鼓	毎週	金	4~5	20:00 ~ 22:00	ホール
40	中医学	健康講座	第2週	金	1	19:00 ~ 21:00	会議室
41	Chieko ZUMBAサークル	ズンバ	毎週	金	4~5	14:00 ~ 16:00	ホール
42	うるま市民踊団体連絡協議会	民踊	第4週	土	1	10:00 ~ 12:00	ホール
43	紅型サークル	紅型染色	第1・3・5週	土	3	10:00 ~ 12:00	会議室
44	表千家 遊心会	茶道	第1・3・4週	土	3	10:00 ~ 12:00	和室
45	茶道に親しむサークル	茶道	第3・5週 第2・4週	火 土	4	14:00 ~ 16:00	和室
46	劇団石川ひまわりキッズシアター	演劇	毎週	土	5	14:00 ~ 16:00	ホール
47	ゴールデンパールヨガ	ヨガ	毎週	土	4~5	10:00 ~ 12:00	研修室1
48	家庭倫理の会スマイルサークル	家庭教育研修会	第4週	土	1	14:00 ~ 16:00	図書室
49	短歌サークルしきなみ	短歌	第4週 第2週	水 土	2	10:00 ~ 12:00	図書室
50	沖縄琴正会 石川月サークル	大正琴	毎週	土	5	10:00 ~ 12:00	パソコン室
51	タイフーン・トワラズ	スクエアダンス	毎週	土	4~5	18:00 ~ 20:00	研修室1
52	沖縄ヤンキース	ブレイクダンス	毎週	土	4~5	20:00 ~ 22:00	ホール
53	ダンスサークルドリーム	スポーツダンス	毎週	日	4	17:00 ~ 19:00	ホール

お問い合わせ先

石川地区公民館 うるま市石川曙二丁目1番52号 ☎ 964-3433



令和7年度 うるま市立勝連地区公民館利用団体（サークル）一覧表

令和7年4月現在

番号	サークル名	種別	活動日	活動回数(月)	活動時間	場所
1	ヨガサークル月火美人	ヨガ	毎週 火	4	10:00 ~ 12:00	中ホール
2	あやはし美姿勢サークル	健康体操	毎週 水	4~5	10:00 ~ 12:00	中ホール
3	ゆうなの会	手芸	第1・3 木	2	10:00 ~ 12:00	研修室2
4	あやはし野の草の会	山野草	第1 木	1	10:00 ~ 12:00	調理室
5	絵手紙サークルオアシス会	絵手紙	第2 木	1	14:00 ~ 16:00	調理室
6	パソコンサークルPico	パソコン	毎週 木	4~5	14:00 ~ 16:00	視聴覚室
7	チャーム・10(テン)	パソコン	毎週 木	4~5	19:00 ~ 21:00	視聴覚室
8	かつれんZUMBAサークル	ZUMBA	毎週 木	4~5	19:00 ~ 21:00	中ホール
9	オカリナサークル風の音	オカリナ	毎週 木	4	19:00 ~ 21:00	研修室1
10	少林武術太極拳 呈祥	太極拳	毎週 金	4	14:00 ~ 16:00	中ホール
11	あやはしパソコンサークル	パソコン	毎週 土	4~5	10:00 ~ 12:00	視聴覚室
12	アートクラブ	絵画	毎週 土	4~5	13:00 ~ 15:00	研修室2
13	勝連民踊愛好会	民踊	毎週 土	4~5	14:00 ~ 16:00	中ホール
14	響鳴太鼓	太鼓	毎週 土	4~5	17:00 ~ 19:00	中ホール
15	フラサークル マカラプア	フラダンス	毎週 土	4~5	19:30 ~ 21:30	中ホール

お問い合わせ先

勝連地区公民館 うるま市勝連平安名3047番地 ☎ 978-7194



第3節 図書館

1 図書館の概要

1. 図書館の運営

高度情報化社会を迎え、生涯学習の必要が強調されるなかで市の情報センターとして、市民の生涯にわたる自己学習を援助し、生活課題の解決と文化の進展に寄与する図書館づくりに努める。

2. 基本方針

- ① 貸出サービスの充実
- ② 日常生活の多様な質問に応える。
- ③ 新鮮で豊富な資料を揃える。
- ④ 児童サービスの重視
- ⑤ 不自由な人へ配慮する。
- ⑥ 地域文化及び産業を支援する。
- ⑦ 総合目録とインターネット利用によるサービスの実施

3. 施設概要

中央図書館



所在地	〒904-2221 うるま市字平良川 128 番地
開館年月	平成 3 年 4 月
施設 延面積	3,284 ㎡
建物の 単独複合 の別	単 独
総工事費	約 10 億円



石川図書館



所在地	〒904-1107 うるま市石川曙二丁目1番55号
開館年月	平成4年7月
施設 延面積	1,097㎡
建物の 単独複合 の別	複合

勝連図書館





所在地	〒904-2312 うるま市勝連平安名3047番地
開館年月	平成10年11月
施設 延面積	616㎡
建物の 単独複合 の別	複合

4. 利用案内

① 図書館の利用について

- ・うるま市民及び市内に通勤・通学している者。
- ・その他館長が必要と認めるもの。

② 貸出について

	貸出点数	期 間
個人 	ひとり20点 (本・雑誌以外に紙芝居・ビデオ・DVDは各5点、CD及びカセットテープは合わせて10点可)	14日
団体 	1団体100点 (本以外に雑誌20点、紙芝居20点可)	1ヶ月

※貸出できる団体は、市内の保育所、学校、その他館長が認める団体とする。

③ 開館時間・休館日

	中央図書館・石川図書館	勝連図書館
開館時間	火曜日～金曜日 午前10時～午後7時 土・日曜日 午前10時～午後5時	火曜日～金曜日 午前10時～午後6時 土・日曜日 午前10時～午後5時
休館日	毎週月曜日 国民の祝日に関する法律に規定する休日及び6月23日 館内整理日(4/24、5/22、6/26、7/24、8/28、10/23、11/27、12/25、1/22、2/26、3/31) 年末年始(12/29～1/4) 特別整理期間(毎年14日以内)	

5. 重点目標

レファレンスサービス

- ① 市民の調査研究に役立つ参考図書を幅広く収集し、課題解決へ向け資料提供等支援を行う。
- ② 図書資料の他、視聴覚資料や新聞、インターネット等を駆使して、レファレンスサービスの充実を図る。
- ③ 県内・県外公共図書館との連携を密にし、相互貸借の有効活用により市民の調査研究への支援を図る。
- ④ 類縁機関との連携を基に、各種情報網の確保に努め、レファレンスサービスの強化を図る。

児童サービス

- ① 児童書・絵本・紙芝居等資料の充実を図る。
- ② 読み聞かせ・紙芝居・ペープサート等、お話会の実施。
- ③ 団体貸出の充実強化。
- ④ 学校司書連絡会・おはなしサークル及びボランティア団体との連携強化を図る。
- ⑤ 学校及び学校図書館や教育支援センターとの地域ネットワークを活かした協力を始め、保育所や幼稚園など関連機関との連携・協力を推進し、地域における読書環境の整備充実を図る。

IT サービス

- ① インターネット接続による図書検索機能の拡充を図る。
- ② 館内利用者用開放端末及び、家庭用パソコンからの予約図書受付サービスの推進を図る。



6. 指 針

図書館を地域の情報センターとして位置づけ、市民の学習意欲を喚起し、生涯学習の各時期における人間形成及び生活課題の解決に資するため、地域の教育関連機関との協力、連携の強化を図りつつ図書館活動を推進する。

中央図書館・石川図書館・勝連図書館を市民の自己学習の拠点として図書館サービスの充実に努める。又、学校図書館への支援体制を推進し、市民の読書意欲を高め、利用の拡大を図る。

図書館の運営にあたっては、将来の人材として児童サービスを重視しつつ、新鮮な資料の提供とリクエスト・予約サービス及びレファレンス（参考業務）の強化を図り、地域文化の振興と共に産業も支援していきます。併せて、コンピュータ地域ネットワークの充実とインターネット利用の促進を図り、資料の高度利用の推進に努める。

7. サービス指標（令和6年度）

人口は、令和7年3月31日現在

① 市民一人当たりの貸出点数 **2.29 点**

$$\frac{\text{個人貸し出し点数}}{\text{人 口}} = \frac{291,793 \text{ 点}}{126,933 \text{ 人}}$$



② 登録率 **56.4%**

$$\frac{\text{登録者数}}{\text{人 口}} = \frac{71,599 \text{ 人}}{126,933 \text{ 人}}$$

③ 蔵書回転率 **0.79**

$$\frac{\text{総貸出点数}}{\text{貸出できる蔵書数}} = \frac{307,095 \text{ 点}}{385,423 \text{ 冊}}$$



④ 市民1人当たりの蔵書冊数 **3.36 冊**

$$\frac{\text{蔵書数}}{\text{人 口}} = \frac{426,966 \text{ 冊}}{126,933 \text{ 人}}$$



⑤ 市民1人当たりの資料購入費 **118 円**

$$\frac{\text{資料購入費}}{\text{人 口}} = \frac{15,073,534 \text{ 円}}{126,933 \text{ 人}}$$



2 令和6年度 利用状況（貸出点数）

	中央	石川	勝連	小計	団体	合計
4月	15,472	4,753	3,586	23,811	892	24,703
5月	16,866	5,161	3,692	25,719	1,355	27,074
6月	17,823	5,529	4,334	27,686	1,317	29,003
7月	17,311	5,207	4,429	26,947	1,415	28,362
8月	18,420	5,690	4,325	28,435	1,682	30,117
9月	10,635	4,276	4,374	19,285	972	20,257
10月	16,730	5,081	3,760	25,571	1,394	26,965
11月	15,348	4,363	4,223	23,934	1,533	25,467
12月	14,729	4,183	3,525	22,437	1,345	23,782
1月	14,963	4,260	3,520	22,743	1,204	23,947
2月	14,618	4,126	3,121	21,865	1,169	23,034
3月	15,188	4,517	3,655	23,360	1,024	24,384
合計	188,103	57,146	46,544	291,793	15,302	307,095

■ 個人貸出点数

令和2年度 251,043 点
 令和3年度 244,216 点
 令和4年度 295,995 点
 令和5年度 303,248 点
 令和6年度 291,793 点

■ 新規登録者数

令和2年度 953 人
 令和3年度 894 人
 令和4年度 1,378 人
 令和5年度 1,403 人
 令和6年度 1,334 人

■ 登録率 56.40%（登録者数：71,599人 人口：126,933人） 令和7年3月末

3 蔵書数

区分	一般書	児童書	絵本	紙芝居	洋書	A V	雑誌	合計
中央図書館	174,795	30,845	21,908	1,017	2,026	7,536	19,831	257,958
石川図書館	72,568	15,912	10,262	706	170	2,863	5,608	108,089
勝連図書館	24,617	19,363	12,852	828	37	63	3,159	60,919
合計	271,980	66,120	45,022	2,551	2,233	10,462	28,598	426,966

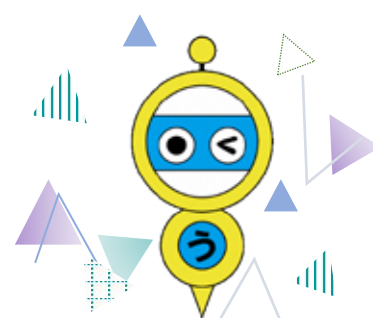
令和7年3月末

4 電子図書館

本事業は、市民の読書環境を整え、学びを支援すること、「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」を遵守し、身体的に来館や読書が困難である方へのサービスを拡大すること、日中の来館が難しい非来館者サービスの充実を図ること、さらに、島嶼地域及び図書館遠隔地への図書館サービスの拡大・拡充することを目的とする。

電子図書館では文字拡大機能、音の出る絵本や読み上げ機能のある書籍に加え、令和4年度より雑誌閲覧サービスを開始し、サービスの充実を図っている。

電子図書館利用開始日	令和3年2月2日
利用資格	<ul style="list-style-type: none"> ・うるま市内に在住する者又は通勤、通学する者 ・その他館長が特に必要と認める者
利用方法	電子書籍の利用はインターネットより行う。
貸出について	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出点数 3点以内 ・貸出期間 2週間以内
電子書籍の返納	貸出期間内の任意返却、又は貸出期間が満了した場合は自動的に返却される。



電子図書館キャラクター
うるデジくん

1. 電子図書館利用状況（令和7年3月末日）

	ログイン回数	閲覧回数 (電子雑誌含む)	貸出回数
令和2年度	2,548	3,465	1,766
令和3年度	10,340	15,647	7,786
令和4年度	10,184	17,734	9,177
令和5年度	10,391	25,344	15,269
令和6年度	18,970	42,398	28,280

①うるま市立電子図書館 TOP



②うるま市立電子図書館 WEB 申込みフォーム



①URL <https://web.d-library.jp/uruma/g0101/top>

②URL <https://web.d-library.jp/uruma/g0108/infodetail/?iid=10>

5 令和7年度 事業計画表

	事業名		
	中央図書館	石川図書館	勝連図書館
通年	<ul style="list-style-type: none"> ○おはなし会（毎月第2土曜日） ○おはなしの部屋（毎月4土曜日） ○あかちゃんのためのおはなし会（毎月第3木曜日） ○おすすめ本の展示 	<ul style="list-style-type: none"> ○Let's go としょかん（毎月第1土曜日） ○おはなしワールド（毎月第3土曜日） ○おすすめ本の特集展示 	<ul style="list-style-type: none"> ○おはなし会（毎週金曜日） ○おはなしパラダイス（毎月第2土曜日） ○おはなし便 ○おすすめ本の展示
4月	こどもの読書週間行事（4/26）	こども読書週間行事 親子工作教室（4/26）	こども読書週間行事 クイズラリーウィーク（4/19～5/11） おりがみ展（4/23～5/11）
5月	親子工作教室（5/10）	親子工作教室（5/24）	こども読書週間行事（5/10）
6月	慰霊の日特別行事（6/21） 図書館見学（小学校）	慰霊の日特集展示（6/1～6/27）	平和教育行事（6/14）
7月	5館スタンプラリー（7/26～8/31） 夏休み特別おはなし会（7/26） 図書館クイズラリーウィーク 図書館見学（小学校） インターンシップ受入（高校）	5館スタンプラリー（7/26～8/31） 夏休み親子工作教室	5館スタンプラリー（7/26～8/31） 夏休み特別行事（7/26） インターンシップ受入（中学）
8月	夏休み親子工作教室 夏休み特別行事（8/16）	夏休み特別行事（8/9）	夏休み親子教室（8/2・8/9・8/23）
9月	蔵書点検（9/7～9/19）	蔵書点検（9/20～9/30）	蔵書点検（9/20～9/27） 海から豚がやってきた記念関連行事（9/28～10/5）
10月	読書週間行事 親子工作教室	読書週間行事	読書週間行事（10/28～11/9）
11月	読書週間行事 インターンシップ受入（中学）	読書週間行事	読書週間行事（10/28～11/9）
12月	親子工作教室 クリスマスおはなし会（12/21） インターンシップ受入（高校）	クリスマスおはなし会 親子工作教室（12/21）	クリスマスおはなし会（12/13）
1月	図書館講座 インターンシップ受入（中学）	本の「福袋」 大人の工作教室	本の「福袋」
2月	教育月間行事 親子工作教室 インターンシップ受入（中学）	教育月間行事	教育月間行事（2/28）
3月			
備考	○図書館だより発行(毎月) ○逐次刊行物・うるま市関係資料収集 ○資料補充選定・購入		

第7章 文化・芸術

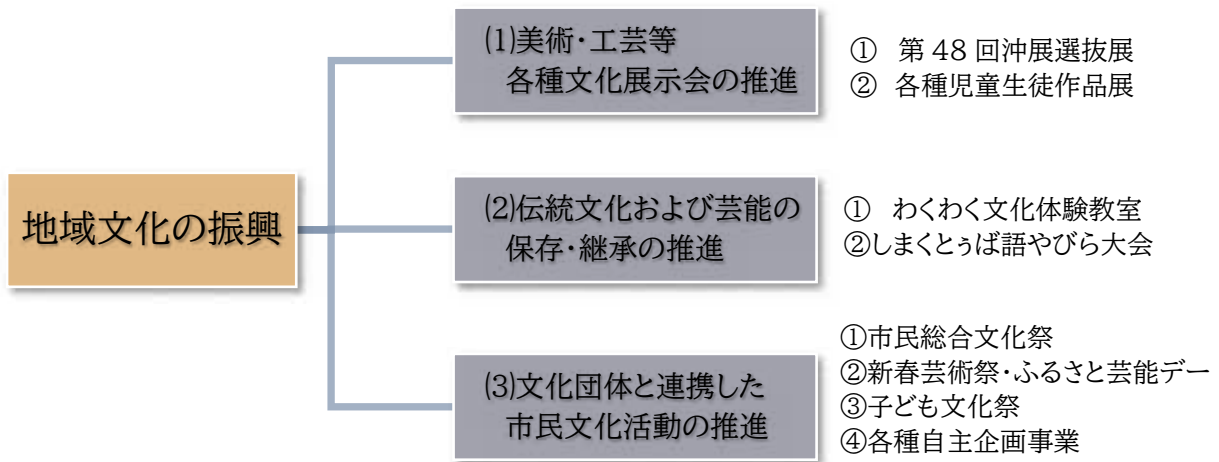


第1節 市民文化活動の推進

地域文化の振興

文化活動は、市民がそれを通して個性を伸ばし、創造性を培い、自己の向上を図ろうとする自発的営みである。これらの活動は日常生活に根ざしたものであり、地域文化と深い関連がある。

豊かな市民文化活動の推進及び伝統文化及び芸能の保存・継承のため、各種展示会や文化祭等を開催し、市民が質の高い多様な美術・工芸等に触れて楽しむことができる機会を提供するとともに、文化活動への積極的な市民参加を奨励する。また、うるま市文化協会等の市民文化団体の活動を支援し、地域文化の振興に努める。



2024.8.25 子ども文化祭



2025.1.15～17 学校アウトリーチ事業



第2節 文化施設・設備の有効利用

芸術振興の概要

うるま市民芸術劇場は、旧具志川市の市制25周年記念事業として平成6年に建設されました。

劇場にはクラシック音楽の公演を主目的に演劇や各種のコンサートにも対応できる設備と機能を備えた「響ホール」(821席)と小規模ながら音響、照明、舞台機構が充実した「燈ホール」(357席)があります。また、この2つの舞台のアクティブエリアに対応する広さを備えた「リハーサル室」は舞台関係者の日常の稽古場として活動され、芸術活動を側面から支えています。

うるま市石川会館は、戦後の政治・経済・教育・文化の発祥地として知られる石川地域で、これまで古典音楽や民謡、琉舞等の愛好家が多く、発表会や文化活動の拠点づくりとして建設され、平成元年4月にこけら落としが行われています。地上3階建て客席数973席の大ホール、1階に楽屋(兼和室会議室)、2階には主催者控え室やリハーサル室が配置され、地域住民の芸術文化活動の拠点として活用されています。

うるま市きむたかホールは、平成13年5月にオープンし、シビックセンター(社会教育施設)、交流広場(交流機能)、きむたかホール(文化施設)の3施設の複合施設(きむたか交流プラザ)として建設されました。同ホールは地域住民の活動や青少年育成等の拠点作りを目的とし、地上2階、地下2階、客席数516席(可動席200席)、リハーサル室、ラウンジ、ギャラリーがあり、舞台機構が6パターンに展開できる機能を有し、地域住民の芸術文化活動や人材育成の拠点づくりとして活用されています。

1. うるま市民芸術劇場

① 施設概要

名称	うるま市民芸術劇場
所在地	うるま市字仲嶺175番地
工期	平成5年3月～平成6年9月
敷地面積	27,405.50㎡
建築面積	5,016㎡
延床面積	6,551㎡
構造	鉄筋コンクリート造、 地下1階 地上2階
事業総額	約59億7千万円
駐車台数	約375台

② 劇場概要

	響ホール*音楽主体	燈ホール*演劇主体
客席	固定席821席 車いす席3席 親子席6席	固定席357席 車いす席2席
舞台	間口18m 奥行13.2m 高さ10.5m	間口12.6m 奥行9.7m 高さ6.3m
楽屋	4室 大楽屋1室、中楽屋2室、小楽屋1室	4室 大楽屋1室、中楽屋2室、小楽屋1室
リハーサル室	154㎡	



Uruma Citizen Art Theater

2. うるま市石川会館



Uruma Ishikawa Hall

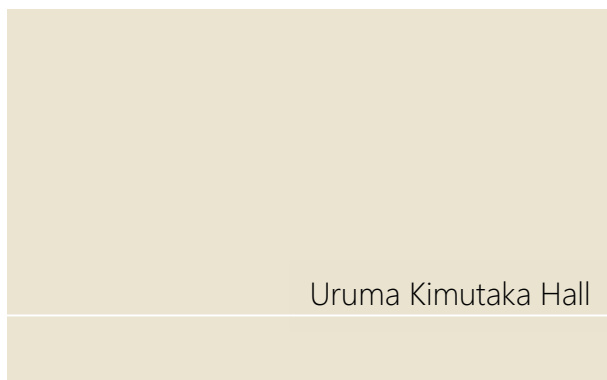
①施設概要

名 称	うるま市石川会館
所 在 地	うるま市石川石崎一丁目1番
工 期	昭和62年10月～平成元年1月
敷地面積	19,086 m ²
建築面積	2,352 m ²
延床面積	3,858 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造(屋根部分鉄骨) 地下3階
事業総額	13億2671万1千円
駐車台数	約250台(石川庁舎と共同)

②施設概要

	うるま市石川会館
客 席	固定席 973 席(内、車いす席 3 席)
舞 台	間口 16m、奥行 15m スノコまでの高さ 20m
楽 屋	①主催者控え室 ②和室会議室 ③会議室
舞台構造	反響版
リハーサル室	90 m ²

3. うるま市きむたかホール



Uruma Kimutaka Hall



①施設概要

名 称	うるま市きむたかホール
所 在 地	うるま市勝連平安名 3071 番地
工 期	平成 11 年 6 月～平成 13 年 3 月
敷地面積	13,685 m ² きむたか交流プラザ (シビックセンター、交流広場、 きむたかホールの合計)
延床面積	5,603 m ²
構 造	RC 造一部 S 造 地上 2 階 地下 2 階 塔屋 1 階
事業総額	約 19 億 9161 万円 5 千円
駐車台数	約 162 台 (大型 3 台、普通車 159 台)

②施設概要

	うるま市きむたかホール
客 席	固定席 293 席、可動席 200 席、 身障者席 5 席、親子席 8 席
舞 台	間口 15m 奥行 12m 高さ 7.1m *客席機構 パターン 1～パターン 6
楽 屋	楽屋 1 楽屋 2 楽屋 3
その他	リハーサル室 ラウンジ 体験交流室 1 体験交流室 2 体験交流室 3

4. 利用の申し込み等

(1) 申込受付期間

- * 市民芸術劇場は使用期間の 6 カ月前(舞台芸術活動)及び 4 カ月前(その他)の同月 1 日から。
- * 石川会館、きむたかホールは使用期日の 6 カ月前の同月 1 日から。

(2) 受付時間と受付方法

- * 午前 9 時から午後 5 時 15 分まで (月曜日から金曜日まで)
- * 申請は直接ご来館ください。

(3) 使用料の納付

- * 施設使用料は使用前、設備使用料は使用后、指定期日までに銀行などで納付してください。
- * 指定期日までに納付されない場合は、申し込みが無効になりますのでお気をつけください。
- * 納入済みの使用料は原則としてお返しできません。

(4) 使用時間

- * 使用時間は午前 9 時から午後 10 時までです。
- なお、この時間には催し物の準備や後片付け等に要する全ての時間が含まれます。

(5) 変更・取り消し

- * 使用日・使用施設等の変更や取り消しが生じた場合は、速やかに各施設へ届け出てください。

(6) 休館日

- * 月曜日と火曜日 (市民芸術劇場)、火曜日 (石川会館、きむたかホール)
- * 年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)



運営の重点事項

1 地域文化の創造と市民参加

4 自主企画事業の実施

2 芸能文化団体の活動促進

5 芸術ホールとしての利用促進

3 感性豊かな子ども達の育成

6 地域文化の伝承

1. うるま市民芸術劇場

うるま市民芸術劇場は、響、燈の二つの専門ホールとリハーサル室を兼ね備えた、本格的な芸術ホールである。両ホールは平成24年度から26年度にかけて、劇場設備の機能強化事業を実施し、専門ホールとしての特性を強化している。

また、隣接する生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」との連携を図り、さらなる文化振興に取り組む。

うるま市文化協会と連携した地域文化活動の支援を実施するとともに、優れた舞台公演の招聘と舞台芸術の創造、鑑賞の場を提供することで、市民がより質の高い芸術に触れる機会を増やす。

2. うるま市石川会館

うるま市石川会館は、戦後沖縄の政治・経済・文化の発祥の地として知られている石川地域において地域住民の文化活動の拠点として平成元年に建設され、広く活用されてきている。

これまでの歴史的、伝統的に培われた地域文化活動の推進を図るとともに、コンサートやライブの開催などへの積極的な活用を促し、市民が音楽へ触れる機会を提供する。

3. うるま市きむたかホール

平成13年5月の開館以来「現代版組踊 肝高の阿麻和利」、学校、保育所関連の催し物を中心にホールが活用されている。

市内の中高生で演じられる「現代版組踊 肝高の阿麻和利」は、中高生の健全育成の場として注目を集めているが、うるま市の新たな観光資源へと発展させ、さらなる活用を図るべく、その情報発信拠点としてのホール活用を目指し、また、与勝地域の伝統芸能が地域の芸能文化活動の拠点とするほか、地域交流の場としても提供する。

首里城焼失に伴う県内観光振興のため、きむたかホールの音響・照明等の機能強化事業を実施した。

令和7年度 自主企画公演計画及び共催事業（予定）

	事業名	分野	開催月日・会場	内容
1	第48回沖展選抜展	芸能 共催	4月4日(金)～9日(水) 生涯学習文化振興センター (ゆらてく)	沖縄県内最大の美術・工芸公募展「沖展」から選抜した作品の展示会
2	琉球舞踊保存会 普及啓発公演及びワーク ショップ	芸能 共催	5月24日(土) 生涯学習文化振興センター (ゆらてく)	人間国宝の方々や伝承者の技術の高さに触れ、伝統芸能の伝承に繋がる
3	第25回学校茶道交流茶会	文化 共催	7月12日(土) 生涯学習文化振興センター (ゆらてく)	児童生徒参加による茶道体験と通してお茶について楽しく学ぶ
4	しまくとぅば語やびら うるま市大会	文化 共催	7月31日(木) 生涯学習文化振興センター (ゆらてく)	市民及び児童生徒参加による舞台発表
5	わくわく うるま市文化体験教室	文化 主催	8月2日(土) 生涯学習文化振興センター (ゆらてく)	市の児童生徒参加による文化体験教室
6	うるま市誕生20周年記念 NHKのど自慢	文化 芸能 主催	8月17日(日) 市民芸術劇場・響	うるま市誕生20周年を記念し、うるま市の情報を全国に伝える
7	海から豚がやってきた記念日	文化 主催	9月27日(土) 市民芸術劇場・響	豚にまつわる公演及びパネル展示やイベント開催
8	市民総合・子ども文化祭 舞台の部	芸能 共催	10月18日(土)～19日(日) 市民芸術劇場・響	市民及び児童生徒参加による舞台発表
9	市民総合文化祭 展示の部	芸術 共催	11月22日(土)～23日(日) 生涯学習文化振興センター (ゆらてく)	市民参加による作品展示会

	事業名	分野	開催月日・会場	内容
10	新春芸能祭	芸能 共催	2月14日(土)～15日(日) 市民芸術劇場(響・燈)	新年を祝う市民参加による 舞台公演
11	沖縄教育版画コンクール 特選作品展	芸術 共催	1月27日(土)～28日(日) ゆらてく	「第62回沖縄教育版画コン クール」特選作品展覧会
12	ふるさと芸能デー	芸能 共催	11月～12月	市内自治体等による伝統芸 能や演劇公演



第8章 文化財



第1節 文化財の保存と活用

1 文化財の現状と取り組み

私たちの住むうるま市は天願断層を境に本島北部と中南部の自然的な特徴があり、本島中南部最長の海岸線と干潟をもっています。その環境での暮らしは山と川と湿地、そして海とともに生業を営むことによって様々な祭りや芸能などを育んできました。少なくとも今からおよそ 9,000 年前には人々が土器などを使い生活していたことが分かっており、その後も狩猟採集や農耕、交易などを通して生活を豊かにしてきました。今日の私たちの暮らしは、そうした先人から受け継いだ貴重な歴史文化遺産を基盤として成り立っています。

市の代表的な文化財は、世界遺産勝連城跡をはじめとして国指定文化財 4 件、国登録文化財 1 件、県指定文化財 7 件、県選択文化財 1 件、市指定文化財が 46 件あります。その多様な文化財を俯瞰し、総合的・一時的に保存・活用することは地域の特徴を活かした地域振興に貢献するとともに、確実な文化財の継承につながります。これからの施策には住民・企業・民間団体・文化財課・庁内関係部局などが地域総がかりで文化財を守り、活かし、伝える体制の構築を図り、市内の貴重な文化財の存続につなげていくことが期待されます。その文化財の継承に努めるため、以下の施策に取り組みます。

1. 自然遺産・歴史文化遺産の活用（地域活性化）

本市の歴史文化遺産を保存し、その整備を進め、市民の歴史と文化の学習に寄与することで、郷土に愛着と誇りを育んでいきます。また、自然遺産・歴史文化遺産を活用することにより、地域の活性化に結びつけ、そして経済へ波及させるべく促進します。

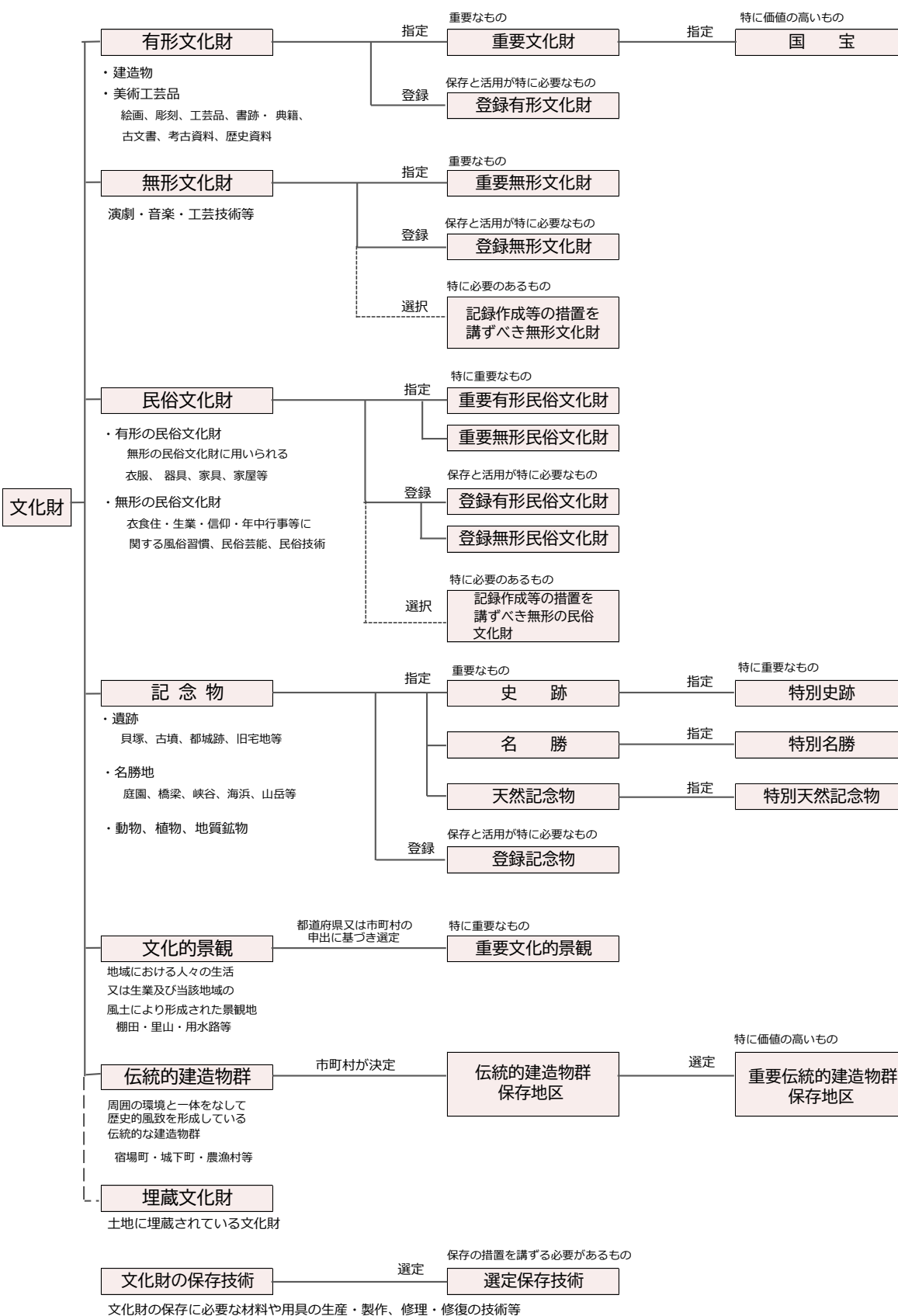
2. 世界文化遺産「勝連城跡」の保全と復元整備ならびに生涯学習・学校教育の環境整備

世界文化遺産の勝連城跡については、歴史的環境の保全を図ります。また、城壁などの復元整備を進めるとともに、あまわりパーク等を活用しながら、歴史学習のできる環境の整備を進めます。さらに、各種市民講座の開催や学校教育における歴史学習の推進を図るとともに、観光振興や地域活性化など、様々な場面で積極的な活用を進めていきます。

3. 自然遺産・歴史文化遺産の調査と新たな文化財の指定・未指定文化財の整理

市内各地に残るさまざまな自然遺産ならびに歴史文化遺産の保存およびその調査を継続的に進め、市民協働による登録とその保存環境を整えます。それらの成果をもとに新たな文化財の指定を追加し、未指定文化財も整理することで、本市の魅力づくりを図ります。

2 文化財の体系図



3 指定文化財一覧

■ 国指定文化財

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	史 跡	伊 波 貝 塚	昭和47年5月15日	
2	〃	安 慶 名 城 跡	〃	
3	〃	勝 連 城 跡	〃	
4	〃	仲 原 遺 跡	昭和61年8月16日	

■ 国登録文化財

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	史 跡	平 敷 屋 製 糖 工 場 跡	平成27年1月26日	

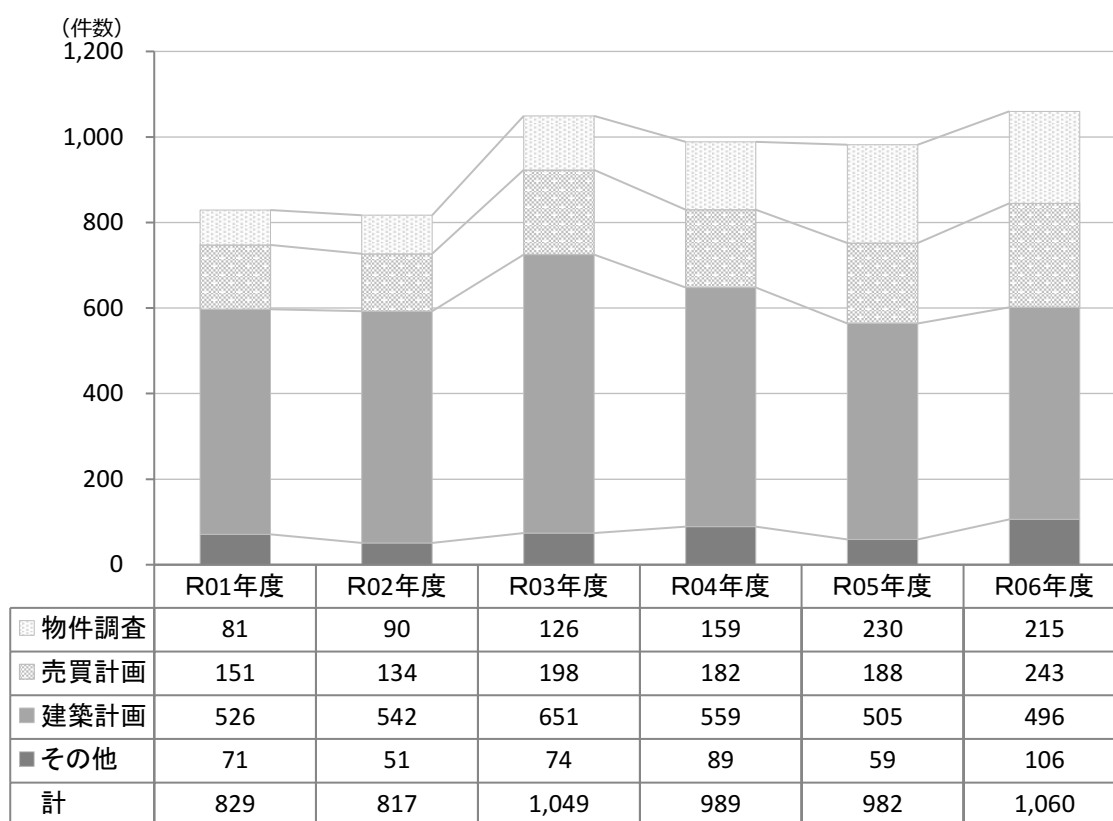
■ 県指定文化財

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	有形文化財	三 線 翁 長 開 鐘	昭和30年5月23日	
2	〃	三 線 久 場 春 殿 型	昭和33年8月15日	
3	〃	三 線 真 壁 型	平成6年3月15日	
4	〃	勝 連 間 切 南 風 原 村 文 書	昭和52年7月11日	
5	史 跡	平 安 名 貝 塚	昭和31年10月19日	
6	〃	伊 波 城 跡	昭和36年6月15日	
7	天然記念物	チ ャ ー ン	平成3年1月16日	
8	選択文化財	津 堅 島 の 唐 踊 り	昭和53年3月24日	

■ 市指定文化財

	種 別	名 称	指定月日	備 考
1	有形民俗文化財	東 恩 納 平 良 家 葬 祭 具	昭和56年10月15日	石川市第1号
2	〃	伊 波 金 細 工 鍛 冶 道 具	〃	〃 2号
3	建造物	嘉 手 苺 観 音 堂	昭和59年6月12日	〃 3号
4	有形民俗文化財	伊 波 メ ン サ ー 織 道 具 一 式	昭和63年11月15日	〃 4号
5	無形民俗文化財	伊 波 メ ン サ ー 織	昭和63年11月15日	〃 4号
6	史 跡	平 敷 屋 タ キ ノ ー	平成2年3月26日	勝連町第1号
7	有形民俗文化財	南 風 原 の 村 獅 子	〃	〃 2号
8	〃	伊 波 ヌ ー ル 墓	平成6年3月4日	石川市第5号
9	工 芸 品	三 線 真 壁 型 (大 型)	〃	〃 6号
10	〃	三 線 平 仲 知 念 型 (大 型)	〃	〃 7号
11	〃	三 線 鴨 口 与 那 型 (中 型)	〃	〃 8号
12	有形民俗文化財	地 頭 代 火 の 神	平成6年3月31日	勝連町第4号
13	史 跡	ア マ ミ チ ュ ー の 墓	〃	〃 5号
14	有形民俗文化財	シ ル ミ チ ュ ー	〃	〃 6号
15	建造物	ヤ ン ガ ー	平成7年6月14日	与那城町第2号
16	名 勝	犬 名 河 (イ ン ナ ガ ー)	〃	〃 3号
17	建造物	ガ ー ラ 瓦	〃	〃 4号
18	有形民俗文化財	宮 城 御 殿 (ナ ー グ ス ク ウ ド ッ ン)	〃	〃 5号
19	〃	与 佐 次 川 (ユ サ チ ガ ー)	〃	〃 6号
20	史 跡	平 安 座 西 グ ス ク	〃	〃 7号
21	天然記念物(植物)	ク ボ ウ グ ス ク の 植 物 群 落	平成9年4月23日	勝連町第7号
22	有形民俗文化財	中 の 御 嶽	〃	〃 8号
23	史 跡	ヤ マ ト ウ ン チ ュ ウ 墓	〃	〃 9号
24	〃	ワ イ ト ウ イ	〃	〃 10号
25	無形民俗文化財	南 風 原 の 獅 子 舞	平成11年3月10日	〃 11号
26	〃	平 安 名 の ウ ム イ ・ ク エ ー ナ	〃	〃 12号
27	〃	平 敷 屋 エ イ サ ー	〃	〃 13号
28	〃	天 願 獅 子 舞	平成11年7月15日	具志川市第1号
29	〃	田 場 テ イ ン ベ ー	〃	〃 2号
30	建造物	吉 本 家	平成12年11月7日	勝連町第14号
31	史跡(戦争遺跡)	新 川 ・ ク ボ ウ グ ス ク 周 辺 の 陣 地 壕 群	平成16年3月3日	〃 15号
32	史 跡	兼 箇 段 ジ ョ ー ミ ー チ ャ ー 墓	平成17年2月16日	具志川市第3号
33	〃	田 場 ガ ー	〃	〃 4号
34	〃	大 田 坂	〃	〃 5号
35	〃	沖 縄 諮 詢 会 堂 跡	平成17年3月1日	石川市第9号
36	〃	東 恩 納 博 物 館 跡	〃	〃 10号
37	〃	石 川 部 落 事 務 所	〃	〃 11号
38	無形民俗文化財	越 来 治 喜 (マ ー ラ ン 船 の 建 造 技 術)	平成17年3月4日	与那城町第8号
39	無形民俗文化財	宮 城 ウ シ デ ー ク	〃	〃 9号
40	史 跡	藪 地 洞 穴 遺 跡	平成29年3月17日	うるま市第39号
41	無形民俗文化財	う る ま 市 の 闘 牛	平成30年7月13日	〃 40号
42	史 跡	宮 城 島 の ヒ ー タ チ (火 立 て) 跡	平成30年7月13日	〃 41号
43	無形民俗文化財	平 安 座 の サ ン グ ヲ ャ ー	令和2年4月13日	〃 42号
44	有形民俗文化財	上 江 洲 の ウ フ ガ ー	令和2年4月13日	〃 43号
45	史 跡	具 志 川 グ ス ク	令和5年8月9日	〃 44号
46	史跡(戦争遺跡)	具 志 川 グ ス ク の 壕	令和5年8月9日	〃 45号

4 埋蔵文化財包蔵地等確認依頼統計表



令和7年4月1日現在



埋蔵文化財包蔵地等確認

第2節 保存・活用の方針

1. 歴史文化、自然を知る・学ぶ

- 歴史文化遺産と自然遺産の把握調査等の実施
- 指定文化財等の保存推進
- 指定文化財の修理
- 文化財講座の開催
- 学校教育・生涯学習等への普及啓発

2. 歴史文化、自然を守る・継承する

- 案内板・解説版・標柱の設置や文化財リーフレットの作成等による周知活動
- 無形民俗文化財等の継承団体による発表の場の支援
- 伊波メンサー織保存会、うるま市文化財ガイドの会等の育成
- 資料の収集・保管、文化財防火デーの開催

3. 歴史文化、自然をまちづくりへ活用する

- 歴史文化遺産および自然遺産を重点テーマとした企画展等の開催
- 歴史文化遺産および自然遺産の魅力を市内外へ情報発信
- 保存・活用に関する一体的な取組を推進するため自治会、関係団体、専門家、庁内部局との連携・協力体制づくり

地域の課題の把握

文化財の保存・活用
取組・体制づくり

目指す姿

先人の残した歴史文化遺産と自然遺産を大切に保存・活用し、うるまらしい歴史文化を次代へ継承していけるまち



「伊波メンサー織」

4. 勝連城跡の入城者数

単位(人)

年	暦年 (1月～12月)	年度 (4月～3月)	県内	県外	外国人	備 考
2000年(平成12年)	36,000	40,500				県内外(外国人含む)
2001年(平成13年)	54,000	54,000				〃
2002年(平成14年)	54,000	54,000				〃
2003年(平成15年)	54,000	54,000				〃
2004年(平成16年)	54,000	54,000				〃
2005年(平成17年)	54,000	54,000				〃
2006年(平成18年)	83,957	99,075	35,276	58,799		県外に外国人含む
2007年(平成19年)	85,210	82,445	23,426	59,019		〃
2008年(平成20年)	94,061	96,089	23,688	72,401		〃
2009年(平成21年)	101,242	101,090	27,493	73,597		〃
2010年(平成22年)	102,919	99,484	26,114	73,370		〃
2011年(平成23年)	90,827	104,091	21,264	82,827		〃
2012年(平成24年)	132,858	144,988	24,994	119,994		〃
2013年(平成25年)	169,890	175,211	37,104	138,107		〃
2014年(平成26年)	163,840	156,052	30,393	125,659		〃
2015年(平成27年)	158,790	148,020	27,743	120,277		〃
2016年(平成28年)	161,685	171,878	26,389	126,731	18,758	
2017年(平成29年)	174,421	172,566	23,686	113,479	35,401	
2018年(平成30年)	184,646	183,881	24,798	111,630	47,453	200万人達成(1月9日)
2019年(平成31年)	166,954	162,942	21,868	102,820	38,254	令和元年
2020年(令和2年)	87,121	64,471	20,786	38,600	5,085	
2021年(令和3年)	66,483	59,238	26,396	30,163	2,679	
2022年(令和4年)	68,708	86,525	15,741	64,243	6,541	
2023年(令和5年)	105,056	108,839	21,994	74,014	12,831	
2024年(令和6年)	108,586	106,928	22,450	70,668	13,810	
合 計	2,613,254	2,634,313	481,603	1,656,398	180,812	

*世界遺産登録前(2000年)は、1日100人×30日×12ヶ月で計算しています。

*2000年の4～12月は、3,000人×9ヶ月=27,000人。その年度の1～3月は、4,500人×3ヶ月=13,500人。

*世界遺産登録後から平成18年までは、1日150人×30日×12ヶ月で計算しています。

*平成18年5月より実数を集計している。

第3節 資料館

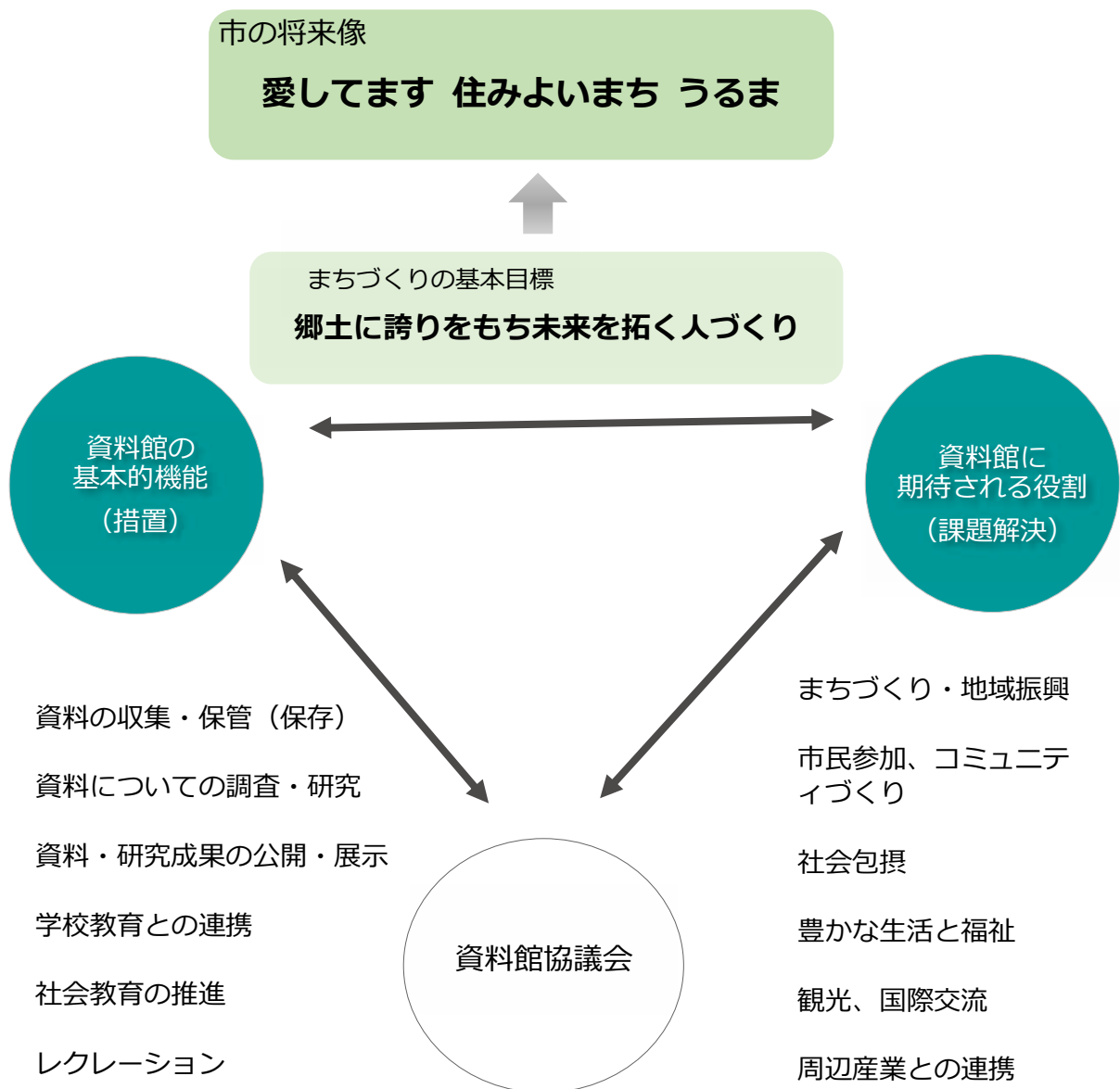
1 資料館の機能と社会構造

1. 目的

社会教育法及び文化芸術基本法に基づき、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もって国民の教育、学術及び文化の発展に寄与する（博物館法第1条）。

2. 設置

文化財および市とその周辺地域にまつわる歴史民俗に関する資料を収集、研究、保存、展示し、市民の知識および教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与する（うるま市立資料館条例第1条）。



2 うるま市立資料館

1. 石川歴史民俗資料館



Google Maps



Instagram

所在地	石川曙二丁目1番55号(石川図書館複合) TEL:098-965-3866
開館	1982(昭和57)年4月1日 旧館 1992(平成4)年7月22日 新館
竣工	1992(平成4)年1月30日
面積	2階 1,094.485㎡ 展示室・事務室・収蔵庫等 3階 162.164㎡ 収蔵庫・変電室等
駐車場	地下駐車場 20台(無料)
開館時間	午前9時～午後5時(最終入館午後4時30分)
入館料	無料
休館日	毎週月曜日(月曜が祝日の場合その翌日) 年末年始(12月29日～1月3日) 祝日(慰霊の日を含む)の翌日

展示テーマ

- 平和資料展「壕とガマ～暗やみの中から～」
- うるまのグスク展



平和資料展の様子①

展示内容

- 戦時中の壕とガマについて体感できる展示をする
- 発掘資料などを基にうるま市を解説する



平和資料展の様子②



うるまのグスク展の様子



2. 与那城歴史民俗資料館



Google Maps



Instagram

所在地	与那城中央1番地（与那城出張所複合） TEL:098-978-3149
開館	1995（平成7）年3月31日
竣工	1994（平成6）年2月21日
面積	1階 447.8㎡ 展示室・市民課窓口等 2階 372.2㎡ 資料室・講堂等
駐車場	15台（無料）
開館時間	午前9時～午後5時（最終入館午後4時30分）
入館料	無料
休館日	土・日・祝日（慰霊の日を含む） 年末年始（12月29日～1月3日）

展示テーマ

- うるまの昔話と古道具展
- 獅子舞フェスティバル写真展



与那城小学校3年生民具学習の様子

展示内容

- 昔話に登場する古道具に触れる展示
- 市内獅子舞の演舞写真を展示



「うるまの昔話と古道具展」チラシ



「うるまの昔話と古道具展」見学の様子



「獅子舞フェスティバル写真展」展示の様子

3. 海の文化資料館



Google Maps



Blog

所在地	与那城屋平 4 番地（海の駅あやはし館複合） TEL:098-978-8831
開館	2003（平成 15）年 4 月 27 日
竣工	2002（平成 14）年 12 月 20 日
面積	2 階 833.82 m ² 展示場・広域交流会議室等 1 階 1,140.86 m ² 特産販売所等
駐車場	300 台（無料）
開館時間	午前 9 時～午後 5 時 （最終入館午後 4 時 30 分）
入館料	無料
休館日	毎週月曜日（月曜が祝日の場合その翌日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） 祝日（慰霊の日を含む）の翌日

館の任務

- 海とくらしとともに生きる資料館
- まちに生き、市民とつくる、参画交流型の資料館
- 地域の民間伝承を未来につなげ、社会に開く資料館
- 子どもたちとともに、成長する資料館

展示テーマ

- 企画展「船をつくる道具たち」
- 企画展「安慶名良信」
- 共催展「ボクの生き物展～生体展示～」

展示内容

- 船大工道具と木造船の変遷などを展示
- マンガ「安慶名良信」の制作工程とマンガ題材を展示
- うるま市立高江洲小学校生徒が主催する生体展示



企画展「船をつくる道具たち」見学の様子



共催展「ボクの生き物展～生体展示～」見学の様子



企画展「安慶名良信」ポスター

3 入館者の動向

各資料館利用者数の内訳

資料館	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
石川歴史民俗資料館	1,278	974	3,572	3,452	4,364
与那城歴史民俗資料館	351	173	348	364	351
海の文化資料館	8,134	9,646	25,713	26,931	40,615
計	9,763	10,793	29,633	30,747	45,330

児童生徒利用者数の内訳

資料館	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
石川歴史民俗資料館	356	312	1,609	1,585	1,963
与那城歴史民俗資料館	17	54	80	117	132
海の文化資料館	1,855	2,400	5,521	5,278	9,965
計	2,228	2,766	7,210	6,980	12,060

あまわりパーク常設展示室の様子



あまわりパーク展示室ジオラマの様子

第4節 市史編さん

1 うるま市具志川市史編さん概要

1. 目的

先史時代から現代にいたるまでの歴史という壮大なドラマの中で、旧具志川市がどのように動き、どう変遷してきたのか、それぞれの時代を生きた人びとが、どのようにかかわってきたのかを、総合的に叙述することを目的とする。

2. 基本方針

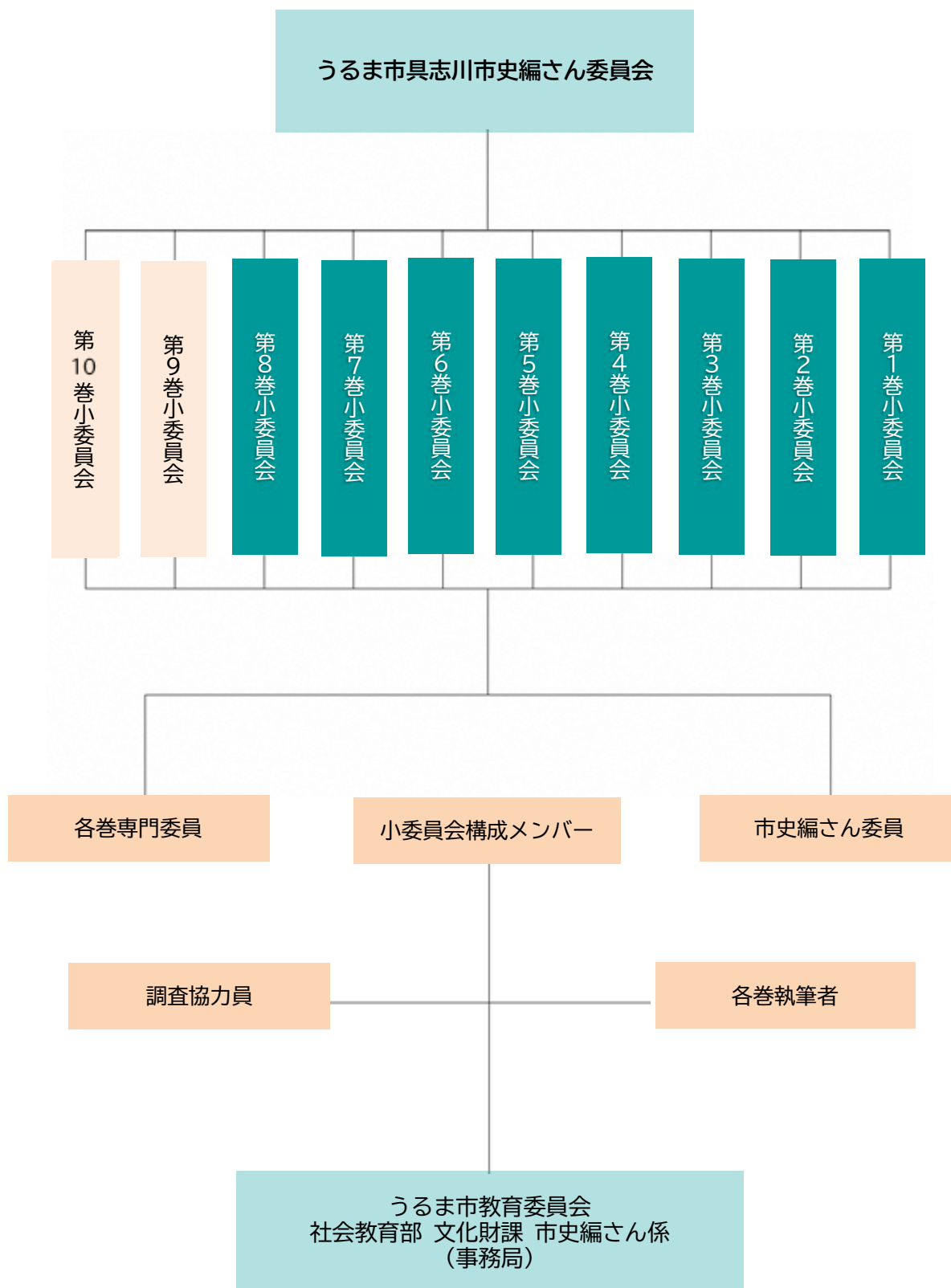
- ① 徹底的な史資料調査のもとに、科学的で実証的な編集を志向し、現在の地域史研究の水準を踏まえた学問的遺産として、後世に残せる価値あるものとする。
- ② 市民の郷土意識を啓発するとともに、文化的発展に寄与することを目標とし、市民の多面的な参加を得て史資料収集を行い、真に市民による市民のための親しみやすい地域史づくりを基本とする。

3. 巻別構成内容及び刊行年

令和6年4月現在

本 編			別 巻
巻 数	編 構 成	発行年	
第1巻	新聞集成<明治編>	平成3年	学校教材
第2巻	新聞集成<大正・昭和戦前編>	平成5年	①『ふるさとの伝え話』
第3巻	民話編 上<伝説>	平成9年	(平成6年)
	民話編 下<昔話>	平成12年	② 紙芝居(平成10年)
第4巻	移民・出稼ぎ<論考編><資料編><証言編>	平成14年	『田場大工』
第5巻	戦争編<戦時記録><戦時体験Ⅰ・Ⅱ>	平成17年	『バキムン退治』
第6巻	教育編	平成18年	
第7巻	新聞集成<昭和戦後編>	平成20年	
第8巻	民俗編	平成23年	
第9巻	文献・統計編		
第10巻	通史編		

4. うるま市具志川市史編さん委員会組織図



2 市町村史刊行物一覧

具志川

①具志川市史

No.	書 籍 名	発行年
1	具志川市誌	昭和45年
2	具志川市史 第一巻 新聞集成 明治編	平成 3年
3	具志川市史 第二巻 新聞集成 大正・昭和戦前編	平成 5年
4	具志川市史 第三巻 民話編 上 伝説	平成 9年
5	具志川市史 第三巻 民話編 下 昔話	平成12年
6	具志川市史 第四巻 移民・出稼ぎ編 (論考編・証言編・資料編) 3冊セット ※付録 具志川市史編集資料13 写真集 南洋群島の製糖とくらし	平成14年
7	具志川市史 第五巻 戦争編 (戦時記録・戦時体験 I・II) 3冊セット	平成17年
8	具志川市史 第六巻 教育編 ※付録CD	平成18年
9	具志川市史 第七巻 新聞集成 戦後編 (社会編・政治経済編・教育文化スポーツ編) 3冊 ※付録 具志川市史編集資料14 志喜屋孝信関係新聞記事集成	平成20年
10	具志川市史 第八巻 民俗編	平成23年
11	具志川市史 別 巻 民話集 『ふるさとの伝え話』	平成 6年
12	具志川市史 別 巻 紙芝居 『田場大工』 『バキムン退治』	平成10年

②具志川市史だより

No.	書 籍 名	発行年
1	具志川市史だより 創刊号	平成 3年
2	具志川市史だより 第2号	平成 3年
3	具志川市史だより 第3号	平成 4年
4	具志川市史だより 第4・5合併号	平成 5年
5	具志川市史だより 第6・7合併号	平成 6年
6	具志川市史だより 第8・9合併号	平成 7年
7	具志川市史だより 第10・11合併号	平成 8年
8	具志川市史だより 第12号	平成 9年
9	具志川市史だより 第13号	平成10年
10	具志川市史だより 第14号	平成11年
11	具志川市史だより 第15号	平成12年
12	具志川市史だより 第16号	平成13年
13	具志川市史だより 第17号	平成14年
14	具志川市史だより 第18号	平成15年

③具志川市史編集資料

No.	書 籍 名		発行年
1	具志川市史編集 資料 1	証言記録集《明治編》明治の具志川を語る	平成 3年
2	具志川市史編集 資料 2	証言記録集《大正・昭和戦前編》 大正・昭和戦前の具志川を語る	平成 5年
3	具志川市史編集 資料 3	具志川小学校創立五十周年記念誌（復刻版）	平成 5年
4	具志川市史編集 資料 4	山城文盛寄贈資料 生まれじまの記	平成 5年
5	具志川市史編集 資料 5	又吉倫祥・武二郎・淳関係資料 海外に雄飛した三兄弟の軌跡	平成 6年
6	具志川市史編集 資料 6	防衛庁防衛研修所図書館蔵 防衛庁資料目録	平成 7年
7	具志川市史編集 資料 7	具志川市の慰霊塔	平成 7年
8	具志川市史編集 資料 9	アルゼンチン・ウルグアイ移民資料 前堂盛松日記〈上〉	平成 8年
9	具志川市史編集 資料10	アルゼンチン・ウルグアイ移民資料 前堂盛松日記〈下〉	平成10年
10	具志川市史編集 資料11	一般疎開 安村静日記 －字天願から宮崎へ－	平成10年
11	具志川市史編集 資料12	移民・出稼ぎ関係新聞記事集成 －アジア・太平洋地域－	平成14年
12	具志川市史編集 資料13	写真集 南洋群島の製糖とくらし －沖山策写真アルバムより－	平成14年
13	具志川市史編集 資料14	具志川市史編集資料14 志喜屋孝信関係新聞記事 集成 一九四五年～一九六〇年	平成20年
14	絵はがき 4 枚セット		平成 6年
15	ふるさとの写真帳		平成 3年

■ 石川

No.	書 籍 名		発行年
1	石川市誌		昭和51年
2	石川市史（改訂）		昭和63年
3	いしかわの民話	伝説	昭和60年
4	いしかわの民話	昔話	昭和60年

■ 勝連

No.	書 籍 名		発行年
1	勝連村誌		昭和41年
2	勝連町史二		昭和59年
3	かつれんの民話	本島篇	平成 3年
4	かつれんの民話	離島篇	平成 2年

■ 与那城

No.	書 籍 名		発行年
1	与那城村史		昭和55年
2	よなぐすくの民話		平成元年

資料編 1 うるま市教育委員会事務点検・評価



1 うるま市教育委員会事務点検・評価

1. 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条第1項の規定に「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とあります。

うるま市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対する説明責任を果たすため、令和6年度に実施したうるま市教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、教育に関して学識経験を有する方々の知見を活用して点検及び評価を行い、「うるま市教育委員会事務点検・評価報告書」を作成し、公表しています。


2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、第1次教育振興基本計画（令和6年度～令和10年度）の134施策に紐づく、事業や取組み（令和6年度実施分）の中から11事業を選定しました。社会教育部5事業、学校教育部6事業となっています。


3. 点検・評価の方法と結果

点検・評価にあたっては、教育振興基本計画の134施策に紐づく事業や取組みの、管理シートを基に作成された事務点検評価シートを使用します。教育振興基本計画の施策に紐づく事業や取組みについて、「目指す状態」、「評価の方法」、「該当年度の取組みと成果」、「振り返りと評価」、について記載し内部評価を行います。内部評価は、A：「順調に進んでおりそのまま継続する。」B：「概ね順調に進んでおり、改善を行い継続する。」C：「順調とはいえ見直しが必要。」D：「事業の統合やスクラップも視野に検討が必要」の4項目からいずれかを選択します。

その後、7月9日、11日、14日の3日間で、外部評価委員による各課ヒアリング、内部評価が妥当であるかの確認、客観的な意見をいただき「教育委員会事務点検・評価報告書」としてまとめ、公表しています。



点検・評価の結果は「うるま市ホームページ」に掲載しています。



URL:<https://www.city.uruma.lg.jp/3001001000/contents/1139.html>

令和7年度（令和6年度実施事業分）事務点検・評価事業一覧

部 名	課 名	No.	評価対象事業・取組名
社会教育部 (3課5事業)	文化財課	1	指定文化財の維持管理事業
	文化財課	2	伝統文化・民俗芸能伝承活動事業
	図書館	3	電子図書館運営管理事業
	生涯学習文化 振興センター	4	うるま市少年ふれあい事業
	生涯学習文化 振興センター	5	わくわく文化体験教室
学校教育部 (3課6事業)	学校教育課	6	小・中学校教育情報基盤整備事業
	学校教育課	7	教員業務支援員の配置事業・共同学校事務室との連携・スクリレの活用の取組み
	学校教育課	8	対話型学校組織開発コンサルティング事業
	学務課	9	就学援助事業
	学校生活応援課	10	適応指導教室事業
	学校生活応援課	11	校内自立支援事業

資料編 2 各種委員等



1 うるま市社会教育委員

	氏名	所 属	任 期
1	上間 順一	元学校長	R7.6.1～R9.5.31
2	佐渡山 安輝	石川民生委員・児童委員協議会 主任児童委員	〃
3	高平 兼司	元高江洲中PTA 会長	〃
4	島袋 行正	うるま地区防犯協会 会長	〃
5	我如古 有美子	J A 与那城支店女性部	〃
6	天願 綾子	地域コーディネーター	〃
7	小潮川 百合子	与勝地区学校ボランティア	〃
8	上里 敏正	平安座自治会長	〃

2 うるま市立図書館協議会

	役 職	氏 名	所 属	任 期
1	委員長	天 願 綾 子	朗読ボランティア すだち	R6.2.1～R8.1.31
2	副委員長	名 城 邦 孝	沖縄国際大学 准教授	〃
3	委員	松 田 健 史	仲原小学校 校長	〃
4	〃	仲 地 一	むぎの子保育園 園長	〃
5	〃	比 屋 根 美 由 紀	うるま市PTA連合会	〃
6	〃	森 根 隆	屋慶名自治会 会長	〃
7	〃	平 良 雄 史	うるま市商工会	〃
8	〃	西 平 守	元うるま市立図書館職員	〃

3 うるま市文化財保護審議会

	氏名	分野	所属	任期
1	恩河 尚	歴史学	沖縄市 市史編集室 沖縄国際大学非常勤講師	R6.6.1～R8.5.31
2	稲福 政斉	歴史・民俗 ・美術工芸	沖縄国際大学・沖縄大学非常勤講師	〃
3	石川 朋子	社会学・平和学	沖縄国際大学非常勤講師	〃
4	大谷 勉	自然 (爬虫類・両生類)	高田爬虫類研究所／室長	〃
5	宮城 弘樹	考古学	沖縄国際大学准教授	〃
6	山城 一美	建築学・住居環境学	沖縄職業能力開発大学校住居環境科特任教授	〃
7	大城 剛	考古学	西原町国指定史跡「内間御殿」整備委員会委員・西原町文化財保護審議会委員	〃

4 うるま市立資料館協議会

	氏名	分野	勤務先	任期
1	高平 兼司	水辺（湧き水・川）	沖縄県地球温暖化防止活動推進センター長 うるま市水と緑を考える会代表	R6.6.1～R8.5.31
2	藤井 晴彦	環境教育・海洋生物学	那覇市立森の家みんなみん代表 理学博士	〃
3	千住 直広	観光・NPO	浦添市観光協会 沖縄国際大学非常勤講師	〃
4	豊永 栄子	児童教育	宮城子ども広場室長	〃
5	安座間 奈緒	考古学・文化財修復	なおラボ代表 沖縄国際大学非常勤講師	〃
6	毛呂 祐子	芸術学・展示論	アトリエゆう講師 沖縄県立芸術大学博物館展示論非常勤講師	〃

5 うるま市具志川市史編さん委員会 第9巻専門委員

	氏名	分野	所属	任期
1	照屋 理	琉球文学	名桜大学教授	具志川市史第9巻 発刊まで
2	屋良 健一郎	歴史学	名桜大学上級准教授	〃
3	安谷屋 盛広	経営学	沖縄国際大学非常勤講師	〃

6 うるま市立学校給食センター運営委員会

	運営委員名	所属等	委 嘱 期 間
1	當 銘 剛	高江洲中学校 校長	R7.4.1~R8.3.31
2	伊 波 努	具志川中学校 校長	〃
3	島 袋 淳	田場小学校 校長	〃
4	島 袋 盛 章	兼原小学校 校長	〃
5	松 田 健 史	中原小学校 校長	〃
6	伊 礼 美 和 子	城前小学校 校長	〃
7	金 城 かなえ	石川中学校 校長	〃
8	比 嘉 正 彦	南原小学校 校長	〃
9	島 袋 弘 文	平敷屋小学校 校長	〃
10	上 門 博 之	与勝第二中学校 校長	〃
11	徳 永 誠	津堅小中学校 校長	〃
12	牧 門 司	うるま市PTA連合会 会長	〃
13	嘉 手 納 大 樹	うるま市教育委員会 学校教育課 課長	〃
14	金 城 敏 江	宮森小学校 栄養教諭	〃
監 査 委 員 名		所 属 等	委 嘱 期 間
1	宇 江 城 聖 子	学識経験者	R7.4.1~R8.3.31
2	比 屋 根 美 由 紀	うるま市PTA連合会 役員	〃

7 うるま市いじめ問題対策審議会委員

	運営委員名	職 業	所 属	備 考
1	謝花 喜晃	弁護士	ゆあ法律事務所	R6.4.1~R8.3.31
2	松川 友樹	臨床心理士	沖縄カウンセリングセンター	〃
3	早田 あゆみ	臨床心理士	沖縄国際大学キャンパス相談室	〃
4	丹野 清彦	大学講師	琉球大学	〃
5	香川 祥子	医師	沖縄リハビリテーションセンター 病院	〃

8 うるま市教育支援センター運営委員

任期：R7.4.1～R8.3.31

	役 職	氏 名	所 属
1	委 員 長	仲 村 正 樹	うるま市立具志川東中学校 校長
2	副 委 員 長	上 門 健 作	うるま市立具志川小学校 校長
3	委 員	宮 城 修	うるま市立あげな中学校 教頭
4	”	長 浜 千 春	うるま市立天願小学校 教頭
5	”	砂 川 智 史	うるま市立具志川中学校 生徒指導主任
6	”	崎 原 和 美	うるま市立与勝第二中学校 教育相談担当
7	”	玉 栄 早和子	うるま市立宮森小学校 教育相談担当
8	”	長 濱 勝 志	うるま市立田場小学校 特別支援コーディネーター
9	”	嘉手納 大 樹	うるま市教育委員会 学校教育課 課長
10	”	甲 斐 崇	うるま市教育委員会 学校教育課 主幹

9 うるま市教育支援委員会

	氏 名	所 属 ・ 職 名	任 期
1	屋 宜 英 樹	うるま市立あげな小学校 校長	R7.4.1 ～ R9.3.31
2	遠 藤 尚 宏	発達クリニック Can 院長	R7.4.1 ～ R9.3.31
3	渡慶次 賀 博	中部ゆくいクリニック 医師	R7.4.1 ～ R9.3.31
4	城 間 政 次	元沖縄県立沖縄高等特別支援学校 校長	R7.4.1 ～ R9.3.31
5	我如古 優 子	保護者代表(うるま市手をつなぐ育成会)	R7.4.1 ～ R9.3.31
6	内 間 秀 樹	沖縄県立美咲特別支援学校 校長	R7.4.1 ～ R9.3.31
7	浦 崎 達 夫	沖縄県立沖縄高等特別支援学校 校長	R7.4.1 ～ R9.3.31
8	天 貝 京 香	沖縄県立泡瀬特別支援学校 教諭 特別支援教育コーディネーター	R6.4.1 ～ R8.3.31
9	田 原 七七子	沖縄県立沖縄高等特別支援学校 教諭 特別支援教育コーディネーター	R7.4.1 ～ R9.3.31
10	金 城 節 子	うるま市立伊波小学校 特別支援学級(言語)担当 特別支援教育コーディネーター	R7.4.1 ～ R9.3.31

	氏 名	所 属 ・ 職 名	任 期
11	大 城 麻紀子	沖縄県立西崎特別支援学校 教諭	R6.4.1 ~ R8.3.31
12	小 林 及 恵	うるま市立南原小学校 特別支援学級(知的)担当 特別支援教育コーディネーター	R7.4.1 ~ R9.3.31
13	前 泊 理 香	うるま市立あげな中学校 特別支援学級(情緒)担当 特別支援教育コーディネーター	R7.4.1 ~ R9.3.31
14	上 門 香	うるま市立天願小学校 特別支援学級(知的)担当	R7.4.1 ~ R9.3.31
15	渡慶次 よりえ	うるま市立高江洲中学校 特別支援学級(知的)担当 特別支援教育コーディネーター	R6.4.1 ~ R8.3.31
16	狩 俣 順 也	障がい児相談支援事業所 うーまぐーコネクト 代表取締役	R6.4.1 ~ R8.3.31
17	山 城 美 幸	株式会社 SOH-creative ヤマシロ ことばの相談室 サンサン 代表 言語聴覚士	R6.4.1 ~ R8.3.31
18	長 濱 勝 志	うるま市立田場小学校 特別支援学級(知的)担当 特別支援教育コーディネーター	R6.4.1 ~ R8.3.31
19	八 卷 あゆみ	こども未来部 教育保育支援課 与那城こども園 主幹保育 教諭	R7.4.1 ~ R9.3.31
20	上 地 淑 江	こども未来部 子育て包括支援課 母子保健指導係 主任保 健師	R7.4.1 ~ R9.3.31
21	安慶名 真 弓	福祉部 障がい福祉課 障がい相談係 係長 社会福祉士	R7.4.1 ~ R9.3.31
22	眞榮喜 優 子	こども未来部 こども発達支援課 発達相談係 幼稚園主任 教諭	R7.4.1 ~ R9.3.31
23	眞 壁 広 美	こども未来部 こども発達支援課 発達相談係 主査保育士	R7.4.1 ~ R9.3.31
24	小 谷 育 子	こども未来部 こども発達支援課 親子通園 係長 保育教 諭	R7.4.1 ~ R9.3.31
25	岡 田 育 子	こども未来部 教育保育支援課 教育保育支援係 主幹保育 教諭	R6.4.1 ~ R8.3.31
26	仲 間 信 也	教育委員会 学校生活応援課 計画支援係 特命主査臨床心 理士	R7.4.1 ~ R9.3.31
27	山入端 綾 香	教育委員会 学校生活応援課 教育相談係 臨床心理士	R7.4.1 ~ R9.3.31
28	山 内 和歌子	教育委員会 学校生活応援課 教育相談係 臨床心理士	R7.4.1 ~ R9.3.31
29	奥 村 由美子	こども未来部 こども発達支援課 親子通園 臨床心理士	R6.4.1 ~ R8.3.31
30	名 護 泰 子	教育委員会 学校生活応援課 特別支援教育アドバイザー	R7.4.1 ~ R9.3.31

10 学校医・歯科医・薬剤師一覧

任期：令和7年4月1日～令和8年3月31日

学校名	学校医	学校歯科医	学校薬剤師
宮森小学校	山田 芳 弘 山田小児科内科医院：965-3577	饒 波 毅 のは歯科クリニック：965-1862	佐 次 田 聖 さしだ薬局曙店：965-4906
	與 座 朝 義 よざ耳鼻咽喉科：964-4133	飯 沼 良 子 アールデンタル：965-3456	井 村 倫 子
伊波小学校	石 川 隆 夫 石川医院：964-3049	伊 波 幸 一 幸一デンタルオフィス：956-7171	瑞 慶 山 礼 奈 いは薬局（うるま市）：965-6767
	伊 佐 眞 伊佐整形外科：931-1111	比 嘉 正 則 比嘉デンタルクリニック：933-6800	武 田 美 帆 うらしま薬局石川ビーナッツ店：989-1797
与那城小学校	増 成 秀 樹 与勝あやはしクリニック：983-0055	知 念 克 二 ちねん歯科医院：973-7555	土 屋 菜 々 美 へしきや薬局：978-6036
	井 口 梓 あずさクリニック：975-0055	島 袋 亮 ファミリー歯科クリニック：972-4141	新 江 裕 貴 ひが薬局与那城店：989-4692
勝連小学校	名 護 宏 泰 与勝病院：978-5235	野 原 昭 彦 野原歯科医院：975-1888	宮 里 建 次 へしきや薬局：978-6036
	佐 久 本 高 達 さくもと内科クリニック：989-7211	野 原 昭 彦 野原歯科医院：975-1888	宮 里 建 次 へしきや薬局：978-6036
津堅小中学校	天 願 俊 穂 中部病院津堅診療所：978-2918	仲 真 良 彦 仲真歯科医院：923-0112	柴 田 忠 佳 ももたろう薬局：879-6888
	大 嶺 雅 亮 大嶺医院：973-1125	赤 地 修 あおば歯科クリニック：972-4618	長 濱 照 美 いずみ薬局：972-7788
天願小学校	喜 友 名 琢 也 ソフィアクリニック：923-2110	赤 地 一 史 あおば歯科クリニック：972-4618	市 岡 伶 央 名 和ごころ薬局あかみち店：989-0715
	前 田 清 貴 みどり町クリニック：972-3858	市 村 崇 みどり町さくら歯科医院：972-2221	瑞 慶 山 純 子 いは薬局（うるま市）：965-6767
田場小学校	小 渡 敬 平和病院：973-2000	大 城 敦 江 スマイル歯科：974-3311	武 田 美 帆 うらしま薬局石川ビーナッツ店：989-1797
	兼城 真理子（川根 浩三） 川根内科外科：974-3025	康 本 征 史 つがやす歯科こども歯科：973-9335	上 間 秀 子 あかみち薬局美里店：921-3400
兼原小学校	小 橋 川 悟	浦 野 邦 彦 アロハ・デンタルクリニック：988-5639	新 江 裕 貴 ひが薬局与那城店：989-4692
	宮 里 善 次 中頭病院：939-1300	宮 里 清 和 中頭歯科診療室：938-2030	村 田 成 夫 すこやか薬局よみたん店：956-1093
中原小学校	知 念 正 雄	大 城 敦 江 スマイル歯科：974-3311	前 濱 渚 りんご薬局 古謝店：929-2700
	西 平 靖 登川脳神経内科クリニック：975-8333	崎 原 幹 雄 みきお歯科医院：921-2232	江 夏 恭 範 あかみち薬局：974-1673
石川中学校	渡邊 浩樹（高江洲 義英） いずみ病院：972-7788	石 川 末 子 石川歯科医院：964-5958	高 橋 優 子 さしだ薬局石川中学校前店：964-2302
	石 川 隆 夫 石川医院：964-3049	石 川 正 人 銀座歯科医院：964-2045	佐 次 田 頌 さしだ薬局しらはま店：987-8128
与勝中学校	竹 田 真 一 与勝病院：978-5235	澤 田 直 則 しおみ歯科医院：978-7804	伊 禮 隆 一 いれいはりきゅう院：973-3193
	島 袋 晃 あきら整形外科クリニック：921-3330	津 嘉 山 一 パーク歯科：974-3663	伊 禮 隆 一 いれいはりきゅう院：973-3193
あげな中学校	岩 下 秀 彦 いわした内科クリニック：982-6666	知 念 克 二 ちねん歯科医院：973-7555	瑞 慶 山 純 子 いは薬局（うるま市）：965-6767
	上 里 迅 かつれん耳鼻科クリニック：989-6381	大 串 美 央 3 0 矯正歯科：973-4188	福 地 健 治 メイト平良川薬局：974-8811
高江洲中学校	城 間 拓 哉 しろま内科クリニック：973-2500	花 城 国 英 愛の里歯科診療所：974-8571	座 喜 味 美 智 子 ざきみ薬局：974-3353
	塩 田 和 誉 アワセ第一医院：937-5536	高 田 隆 充 なぎさ歯科医院：974-6606	吉 本 尚 志 医療法人HSR 名嘉村クリニック：870-6600

11 うるま市の自治会

具志川地区

	自治会名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
1	具志川	904-2223	字具志川381	973-3407	電話兼用
2	田場区	904-2213	字田場822-1	973-6069	973-6070
3	赤野区	904-2212	字赤野1124	973-9212	電話兼用
4	宇堅区	904-2211	字宇堅1019	973-3558	電話兼用
5	天願区	904-2202	字天願76	972-3573	電話兼用
6	昆布	904-2201	字昆布1832-327	972-3574	電話兼用
7	栄野比区	904-2205	字栄野比357-2	972-3551	電話兼用
8	川崎	904-2203	字川崎202	972-3471	電話兼用
9	西原区	904-2204	字西原467	973-3427	電話兼用
10	安慶名	904-2214	安慶名3丁目18-7	972-6052	972-6077
11	平良川	904-2221	字平良川350-1	973-6059	電話兼用
12	上平良川	904-2225	字喜屋武371	973-3493	電話兼用
13	兼箇段区	904-2241	字兼箇段871-2	973-3552	電話兼用
14	米原区	904-2241	字兼箇段1561-1	973-3431	電話兼用
15	赤道区	904-2245	字赤道345	973-3432	電話兼用
16	江洲	904-2244	字江洲14	973-3001	電話兼用
17	宮里	904-2243	字宮里157	973-9013	電話兼用
18	喜仲区	904-2236	喜仲3丁目6-5	979-0503	電話兼用
19	上江洲	904-2222	字上江洲345-1	973-3502	923-0635
20	大田区	904-2224	字大田219-1	973-3555	973-3581
21	川田区	904-2232	字川田259	973-3556	電話兼用
22	塩屋区	904-2231	字塩屋472-7	973-3455	電話兼用
23	豊原区	904-2233	字豊原253	973-1312	電話兼用
24	高江洲	904-2242	字高江洲54-3	973-3571	電話兼用
25	前原	904-2235	字前原229-1	973-4635	電話兼用
26	志林川区	904-2242	字高江洲909-1	973-9009	電話兼用
27	新赤道	904-2245	字赤道972-101	973-6076	電話兼用
28	みどり町一・二丁目	904-2215	みどり町2丁目8-18	974-5480	電話兼用
29	みどり町三・四丁目	904-2215	みどり町3丁目13-5	974-5839	電話兼用
30	みどり町五・六丁目	904-2215	みどり町5丁目7-8	972-5606	電話兼用

石川地区

	自治会名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
31	曙区	904-1107	石川曙2丁目7-35	965-4780	電話兼用
32	南栄区	904-1106	石川436-1	964-4263	電話兼用
33	城北区	904-1106	石川841-1	965-2111	電話兼用
34	中央区	904-1106	石川2丁目2-11	964-1771	電話兼用
35	松島区	904-1106	石川1丁目26-3	964-6060	電話兼用
36	宮前区	904-1106	石川1丁目49-9	965-1113	電話兼用
37	東山区	904-1101	石川東山本町1丁目17-3	923-4484	電話兼用
38	旭区	904-1102	石川東山2丁目11-2	965-4520	電話兼用
39	港区	904-1103	石川赤崎2丁目11-1	965-4964	なし
40	伊波区	904-1115	石川伊波29	965-1807	電話兼用
41	嘉手苧区	904-1114	石川嘉手苧366	964-4350	電話兼用
42	山城	904-1113	石川山城389-6	965-4233	電話兼用
43	石川前原区	904-1111	石川東恩納947-6	965-7021	電話兼用
44	東恩納区	904-1111	石川東恩納480-1	964-3255	電話兼用
45	美原区	904-1111	石川東恩納1524	965-4713	電話兼用

勝連地区

	自治会名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
46	平敷屋	904-2314	勝連平敷屋4068	978-2231	電話兼用
47	内間区	904-2313	勝連内間980	978-2238	電話兼用
48	平安名区	904-2312	勝連平安名655-1	978-2237	978-3715
49	南風原区	904-2311	勝連南風原255	978-2235	電話兼用
50	浜区	904-2315	勝連浜91	977-8450	977-8788
51	比嘉区	904-2316	勝連比嘉125	977-7227	電話兼用
52	津堅区	904-2317	勝連津堅27	978-7510	電話兼用

与那城地区

	自治会名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
53	照間区	904-2301	与那城照間1115-1	978-2233	電話兼用
54	与那城西原	904-2302	与那城西原99	978-2236	電話兼用
55	与那城	904-2303	与那城142	978-2230	電話兼用
56	饒辺	904-2307	与那城饒辺303-1	978-2232	電話兼用
57	屋慶名	904-2304	与那城屋慶名1098	978-2228	電話兼用
58	平安座	904-2426	与那城平安座409-2	977-8127	977-7779
59	桃原	904-2425	与那城桃原400-3	977-8182	電話兼用
60	上原	904-2423	与那城宮城122-2	977-8166	電話兼用
61	宮城	904-2423	与那城宮城122-2	977-7924	電話兼用
62	池味	904-2422	与那城池味937	977-8256	電話兼用
63	伊計	904-2421	与那城伊計237	977-7373	電話兼用

資料編 3 施設使用料



1 学校施設使用料

学校体育施設開放事業の使用料は、うるま市立学校施設等使用料に関する条例(平成17年うるま市条例第68号)を準用するものとし、使用時間は1時間単位、体育館使用面積は、半コート単位に区分し算出します。

区 分		使 用 料						
施 設	使用者	20:00～22:00 ※1時間あたり						備 考
体育館	団 体	400円						半コート分
運動場	団 体	200円						
	照明使用1時間につき							
	使用基数	1基	2基	3基	4基	5基	6基	
	使用料金	150円	300円	450円	600円	750円	900円	

2 うるま市立公民館使用料

使用場所(室)	項 目	市 内		市 外	
		平 日 9:00～17:00	平 日 17:00～22:00 土曜日	平 日 9:00～17:00	平 日 17:00～22:00 土曜日
ホール	(一般集会) 1時間につき	1,000円	1,500円	1,500円	2,200円
	(宴 会) 1時間につき	2,000円	3,000円	3,000円	4,500円
	(冷房使用料) 1時間につき	1,000円	1,000円	1,500円	1,500円
調理室	1時間につき	700円	1,000円	1,000円	1,500円
	(冷房使用料) 1時間につき	500円	500円	750円	750円
研修室 その他	1時間につき	500円	750円	750円	1,100円
	(冷房使用料) 1時間につき	500円	500円	750円	750円

3 生涯学習文化振興センターゆらてく施設使用料

1 施設使用料（1時間単位）

区 分		使用時間帯		冷房
		9：00～17：00	17：00～22：00	
1 階	多目的ホール	1,000円	1,500円	1,000円
	多目的ホール(土日祝日)	1,500円	1,500円	1,000円
	楽屋1・2	各200円	各300円	各200円
	音楽室1	500円	750円	500円
	音楽室2・3	各300円	各450円	各300円
	研修室1	500円	750円	500円
	研修室2・3	各400円	各600円	各400円
	研修室4	300円	450円	300円
	創作活動室	500円	750円	500円
	ブラウジングコーナー	500円	750円	－
	コモンズ1	1,000円	1,500円	－
	コモンズ2・3	各300円	各450円	－
	コモンズ4	400円	600円	－
2 階	研修室5	400円	600円	400円
	軽音楽室	400円	600円	400円
	調理室	700円	1,050円	500円
	多目的室	300円	450円	300円
	和室	500円	750円	500円
	コモンズ5・6・7	各200円	各300円	－
	ライブエリア1	500円	750円	－
	ライブエリア2・3・4	各300円	各450円	－
	中庭	500円	750円	－

※市外の者が使用する時の使用料は、上記の1.5倍（10円未満の端数は切り捨て）

※イベント等で入場料が発生する場合は、上記の2倍

2 施設設備・備品使用料

種類	単位	使用料
ホール舞台照明設備	1日	4,000円
ホール舞台音響設備	1日	2,000円
ホール映像設備	1日	2,000円
グランドピアノ	1日	1,000円
ドラムセット	1日	500円
陶芸釜(燃料込み)	3時間	2,000円

4 うるま市民芸術劇場施設使用料

1 響ホール施設使用料

区 分		料 金					単位：円	
		午 前	午 後	夜 間	昼 間	昼夜間	全 日	
		9時～12時	13時～17時	18時～22時	9時～17時	13時～22時	9時～22時	
入場料を徴収しない場合	平 日	7,200	14,800	18,200	21,000	31,200	36,400	
	土・日・祝祭日	9,400	19,400	23,600	27,400	40,400	47,200	
入場料を徴収する場合	1,000円未満	平 日	9,400	19,400	23,600	27,400	40,400	47,200
		土・日・祝祭日	12,200	25,000	30,600	35,400	52,600	61,200
	1,000円以上 2,000円未満	平 日	11,600	23,800	29,000	33,600	49,800	58,200
		土・日・祝祭日	14,800	30,400	37,200	43,000	63,800	74,400
	2,000円以上 3,000円未満	平 日	16,200	30,800	38,800	45,600	66,600	77,600
		土・日・祝祭日	19,800	40,800	50,000	58,000	86,000	100,000
	3,000円以上	平 日	17,000	34,800	42,600	49,400	73,200	85,200
		土・日・祝祭日	21,800	44,800	54,600	63,200	94,000	110,000

2 燈ホール施設使用料

区 分		料 金					単位：円	
		午 前	午 後	夜 間	昼 間	昼夜間	全 日	
		9時～12時	13時～17時	18時～22時	9時～17時	13時～22時	9時～22時	
入場料を徴収しない場合	平 日	3,600	7,400	9,100	10,500	15,600	18,200	
	土・日・祝祭日	4,700	9,700	11,800	13,700	20,200	23,600	
入場料を徴収する場合	1,000円未満	平 日	4,700	9,700	11,800	13,700	20,200	23,600
		土・日・祝祭日	6,100	12,500	15,300	17,700	26,300	30,600
	1,000円以上 2,000円未満	平 日	5,800	11,900	14,500	16,800	24,900	29,100
		土・日・祝祭日	7,400	15,200	18,600	21,500	31,900	37,200
	2,000円以上 3,000円未満	平 日	8,100	15,400	19,400	22,800	33,300	38,900
		土・日・祝祭日	9,900	20,400	25,000	29,000	43,000	50,000
	3,000円以上	平 日	8,500	17,400	21,300	24,700	36,600	42,600
		土・日・祝祭日	10,900	22,400	27,300	31,600	47,000	55,000

3 リハーサル室使用料

リハーサル室使用料	1時間につき 300円
-----------	-------------

4 附属設備使用料

種 別	単 位	使用料
舞台道具	1回1点につき	7,000円以内で市長が定める額
音響器具	1回1点につき	8,000円以内で市長が定める額
照明器具	1回1点につき	2,000円以内で市長が定める額
その他	1回1点につき	10,000円以内で市長が定める額

5 冷房料金

区 分	単 位	使用料
(1) 響ホール	1時間につき	4,000円
(2) 燈ホール	1時間につき	2,000円
(3) リハーサル室	1時間につき	500円

※ 舞台のみの場合は、(1)または(2)の4分の1の額

6 その他

- 「入場料」とは、入場料、会費、会場整理費その他名称のいかんを問わず、入場者から金銭を徴収するものをいう。
- 利用時間を超過して利用する場合は、1時間(30分未満は切り捨て、30分以上は1時間とみなす。)を限度とし、次の使用料を徴収する。
 - 12時から13時までの1時間については、午前使用料の3分の1の額
 - 17時から18時までの1時間については、午後使用料の4分の1の額
 - 22時から23時までの1時間については、夜間使用料の4分の1の額
- 使用料の算定において、100円未満の端数が生じたときは、これを切り上げる。
- 商業宣伝若しくは営利又はこれらに類似する行為を目的として利用する場合の使用料は、入場料を徴収する場合の3,000円以上の使用料区分欄を適用する。

5 うるま市石川会館施設使用料

1 施設使用料

	区 分		料 金					単位：円	
			午 前	午 後	夜 間	昼 間	昼夜間	全 日	
			9時～12時	13時～17時	18時～22時	9時～17時	13時～22時	9時～22時	
大ホール（その他の室を含む。）	入場料を徴収しない場合	平 日	8,300	16,600	23,000	25,300	40,700	42,000	
		土・日・祝祭日	11,000	22,000	28,000	33,000	49,000	55,000	
	1,000円未満	平 日	11,000	22,000	28,000	33,000	49,000	55,000	
		土・日・祝祭日	14,500	29,000	34,000	43,000	59,000	72,000	
	1,000円以上 2,000円未満	平 日	16,000	31,000	37,000	45,000	66,000	77,000	
		土・日・祝祭日	19,000	39,000	48,000	57,000	81,000	96,000	
	2,000円以上 3,000円未満	平 日	17,000	34,000	40,000	49,000	72,000	83,000	
		土・日・祝祭日	21,000	42,000	51,000	62,000	88,000	103,000	
	3,000円以上	平 日	22,000	45,000	55,000	65,000	94,000	110,000	
		土・日・祝祭日	29,000	57,000	74,000	83,000	127,000	148,000	
	その他の室のみを使用するとき	研修室(一階)		500	800	1,200	1,200	1,700	2,200
		研修室(二階)		500	800	1,200	1,200	1,700	2,200
主催者控室		500	600	1,000	1,000	1,500	2,000		
リハーサル室		800	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000		
準備及び練習のために 使用するとき			当該基本料金の5割						
ホワイエのみ使用するとき			当該基本料金の5割						

2 附属設備使用料

種 別	単 位	使用料
舞台道具	1回1点につき	2,500円以内で市長が定める額
音響器具	1回1点につき	2,800円以内で市長が定める額
照明器具	1回1点につき	2,500円以内で市長が定める額
映写機	1回1点につき	3,000円以内で市長が定める額
ピアノ	1回1点につき	5,200円以内で市長が定める額
その他	1回1点につき	1,000円以内で市長が定める額

3 冷房料金

区 分	単 位	使用料
大ホール	1時間につき	7,000円
研修室(2階のみ)	1時間につき	200円
主催者控え室	1時間につき	150円
リハーサル室	1時間につき	250円
ホワイエ	1時間につき	1,200円

4 その他

- 1 使用料を超過して利用する場合、1時間(30分未満は切り捨て、30分以上は1時間とみなす)を限度とし、次の使用料を徴収する。
 - (1) 12～13時までの1時間については 午前使用料の3分の1額
 - (2) 17～18時までの1時間については 午後使用料の4分の1額
 - (3) 22～23時までの1時間については 夜間使用料の4分の1額
- 2 商業宣伝若しくは営利又はこれらに類似する行為を目的として使用する場合の使用料は、次のとおりとする。
 - ・大ホール 入場料を徴収する場合の3,000円以上の使用料区分欄を適用する。
- 3 使用料の算定において、100円未満の端数が生じたときはこれを切り上げる。

6 うるま市きむたかホール施設使用料

1 施設使用料

区 分		料 金					単位：円	
		午 前	午 後	夜 間	昼 間	昼夜間	全 日	
		9時～12時	13時～17時	18時～22時	9時～17時	13時～22時	9時～22時	
入場料を徴収しない場合	平 日	8,000	16,000	20,000	21,600	32,400	37,400	
	土・日・祝祭日	10,400	20,800	26,000	28,100	42,200	48,700	
入場料を徴収する場合	1,000円未満	平 日	10,400	20,800	26,000	28,100	42,200	48,700
		土・日・祝祭日	13,600	27,200	34,000	36,800	55,100	63,600
	1,000円以上 2,000円未満	平 日	12,500	25,000	31,300	33,800	50,700	58,500
		土・日・祝祭日	16,300	32,600	40,800	44,100	66,100	76,300
	2,000円以上 3,000円未満	平 日	15,000	30,000	37,500	40,500	60,800	70,200
		土・日・祝祭日	19,500	39,000	48,800	52,700	79,100	91,300
	3,000円以上	平 日	18,000	36,000	45,000	48,600	72,900	84,200
		土・日・祝祭日	23,400	46,800	58,500	63,200	94,800	109,400
	本番の日以外に準備及び練習のため使用する場合		当該基本使用料の5割					

2 その他の施設使用料

区 分		料 金					単位：円
		午 前	午 後	夜 間	昼 間	昼夜間	全 日
		9時～12時	13時～17時	18時～22時	9時～17時	13時～22時	9時～22時
きむたかホール	リハーサル室	600	1,100	1,400	1,600	2,300	2,700
	ラウンジ	300	550	700	800	1,150	1,350
	体験交流室1	1時間につき500円					
	体験交流室2	1時間につき600円					
	体験交流室3	1時間につき300円					

3 附属設備使用料

種 別	単 位	使用料
舞台設備	1回1点につき	2,000円以内
楽 器	1回1点につき	8,000円以内
音響設備	1回1点につき	2,000円以内
照明設備	1回1点につき	2,000円以内
ビデオプロジェクターシステム	1回1点につき	2,000円以内
スクリーン	1回1点につき	1,000円以内
電 源	1回1点につき	200円以内

4 冷房料金

区 分	単 位	使用料
きむたかホール	1時間につき	3,500円
リハーサル室のみ使用	1時間につき	1,000円
体験交流室1・2・3	1時間につき	500円

5 その他

- 1 「平日」とは月曜日から金曜日までをいう。(2に規定する祝祭日を除く。)
- 2 「祝祭日」とは国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日及び6月23日(慰霊の日)をいう。
- 3 施設使用料は楽屋等の附帯設備を含む。
- 4 「入場料」とは入場料・会費・会場整理費その他名称のいかんを問わず入場の対価として徴収するものをいう。
- 5 使用時間を経過して使用する場合は1時間(30分未満は切り捨て、30分以上は1時間とみなす。)を限度とし、次の使用料を徴収する。
 - (1) 12時から13時までの1時間については、午前使用料の3分の1の額
 - (2) 17時から18時までの1時間については、午後使用料の4分の1の額
 - (3) 22時から23時までの1時間については、夜間使用料の4分の1の額
- 6 使用料の算定において100円未満の端数が生じるときはこれを切り上げる。
- 7 商業宣伝若しくは営利又はこれらに類似する行為を目的として使用する場合の施設使用料は、次のとおりとする。
 - (1) きむたかホール
入場料を徴収する場合の3,000円以上の使用料区分を適用する。
 - (2) リハーサル室
当該使用料の20割額

資料編 4 学校・教育機関



1 うるま市教育委員会事務局等の連絡先

1. 市教育委員会 事務局

社会教育部			
課 名	所在地	TEL	FAX
教育政策課	みどり町1-1-1 西棟3階	923-7111	923-7145
教育施設課		923-7166	
新調理場整備室		923-7126	
文化財課（文化財保全係、歴史文化振興係）		923-7182	923-7674
（市史編さん係）	字平良川128 （中央図書館地下1階）	973-9394	974-7098

学校教育部			
課 名	所在地	TEL	FAX
学務課	みどり町1-1-1 西棟3階	923-2159	923-7142
学校教育課		923-7120	
学校生活応援課		923-7158	

2. 市教育委員会 教育機関

社会教育部			
教育機関名	所在地	TEL	FAX
生涯学習文化振興センター	字仲嶺187（1階）	988-5508	988-5504
ゆらてく	〃（2階）	923-1571	923-1572
石川地区公民館	石川曙2-1-52	964-3433	964-3467
勝連地区公民館	勝連平安名3047	978-7194	978-2247
うるま市立図書館 中央図書館	字平良川128	974-1112	974-3505
石川図書館	石川曙2-1-55	964-5166	964-5608
勝連図書館	勝連平安名3047	978-4321	978-2247
うるま市立資料館 石川歴史民俗資料館	石川曙2-1-55	965-3866	965-3866
与那城歴史民俗資料館	与那城中央1	978-3149	978-8747
海の文化資料館	与那城屋平4	978-8831	978-8841

学校教育部			
教育機関名	所在地	TEL	FAX
うるま市教育支援センター	みどり町1-1-1 西棟3階	923-7158	923-7142
具志川・与勝地区相談室「ふたば」・ 適応指導教室「さわやか学級」	字川崎468	923-2159	989-9134
石川地区相談室「ふたば」・ 適応指導教室「いしかわルーム」	石川1-46-1	923-7120	988-5853
うるま市立学校給食センター 第一調理場	字田場709-1	973-1111	973-1148
第二調理場	字田場850	973-1112	973-1303
石川学校	石川赤崎1-3-2	965-3150	965-3282
与勝調理場	与那城饒辺231	978-3522	978-3555
津堅学校調理場	勝連津堅1327	978-2141	978-1005

3. 社会教育部施設及び関係課

社会教育部施設			
施設名	所在地	TEL	FAX
生涯学習文化振興センター うるま市民芸術劇場	字仲嶺175	973-4400	973-4444
うるま市石川会館	石川石崎1-1	965-5630	965-5613
うるま市きむたかホール	勝連平安名3071	978-2219	978-2267

その他関係課			
課名	所在地	TEL	FAX
こども未来部 教育保育支援課	みどり町1-1-1 (東棟2階)	923-7119	979-7026
産業経済部 観光・スポーツ課	〃 (西棟1階)	923-7612	923-7623
あまわりパーク歴史文化施設 (企画部 プロジェクト推進2課)	勝連南風原3807-2	978-2033	978-2011



2 うるま市立小学校・中学校一覧

令和7年5月1日現在

	学校名	学校 TEL	学校 FAX	郵便番号	学校住所	校長	教頭	創立年月日
1	宮森小学校	964-2077	964-3244	904-1106	石川一丁目46番1号	金城 睦 男	比屋根 直子	1945年10月21日
2	城前小学校	964-2086	964-3742	904-1106	石川400番地	伊礼 美和子	町田 宗泰	1945年5月7日
3	伊波小学校	964-2088	964-3745	904-1115	石川伊波287番地1	宮城 卓司	高谷 啓祐	1888年4月1日
4	与那城小学校	978-2221	983-0021	904-2304	与那城屋慶名468番地29	大庭 真由美	砂川 成人	1940年4月1日
5	南原小学校	978-2225	983-0228	904-2311	勝連南風原279番地1	比嘉 正彦	宮里 匠哲	1946年4月18日
6	勝連小学校	978-2222	978-2253	904-2313	勝連内間1173番地	宮城 政光	屋良 千鶴	1882年4月
7	平敷屋小学校	978-2223	978-2254	904-2314	勝連平敷屋3850番地	島袋 弘文	成田 美雪	1969年6月30日
8	津堅小学校	978-2141	978-1005	904-2317	勝連津堅1327番地2	徳 永 誠	横田 康司	1893年4月
9	川崎小学校	972-3367	972-2804	904-2203	字川崎117番地	小濱 勉	安里 茂	1945年12月22日
10	天願小学校	973-3359	974-7128	904-2215	みどり町一丁目8番1号	米田 大作	長濱 千春	1906年4月1日
11	あげな小学校	972-3566	972-2809	904-2204	字西原151番地	屋宜 英樹	小浜 康精	1958年4月1日
12	田場小学校	973-3364	974-7132	904-2213	字田場876番地	島袋 淳	伊波 鉄也 松尾 博生	1946年2月20日
13	具志川小学校	973-3536	974-7129	904-2223	字具志川3133番地	上門 健作	山内 柳弦	1882年3月1日
14	兼原小学校	973-3350	974-7143	904-2225	字喜屋武66番地	島袋 盛章	島袋 美恵子	1948年4月2日
15	高江洲小学校	973-3243	982-6059	904-2242	字高江洲118番地1	前原 博光	前 徳 守	1913年4月1日
16	中原小学校	973-6810	974-7125	904-2243	字宮里731番地	松田 健史	知念 あかね	1967年4月1日
17	赤道小学校	973-1218	974-7124	904-2245	字赤道921番地	大里 元児	大湾 達治	1980年4月1日
18	彩橋小学校	977-8102	983-1017	904-2426	与那城平安座8169番地1	北村 貴徳	仲村 裕子	2012年4月1日
1	石川中学校	964-2087	964-4044	904-1106	石川440番地1	金城 かなえ	久高 直人	1948年4月8日
2	伊波中学校	965-3384	964-5059	904-1111	石川東恩納978番地1	照屋 武	比嘉 司	1985年4月1日
3	与勝中学校	978-2220	978-8211	904-2311	勝連南風原3615番地	塩川 斉	比嘉 善明	1958年4月1日
4	与勝第二中学校	978-2648	978-2638	904-2307	与那城饒辺153番地1	上門 博之	片野坂 浩己	1972年4月1日
5	津堅中学校	978-2141	978-1005	904-2317	勝連津堅1327番地2	徳 永 誠	横田 康司	1893年4月
6	あげな中学校	972-3276	972-2784	904-2214	安慶名二丁目18番37号	新垣 和哉	川 畑 久 宮 城 修	1962年1月1日
7	具志川中学校	973-3355	982-6104	904-2225	字喜屋武591番地	伊波 勉	宮里 守	1948年4月1日
8	高江洲中学校	973-3207	974-7104	904-2233	字豊原769番地	當 銘 剛	松元 卓真	1960年4月1日
9	具志川東中学校	973-1212	974-7154	904-2223	字具志川2803番地	仲村 正樹	松浦 雅子	1981年4月1日
10	彩橋中学校	977-8102	983-1017	904-2426	与那城平安座8169番地1	北村 貴徳	仲村 裕子	2012年4月1日

※各学校の創立年月日は「沖縄県公立小学校変遷史」(沖縄県教育委員会 平成6年1月)・「学校経営計画」等から作成。

3 令和7年度 うるま市立学校在籍一覧表（小学校・中学校）

令和7年5月1日現在

学校名	学年 種別	1年生				2年生				3年生				4年生				5年生				6年生				合計			
		男	女	合計	学級数	男	女	合計	学級数	男	女	合計	学級数	男	女	合計	学級数	男	女	合計	学級数	男	女	合計	学級数	男	女	合計	学級数
1 宮森小学校	普通	41	34	75	3	22	33	55	2	36	37	73	3	31	41	72	3	35	33	68	3	30	32	62	2	195	210	405	16
	特別	2	1	3		2	1	3		3	0	3		2	1	3		0	0	0		2	1	3		11	4	15	4
	合計	43	35	78	3	24	34	58	2	39	37	76	3	33	42	75	3	35	33	68	3	32	33	65	2	206	214	420	20
2 城前小学校	普通	36	27	63	2	32	21	53	2	24	24	48	2	28	26	54	2	37	38	75	3	37	32	69	2	194	168	362	13
	特別	3	0	3		1	3	4		2	1	3		3	0	3		4	0	4		1	2	3		14	6	20	4
	合計	39	27	66	2	33	24	57	2	26	25	51	2	31	26	57	2	41	38	79	3	38	34	72	2	208	174	382	17
3 伊波小学校	普通	63	61	124	5	59	61	120	4	71	63	134	4	58	58	116	4	62	64	126	4	54	60	114	4	367	367	734	25
	特別	3	2	5		6	5	11		5	2	7		7	2	9		6	5	11		4	1	5		31	17	48	9
	合計	66	63	129	5	65	66	131	4	76	65	141	4	65	60	125	4	68	69	137	4	58	61	119	4	398	384	782	34
4 彩橋小学校	普通	4	5	9	1	5	9	14	1	5	4	9	1	8	8	16	1	7	9	16	1	9	7	16	1	38	42	80	6
	特別	1	1	2		3	0	3		0	1	1		0	0	0		3	0	3		3	0	3		10	2	12	2
	合計	5	6	11	1	8	9	17	1	5	5	10	1	8	8	16	1	10	9	19	1	12	7	19	1	48	44	92	8
5 与那城小学校	普通	49	34	83	3	42	31	73	3	32	30	62	2	45	45	90	3	25	42	67	2	37	35	72	3	230	217	447	16
	特別	1	4	5		4	2	6		3	1	4		5	1	6		2	3	5		2	2	4		17	13	30	6
	合計	50	38	88	3	46	33	79	3	35	31	66	2	50	46	96	3	27	45	72	2	39	37	76	3	247	230	477	22
6 南原小学校	普通	15	22	37	2	25	14	39	2	25	22	47	2	26	19	45	2	26	21	47	2	21	21	42	2	138	119	257	12
	特別	0	0	0		0	0	0		2	0	2		3	0	3		0	1	1		3	0	3		8	1	9	4
	合計	15	22	37	2	25	14	39	2	27	22	49	2	29	19	48	2	26	22	48	2	24	21	45	2	146	120	266	16
7 勝連小学校	普通	22	27	49	2	25	22	47	2	30	20	50	2	26	27	53	2	22	23	45	2	30	26	56	2	155	145	300	12
	特別	1	0	1		3	1	4		3	0	3		1	0	1		1	0	1		5	0	5		14	1	15	3
	合計	23	27	50	2	28	23	51	2	33	20	53	2	27	27	54	2	23	23	46	2	35	26	61	2	169	146	315	15
8 平敷屋小学校	普通	9	15	24	1	14	15	29	1	15	9	24	1	18	16	34	1	17	9	26	1	14	16	30	1	87	80	167	6
	特別	1	0	1		2	0	2		1	1	2		1	2	3		1	0	1		5	0	5		11	3	14	3
	合計	10	15	25	1	16	15	31	1	16	10	26	1	19	18	37	1	18	9	27	1	19	16	35	1	98	83	181	9
9 津堅小学校	普通	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0.5	1	1	2	0.5	3	2	5	2
	特別	0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0		0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0.5	1	1	2	0.5	3	2	5	2
10 川崎小学校	普通	32	26	58	2	38	21	59	2	24	23	47	2	29	31	60	2	36	25	61	2	37	32	69	2	196	158	354	12
	特別	2	1	3		6	1	7		3	3	6		7	3	10		3	2	5		2	0	2		23	10	33	5
	合計	34	27	61	2	44	22	66	2	27	26	53	2	36	34	70	2	39	27	66	2	39	32	71	2	219	168	387	17
11 天願小学校	普通	66	54	120	5	67	57	124	5	62	68	130	4	50	60	110	4	69	66	135	4	54	56	110	4	368	361	729	26
	特別	7	2	9		9	3	12		7	3	10		5	6	11		2	2	4		6	3	9		36	19	55	8
	合計	73	56	129	5	76	60	136	5	69	71	140	4	55	66	121	4	71	68	139	4	60	59	119	4	404	380	784	34
12 あげな小学校	普通	36	45	81	3	55	30	85	3	48	45	93	3	27	38	65	2	49	39	88	3	39	33	72	3	254	230	484	17
	特別	3	1	4		0	1	1		4	0	4		3	4	7		4	1	5		5	3	8		19	10	29	5
	合計	39	46	85	3	55	31	86	3	52	45	97	3	30	42	72	2	53	40	93	3	44	36	80	3	273	240	513	22
13 田邊小学校	普通	72	75	147	5	62	67	129	5	54	69	123	4	71	72	143	5	73	60	133	4	70	77	147	5	402	420	822	28
	特別	10	1	11		11	5	16		6	5	11		9	3	12		7	3	10		5	1	6		48	18	66	11
	合計	82	76	158	5	73	72	145	5	60	74	134	4	80	75	155	5	80	63	143	4	75	78	153	5	450	438	888	39
14 具志川小学校	普通	19	17	36	1	31	22	53	2	20	23	43	2	24	25	49	2	19	22	41	2	21	27	48	2	134	136	270	11
	特別	2	2	4		3	0	3		1	3	4		2	1	3		3	1	4		2	0	2		13	7	20	5
	合計	21	19	40	1	34	22	56	2	21	26	47	2	26	26	52	2	22	23	45	2	23	27	50	2	147	143	290	16
15 兼原小学校	普通	41	47	88	3	44	43	87	3	67	40	107	4	63	57	120	4	50	60	110	4	55	54	109	4	320	301	621	22
	特別	7	4	11		5	1	6		5	0	5		3	4	7		6	2	8		4	2	6		30	13	43	8
	合計	48	51	99	3	49	44	93	3	72	40	112	4	66	61	127	4	56	62	118	4	59	56	115	4	350	314	664	30
16 高江洲小学校	普通	66	75	141	5	65	54	119	4	52	68	120	4	58	54	112	4	64	49	113	4	75	52	127	4	380	352	732	25
	特別	5	0	5		9	3	12		5	1	6		8	2	10		9	2	11		7	2	9		43	10	53	10
	合計	71	75	146	5	74	57	131	4	57	69	126	4	66	56	122	4	73	51	124	4	82	54	136	4	423	362	785	35
17 中原小学校	普通	64	56	120	4	62	68	130	5	70	71	141	5	76	69	145	5	78	61	139	4	59	74	133	4	409	399	808	27
	特別	5	2	7		9	0	9		6	1	7		4	2	6		2	1	3		6	0	6		32	6	38	6
	合計	69	58	127	4	71	68	139	5	76	72	148	5	80	71	151	5	80	62	142	4	65	74	139	4	441	405	846	33
18 赤道小学校	普通	57	52	109	4	61	43	104	4	31	60	91	3	57	46	103	3	42	33	75	3	40	46	86	3	288	280	568	20
	特別																												



【 現代版組踊「^{きむたか}肝高の^{あまわり}阿麻和利」 】

沖縄県うるま市の中学生・高校生のみで演じる現代版組踊「肝高の阿麻和利」は、沖縄に古くから伝わる伝統芸能・組踊をベースに現代音楽やダンスを取り入れ、琉球王朝時代の地域の歴史上の英雄である勝連城第10代按司・阿麻和利の半生を描いた、いわば沖縄版ミュージカルです。

2000年の初演以来、沖縄県内・県外・海外での公演を重ね、公演回数は370回以上・総入場者数21万人超えの記録を更新し続けています。

演じる子どもたちが地域に誇り持ち、支える大人達（あまわり浪漫の会）が情熱的に活動する、唯一無二の『地域を変えた奇跡の舞台』として、日本ユネスコ協会連盟の『第1回プロジェクト未来遺産2009年度』へも登録されました。

世界遺産勝連城について学べる「あまわりパーク歴史文化施設」では、肝高の阿麻和利のアナザーストーリー『勝連の鳴響^{とよ}みてだ』の迫力あるライブパフォーマンスを間近で観覧できます。

肝高の阿麻和利は、2023年、本市が「感動産業特区うるま市」を宣言した際に『感動産業特区アンバサダー第1号』へ認定され、「感動」を切り口にうるま市の魅力を県内外へ向けPRする活動にも取り組んでいます。

令和7年度 うるま市の教育（主要施策）

発行年月：令和7年7月28日

発行：うるま市教育委員会

☎098-923-7111

印刷：有限会社サン印刷



勝連城跡の幻想的ライトアップ



13世紀頃に築城された世界遺産勝連城跡は、海外貿易によって栄えたとき、14世紀から15世紀にかけて最も栄えていたと考えられています。琉球王国最古の古謡集「おもろさうし」には、勝連地域が繁栄していたことや、最後の城主であった阿麻和利は勝連半島をまとめたすばらしい按司であるなど、勝連にまつわる歌が数多く残されています。

隣接する「あまわりパーク歴史文化施設」では勝連城跡の歴史を学ぶことができます。

また、毎夜（18～22時）、城壁を美しくライトアップし、うるま市随一の観光スポットとなっています。

勝連城跡：うるま市勝連南風原 3908